

**第二期子ども・子育て支援事業計画
策定に向けた利用ニーズ把握のための調査報告書**

平成 31 年 2 月

鹿 児 島 市

《目次》

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査方法	1
3 調査期間	1
4 回収結果	1
5 本報告書を見る際の注意事項	2
II 調査結果	3
1 住まいの地域について	3
● 居住地について	3
2 お子さんとそのご家族の状況について	4
● 年齢について	4
● 性別について	5
● きょうだいの有無について	5
● 調査票の回答者について	6
● 回答者の配偶関係	7
● 同居されている人数	7
● 同居されている方の続柄（複数回答）	8
● 子育てを主に行っている方（複数回答）	8
● 子育て（教育含む）に影響すると思われる環境（複数回答）	9
● 子どもをみてもらえる親族・知人	10
● 子どもをみてもらえる方の続柄（複数回答）	11
● 子どもをみてもらっている状況（複数回答）	12
● 子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所	13
● 子どもの子育てについて気軽に相談できる先（複数回答）	14
● 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からのサポートについて	14
3 保護者の就労状況	15
● 父親の就労状況	15
● 父親のフルタイムへの転換希望の有無	21
● 父親の就労希望について	22
● 母親の就労状況	23

● 母親のフルタイムへの転換希望	30
● 母親の就労希望について	32
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	36
● 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	36
● 平日に定期的に利用している教育・保育事業の利用頻度・希望等について	39
5 子どもの病気の際の対応	49
● 病気やケガの際の休暇について	49
● 休んだ際の対処方法（複数回答）	50
● 病児・病後児保育施設等の利用希望	52
● 望ましい事業形態（複数回答）	54
● 仕事を休んで見るかどうかについて	55
6 未就学児の保育	57
● 幼稚園の長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望	57
● 「定期的に」利用したいと考える事業（複数回答）	63
● 土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望	65
● 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望	69
7 幼児教育が無償化された場合の利用希望等	73
● 幼児教育が無償化された場合、フルタイムへの転換希望について（父親）	73
● 幼児教育が無償化された場合、就労したいという希望について（父親）	74
● 幼児教育が無償化された場合、フルタイムへの転換希望について（母親）	76
● 幼児教育が無償化された場合、就労したいという希望について（母親）	77
● 「定期的に」利用したいと考える事業（複数回答）	80
● 「定期的に」利用したいと考える子どもの年齢	81
8 「不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等」の利用について	82
● 不定期に利用している事業の有無、利用状況について	82
● 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった機会について	87
9 小学校就学後の放課後の過ごし方	91
● 放課後の時間に過ごさせたい場所について	91
● 土曜日及び長期休暇中の利用希望について	98
10 地域の子育て支援事業の利用状況	115
● 現在の利用状況について	115
● 今後の利用希望について	117

● 実施事業の認知度・利用の有無・利用希望について.....	120
11 職場の両立支援制度.....	122
● 子ども出産時の育児休業の取扱状況について.....	122
● 育児休業取得後の職場復帰について.....	127
● 育児休業から職場に復帰したタイミング.....	132
● 育児休暇取得時期の希望について.....	133
● 短時間勤務制度利用について.....	138
● 地域の子育ての環境や支援への満足度について.....	142
● 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について.....	142
Ⅲ 自由意見.....	143
1 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からのサポートについて.....	144
2 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について.....	157
Ⅳ 調査票.....	175

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援給付や地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保等を行うための計画である「第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、市民の子育てに関するニーズを把握し、計画づくりの基礎資料とするため実施した。

2 調査方法

(1) 調査区域

鹿児島市全域

(2) 調査対象

- ① 小学校就学前児童の保護者：4,000人
- ② 小学校児童の保護者：1,500人
- ③ 母子健康手帳交付者（第一子のみ）：139人

(3) 抽出・調査方法

上記区分「①」、「②」については、住民基本台帳から無作為抽出し郵送（配付・回収）
「③」については、母子健康手帳交付者（第一子のみ）に窓口配付・回収

(4) 調査項目

IV 調査票を参照

3 調査期間

平成30年11月14日から12月6日まで

4 回収結果

対象者		配布数	回答数	回答率
①	小学校就学前児童の保護者	4,000人	3,022人	54.9%
②	小学校児童の保護者	1,500人		
③	母子健康手帳交付者（第一子のみ）	139人	133人	95.7%
合計		5,639人	3,155人	55.9%

5 本報告書を見る際の注意事項

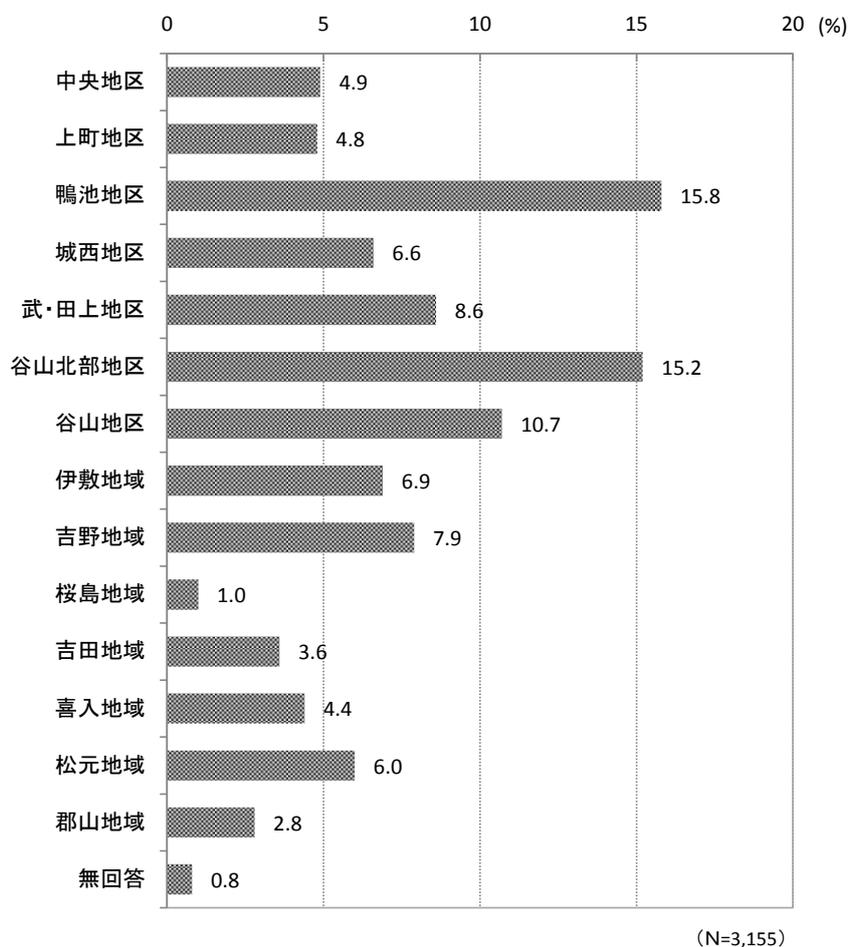
- 図表の「N」の数値は、質問に対する回答の総数を表す。
- 割合（%）は、端数処理（小数点第二位で四捨五入）の関係で、合計が 100%とならないものがある。また、割合が 0.1%以下となる数値については、0.0%と表記している。
- 複数回答の設問は、全ての百分率（%）を合計すると、通常 100%を超える。
- 他設問とのクロス集計については、同じ調査対象者に行った他の設問とのクロスを記載している。

Ⅱ 調査結果

1 住まいの地域について

問1 お住まいを、「町丁目」及び「小学校区」でご記入ください。

● 居住地域について



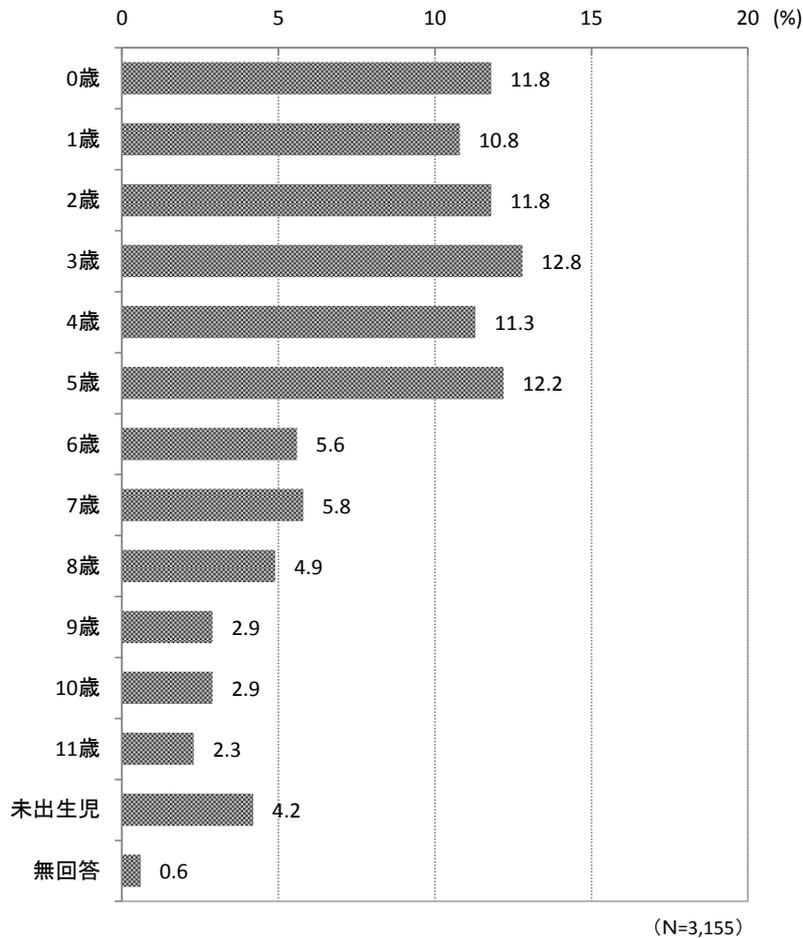
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	中央地区	154	4.9
2	上町地区	151	4.8
3	鴨池地区	500	15.8
4	城西地区	208	6.6
5	武・田上地区	271	8.6
6	谷山北部地区	481	15.2
7	谷山地区	339	10.7
8	伊敷地域	219	6.9
9	吉野地域	249	7.9
10	桜島地域	31	1.0
11	吉田地域	113	3.6
12	喜入地域	138	4.4
13	松元地域	188	6.0
14	郡山地域	88	2.8
	無回答	25	0.8
	N (%へ入)	3155	100

2 お子さんとそのご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

● 年齢について

0歳～5歳までの数が全体の70.7%を占めており、かつそれぞれの数が10%程度であり、大きな差はみられない。6歳～11歳の数は全体の24.4%である。



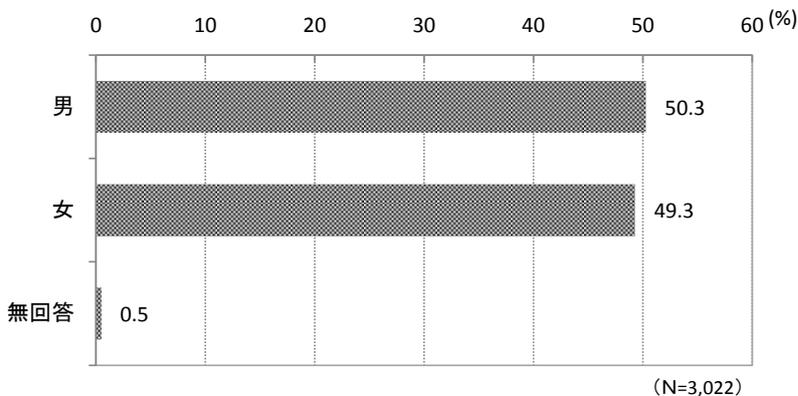
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0歳	372	11.8
2	1歳	340	10.8
3	2歳	372	11.8
4	3歳	403	12.8
5	4歳	357	11.3
6	5歳	386	12.2
7	6歳	178	5.6
8	7歳	182	5.8
9	8歳	154	4.9
10	9歳	93	2.9
11	10歳	93	2.9
12	11歳	72	2.3
13	未出生児	133	4.2
	無回答	20	0.6
	N (%ベース)	3155	100

※年齢は平成30年11月1日現在

問3 宛名のお子さんの性別をお答えください。

● 性別について

「男」が50.3%、「女」が49.3%である。

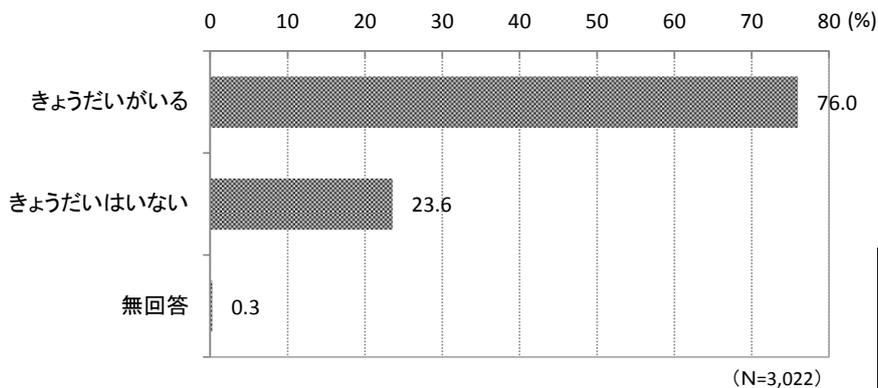


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男	1519	50.3
2	女	1489	49.3
	無回答	14	0.5
	N (%ベース)	3022	100

問4 宛名のお子さんに、きょうだいは、いらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、何人きょうだいの何番目か、また、末子の方の生まれた年と月をお答えください。

● きょうだいの有無について

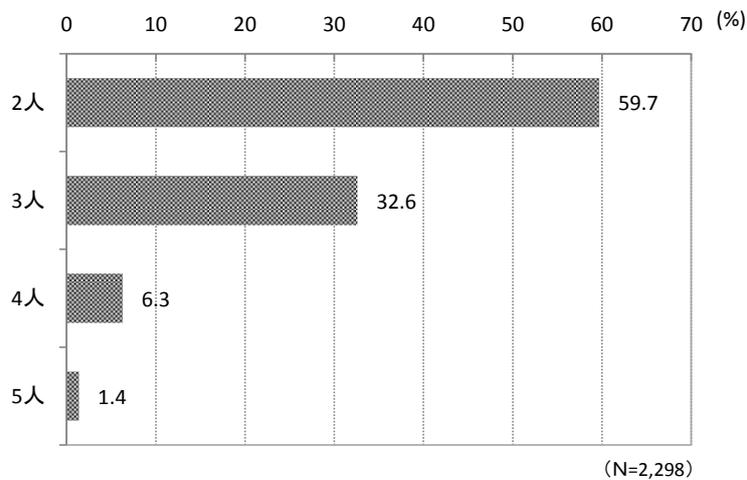
「きょうだいがいる」が76.0%で、「きょうだいはいない」は23.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	きょうだいがいる	2298	76.0
2	きょうだいはいない	714	23.6
	無回答	10	0.3
	N (%ベース)	3022	100

➤ きょうだいの人数

「きょうだいがいる」と回答された方のうち、「2人」が 59.7%と最も多く、次いで「3人」が 32.6%である。



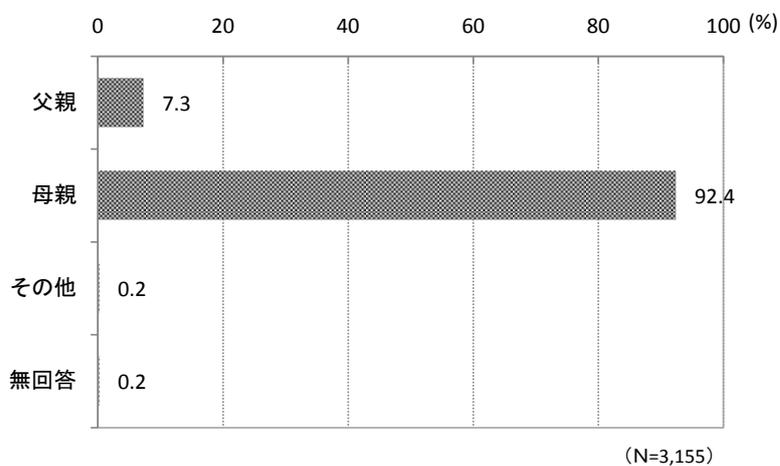
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2人	1372	59.7
2	3人	748	32.6
3	4人	145	6.3
4	5人	32	1.4
	無回答	1	0.0
	N (%ベース)	2298	100

問5 この調査票に、ご回答いただく方はどなたですか。

● 調査票の回答者について

「母親」が 92.4%、「父親」が 7.3%である。

なお、「その他」の 0.2%は、「祖母、無記入」である。

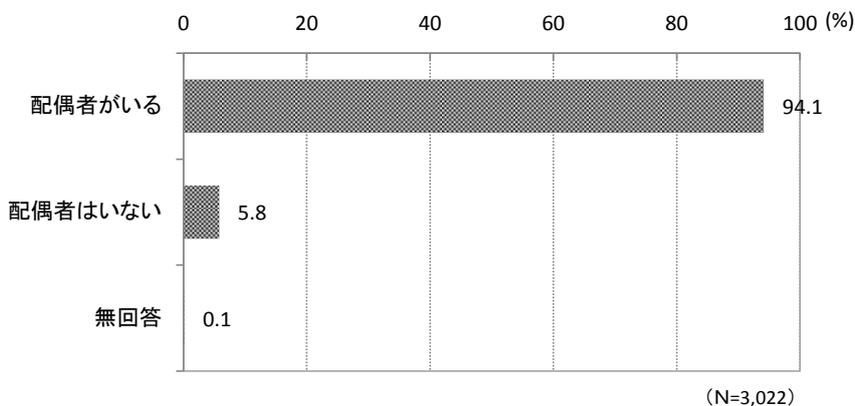


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	父親	229	7.3
2	母親	2915	92.4
3	その他	5	0.2
	無回答	6	0.2
	N (%ベース)	3155	100

問6 この調査票に、ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

● 回答者の配偶関係

「配偶者がいる」が94.1%、「配偶者がいない」が5.8%である。

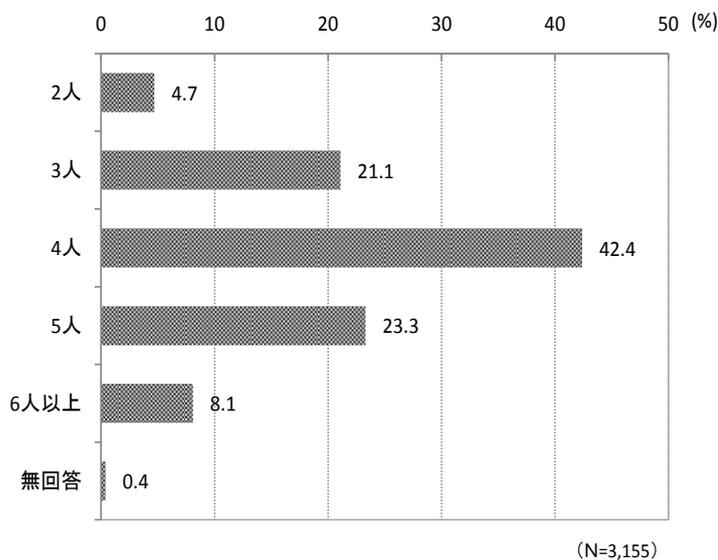


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者がいる	2845	94.1
2	配偶者がいない	174	5.8
	無回答	3	0.1
	N (%ベース)	3022	100

問7 宛名のお子さんと同居されている方についてお聞きします。
 (1) 宛名のお子さんと同居されている方は、何人ですか。
 (2) 宛名のお子さんと同居されている方すべてを選択してください。(宛名のお子さんからみた続柄)

● 同居されている人数

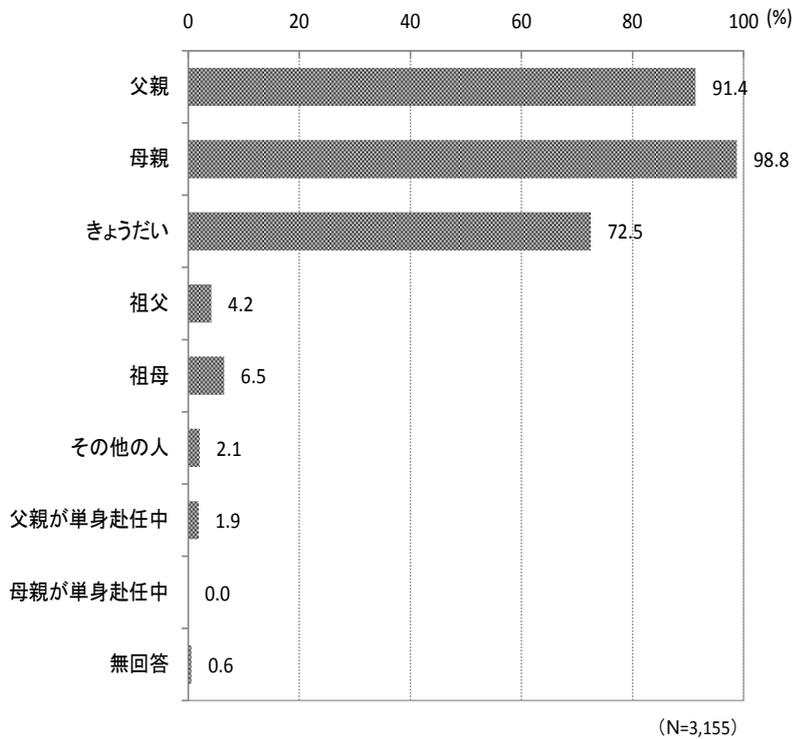
「4人」が42.4%と最も多く、次いで「5人」が23.3%、「3人」が21.1%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2人	149	4.7
2	3人	667	21.1
3	4人	1337	42.4
4	5人	734	23.3
5	6人以上	256	8.1
	無回答	12	0.4
	N (%ベース)	3155	100

● 同居されている方の続柄（複数回答）

「母親」が 98.8%と最も多く、次いで「父親」が 91.4%、「きょうだい」が 72.5%と親子世代が多い。その一方、「祖父」・「祖母」と同居する3世代同居は少ない。

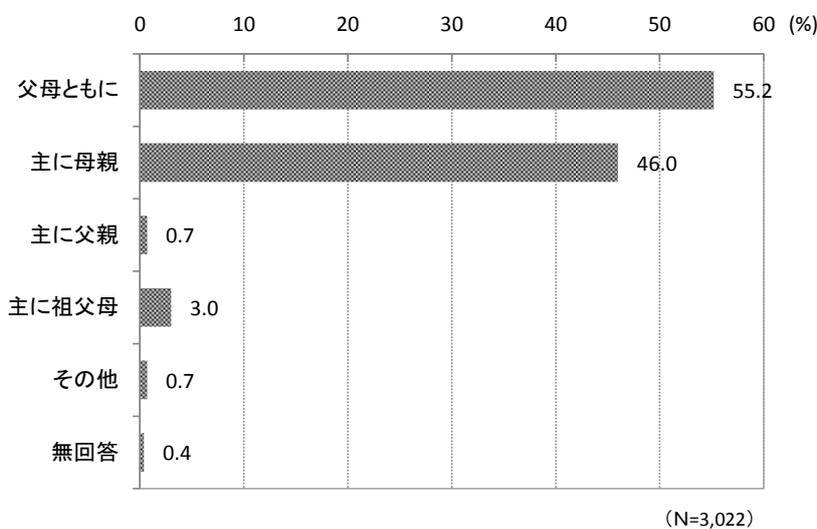


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	父親	2883	91.4
2	母親	3118	98.8
3	きょうだい	2286	72.5
4	祖父	132	4.2
5	祖母	205	6.5
6	その他の人	66	2.1
7	父親が単身赴任中	59	1.9
8	母親が単身赴任中	0	0.0
	無回答	18	0.6
	N (%ベース)	3155	100

問8 宛名のお子さんの子育て（教育含む）を、主に行っているのはどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号すべてを選択してください。

● 子育てを主に行っている方（複数回答）

「父母ともに」が 55.2%と最も多く、次いで「主に母親」が 46.0%、「主に祖父母」が 3.0%である。

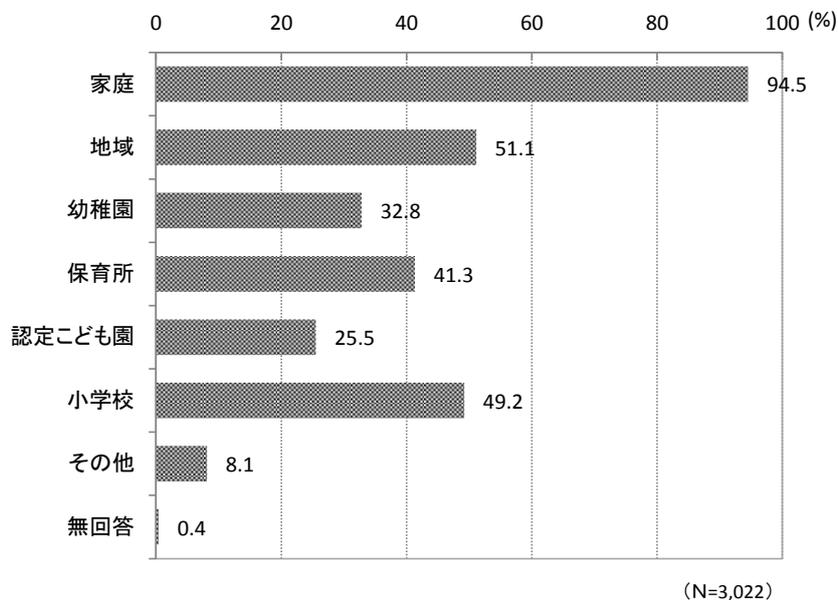


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	父母ともに	1668	55.2
2	主に母親	1390	46.0
3	主に父親	20	0.7
4	主に祖父母	91	3.0
5	その他	20	0.7
	無回答	11	0.4
	N (%ベース)	3022	100

問9 宛名のお子さんの子育て（教育含む）に、影響すると思われる環境すべてを選択してください。

● 子育て（教育含む）に影響すると思われる環境（複数回答）

「家庭」が94.5%と最も多く、次いで「地域」が51.1%、「幼稚園」・「保育所」・「小学校」はともに30～40%台であることから、家庭や地域、教育・保育の場は密接に影響している。

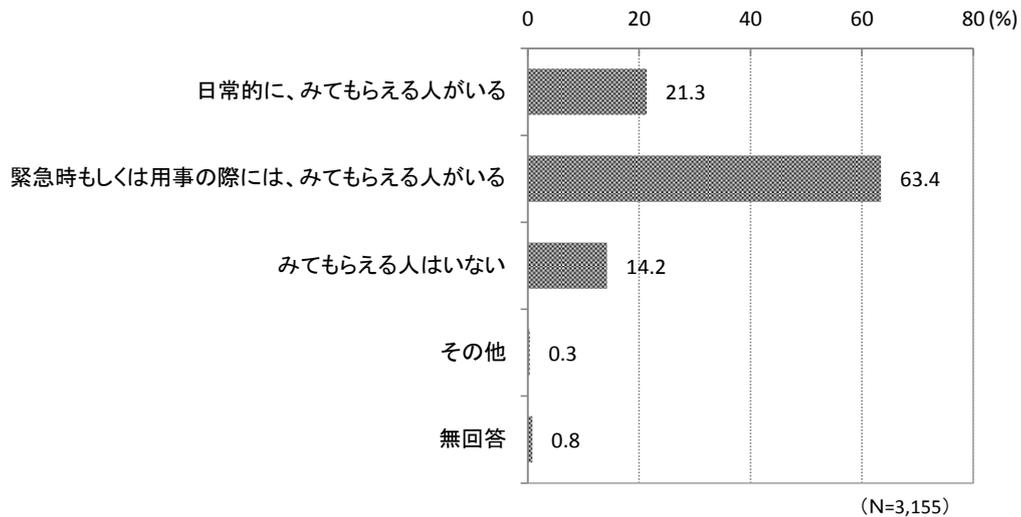


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家庭	2856	94.5
2	地域	1543	51.1
3	幼稚園	992	32.8
4	保育所	1248	41.3
5	認定こども園	771	25.5
6	小学校	1488	49.2
7	その他	246	8.1
	無回答	12	0.4
	N (%ベース)	3022	100

問 10 日頃、幼稚園・保育所等の施設以外で、宛名のお子さんをみてもらえる（預かってもらえる）親族・知人はいますか。

● 子どもをみてもらえる親族・知人

「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる人がいる」が 63.4%と最も多く、次いで「日常的にみてもらえる人がいる」が 21.3%、「みてもらえる人はいない」が 14.2%であり、日常的に子どもをみてもらえる状況は少ない。



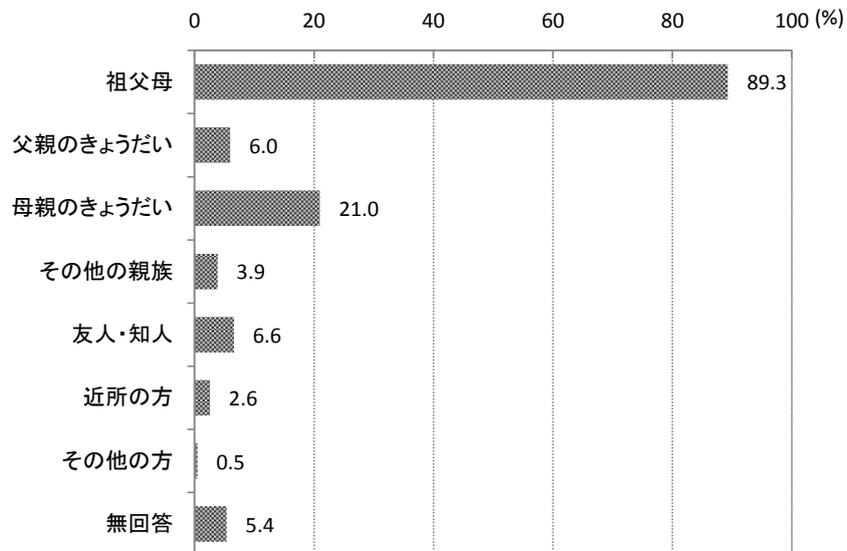
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日常的に、みてもらえる人がいる	673	21.3
2	緊急時もしくは用事の際には、みてもらえる人がいる	1999	63.4
3	みてもらえる人はいない	447	14.2
4	その他	10	0.3
	無回答	26	0.8
	N (%ベース)	3155	100

問 10-1 みてもらえる（預かってもらえる）方すべてを選択してください。

※問 10 で、「1. 日常的にみてもらえる人がいる」、「2. 緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる人がいる」を選ばれた方を対象。

● 子どもをみてもらえる方の続柄（複数回答）

「祖父母」が 89.3%と最も多く、次いで「母親のきょうだい」が 21.0%、「知人・友人」が 6.6%であり、親族にみてもらう割合が高い状況である。



(N=2,672)

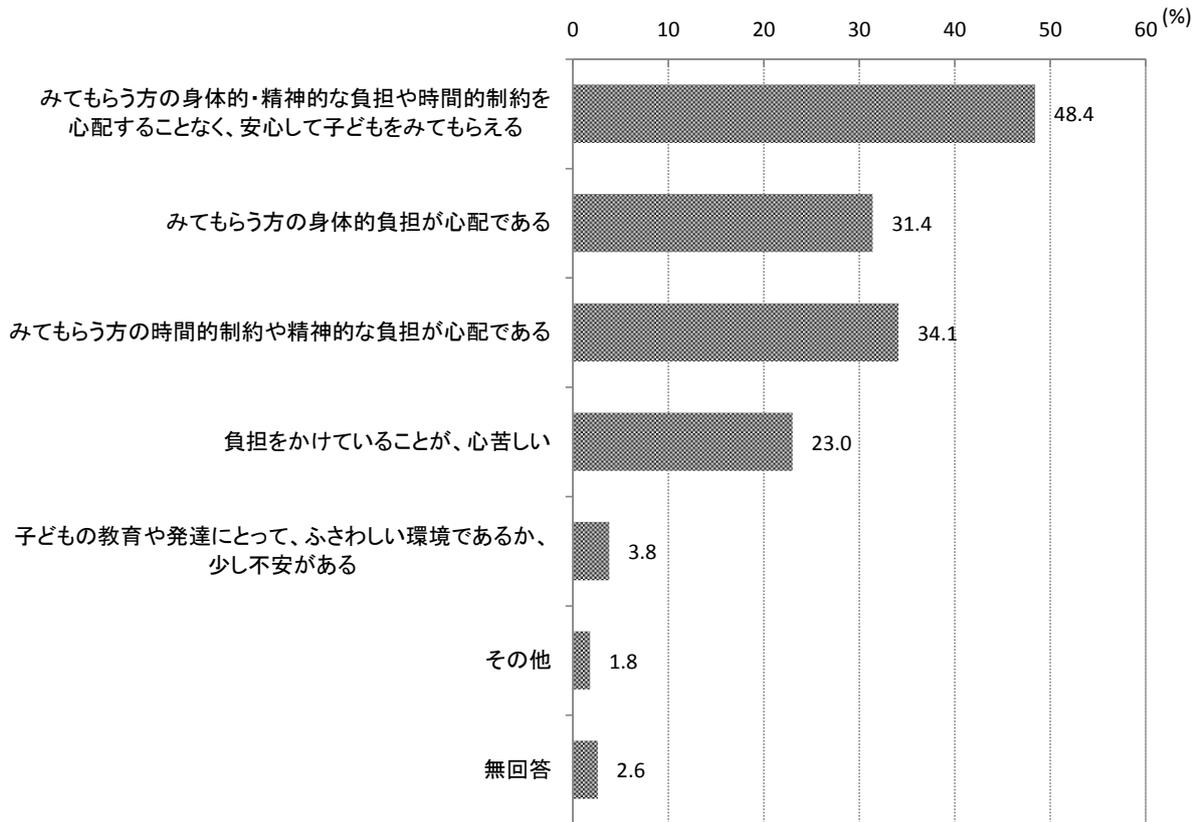
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	祖父母	2385	89.3
2	父親のきょうだい	160	6.0
3	母親のきょうだい	560	21.0
4	その他の親族	105	3.9
5	友人・知人	177	6.6
6	近所の方	70	2.6
7	その他の方	14	0.5
	無回答	145	5.4
	N (%ベース)	2672	100

問 10-2 宛名のお子さんを、みてもらっている状況について、当てはまる番号すべてを選択してください。

● 子どもをみてもらっている状況（複数回答）

「みてもらう方の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が48.4%と最も多く、次いで「みてもらう方の時間的制約や精神的な負担が心配である」が34.1%、「みてもらう方の身体的負担が心配である」が31.4%である。

「みてもらう方の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多い反面、みてもらう方の負担を心配する回答も多い。



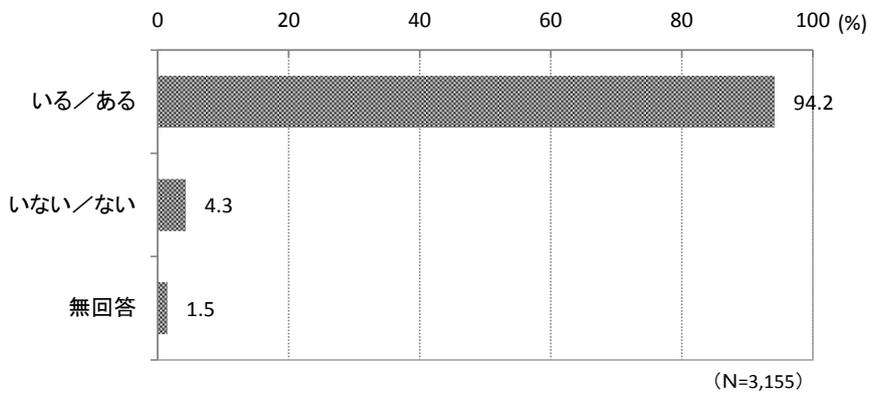
(N=2,548)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	みてもらう方の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	1232	48.4
2	みてもらう方の身体的負担が心配である	801	31.4
3	みてもらう方の時間的制約や精神的な負担が心配である	868	34.1
4	負担をかけていることが、心苦しい	585	23.0
5	子どもの教育や発達にとって、ふさわしい環境であるか、少し不安がある	98	3.8
6	その他	47	1.8
	無回答	65	2.6
	N (%ベース)	2548	100

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

● 子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所

「いる／ある」が 94.2%である。



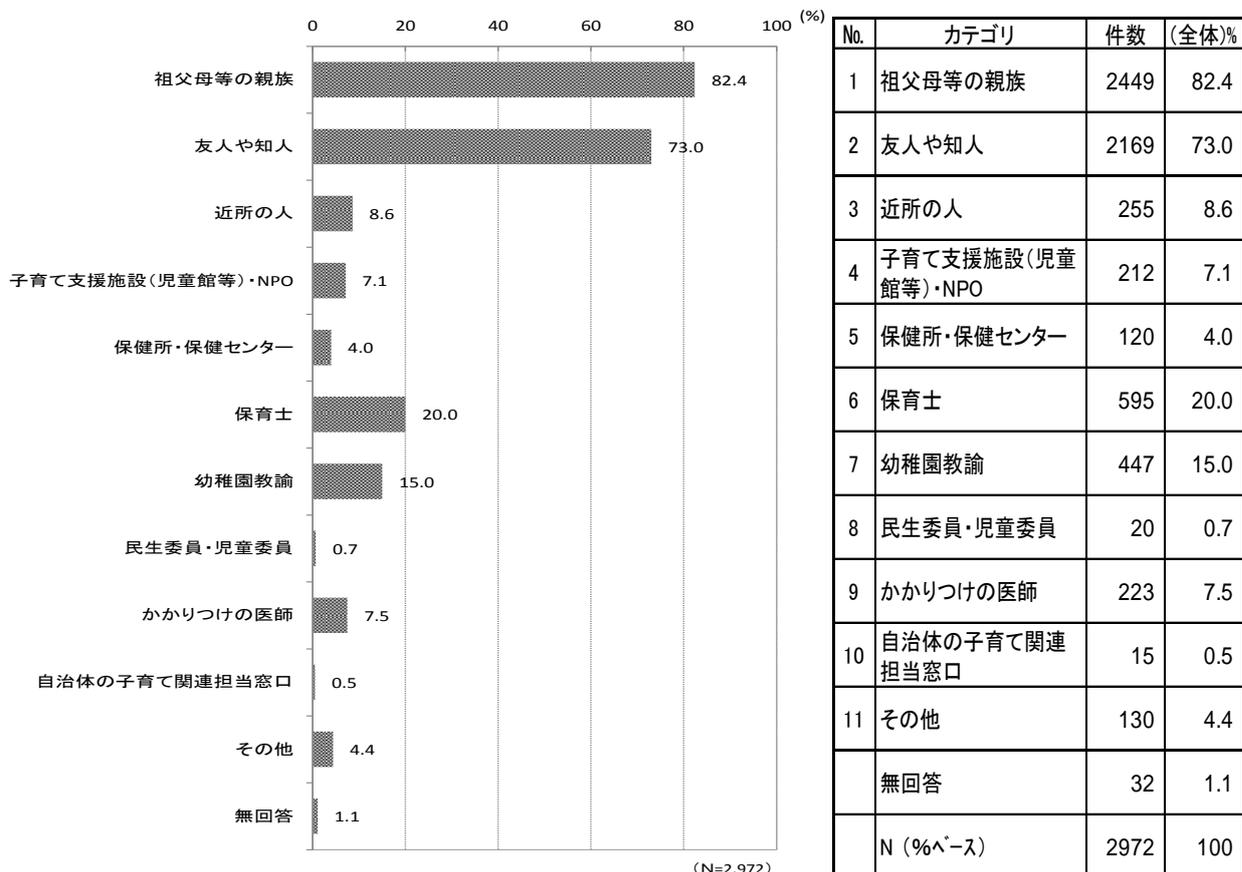
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	いる／ある	2972	94.2
2	いない／ない	137	4.3
	無回答	46	1.5
	N (%ベース)	3155	100

問 11-1 お子さんの子育て（教育含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 当てはまる番号すべてを選択してください。

※問 11 で、「1. いる／ある」を、選ばれた方を対象。

● 子どもの子育てについて気軽に相談できる先（複数回答）

「祖父母等の親族」が 82.4%と最も多く、次いで「知人や友人」が 73.0%、「保育士」が 20.0%
 である。



問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、保育所、幼稚園、自治体担当者等）から、どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

● 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からのサポートについて

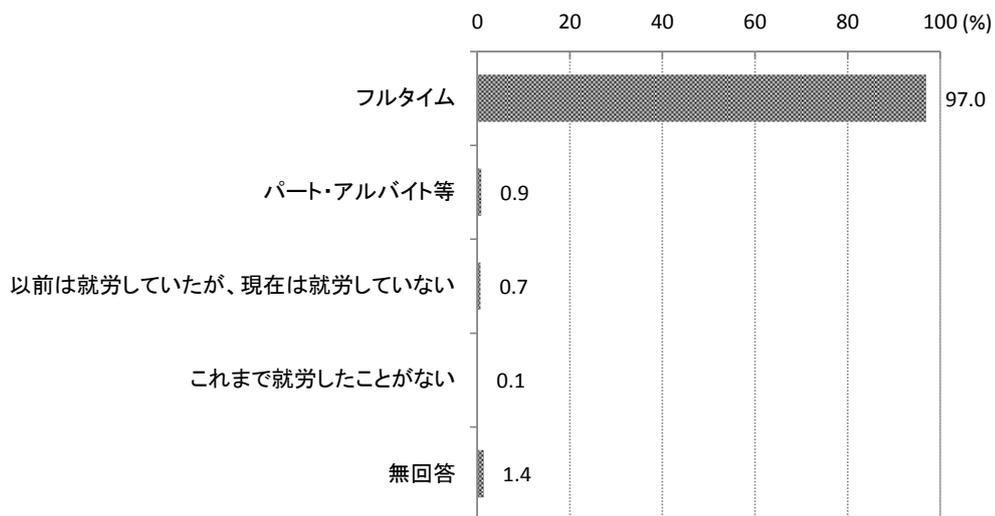
Ⅲ 自由意見 にて別記掲載

3 保護者の就労状況

問 13 宛名のお子さんの父親の、現在の就労状況をお答えください。

- 父親の就労状況

「フルタイム」が 97.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等」が 0.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 0.7%であり、父親の就労状況は主にフルタイムであることがうかがえる。

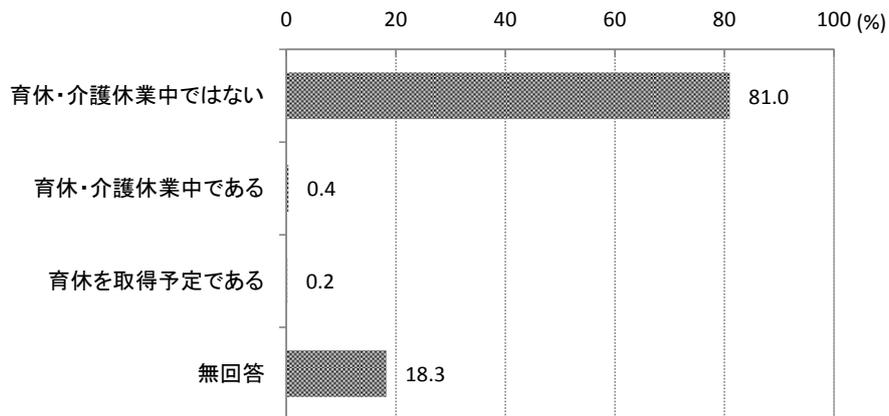


(N=2,985)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイム	2894	97.0
2	パート・アルバイト等	26	0.9
3	以前は就労していたが、現在は就労していない	22	0.7
4	これまで就労したことがない	2	0.1
	無回答	41	1.4
	N (%ベース)	2985	100

➤ 父親の育休・介護休業の取得状況

「育休・介護休業中でない」が81.0%で、「育休・介護休業中である」は0.4%であり、父親の育休・介護休業の取得状況が低いことがうかがえる。



(N=2,920)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育休・介護休業中でない	2366	81.0
2	育休・介護休業中である	13	0.4
3	育休を取得予定である	7	0.2
	無回答	534	18.3
	N (%ベース)	2920	100

➤ 父親の就労状況×育休・介護休業の取得状況

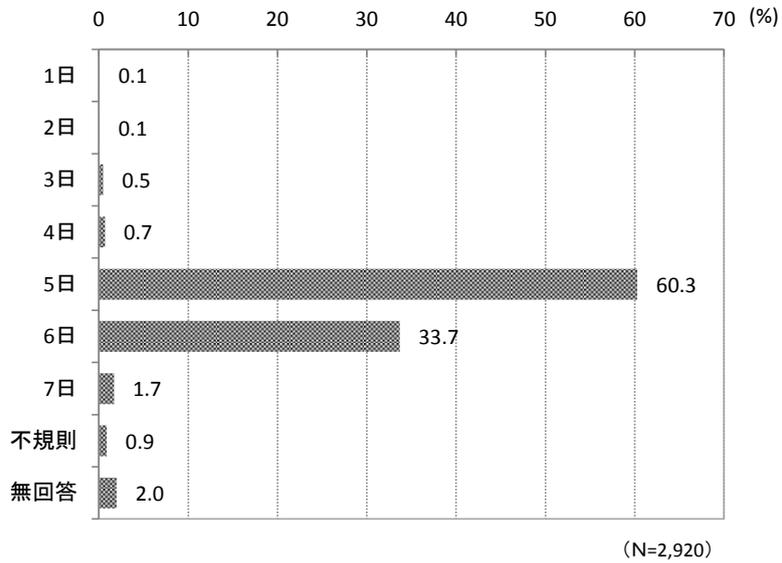
		N (合計)	育休・介護休業状況(父親)			
			育休・介護休業中ではない	育休・介護休業中である	育休を取得予定である	無回答
父親の 就労状況	全体	2920	2366	13	7	534
		100.0	81.0	0.4	0.2	18.3
	フルタイム	2894	2347	13	6	528
		100.0	81.1	0.4	0.2	18.2
	パート・アルバイト等	26	19	-	1	6
		100.0	73.1	-	3.8	23.1

問 13-1 父親の現在の平均的な就労状況を、お答えください。

※問 13 で、「1. フルタイム」、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方を対象。

➤ 父親の現在の1週間当たりの平均的な就労日数

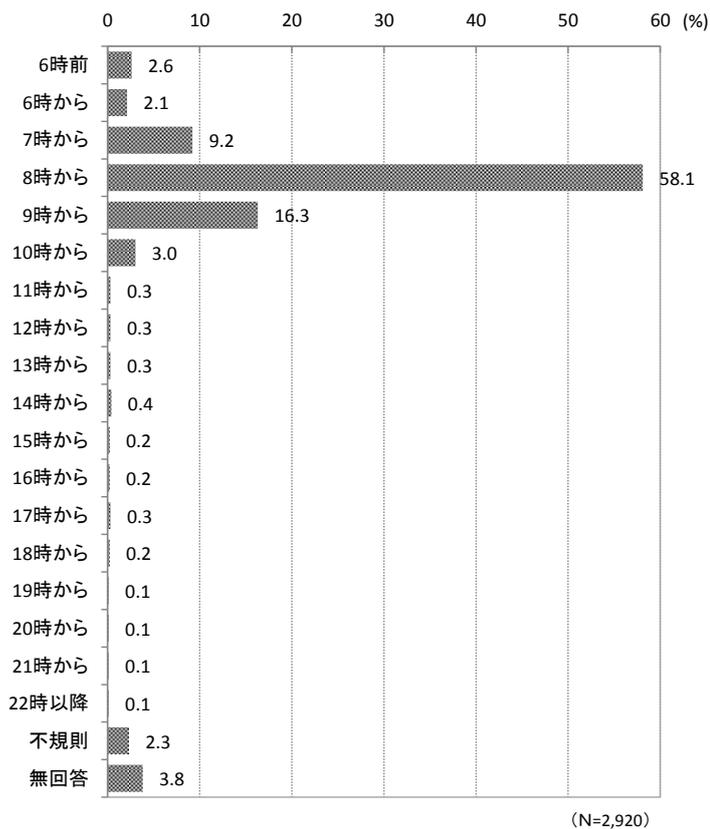
就労日数は、「5日」が60.3%と最も多く、次いで「6日」が33.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	2	0.1
2	2日	4	0.1
3	3日	15	0.5
4	4日	21	0.7
5	5日	1760	60.3
6	6日	985	33.7
7	7日	49	1.7
8	不規則	26	0.9
	無回答	58	2.0
	N (%ベース)	2920	100

➤ 父親の1日の就労開始時刻

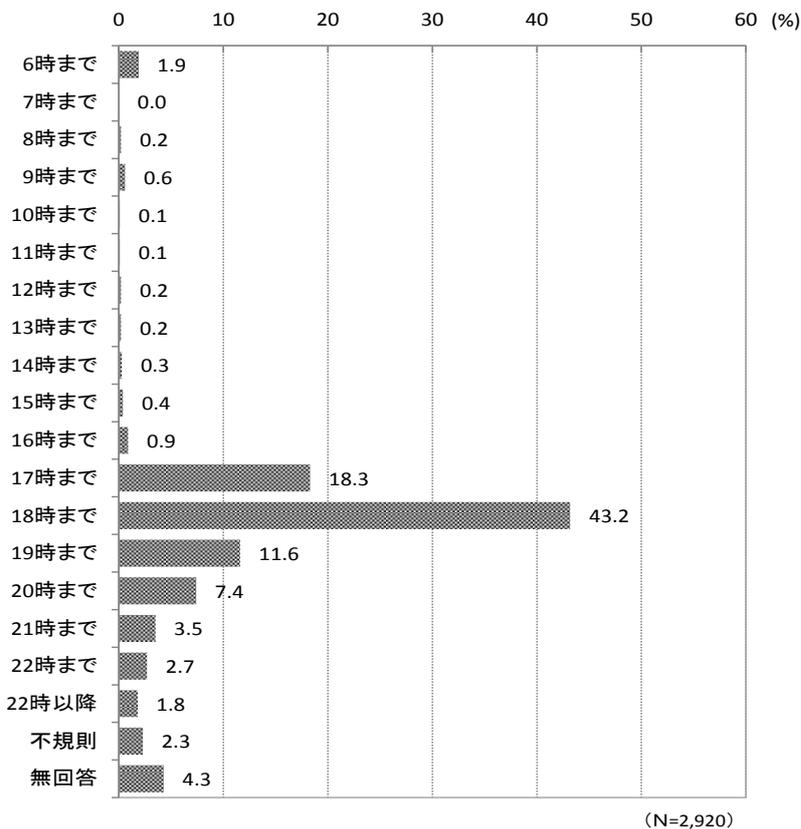
「8時から」が58.1%と最も多く、次いで「9時から」が16.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	75	2.6
2	6時から	61	2.1
3	7時から	268	9.2
4	8時から	1696	58.1
5	9時から	476	16.3
6	10時から	87	3.0
7	11時から	10	0.3
8	12時から	10	0.3
9	13時から	9	0.3
10	14時から	11	0.4
11	15時から	5	0.2
12	16時から	7	0.2
13	17時から	9	0.3
14	18時から	5	0.2
15	19時から	3	0.1
16	20時から	2	0.1
17	21時から	4	0.1
18	22時以降	3	0.1
19	不規則	68	2.3
	無回答	111	3.8
	N (%ベース)	2920	100

➤ 父親の1日の就労終了時刻

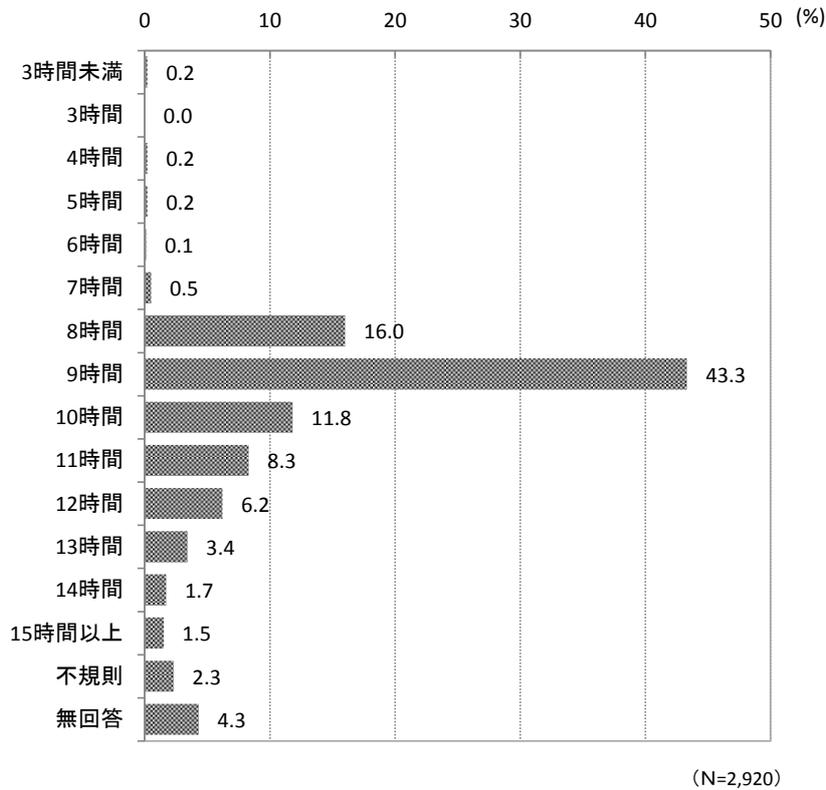
「18時まで」が43.2%と最も多く、次いで「17時まで」が18.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時まで	56	1.9
2	7時まで	1	0.0
3	8時まで	6	0.2
4	9時まで	17	0.6
5	10時まで	2	0.1
6	11時まで	4	0.1
7	12時まで	5	0.2
8	13時まで	6	0.2
9	14時まで	8	0.3
10	15時まで	11	0.4
11	16時まで	25	0.9
12	17時まで	533	18.3
13	18時まで	1262	43.2
14	19時まで	339	11.6
15	20時まで	215	7.4
16	21時まで	102	3.5
17	22時まで	79	2.7
18	22時以降	54	1.8
19	不規則	68	2.3
	無回答	127	4.3
	N (%ベース)	2920	100

➤ 父親の1日の就労時間

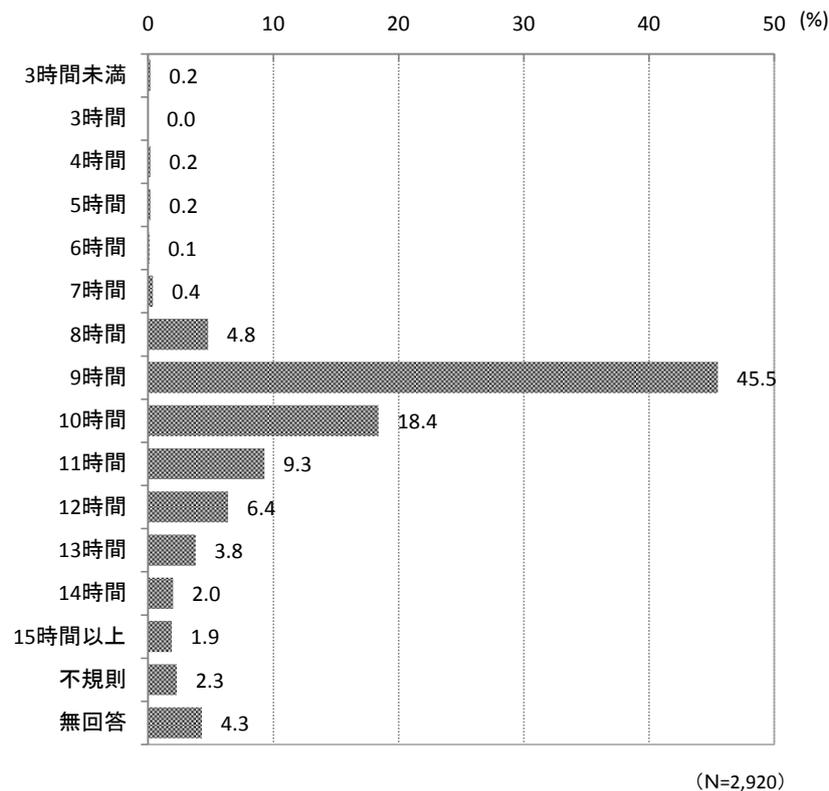
「9時間」が43.3%と最も多く、次いで「8時間」が16.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	6	0.2
2	3時間	0	0.0
3	4時間	5	0.2
4	5時間	5	0.2
5	6時間	4	0.1
6	7時間	14	0.5
7	8時間	466	16.0
8	9時間	1263	43.3
9	10時間	345	11.8
10	11時間	242	8.3
11	12時間	182	6.2
12	13時間	99	3.4
13	14時間	50	1.7
14	15時間以上	44	1.5
15	不規則	68	2.3
	無回答	127	4.3
	N (%へ入)	2920	100

➤ 父親の1日の勤務時間（就労時間+通勤時間）

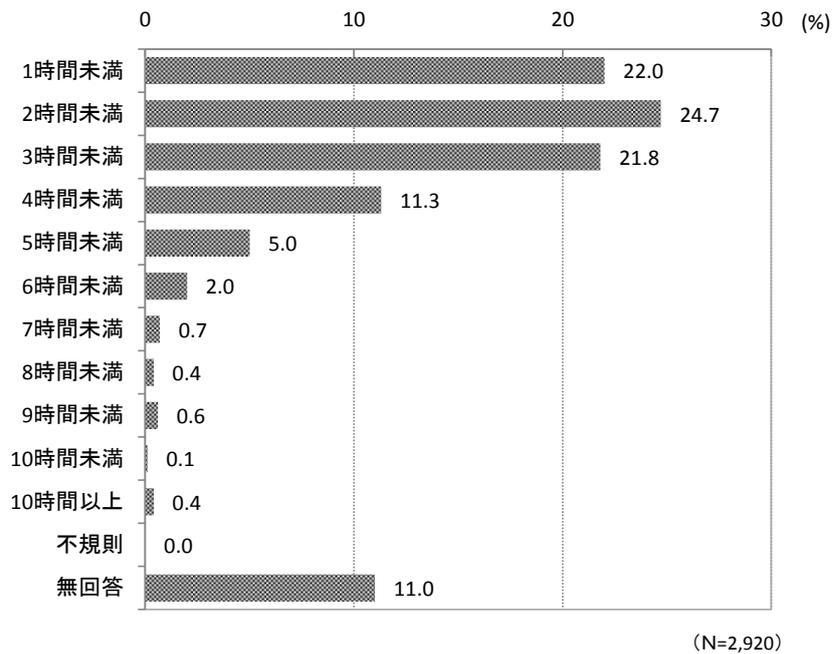
1日の勤務時間を就労時間+通勤時間と考えた勤務時間では、「9時間」が45.5%と最も多く、次いで「10時間」が18.4%、「11時間」が9.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	6	0.2
2	3時間	0	0.0
3	4時間	5	0.2
4	5時間	5	0.2
5	6時間	4	0.1
6	7時間	12	0.4
7	8時間	140	4.8
8	9時間	1329	45.5
9	10時間	538	18.4
10	11時間	273	9.3
11	12時間	188	6.4
12	13時間	111	3.8
13	14時間	58	2.0
14	15時間以上	56	1.9
15	不規則	68	2.3
	無回答	127	4.3
	N (%へ入)	2920	100

➤ 父親の1日の残業時間

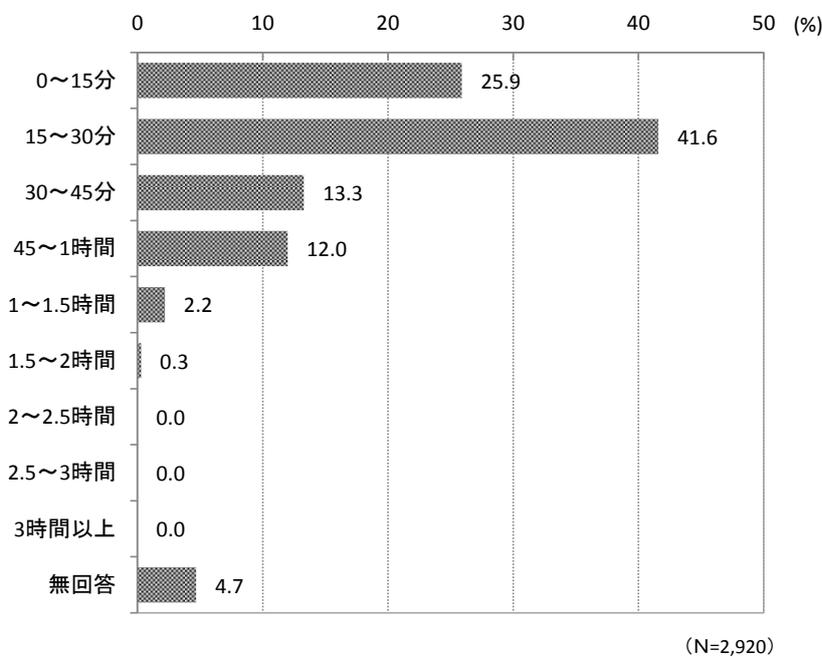
「2時間未満」が24.7%と最も多く、次いで「1時間未満」が22.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1時間未満	642	22.0
2	2時間未満	721	24.7
3	3時間未満	638	21.8
4	4時間未満	329	11.3
5	5時間未満	146	5.0
6	6時間未満	57	2.0
7	7時間未満	21	0.7
8	8時間未満	11	0.4
9	9時間未満	17	0.6
10	10時間未満	3	0.1
11	10時間以上	13	0.4
12	不規則	0	0.0
	無回答	322	11.0
	N (%ベース)	2920	100

➤ 父親の1日の通勤時間

「15～30分」が41.6%と最も多く、次いで「0～15分」が25.9%である。



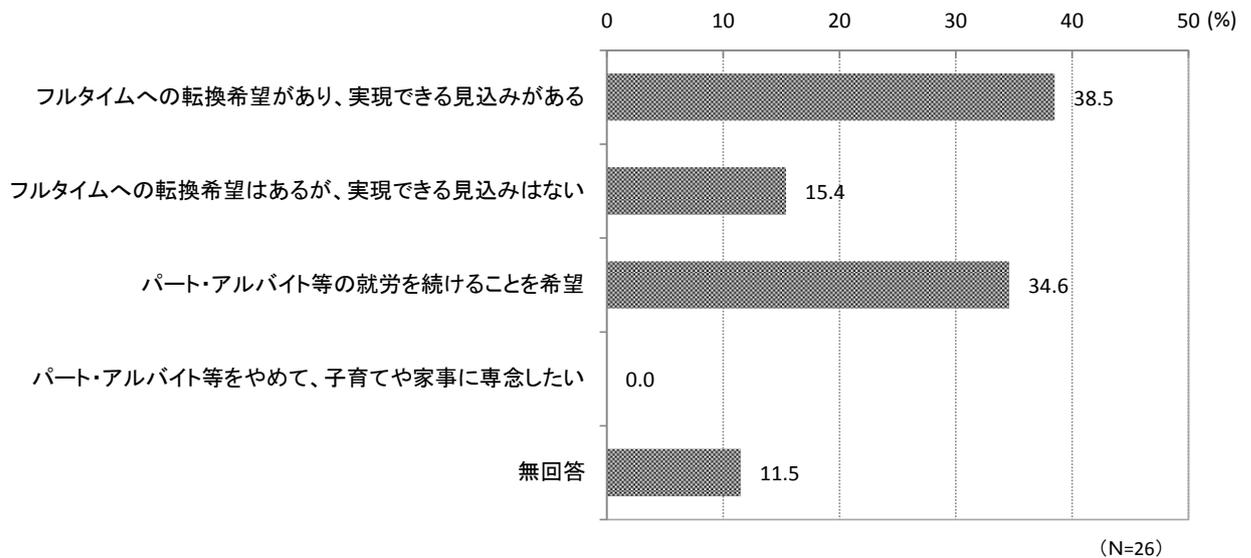
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0～15分	757	25.9
2	15～30分	1214	41.6
3	30～45分	389	13.3
4	45～1時間	350	12.0
5	1～1.5時間	63	2.2
6	1.5～2時間	10	0.3
7	2～2.5時間	0	0.0
8	2.5～3時間	1	0.0
9	3時間以上	0	0.0
	無回答	136	4.7
	N (%ベース)	2920	100

問 13-2 フルタイムへの転換希望は、ありますか。

※問 13 で、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方を対象。

● 父親のフルタイムへの転換希望の有無

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 38.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 34.6%である。



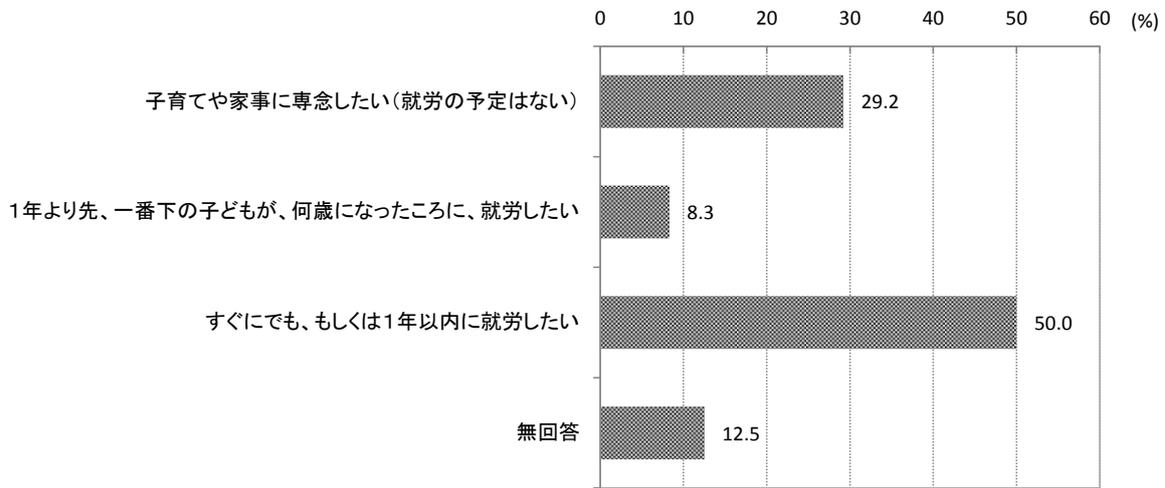
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	10	38.5
2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	4	15.4
3	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	9	34.6
4	パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい	0	0.0
	無回答	3	11.5
	N (%ベース)	26	100

問 13-3 就労したいという希望はありますか。

※問 13 で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「4. これまで就労したことがない」を、選ばれた方を対象。

● 父親の就労希望について

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」が29.2%である。

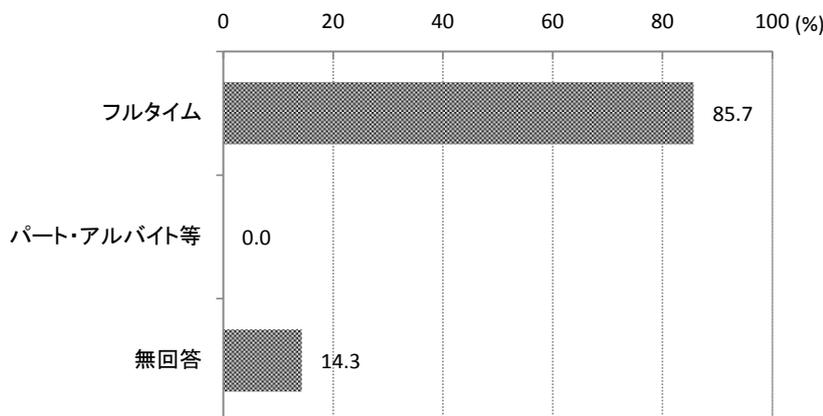


(N=24)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)	7	29.2
2	1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに、就労したい	2	8.3
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	12	50.0
	無回答	3	12.5
	N (%ベース)	24	100

➤ 希望する就労形態

「フルタイム」が無回答を除くと100.0%である。



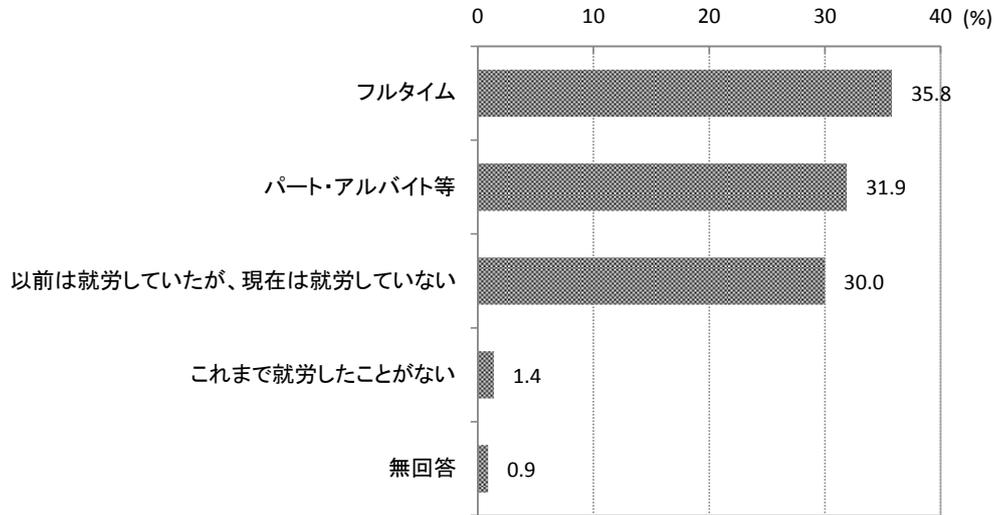
(N=2,920)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイム	12	85.7
2	パート・アルバイト等	0	0.0
	無回答	2	14.3
	N (%ベース)	14	100

問 14 宛名のお子さんの母親の、現在の就労状況をお答えください。

● 母親の就労状況

「フルタイム」が 35.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等」が 31.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 30.0%である。

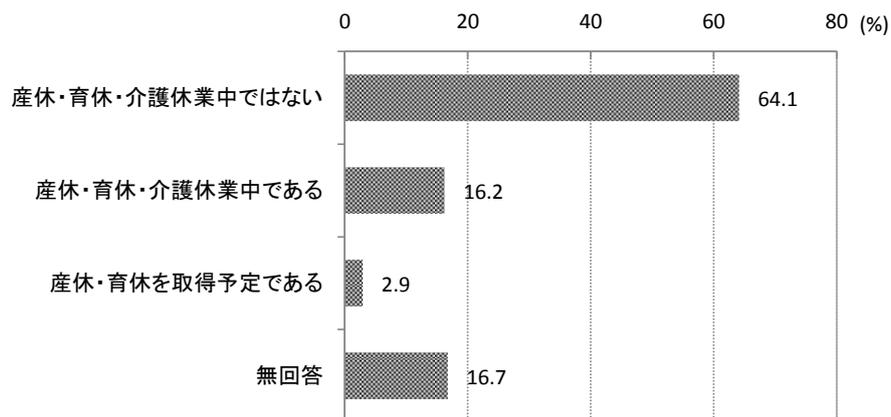


(N=3,140)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイム	1124	35.8
2	パート・アルバイト等	1002	31.9
3	以前は就労していたが、現在は就労していない	942	30.0
4	これまで就労したことがない	44	1.4
	無回答	28	0.9
	N (%ベース)	3140	100

➤ 母親の産休・育休・介護休業の取得状況

「産休・育休・介護休業中ではない」が 64.1%と最も多く、次いで「産休・育休・介護休業中である」が 16.2%である。



(N=2,126)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	産休・育休・介護休業中ではない	1363	64.1
2	産休・育休・介護休業中である	345	16.2
3	産休・育休を取得予定である	62	2.9
	無回答	356	16.7
	N (%ベース)	2126	100

➤ 母親の就労状況×産休・育休・介護休業の取得状況

		N (合計)	産休・育休・介護休業状況(母親)			
			育休・介護 休業中 はない	育休・介護 休業中 ある	産休・育休 を取得予 定である	無回答
母親の 就労状況	全体	2126 100.0	1363 64.1	345 16.2	62 2.9	356 16.7
	フルタイム	1124 100.0	638 56.8	268 23.8	50 4.4	168 14.9
	パート・アルバイト等	1002 100.0	725 72.4	77 7.7	12 1.2	188 18.8

➤ 子どもの年齢×母親の就労状況

		N (合計)	母親の現在の就労状況				
			フルタイム	パート・ア ルバイト等	以前は就 労していた が、現在は 就労してい ない	これまで就 労したこと がない	無回答
年齢	全体	3140 100.0	1124 35.8	1002 31.9	942 30.0	44 1.4	28 0.9
	0歳	372 100.0	153 41.1	46 12.4	166 44.6	4 1.1	3 0.8
	1歳	340 100.0	125 36.8	72 21.2	132 38.8	7 2.1	4 1.2
	2歳	370 100.0	118 31.9	116 31.4	131 35.4	3 0.8	2 0.5
	3歳	401 100.0	134 33.4	142 35.4	122 30.4	1 0.2	2 0.5
	4歳	355 100.0	127 35.8	123 34.6	100 28.2	4 1.1	1 0.3
	5歳	385 100.0	128 33.2	144 37.4	102 26.5	6 1.6	5 1.3
	6歳	177 100.0	48 27.1	74 41.8	49 27.7	4 2.3	2 1.1
	7歳	181 100.0	63 34.8	74 40.9	39 21.5	5 2.8	-
	8歳	154 100.0	48 31.2	74 48.1	27 17.5	1 0.6	4 2.6
	9歳	92 100.0	40 43.5	35 38.0	15 16.3	2 2.2	-
	10歳	92 100.0	27 29.3	39 42.4	19 20.7	5 5.4	2 2.2
	11歳	70 100.0	27 38.6	29 41.4	10 14.3	2 2.9	2 2.9
	未出生児	133 100.0	81 60.9	27 20.3	24 18.0	-	1 0.8
	無回答	18 100.0	5 27.8	7 38.9	6 33.3	-	-

※年齢は平成30年11月1日現在

➤ 子どもの年齢×産休・育休・介護休業の取得状況

	上段:度数 下段:%	N (合計)	産休・育休・介護休業状況(母親)			
			育休・介護 休業中 はない	育休・介護 休業中 ある	産休・育休 を取得予 定である	無回答
年齢	全体	2126 100.0	1363 64.1	345 16.2	62 2.9	356 16.7
	0歳	199 100.0	28 14.1	168 84.4	-	3 1.5
	1歳	197 100.0	138 70.1	36 18.3	-	23 11.7
	2歳	234 100.0	168 71.8	33 14.1	-	33 14.1
	3歳	276 100.0	189 68.5	47 17.0	-	40 14.5
	4歳	250 100.0	179 71.6	29 11.6	-	42 16.8
	5歳	272 100.0	197 72.4	14 5.1	-	61 22.4
	6歳	122 100.0	90 73.8	3 2.5	-	29 23.8
	7歳	137 100.0	100 73.0	4 2.9	-	33 24.1
	8歳	122 100.0	92 75.4	4 3.3	-	26 21.3
	9歳	75 100.0	55 73.3	2 2.7	-	18 24.0
	10歳	66 100.0	44 66.7	2 3.0	-	20 30.3
	11歳	56 100.0	35 62.5	-	-	21 37.5
	未出生児	108 100.0	38 35.2	2 1.9	62 57.4	6 5.6
	無回答	12 100.0	10 83.3	1 8.3	-	1 8.3

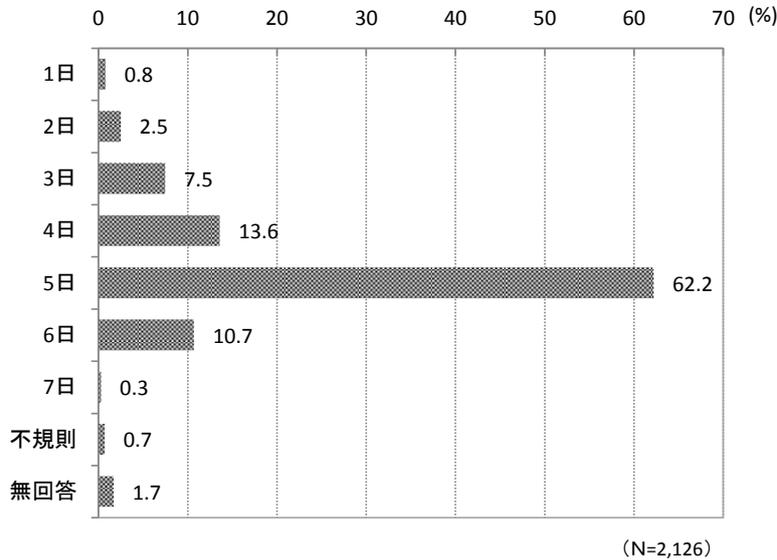
※年齢は平成 30 年 11 月 1 日現在

問 14-1 母親の現在の平均的な就労状況を、お答えください。

※問 14 で、「1. フルタイム」、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方を対象。

➤ 母親の現在の1週間の就労日数

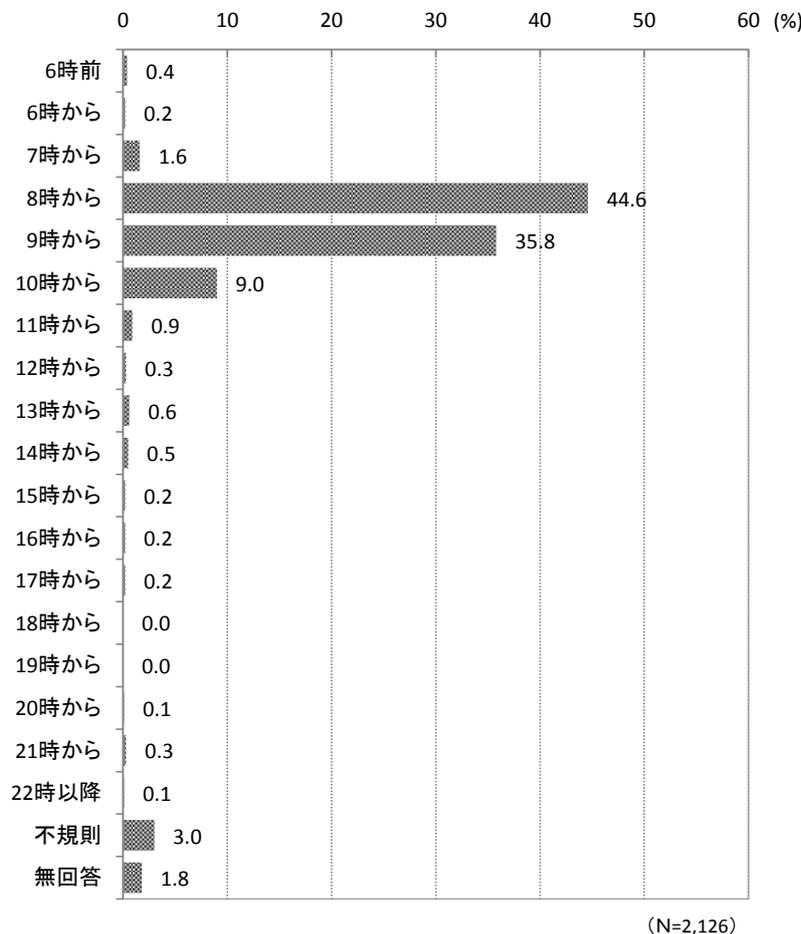
「5日」が62.2%と最も多く、次いで「4日」が13.6%、「6日」が10.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	16	0.8
2	2日	54	2.5
3	3日	159	7.5
4	4日	289	13.6
5	5日	1322	62.2
6	6日	228	10.7
7	7日	7	0.3
8	不規則	15	0.7
	無回答	36	1.7
	N (%ベース)	2126	100

➤ 母親の1日の就労開始時刻

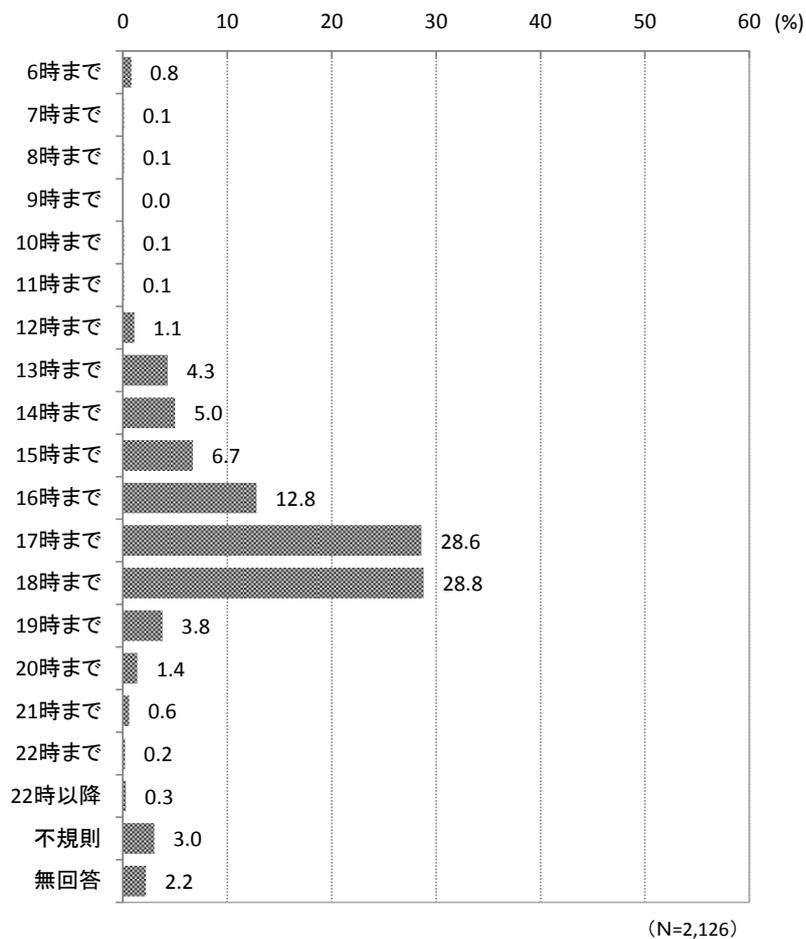
「8時から」が44.6%と最も多く、次いで「9時から」が35.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	8	0.4
2	6時から	5	0.2
3	7時から	34	1.6
4	8時から	948	44.6
5	9時から	762	35.8
6	10時から	192	9.0
7	11時から	19	0.9
8	12時から	7	0.3
9	13時から	13	0.6
10	14時から	11	0.5
11	15時から	4	0.2
12	16時から	5	0.2
13	17時から	4	0.2
14	18時から	1	0.0
15	19時から	0	0.0
16	20時から	2	0.1
17	21時から	6	0.3
18	22時以降	3	0.1
19	不規則	64	3.0
	無回答	38	1.8
	N (%ベース)	2126	100

➤ 母親の1日の就労終了時刻

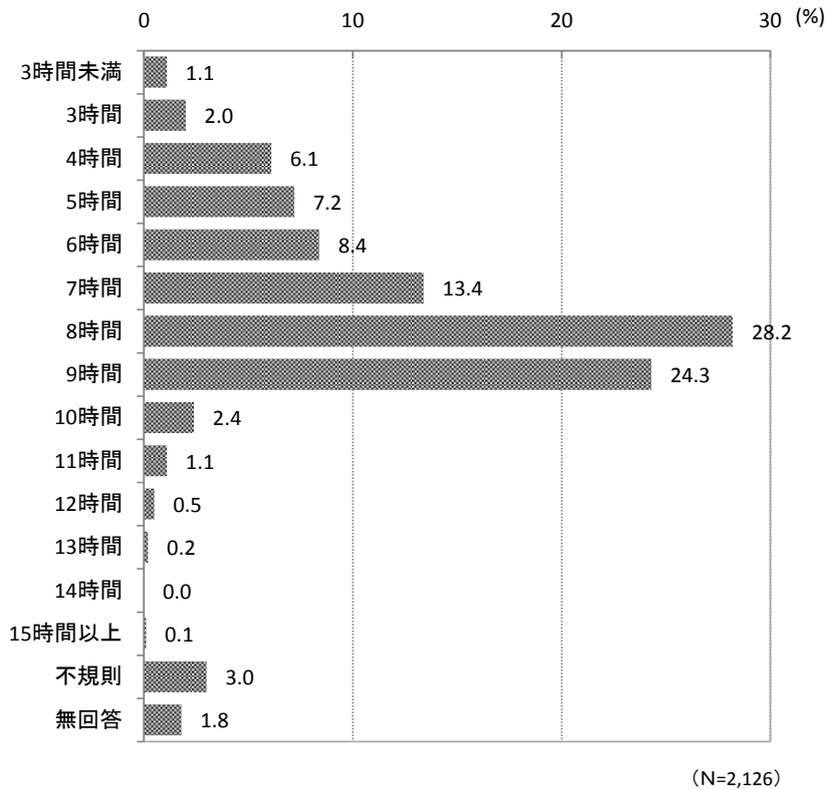
「18時まで」28.8%と最も多く、次いで「17時まで」が28.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時まで	16	0.8
2	7時まで	2	0.1
3	8時まで	2	0.1
4	9時まで	1	0.0
5	10時まで	2	0.1
6	11時まで	2	0.1
7	12時まで	23	1.1
8	13時まで	92	4.3
9	14時まで	106	5.0
10	15時まで	143	6.7
11	16時まで	272	12.8
12	17時まで	607	28.6
13	18時まで	613	28.8
14	19時まで	81	3.8
15	20時まで	30	1.4
16	21時まで	12	0.6
17	22時まで	5	0.2
18	22時以降	6	0.3
19	不規則	64	3.0
	無回答	47	2.2
	N (%への入)	2126	100

➤ 母親の1日の就労時間

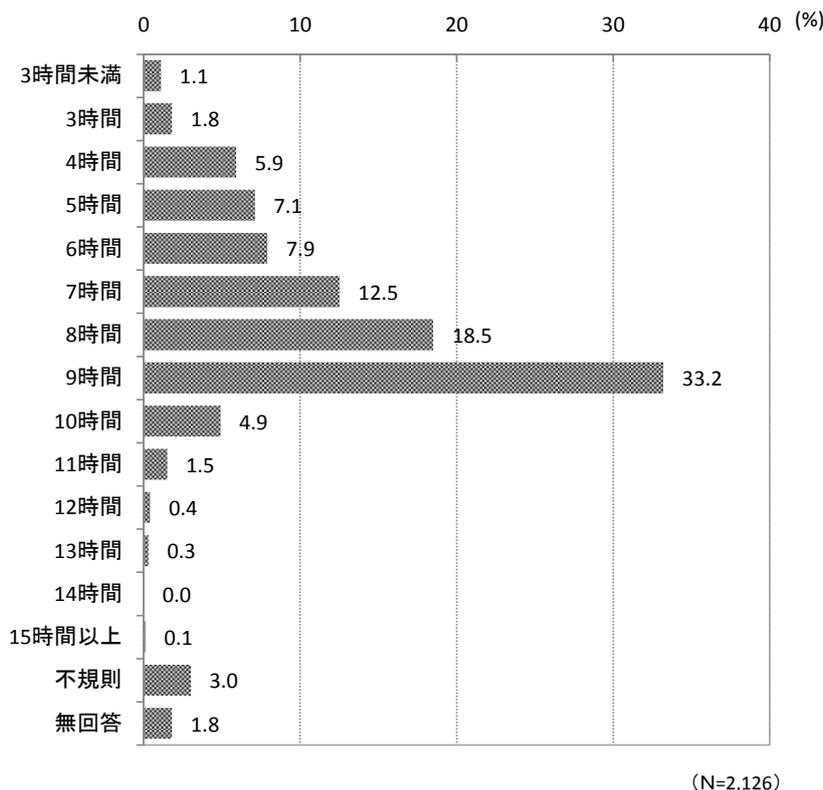
「8時間」が28.2%と最も多く、次いで「9時間」が24.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	24	1.1
2	3時間	43	2.0
3	4時間	129	6.1
4	5時間	154	7.2
5	6時間	179	8.4
6	7時間	284	13.4
7	8時間	600	28.2
8	9時間	517	24.3
9	10時間	52	2.4
10	11時間	24	1.1
11	12時間	10	0.5
12	13時間	4	0.2
13	14時間	1	0.0
14	15時間以上	3	0.1
15	不規則	64	3.0
	無回答	38	1.8
	N (%へ入)	2126	100

➤ 母親の1日の勤務時間（就労時間+通勤時間）

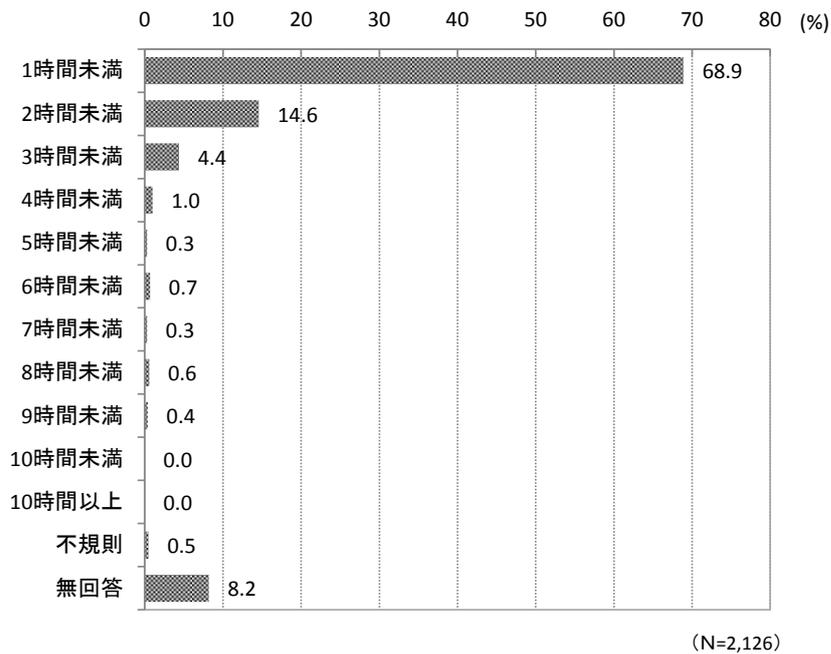
1日の勤務時間を就労時間+通勤時間と考えた勤務時間では、「9時間」が33.2%と最も多く、次いで「8時間」が18.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	23	1.1
2	3時間	38	1.8
3	4時間	125	5.9
4	5時間	151	7.1
5	6時間	168	7.9
6	7時間	265	12.5
7	8時間	393	18.5
8	9時間	706	33.2
9	10時間	104	4.9
10	11時間	32	1.5
11	12時間	9	0.4
12	13時間	6	0.3
13	14時間	1	0.0
14	15時間以上	3	0.1
15	不規則	64	3.0
	無回答	38	1.8
	N (%へ入)	2126	100

➤ 母親の1日の残業時間

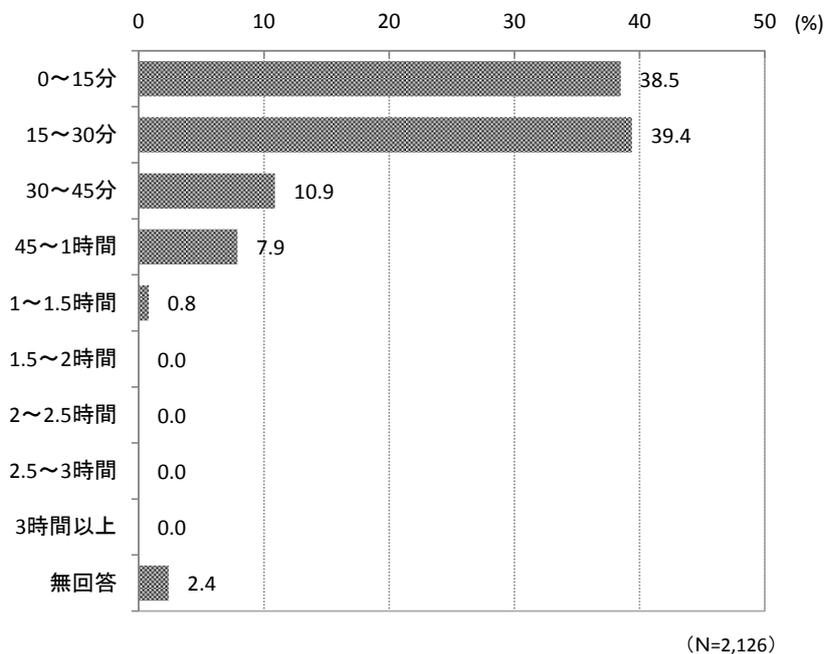
「1時間未満」が68.9%と最も多く、次いで「2時間未満」が14.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1時間未満	1464	68.9
2	2時間未満	311	14.6
3	3時間未満	93	4.4
4	4時間未満	22	1.0
5	5時間未満	7	0.3
6	6時間未満	15	0.7
7	7時間未満	6	0.3
8	8時間未満	13	0.6
9	9時間未満	9	0.4
10	10時間未満	1	0.0
11	10時間以上	0	0.0
12	不規則	10	0.5
	無回答	175	8.2
	N (%ベース)	2126	100

➤ 母親の1日の通勤時間

「15～30分」が39.4%と最も多く、次いで「0～15分」が38.5%である。



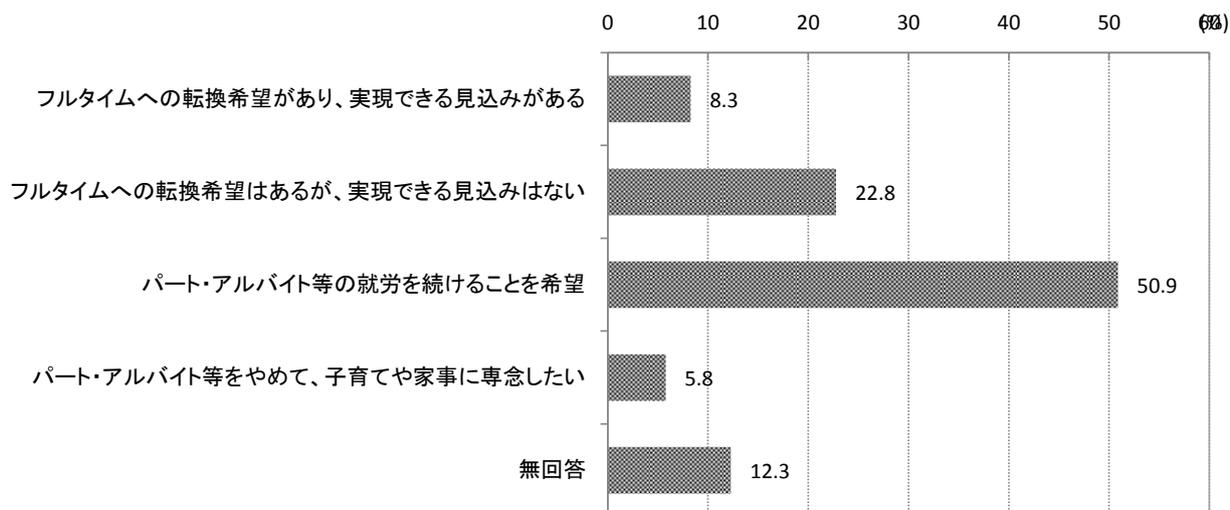
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0～15分	819	38.5
2	15～30分	837	39.4
3	30～45分	232	10.9
4	45～1時間	168	7.9
5	1～1.5時間	17	0.8
6	1.5～2時間	1	0.0
7	2～2.5時間	0	0.0
8	2.5～3時間	0	0.0
9	3時間以上	0	0.0
	無回答	52	2.4
	N (%ベース)	2126	100

問 14-2 フルタイムへの転換希望は、ありますか。当てはまる番号 1 つを選択してください。

※問 14 で、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方を対象。

● 母親のフルタイムへの転換希望

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 50.9%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 22.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.3%であり、フルタイムへの転換を希望する割合は、合わせて約 3 割である。



(N=1,002)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	83	8.3
2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	228	22.8
3	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	510	50.9
4	パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい	58	5.8
	無回答	123	12.3
	N (%ベース)	1002	100

➤ 子どもの年齢×フルタイムへの転換希望

	上段:度数 下段:%	N (合計)	フルタイムへの転換希望				無回答
			フルタイム への転換 希望があ り、実現で きる見込 みがある	フルタイム への転換 希望はあ るが、実現 できる見込 みはない	パート・ア ルバイト等 の就労を 続けること を希望	パート・ア ルバイト等 をやめて、 子育てや 家事に専 念したい	
年齢	全体	1002	83	228	510	58	123
		100.0	8.3	22.8	50.9	5.8	12.3
	0歳	46	2	16	20	3	5
		100.0	4.3	34.8	43.5	6.5	10.9
	1歳	72	6	19	34	5	8
		100.0	8.3	26.4	47.2	6.9	11.1
	2歳	116	18	26	58	4	10
		100.0	15.5	22.4	50.0	3.4	8.6
	3歳	142	6	35	76	7	18
		100.0	4.2	24.6	53.5	4.9	12.7
	4歳	123	7	26	61	7	22
		100.0	5.7	21.1	49.6	5.7	17.9
	5歳	144	19	32	74	7	12
		100.0	13.2	22.2	51.4	4.9	8.3
	6歳	74	5	18	38	3	10
		100.0	6.8	24.3	51.4	4.1	13.5
	7歳	74	10	15	33	5	11
	100.0	13.5	20.3	44.6	6.8	14.9	
8歳	74	5	16	42	3	8	
	100.0	6.8	21.6	56.8	4.1	10.8	
9歳	35	1	9	20	2	3	
	100.0	2.9	25.7	57.1	5.7	8.6	
10歳	39	2	9	20	2	6	
	100.0	5.1	23.1	51.3	5.1	15.4	
11歳	29	1	5	18	-	5	
	100.0	3.4	17.2	62.1	-	17.2	
未出生児	27	-	2	11	10	4	
	100.0	-	7.4	40.7	37.0	14.8	
無回答	7	1	-	5	-	1	
	100.0	14.3	-	71.4	-	14.3	

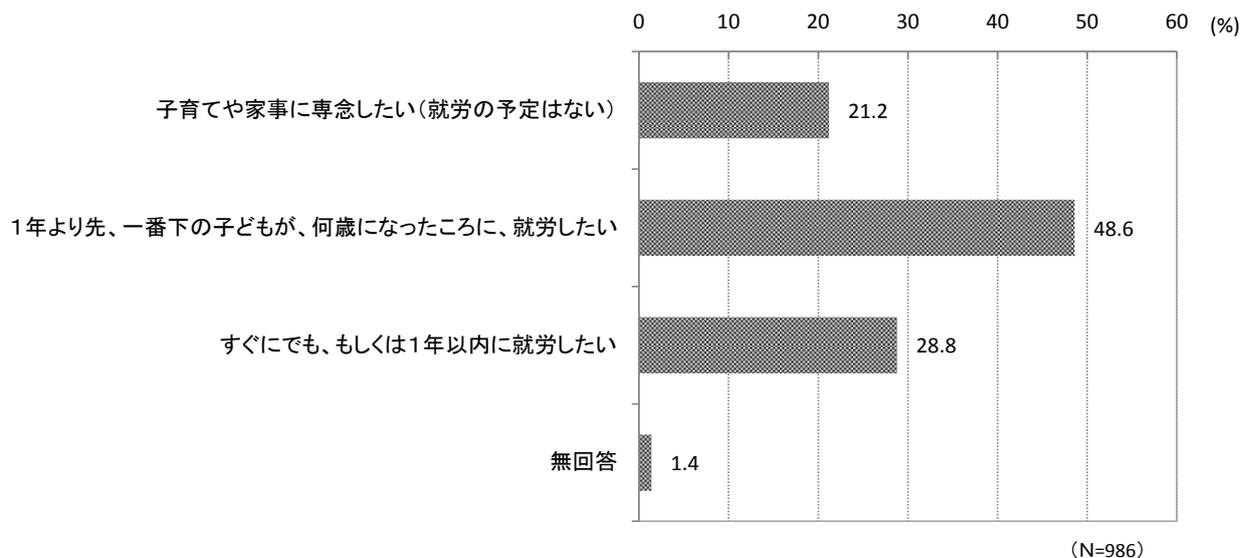
※年齢は平成 30 年 11 月 1 日現在

問 14-3 就労したいという希望はありますか。

※問 14 で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「4. これまで就労したことがない」を、選ばれた方を対象。

● 母親の就労希望について

「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに、就労したい」が 48.6%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 28.8%、「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」が 21.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)	209	21.2
2	1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに、就労したい	479	48.6
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	284	28.8
	無回答	14	1.4
	N (%ベース)	986	100

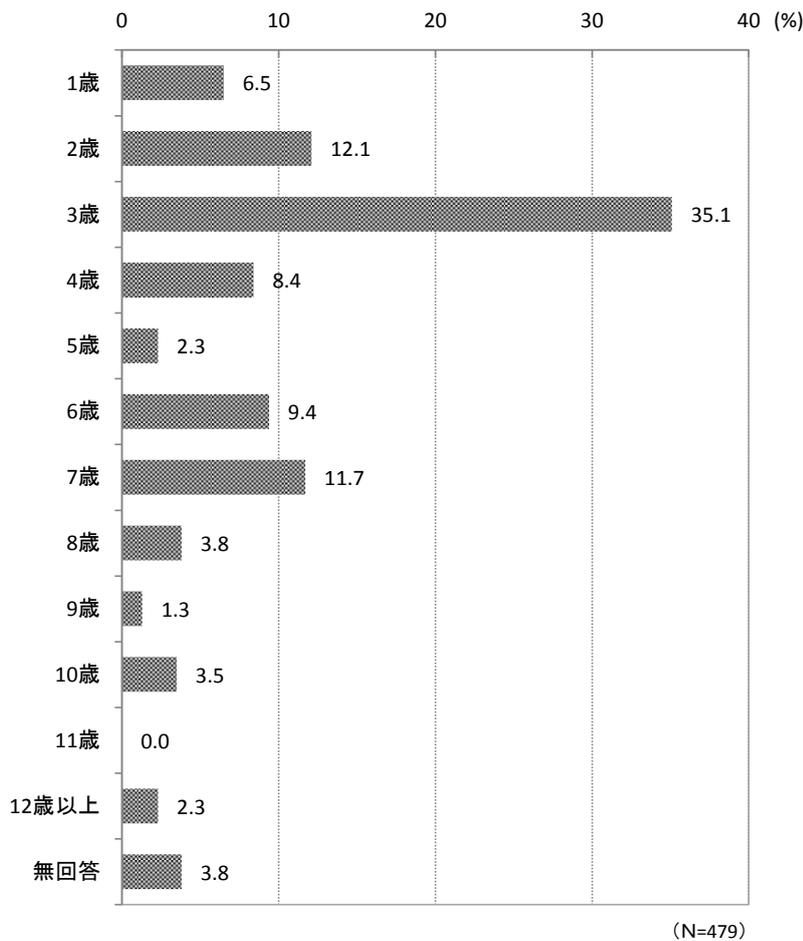
➤ 子どもの年齢×母親の就労希望

		N (合計)	就労希望			無回答
			子育てや 家事に専 念したい (就労の予 定はない)	1年より 先、一番下 の子ども が、何歳に なっころ に、就労し たい	すぐにで も、もしくは 1年以内に 就労したい	
上段:度数 下段:%						
年齢	全体	986 100.0	209 21.2	479 48.6	284 28.8	14 1.4
	0歳	170 100.0	36 21.2	94 55.3	40 23.5	- -
	1歳	139 100.0	21 15.1	79 56.8	36 25.9	3 2.2
	2歳	134 100.0	20 14.9	68 50.7	41 30.6	5 3.7
	3歳	123 100.0	26 21.1	52 42.3	42 34.1	3 2.4
	4歳	104 100.0	20 19.2	54 51.9	30 28.8	- -
	5歳	108 100.0	24 22.2	55 50.9	27 25.0	2 1.9
	6歳	53 100.0	17 32.1	17 32.1	19 35.8	- -
	7歳	44 100.0	11 25.0	20 45.5	13 29.5	- -
	8歳	28 100.0	7 25.0	13 46.4	8 28.6	- -
	9歳	17 100.0	4 23.5	3 17.6	9 52.9	1 5.9
	10歳	24 100.0	9 37.5	8 33.3	7 29.2	- -
	11歳	12 100.0	5 41.7	2 16.7	5 41.7	- -
	未出生児	24 100.0	8 33.3	11 45.8	5 20.8	- -
	無回答	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	- -

※年齢は平成 30 年 11 月 1 日現在

➤ 子どもの年齢による就労希望時期

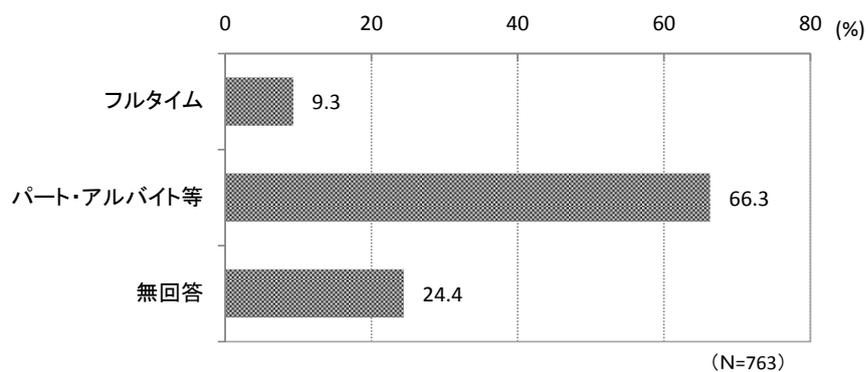
「3歳」が35.1%と最も多く、次いで「2歳」が12.1%、「7歳」が11.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1歳	31	6.5
2	2歳	58	12.1
3	3歳	168	35.1
4	4歳	40	8.4
5	5歳	11	2.3
6	6歳	45	9.4
7	7歳	56	11.7
8	8歳	18	3.8
9	9歳	6	1.3
10	10歳	17	3.5
11	11歳	0	0.0
12	12歳以上	11	2.3
	無回答	18	3.8
	N (%ベース)	479	100

➤ 希望する就労形態

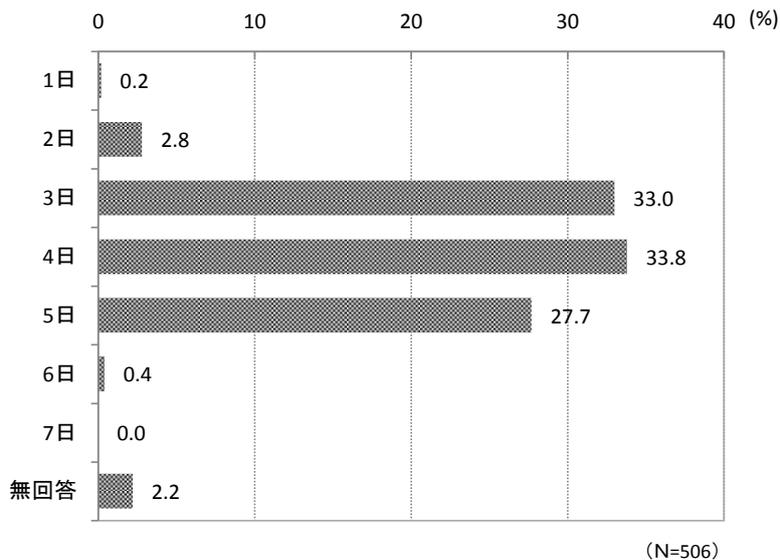
「パート・アルバイト等」が66.3%と最も多く、「フルタイム」が9.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイム	71	9.3
2	パート・アルバイト等	506	66.3
	無回答	186	24.4
	N (%ベース)	763	100

➤ 希望する1週間当たり就労日数

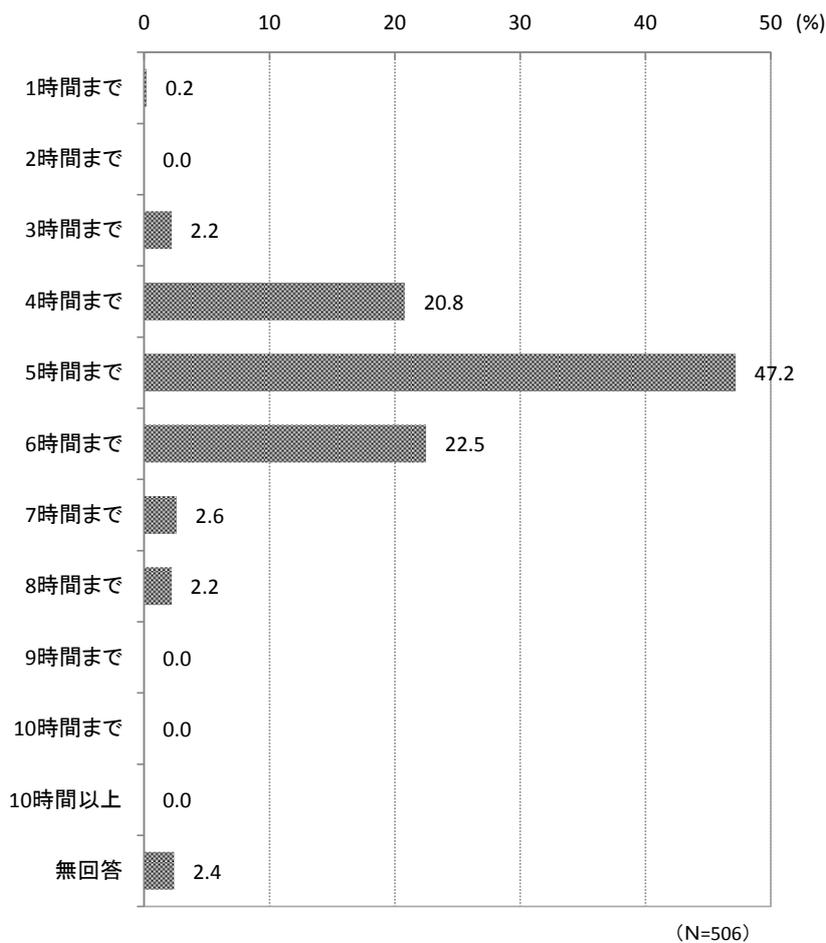
「4日」が33.8%と最も多く、次いで「3日」が33.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	1	0.2
2	2日	14	2.8
3	3日	167	33.0
4	4日	171	33.8
5	5日	140	27.7
6	6日	2	0.4
7	7日	0	0.0
	無回答	11	2.2
	N (%ベース)	506	100

➤ 希望する1日当たり就労時間

「5時間まで」が47.2%と最も多く、次いで「6時間まで」が22.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1時間まで	1	0.2
2	2時間まで	0	0.0
3	3時間まで	11	2.2
4	4時間まで	105	20.8
5	5時間まで	239	47.2
6	6時間まで	114	22.5
7	7時間まで	13	2.6
8	8時間まで	11	2.2
9	9時間まで	0	0.0
10	10時間まで	0	0.0
11	10時間以上	0	0.0
	無回答	12	2.4
	N (%ベース)	506	100

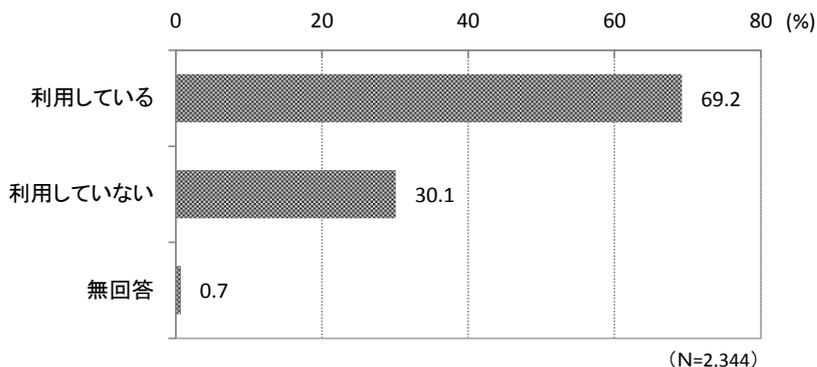
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 15 宛名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。また、利用されているを選ばれた方については、場所をお答えください。

※ 宛名のお子さんが小学校就学前の方を対象。

● 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

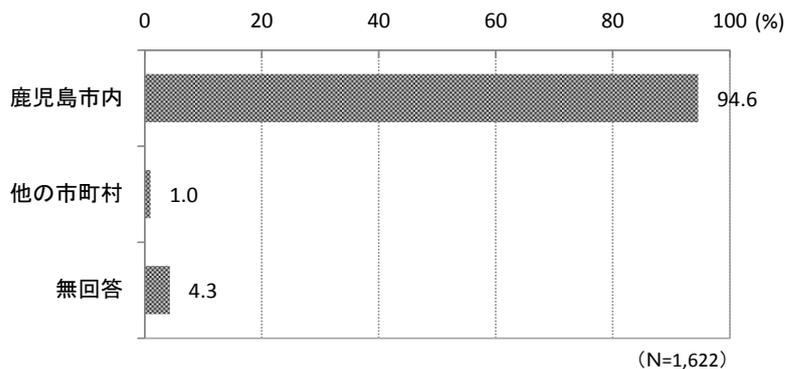
「利用している」が 69.2%で、「利用していない」は 30.1%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用している	1622	69.2
2	利用していない	705	30.1
	無回答	17	0.7
	N (%ベース)	2344	100

➤ 事業利用先の場所

「鹿児島市内」が 94.6%で、ほとんどが鹿児島市内の事業を利用している。



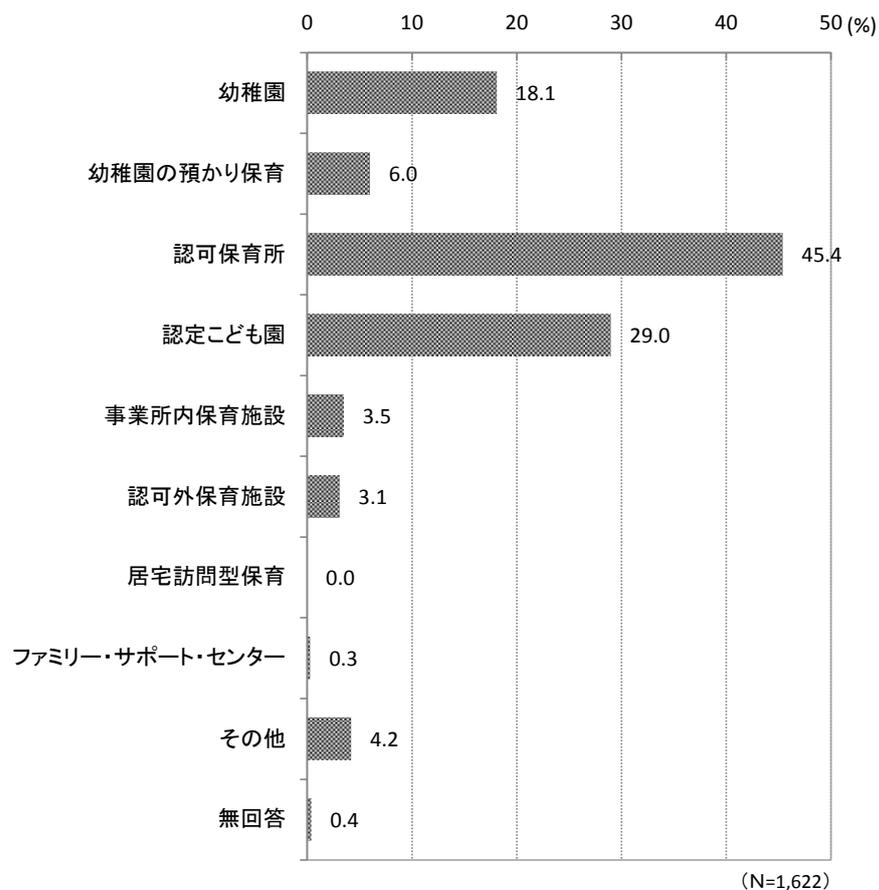
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	鹿児島市内	1535	94.6
2	他の市町村	17	1.0
	無回答	70	4.3
	N (%ベース)	1622	100

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてを選択してください。

※問 15 で「1.利用している」を、選ばれた方を対象。

➤ 平日に定期的に利用している教育・保育事業の事業（複数回答）

「認可保育所」が 45.4%と最も多く、次いで「認定こども園」が 29.0%、「幼稚園」が 18.1%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	幼稚園	293	18.1
2	幼稚園の預かり保育	98	6.0
3	認可保育所	736	45.4
4	認定こども園	470	29.0
5	事業所内保育施設	57	3.5
6	認可外保育施設	50	3.1
7	居宅訪問型保育	0	0.0
8	ファミリー・サポート・センター	5	0.3
9	その他	68	4.2
	無回答	7	0.4
	N (%ベース)	1622	100

➤ 子どもの年齢×平日に定期的にご利用している教育・保育の事業

上段:度数 下段:%	N (合計)	平日利用している教育・保育の事業									
		幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	認可保育 所	認定こども 園	事業所内 保育施設	認可外保 育施設	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター	その他	無回答
全体	1622 100.0	293 18.1	98 6.0	736 45.4	470 29.0	57 3.5	50 3.1	- -	5 0.3	68 4.2	7 0.4
0歳	31 100.0	2 6.5	- -	17 54.8	2 6.5	6 19.4	2 6.5	- -	2 6.5	1 3.2	- -
1歳	169 100.0	- -	- -	107 63.3	21 12.4	16 9.5	24 14.2	- -	- -	2 1.2	- -
2歳	238 100.0	8 3.4	1 0.4	156 65.5	46 19.3	12 5.0	7 2.9	- -	1 0.4	11 4.6	- -
3歳	341 100.0	68 19.9	20 5.9	145 42.5	102 29.9	10 2.9	7 2.1	- -	1 0.3	21 6.2	2 0.6
4歳	350 100.0	87 24.9	29 8.3	139 39.7	115 32.9	4 1.1	4 1.1	- -	- -	19 5.4	2 0.6
5歳	384 100.0	99 25.8	39 10.2	135 35.2	144 37.5	8 2.1	4 1.0	- -	1 0.3	12 3.1	2 0.5
6歳	98 100.0	24 24.5	7 7.1	34 34.7	38 38.8	- -	2 2.0	- -	- -	2 2.0	1 1.0
無回答	11 100.0	5 45.5	2 18.2	3 27.3	2 18.2	1 9.1	- -	- -	- -	- -	- -

※年齢は平成 30 年 11 月 1 日現在

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

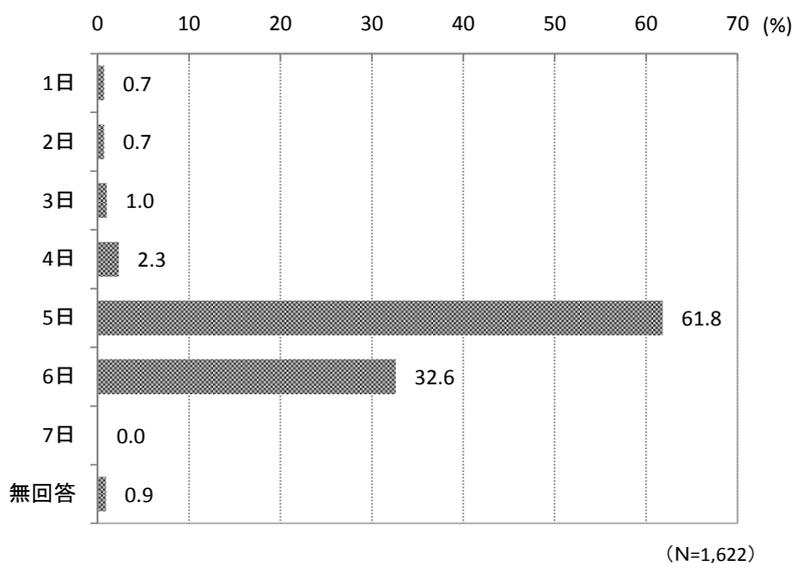
● 平日に定期的に利用している教育・保育事業の利用頻度・希望等について

(1) 現在

➤ 現在の1週間当たり利用日数

「5日」が61.8%と最も多く、次いで「6日」が32.6%である。

問 13-1、問 14-1 の1週当たりの就労日数が「5日」が最も高いことから、就労と教育・保育の事業の関連がみられる。



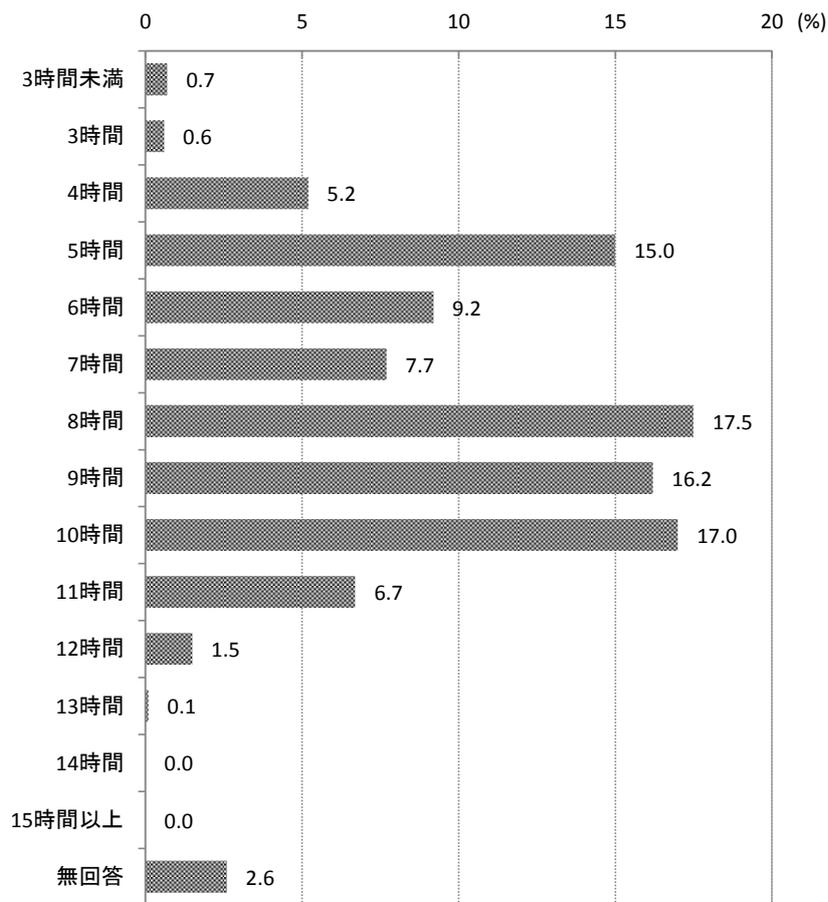
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	11	0.7
2	2日	11	0.7
3	3日	16	1.0
4	4日	38	2.3
5	5日	1002	61.8
6	6日	529	32.6
7	7日	0	0.0
	無回答	15	0.9
	N (%へ入)	1622	100

➤ 定期的に利用している教育・保育の事業×現在の1週間当たり利用日数

		上段:度数 下段:%	N (合計)	1週当たりの現在の利用日数							無回答
				1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
定期的 に 利用 して いる 教育 ・ 保育 の 事業	全体	1622 100.0	11 0.7	11 0.7	16 1.0	38 2.3	1002 61.8	529 32.6	-	-	15 0.9
	幼稚園	293 100.0	1 0.3	-	1 0.3	4 1.4	276 94.2	6 2.0	-	-	5 1.7
	幼稚園の預かり保育	98 100.0	-	-	1 1.0	4 4.1	87 88.8	6 6.1	-	-	-
	認可保育所	736 100.0	3 0.4	2 0.3	4 0.5	11 1.5	296 40.2	412 56.0	-	-	8 1.1
	認定こども園	470 100.0	2 0.4	3 0.6	3 0.6	4 0.9	371 78.9	84 17.9	-	-	3 0.6
	事業所内保育施設	57 100.0	-	-	3 5.3	5 8.8	37 64.9	12 21.1	-	-	-
	認可外保育施設	50 100.0	2 4.0	1 2.0	-	6 12.0	25 50.0	16 32.0	-	-	-
	居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ファミリー・サポート・センター	5 100.0	-	-	1 20.0	-	4 80.0	-	-	-	-
	その他	68 100.0	3 4.4	5 7.4	6 8.8	10 14.7	28 41.2	16 23.5	-	-	-
	無回答	7 100.0	-	-	-	1 14.3	5 71.4	1 14.3	-	-	-

➤ 現在の1日当たり利用時間

「8時間」が17.5%と最も多く、次いで「10時間」が17.0%である。

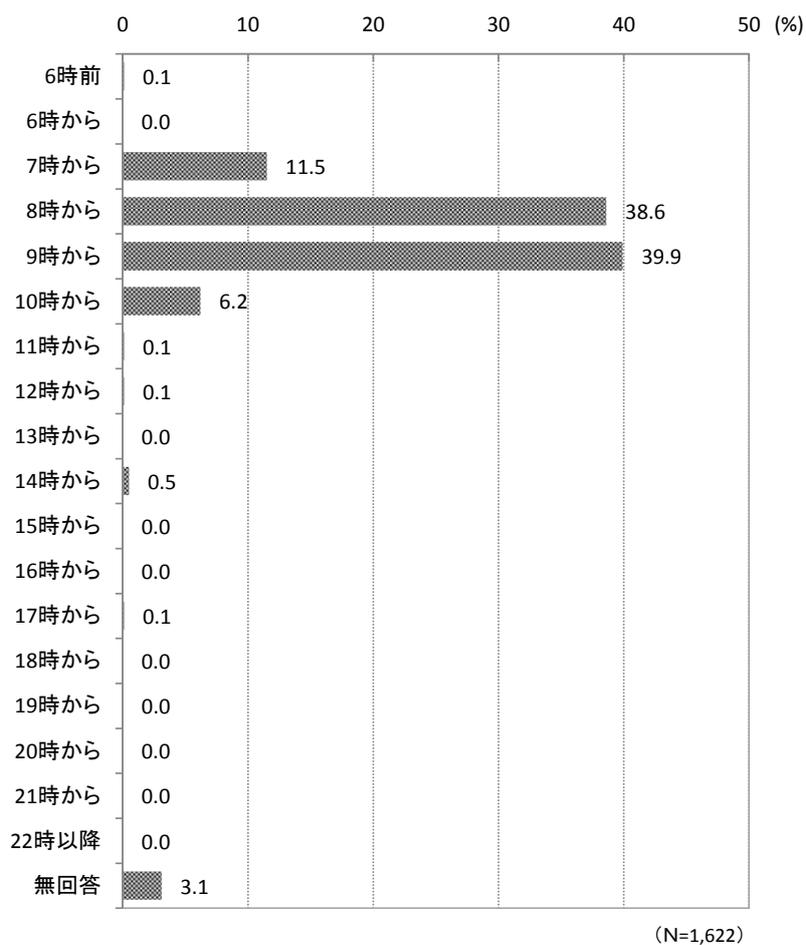


(N=1,622)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	11	0.7
2	3時間	10	0.6
3	4時間	84	5.2
4	5時間	244	15.0
5	6時間	149	9.2
6	7時間	125	7.7
7	8時間	284	17.5
8	9時間	263	16.2
9	10時間	275	17.0
10	11時間	109	6.7
11	12時間	25	1.5
12	13時間	1	0.1
13	14時間	0	0.0
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	42	2.6
	N (%ベース)	1622	100

➤ 現在の利用開始時刻

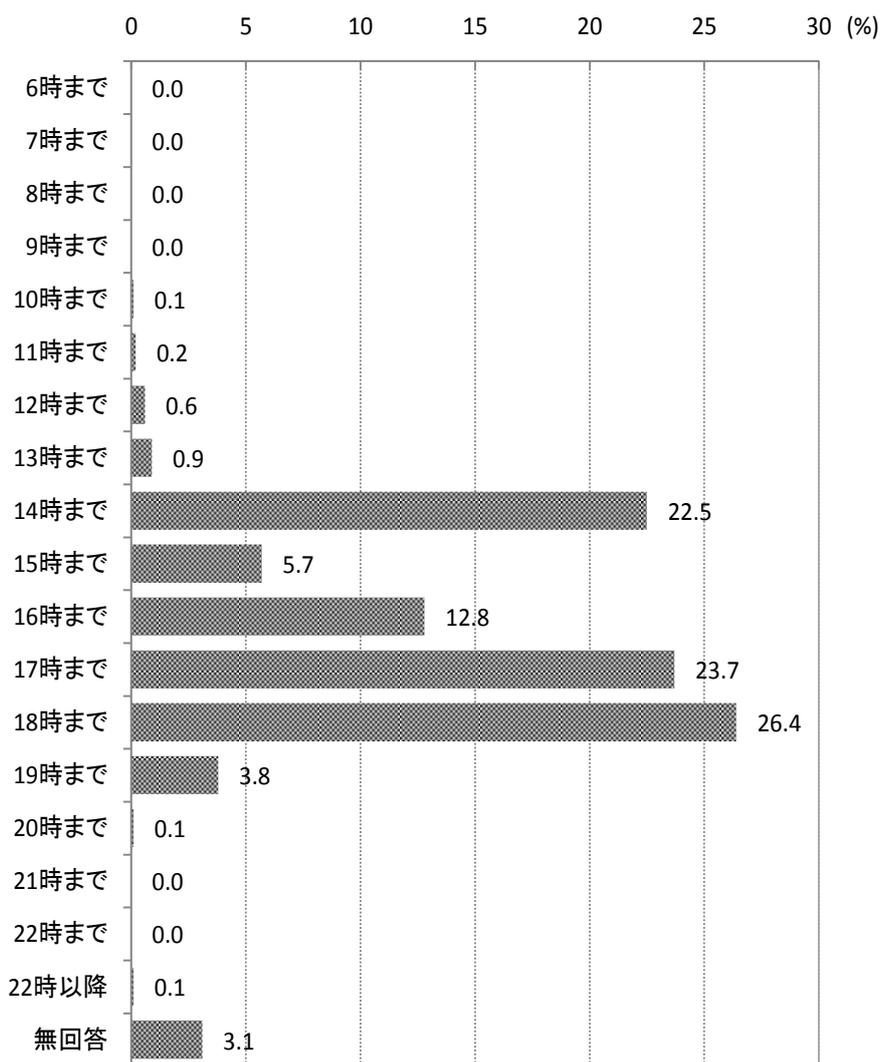
「9時から」が39.9%と最も多く、次いで「8時から」が38.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	1	0.1
2	6時から	0	0.0
3	7時から	186	11.5
4	8時から	626	38.6
5	9時から	647	39.9
6	10時から	101	6.2
7	11時から	1	0.1
8	12時から	1	0.1
9	13時から	0	0.0
10	14時から	8	0.5
11	15時から	0	0.0
12	16時から	0	0.0
13	17時から	1	0.1
14	18時から	0	0.0
15	19時から	0	0.0
16	20時から	0	0.0
17	21時から	0	0.0
18	22時以降	0	0.0
	無回答	50	3.1
	N (% [^] -ス)	1622	100

➤ 現在の利用終了時刻

「18時まで」が26.4%と最も多く、次いで「17時まで」が23.7%である。



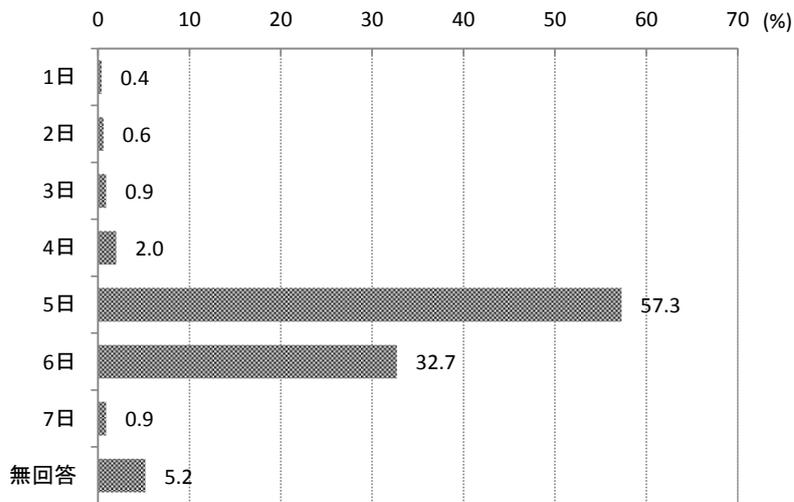
(N=1,622)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時まで	0	0.0
2	7時まで	0	0.0
3	8時まで	0	0.0
4	9時まで	0	0.0
5	10時まで	1	0.1
6	11時まで	4	0.2
7	12時まで	10	0.6
8	13時まで	15	0.9
9	14時まで	365	22.5
10	15時まで	93	5.7
11	16時まで	207	12.8
12	17時まで	384	23.7
13	18時まで	428	26.4
14	19時まで	61	3.8
15	20時まで	2	0.1
16	21時まで	0	0.0
17	22時まで	0	0.0
18	22時以降	1	0.1
	無回答	51	3.1
	N (%ベース)	1622	100

(2) 希望

➤ 希望の1週間あたり利用日数

「5日」が57.3%と最も多く、次いで「6日」が32.7%である。

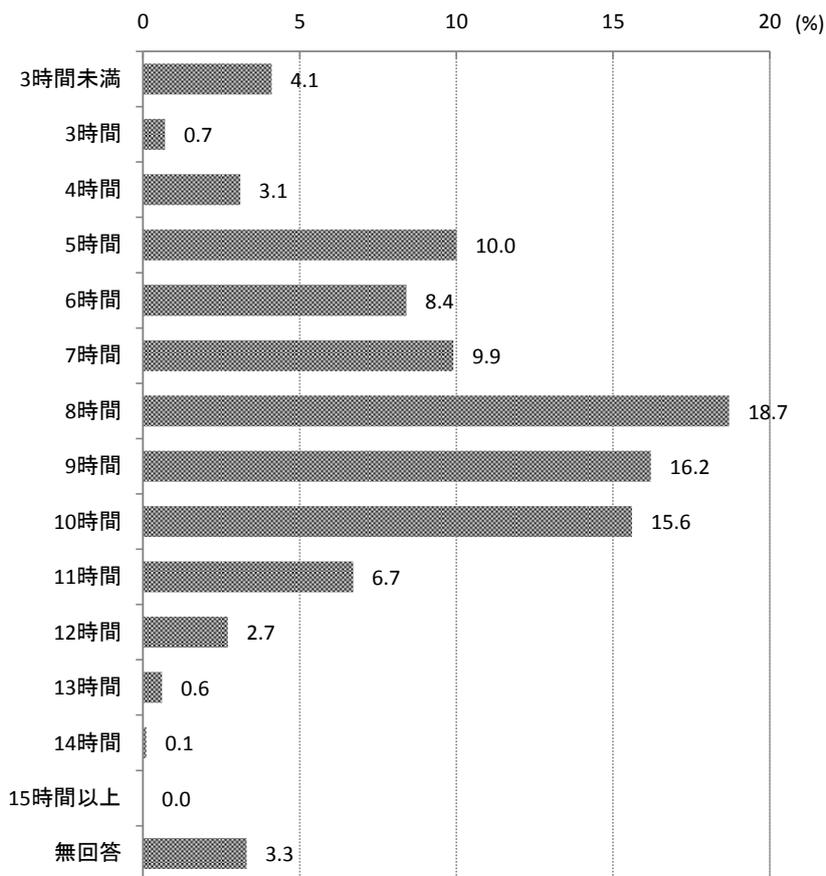


(N=1,622)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	6	0.4
2	2日	10	0.6
3	3日	15	0.9
4	4日	32	2.0
5	5日	929	57.3
6	6日	531	32.7
7	7日	15	0.9
	無回答	84	5.2
	N (%ベース)	1622	100

➤ 希望の1日あたり利用時間

「8時間」が18.7%と最も多く、次いで「9時間」が16.2%である。

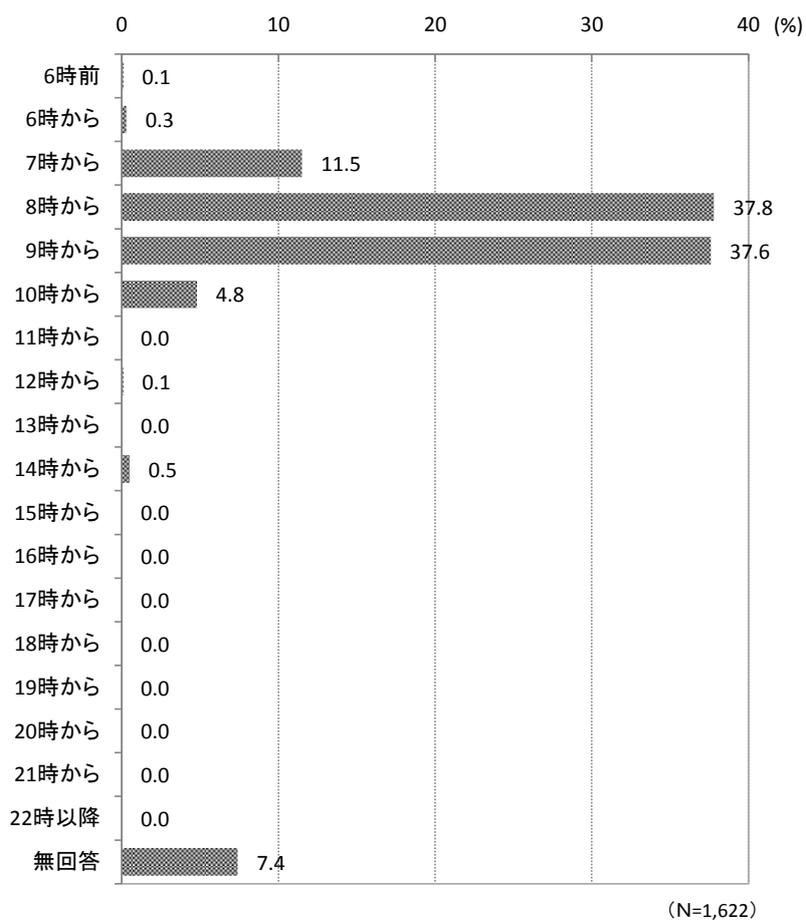


(N=1,622)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	66	4.1
2	3時間	11	0.7
3	4時間	51	3.1
4	5時間	163	10.0
5	6時間	137	8.4
6	7時間	160	9.9
7	8時間	304	18.7
8	9時間	262	16.2
9	10時間	253	15.6
10	11時間	108	6.7
11	12時間	44	2.7
12	13時間	9	0.6
13	14時間	1	0.1
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	53	3.3
	N (%ベース)	1622	100

➤ 希望の利用開始時刻

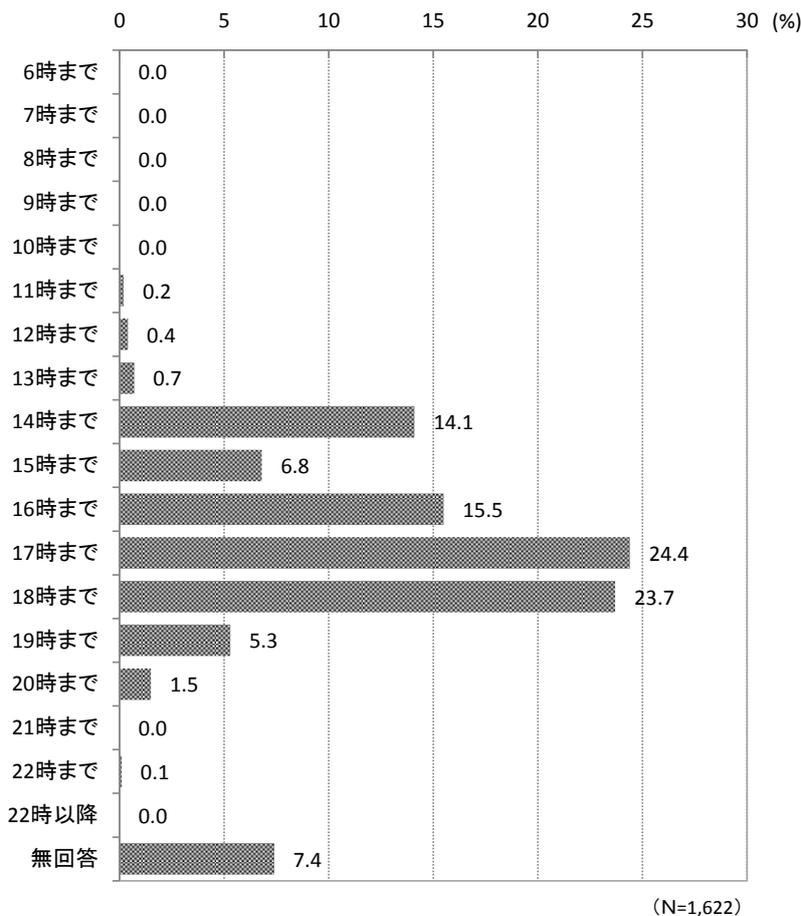
「8時から」が37.8%と最も多く、次いで「9時から」が37.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	1	0.1
2	6時から	5	0.3
3	7時から	186	11.5
4	8時から	613	37.8
5	9時から	610	37.6
6	10時から	78	4.8
7	11時から	0	0.0
8	12時から	1	0.1
9	13時から	0	0.0
10	14時から	8	0.5
11	15時から	0	0.0
12	16時から	0	0.0
13	17時から	0	0.0
14	18時から	0	0.0
15	19時から	0	0.0
16	20時から	0	0.0
17	21時から	0	0.0
18	22時以降	0	0.0
	無回答	120	7.4
	N (%ベース)	1622	100

➤ 希望の利用終了時刻

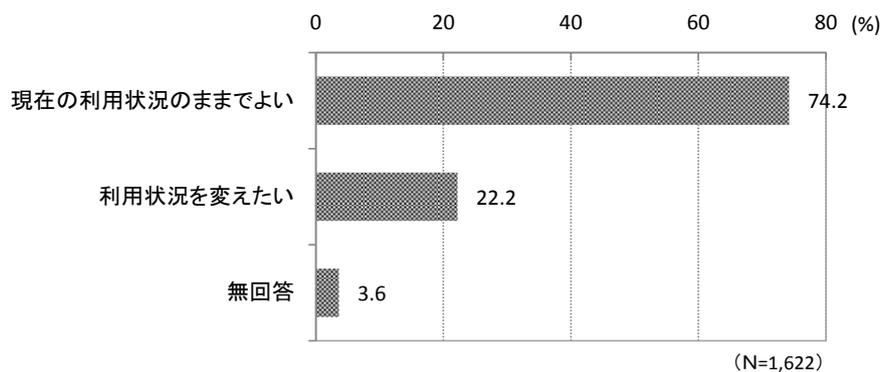
「17時まで」が24.4%と最も多く、次いで「18時まで」が23.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時まで	0	0.0
2	7時まで	0	0.0
3	8時まで	0	0.0
4	9時まで	0	0.0
5	10時まで	0	0.0
6	11時まで	3	0.2
7	12時まで	7	0.4
8	13時まで	12	0.7
9	14時まで	229	14.1
10	15時まで	110	6.8
11	16時まで	251	15.5
12	17時まで	395	24.4
13	18時まで	384	23.7
14	19時まで	86	5.3
15	20時まで	24	1.5
16	21時まで	0	0.0
17	22時まで	1	0.1
18	22時以降	0	0.0
	無回答	120	7.4
	N (%ベース)	1622	100

➤ 希望の利用状況

今後の希望としては、「現在の利用状況のままでよい」が74.2%であることから、現在の利用状況と希望する利用状況はほぼ一致している。



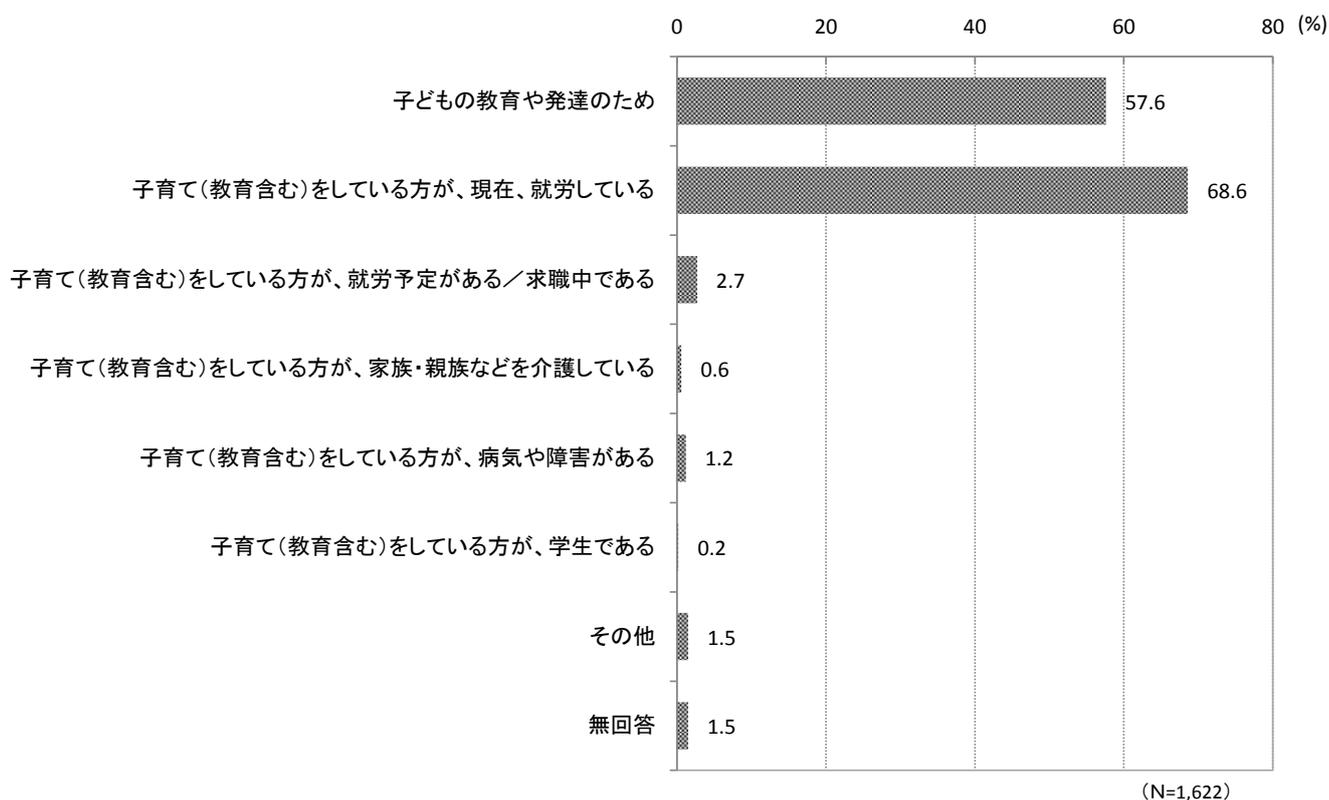
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現在の利用状況のままでよい	1204	74.2
2	利用状況を変えたい	360	22.2
	無回答	58	3.6
	N (%ベース)	1622	100

問 15-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由をお答えください。

当てはまる番号すべてを選択してください。

➤ 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由（複数回答）

「子育て（教育含む）をしている方が、現在、就労している」が 68.6%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 57.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子どもの教育や発達のため	935	57.6
2	子育て(教育含む)をしている方が、現在、就労している	1113	68.6
3	子育て(教育含む)をしている方が、就労予定がある／求職中である	44	2.7
4	子育て(教育含む)をしている方が、家族・親族などを介護している	10	0.6
5	子育て(教育含む)をしている方が、病気や障害がある	20	1.2
6	子育て(教育含む)をしている方が、学生である	3	0.2
7	その他	25	1.5
	無回答	25	1.5
	N (%ベース)	1622	100

➤ 定期的に利用している教育・保育の事業×理由

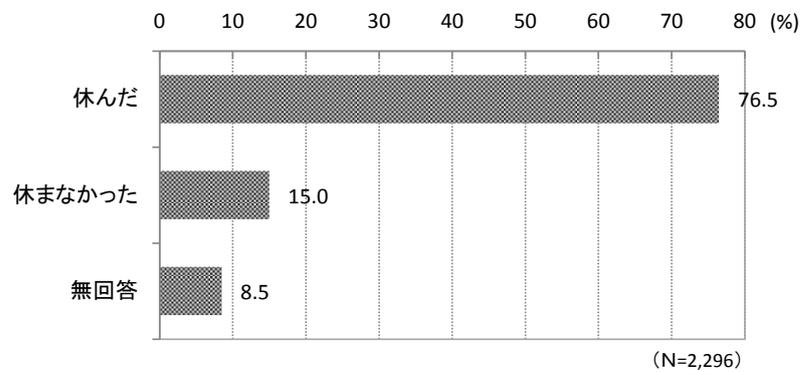
		N (合計)	定期的に利用している理由							無回答
			子どもの教育や発達のため	子育て(教育含む)をしている方が、現在、就労している	子育て(教育含む)をしている方が、就労予定がある／求職中である	子育て(教育含む)をしている方が、家族・親族などを介護している	子育て(教育含む)をしている方が、病気や障害がある	子育て(教育含む)をしている方が、学生である	その他	
定期的に利用している教育・保育の事業	全体	1622 100.0	935 57.6	1113 68.6	44 2.7	10 0.6	20 1.2	3 0.2	25 1.5	25 1.5
	幼稚園	293 100.0	263 89.8	94 32.1	8 2.7	3 1.0	5 1.7	-	7 2.4	6 2.0
	幼稚園の預かり保育	98 100.0	76 77.6	70 71.4	2 2.0	2 2.0	2 2.0	-	-	1 1.0
	認可保育所	736 100.0	261 35.5	682 92.7	20 2.7	4 0.5	9 1.2	3 0.4	8 1.1	9 1.2
	認定こども園	470 100.0	355 75.5	254 54.0	12 2.6	3 0.6	2 0.4	-	6 1.3	9 1.9
	事業所内保育施設	57 100.0	21 36.8	56 98.2	1 1.8	-	1 1.8	-	1 1.8	-
	認可外保育施設	50 100.0	21 42.0	41 82.0	3 6.0	-	1 2.0	-	3 6.0	1 2.0
	居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ファミリー・サポート・センター	5 100.0	1 20.0	4 80.0	-	-	-	-	1 20.0	-
	その他	68 100.0	54 79.4	26 38.2	1 1.5	-	3 4.4	-	-	-
	無回答	7 100.0	6 85.7	2 28.6	-	-	-	-	-	-

5 子どもの病気の際の対応

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園、保育園、小学校などを休みましたか。

- 病気やケガの際の休暇について

「休んだ」が76.5%で、「休まなかった」は15.0%である。



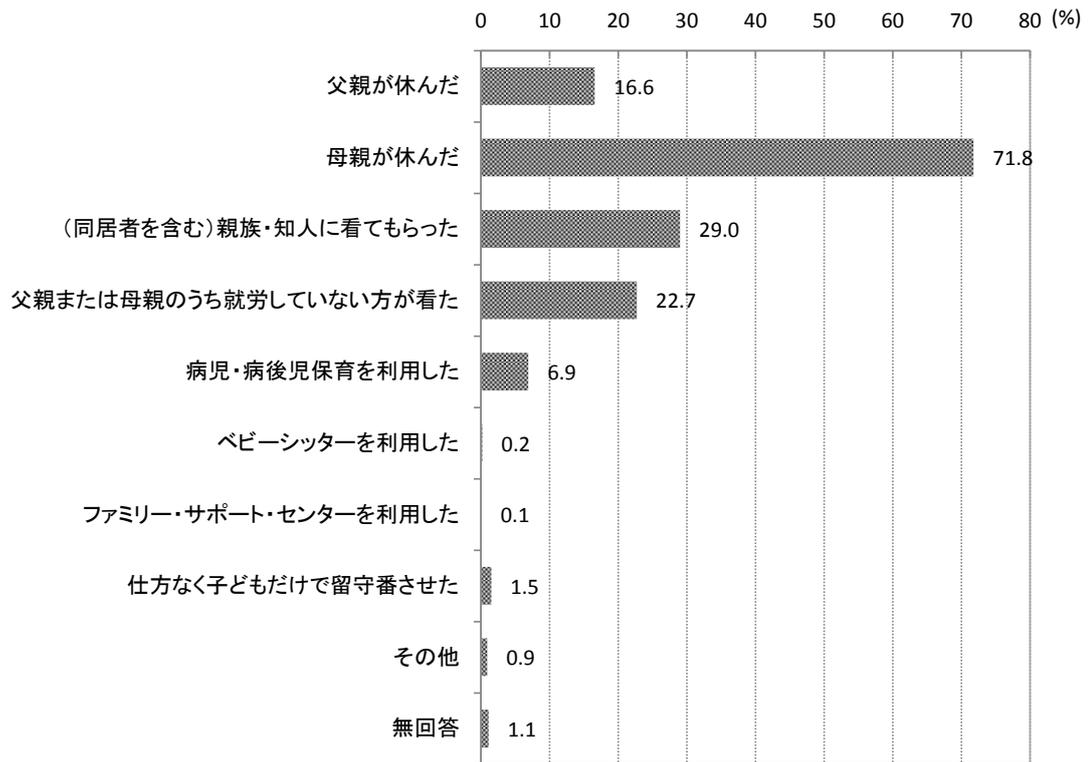
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	休んだ	1757	76.5
2	休まなかった	344	15.0
	無回答	195	8.5
	N (%ベース)	2296	100

問 16-1 幼稚園、保育園、小学校等を休んだ際の、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてを選択し、それぞれの日数も数字でお答えください。(半日程度の対応の場合も、1日とカウントしてください)

※問 16 で、「1. 休んだ」を、選ばれた方を対象。

● 休んだ際の対処方法（複数回答）

「母親が休んだ」が71.8%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に看てもらった」が29.0%、「父親または母親のうち就労していない方が見た」が22.7%である。



(N=1,757)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	父親が休んだ	292	16.6
2	母親が休んだ	1261	71.8
3	(同居者を含む)親族・知人に看てもらった	510	29.0
4	父親または母親のうち就労していない方が見た	398	22.7
5	病児・病後児保育を利用した	122	6.9
6	ベビーシッターを利用した	3	0.2
7	ファミリー・サポート・センターを利用した	2	0.1
8	仕方なく子どもだけで留守番させた	27	1.5
9	その他	15	0.9
	無回答	20	1.1
	N (%ベース)	1757	100

➤ 休んだ日数×対処法

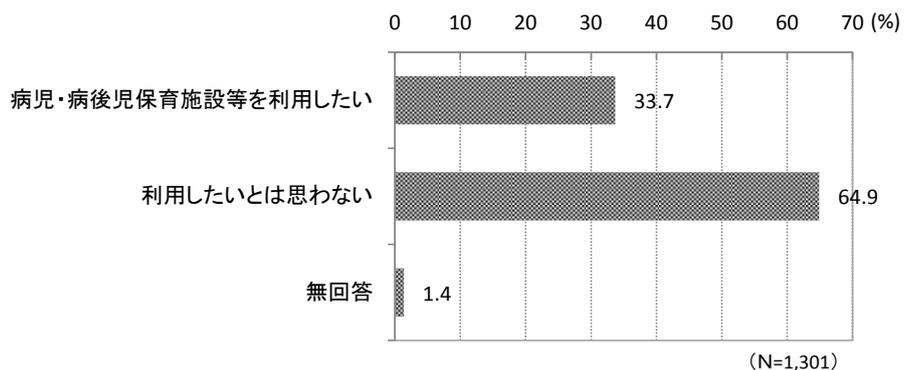
上段:度数 下段:%	N (合計)	子どもが休んだ日の対処法									
		父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に看てもらった	父親または母親のうち就労していない方が見た	病児・病後児保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番させた	その他	無回答
全体	1757 100.0	292 16.6	1261 71.8	510 29.0	398 22.7	122 6.9	3 0.2	2 0.1	27 1.5	15 0.9	-
1日	387 22.0	61 15.8	163 42.1	78 20.2	42 10.9	30 7.8	-	-	13 3.4	-	-
2日	432 24.6	76 17.6	166 38.4	100 23.1	56 13.0	27 6.3	-	-	5 1.2	2 0.5	-
3日	355 20.2	47 13.2	160 45.1	67 18.9	56 15.8	20 5.6	-	-	3 0.8	2 0.6	-
4日	121 6.9	8 6.6	56 46.3	22 18.2	24 19.8	10 8.3	-	-	1 0.8	-	-
5日	315 17.9	45 14.3	150 47.6	71 22.5	36 11.4	12 3.8	-	-	1 0.3	-	-
6日	53 3.0	3 5.7	26 49.1	9 17.0	12 22.6	3 5.7	-	-	-	-	-
7日	114 6.5	10 8.8	68 59.6	12 10.5	16 14.0	5 4.4	1 0.9	-	-	2 1.8	-
8日	25 1.4	-	17 68.0	3 12.0	4 16.0	1 4.0	-	-	-	-	-
9日	13 0.7	2 15.4	6 46.2	4 30.8	1 7.7	-	-	-	-	-	-
10日	274 15.6	8 2.9	157 57.3	59 21.5	47 17.2	1 0.4	1 0.4	-	1 0.4	-	-
15日まで	108 6.1	3 2.8	64 59.3	17 15.7	19 17.6	5 4.6	-	-	-	-	-
30日まで	144 8.2	6 4.2	90 62.5	18 12.5	24 16.7	3 2.1	-	1 0.7	-	2 1.4	-
60日まで	24 1.4	-	17 70.8	4 16.7	2 8.3	1 4.2	-	-	-	-	-
90日まで	5 0.3	-	3 60.0	-	2 40.0	-	-	-	-	-	-
120日まで	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
120日以上	3 0.2	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-
無回答	257 14.6	22 8.6	117 45.5	45 17.5	57 22.2	4 1.6	1 0.4	1 0.4	3 1.2	7 2.7	-

問 16-2 仕事を休まれた際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号ひとつを選択し、日数についても数字でお書きください。
病児・病後児保育の利用には、一定の利用料がかかります。

※問 16 で、「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」を、選ばれた方を対象。

● 病児・病後児保育施設等の利用希望

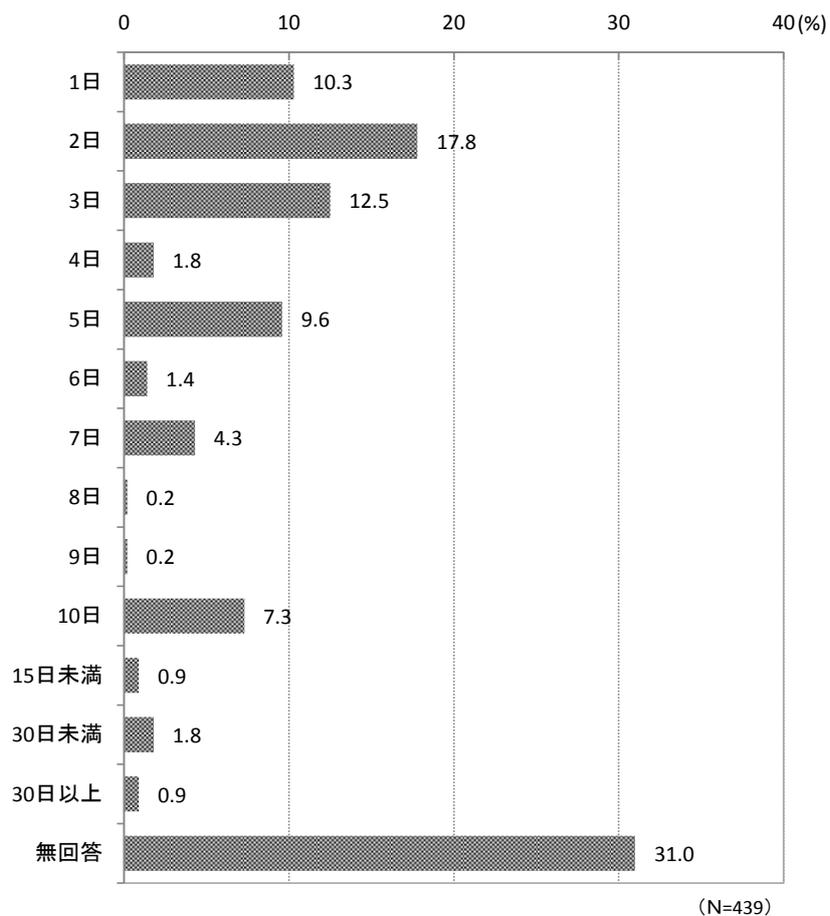
「利用したいとは思わない」が 64.9%で、「病児・病後児保育施設等を利用したい」は 33.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病児・病後児保育施設等を利用したい	439	33.7
2	利用したいとは思わない	844	64.9
	無回答	18	1.4
	N (%ベース)	1301	100

➤ 病児・病後児保育施設等の利用希望日数

「2日」が17.8%と最も多く、次いで「3日」が12.5%である。



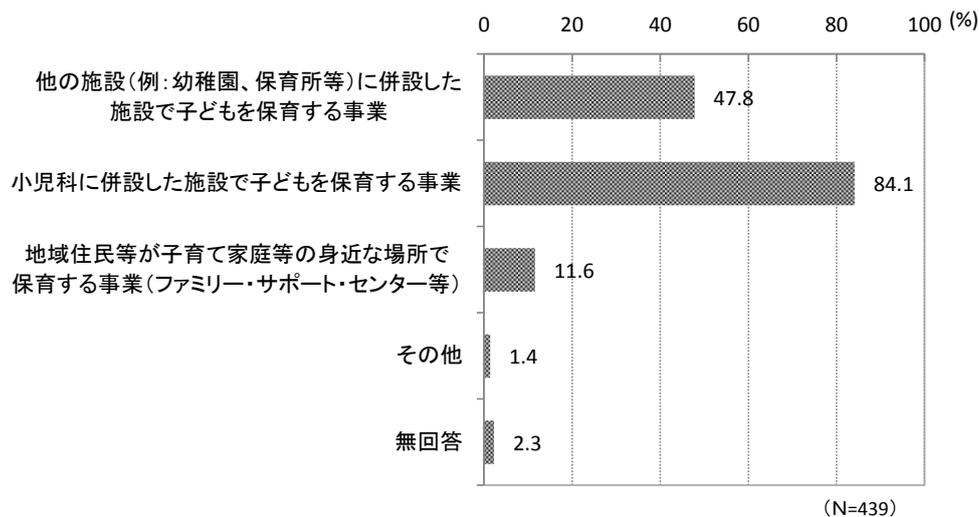
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	45	10.3
2	2日	78	17.8
3	3日	55	12.5
4	4日	8	1.8
5	5日	42	9.6
6	6日	6	1.4
7	7日	19	4.3
8	8日	1	0.2
9	9日	1	0.2
10	10日	32	7.3
11	15日未満	4	0.9
12	30日未満	8	1.8
13	30日以上	4	0.9
	無回答	136	31.0
	N (%への入)	439	100

問 16-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 当てはまる番号すべてを選択してください。

※問 16-2 で、「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」を、選ばれた方を対象。

● 望ましい事業形態（複数回答）

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 84.1%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園、保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 47.8%である。



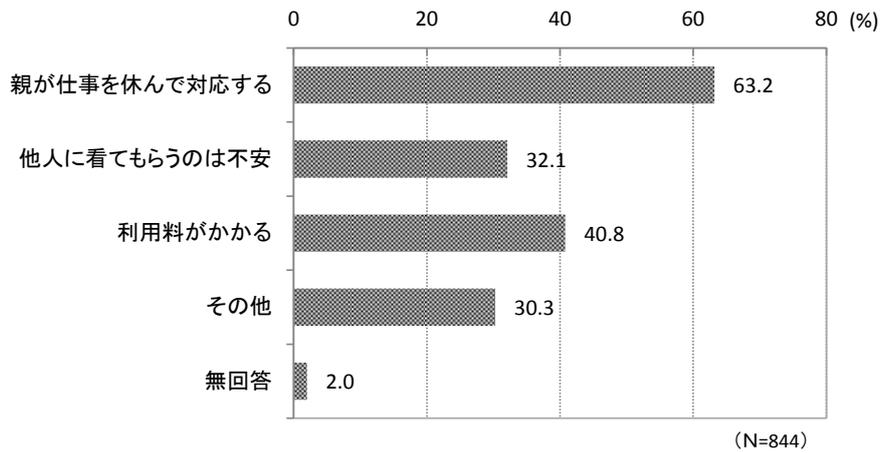
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他の施設(例:幼稚園、保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	210	47.8
2	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	369	84.1
3	地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)	51	11.6
4	その他	6	1.4
	無回答	10	2.3
	N (%ベース)	439	100

問 16-4 そう思われる理由について、当てはまる番号すべてを選択してください。

※問 16-2 で「2. 利用したいと思わない」を、選ばれた方を対象。

➤ 利用したいと思わない理由（複数回答）

「親が仕事を休んで対応する」が 63.2%と最も多く、次いで「利用料がかかる」が 40.8%、「他人に看てもらうのは不安」が 32.1%である。



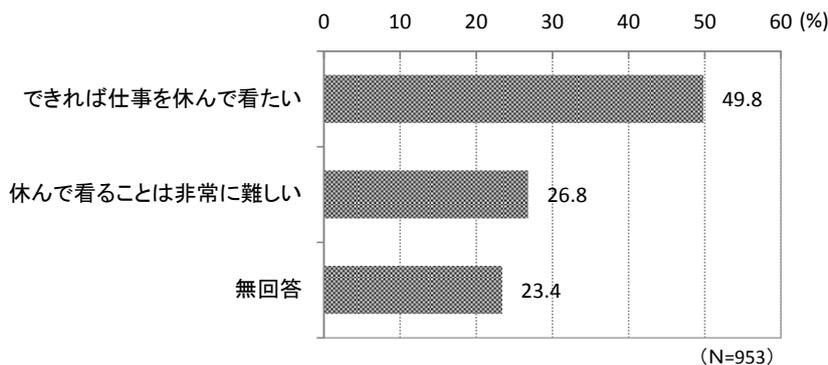
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	親が仕事を休んで対応する	533	63.2
2	他人に看てもらうのは不安	271	32.1
3	利用料がかかる	344	40.8
4	その他	256	30.3
	無回答	17	2.0
	N (%ベース)	844	100

問 16-5 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

※問 16-1 で、「3. (同居者を含む) 親族・知人に看もらった」～「9. その他」のいずれかを選ばれた方を対象。

● 仕事を休んで看かどうかについて

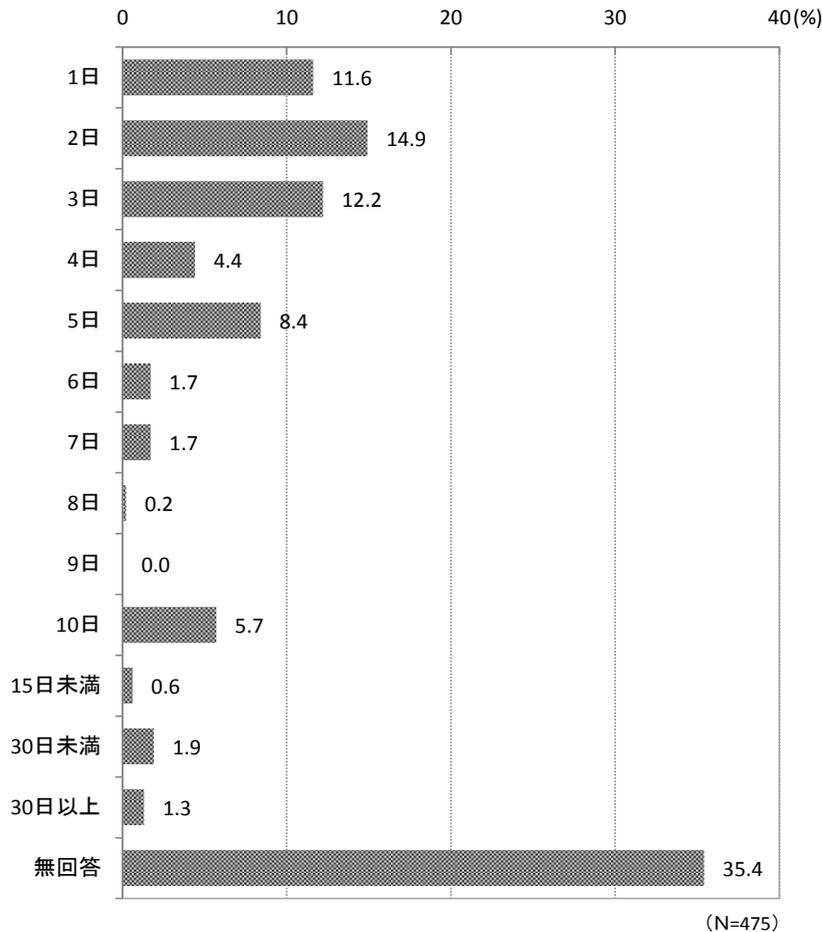
「できれば仕事を休んで看たい」が 49.8%で、「休んで看ることは非常に難しい」は 26.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	できれば仕事を休んで看たい	475	49.8
2	休んで看ることは非常に難しい	255	26.8
	無回答	223	23.4
	N (%ベース)	953	100

➤ 仕事を休んで看たい日数

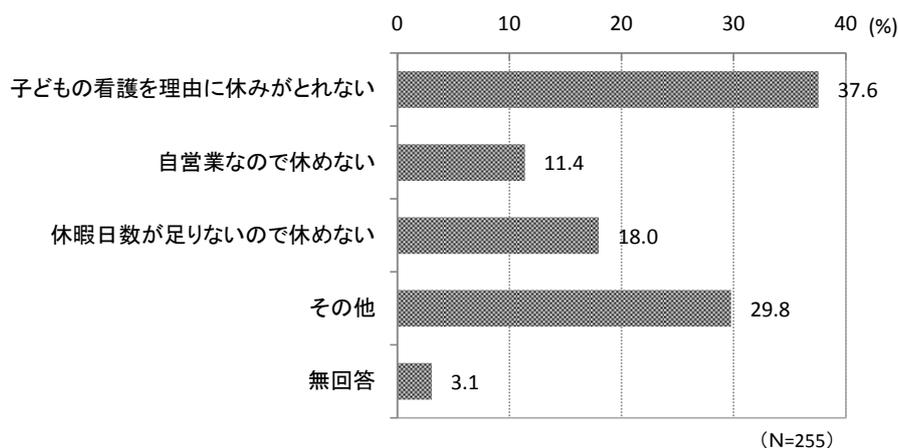
「2日」が14.9%と最も多く、次いで「3日」が12.2%、「1日」が11.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	55	11.6
2	2日	71	14.9
3	3日	58	12.2
4	4日	21	4.4
5	5日	40	8.4
6	6日	8	1.7
7	7日	8	1.7
8	8日	1	0.2
9	9日	0	0.0
10	10日	27	5.7
11	15日未満	3	0.6
12	30日未満	9	1.9
13	30日以上	6	1.3
	無回答	168	35.4
	N (%ベース)	475	100

➤ 休んで看ることが難しい理由

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が37.6%と最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が18.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子どもの看護を理由に休みがとれない	96	37.6
2	自営業なので休めない	29	11.4
3	休暇日数が足りないので休めない	46	18.0
4	その他	76	29.8
	無回答	8	3.1
	N (%ベース)	255	100

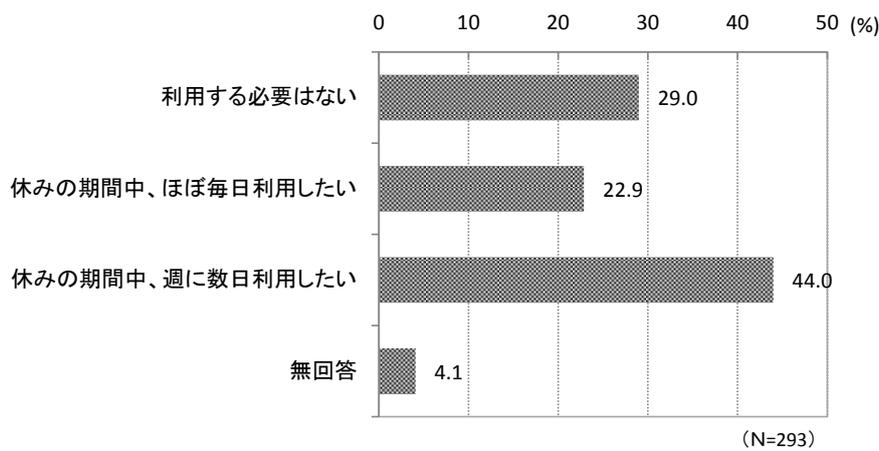
6 未就学児の保育

問 17 宛名のお子さんは、幼稚園の長期休業期間中（夏休み等）の教育・保育の事業の利用希望はありますか。

※「幼稚園」を利用されている方を対象。

- 幼稚園の長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望

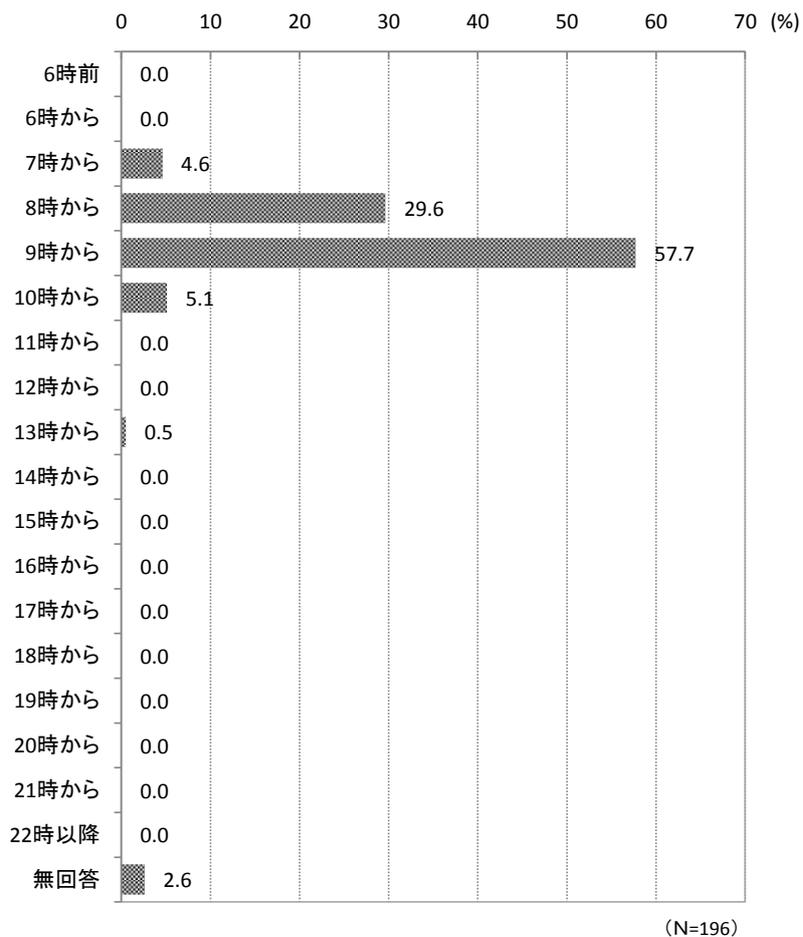
「休みの期間中、週に数日利用したい」が 44.0%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 29.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 22.9%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用する必要はない	85	29.0
2	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	67	22.9
3	休みの期間中、週に数日利用したい	129	44.0
	無回答	12	4.1
	N (%ベース)	293	100

➤ 幼稚園の長期休業期間中の教育・保育事業の利用したい時間帯（開始時刻）

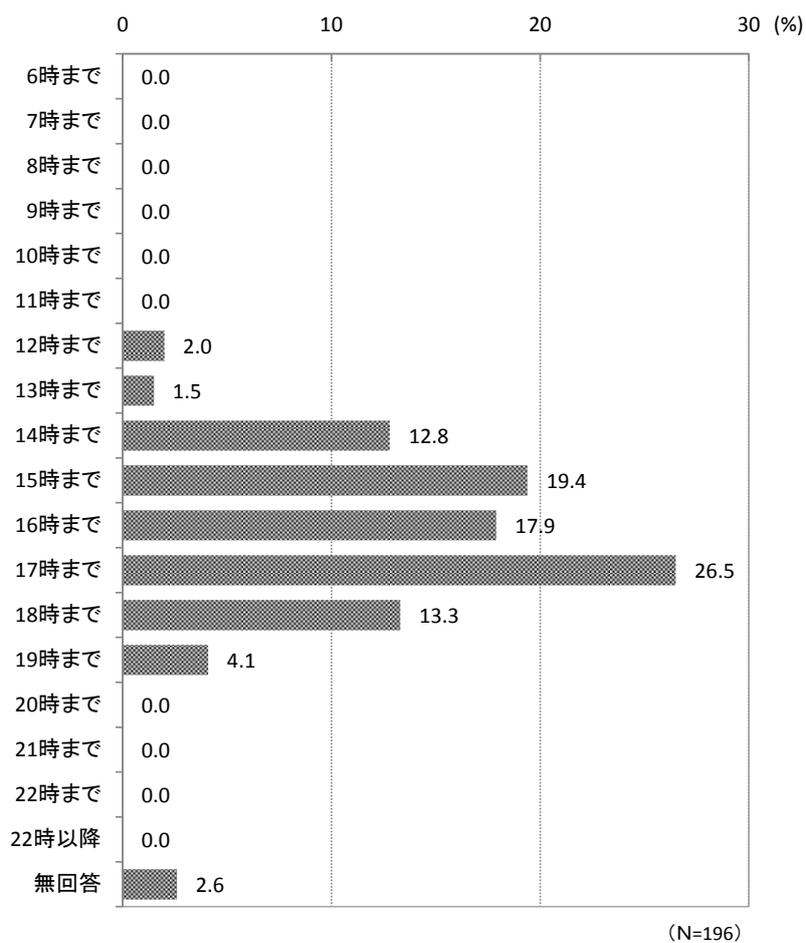
「9時から」が57.7%と最も多く、次いで「8時から」が29.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	0	0.0
2	6時から	0	0.0
3	7時から	9	4.6
4	8時から	58	29.6
5	9時から	113	57.7
6	10時から	10	5.1
7	11時から	0	0.0
8	12時から	0	0.0
9	13時から	1	0.5
10	14時から	0	0.0
11	15時から	0	0.0
12	16時から	0	0.0
13	17時から	0	0.0
14	18時から	0	0.0
15	19時から	0	0.0
16	20時から	0	0.0
17	21時から	0	0.0
18	22時以降	0	0.0
	無回答	5	2.6
	N (%ベース)	196	100

➤ 幼稚園の長期休業期間中の教育・保育事業の利用したい時間帯（終了時刻）

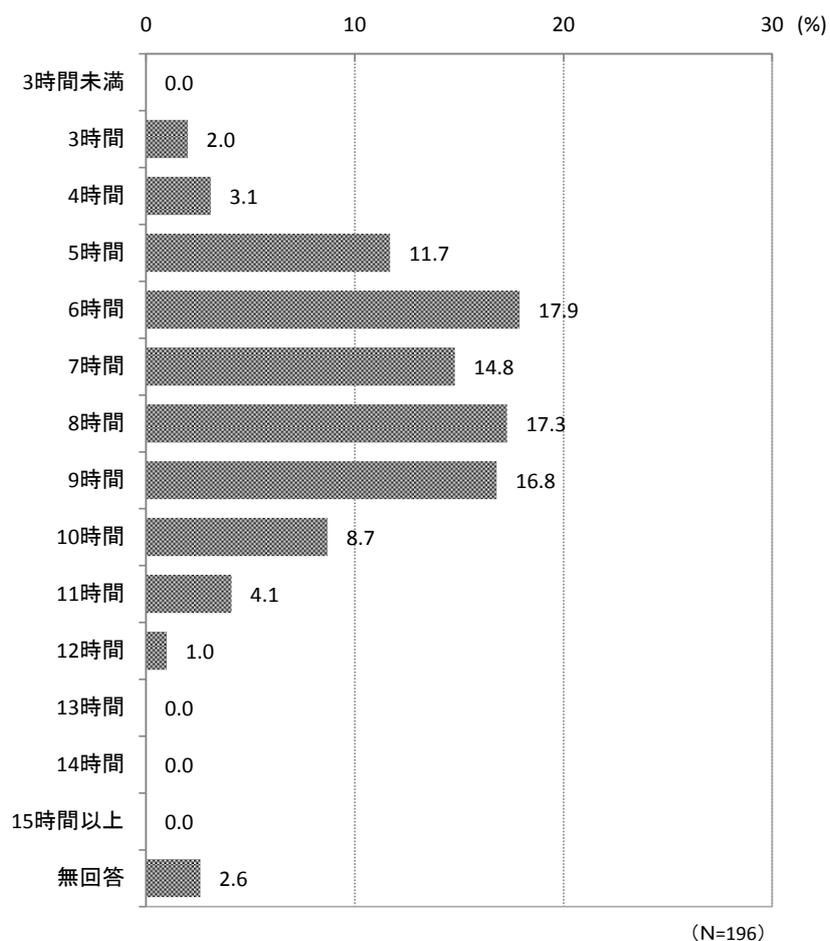
「17時まで」が26.5%と最も多く、次いで「15時まで」が19.4%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時まで	0	0.0
2	7時まで	0	0.0
3	8時まで	0	0.0
4	9時まで	0	0.0
5	10時まで	0	0.0
6	11時まで	0	0.0
7	12時まで	4	2.0
8	13時まで	3	1.5
9	14時まで	25	12.8
10	15時まで	38	19.4
11	16時まで	35	17.9
12	17時まで	52	26.5
13	18時まで	26	13.3
14	19時まで	8	4.1
15	20時まで	0	0.0
16	21時まで	0	0.0
17	22時まで	0	0.0
18	22時以降	0	0.0
	無回答	5	2.6
	N (%へ入)	196	100

➤ 幼稚園の長期休業期間中の教育・保育事業の利用したい時間

「6時間」が17.9%と最も多く、次いで「8時間」が17.3%、「9時間」が16.8%である。



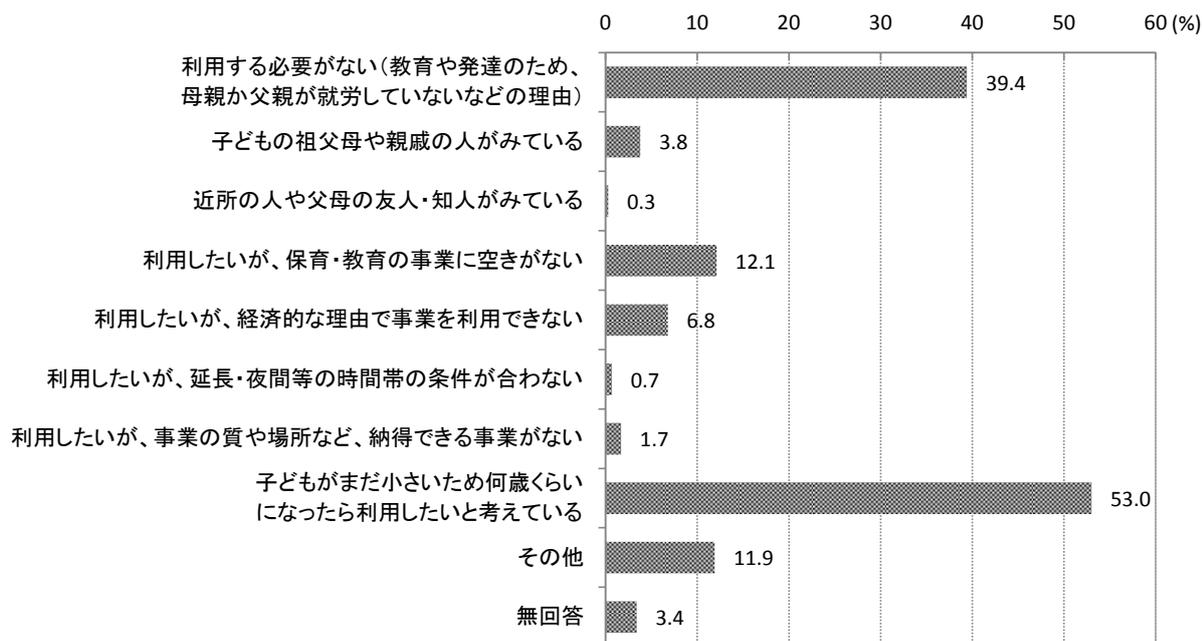
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	0	0.0
2	3時間	4	2.0
3	4時間	6	3.1
4	5時間	23	11.7
5	6時間	35	17.9
6	7時間	29	14.8
7	8時間	34	17.3
8	9時間	33	16.8
9	10時間	17	8.7
10	11時間	8	4.1
11	12時間	2	1.0
12	13時間	0	0.0
13	14時間	0	0.0
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	5	2.6
	N (%への入)	196	100

問 18 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は何ですか。

※問 15 で「2. 利用していない」を選択した方を対象。

➤ 利用していない理由（複数回答）

「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用したいと考えている」が 53.0%と最も多く、次いで「利用する必要がない（教育や発達のため、母親か父親が就労していないなどの理由）」が 39.4%である。

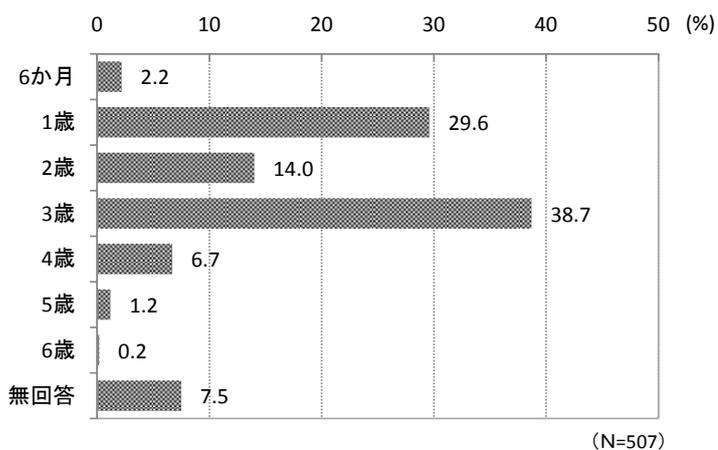


(N=705)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用する必要がない(教育や発達のため、母親か父親が就労していないなどの理由)	278	39.4
2	子どもの祖父母や親戚の人がみている	27	3.8
3	近所の人や父母の友人・知人がみている	2	0.3
4	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	85	12.1
5	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	48	6.8
6	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	5	0.7
7	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	12	1.7
8	子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用したいと考えている	374	53.0
9	その他	84	11.9
	無回答	24	3.4
	N (%ベース)	705	100

➤ 「定期的な教育・保育の事業」の利用を希望する子どもの年齢

「3歳」が38.7%と最も多く、次いで「1歳」が29.6%、「2歳」が14.0%である。



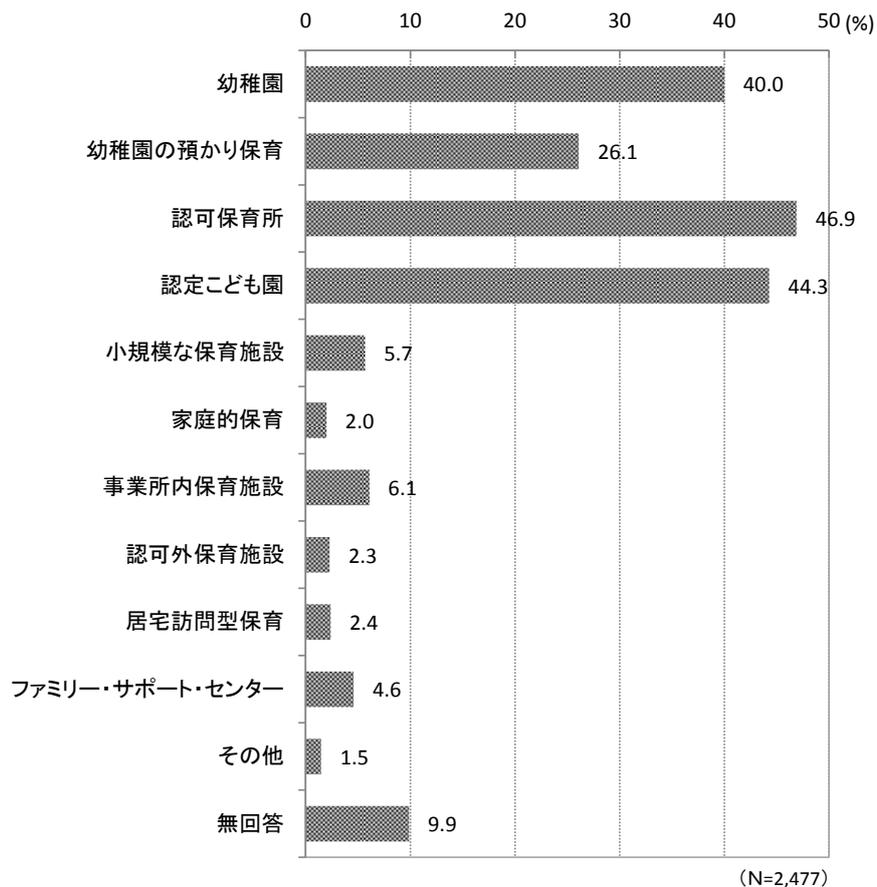
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6か月	11	2.2
2	1歳	150	29.6
3	2歳	71	14.0
4	3歳	196	38.7
5	4歳	34	6.7
6	5歳	6	1.2
7	6歳	1	0.2
	無回答	38	7.5
	N (%へ入)	507	100

問 19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 宛名のお子さんが小学校就学前の方を対象。

● 「定期的に」利用したいと考える事業（複数回答）

「認可保育所」が 46.9%と最も多く、次いで「認定こども園」が 44.3%、「幼稚園」が 40.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	幼稚園	991	40.0
2	幼稚園の預かり保育	646	26.1
3	認可保育所	1161	46.9
4	認定こども園	1098	44.3
5	小規模な保育施設	141	5.7
6	家庭的保育	50	2.0
7	事業所内保育施設	150	6.1
8	認可外保育施設	57	2.3
9	居宅訪問型保育	59	2.4
10	ファミリー・サポート・センター	114	4.6
11	その他	36	1.5
	無回答	245	9.9
	N (%ベース)	2477	100

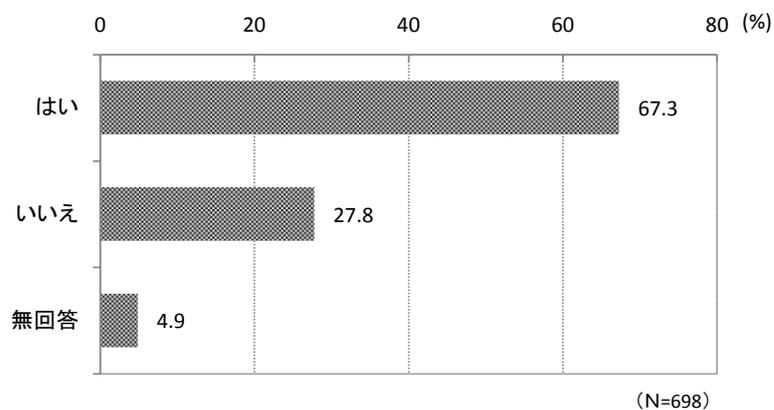
問 19-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号を選択してください。

※問 19 で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」、かつ以下の項目を、選ばれた方を対象。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 3. 認可保育所 | 4. 認定こども園 |
| 5. 小規模な保育施設 | 6. 家庭的保育 |
| 7. 事業所内保育施設 | 8. 認可外保育施設 |
| 9. 居宅訪問型保育 | 10. ファミリー・サポート・センター |
| 11. その他 | |

➤ 幼稚園利用の希望の有無

「はい」が67.3%で、「いいえ」は27.8%である。



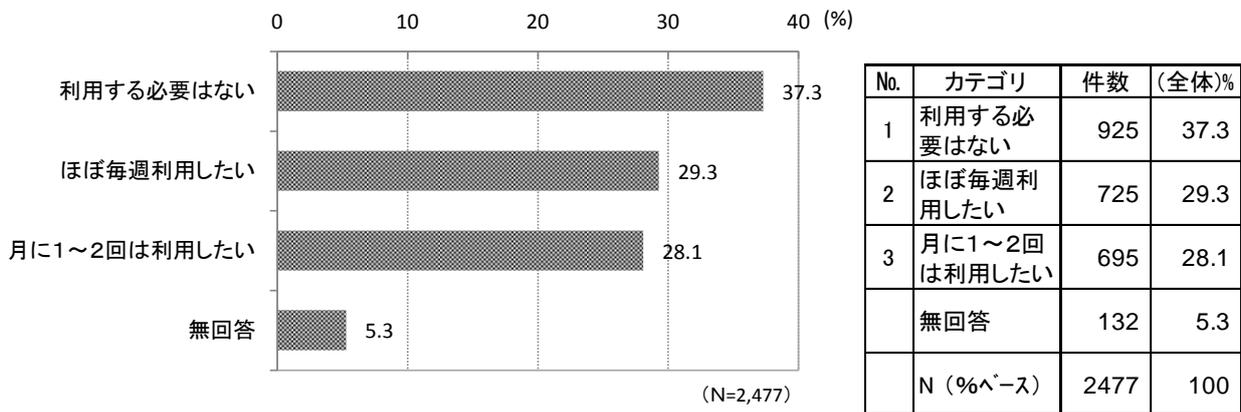
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	はい	470	67.3
2	いいえ	194	27.8
	無回答	34	4.9
	N (%ベース)	698	100

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

(1) 土曜日

● 土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望

「利用する必要はない」が37.3%と最も多く、次いで「ほぼ毎週利用したい」が29.3%、「月に1～2回は利用したい」が28.1%である。

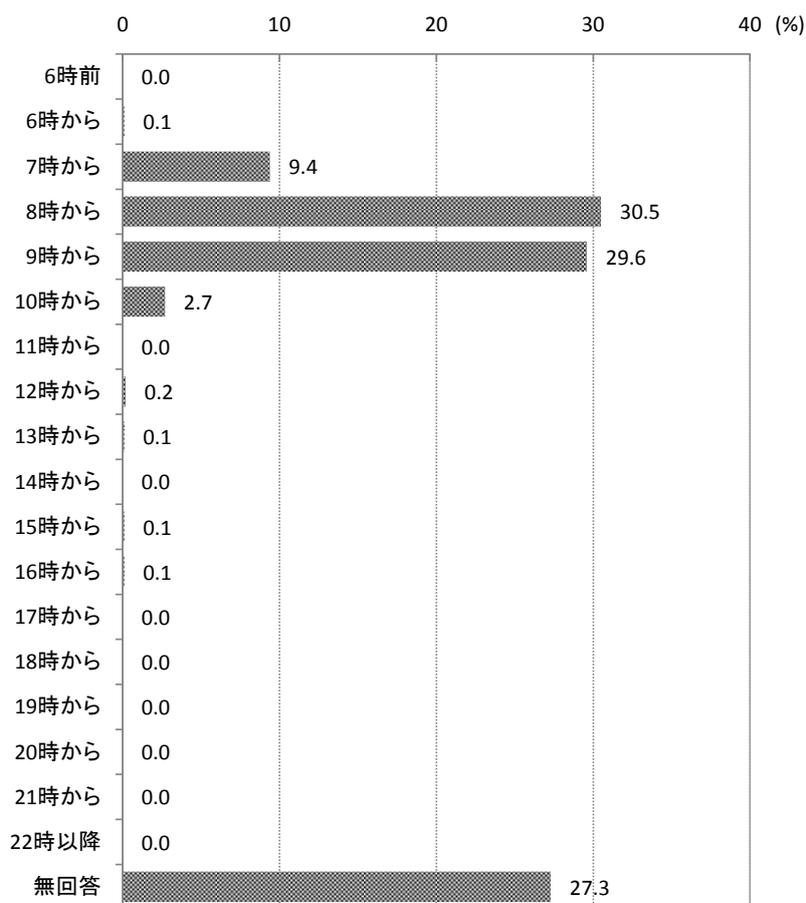


➤ 定期的にご利用したい事業×利用希望（土曜日）

	上段:度数 下段:%	N (合計)	教育・保育の事業の利用希望(土曜日)			
			利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答
全体		2477	925 37.3	725 29.3	695 28.1	132 5.3
幼稚園		991	532 53.7	152 15.3	284 28.7	23 2.3
幼稚園の預かり保育		646	268 41.5	138 21.4	227 35.1	13 2.0
認可保育所		1161	274 23.6	500 43.1	363 31.3	24 2.1
認定こども園		1098	442 40.3	300 27.3	342 31.1	14 1.3
小規模な保育施設		141	54 38.3	30 21.3	55 39.0	2 1.4
家庭的保育		50	16 32.0	22 44.0	12 24.0	-
事業所内保育施設		150	35 23.3	56 37.3	55 36.7	4 2.7
認可外保育施設		57	16 28.1	22 38.6	19 33.3	-
居宅訪問型保育		59	13 22.0	17 28.8	27 45.8	2 3.4
ファミリー・サポート・センター		114	30 26.3	35 30.7	46 40.4	3 2.6
その他		36	18 50.0	11 30.6	5 13.9	2 5.6
無回答		245	64 26.1	50 20.4	50 20.4	81 33.1

➤ 定期的な教育・保育の事業の利用希望開始時刻（土曜日）

「8時から」が30.5%と最も多く、次いで「9時から」が29.6%である。

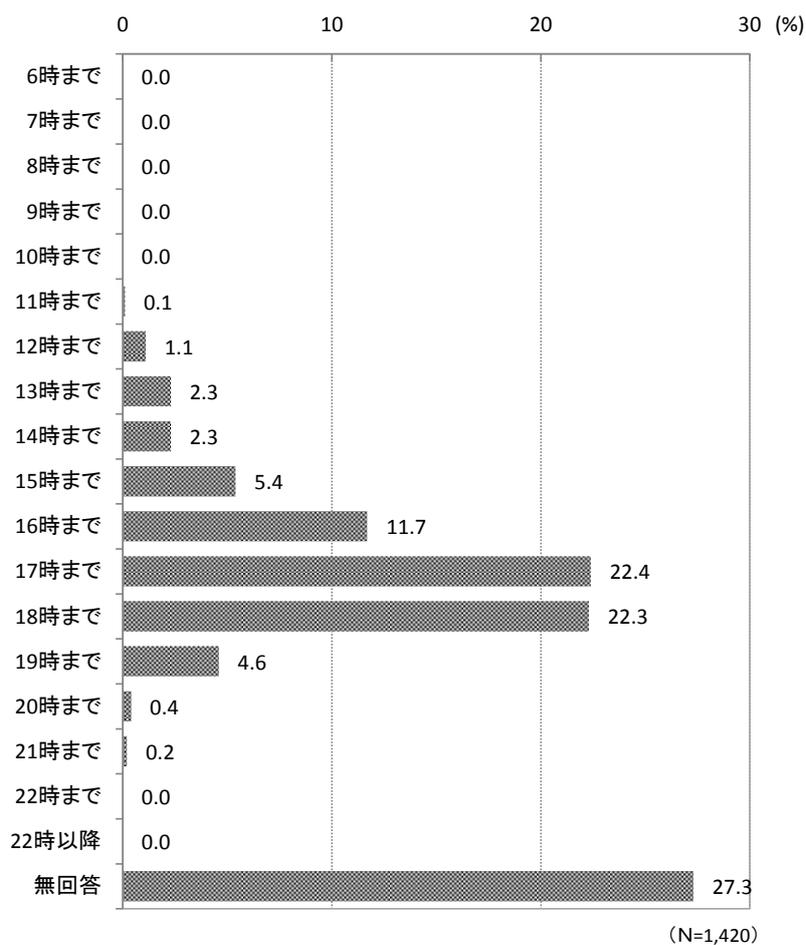


(N=1,420)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	0	0.0
2	6時から	1	0.1
3	7時から	133	9.4
4	8時から	433	30.5
5	9時から	421	29.6
6	10時から	38	2.7
7	11時から	0	0.0
8	12時から	3	0.2
9	13時から	2	0.1
10	14時から	0	0.0
11	15時から	1	0.1
12	16時から	1	0.1
13	17時から	0	0.0
14	18時から	0	0.0
15	19時から	0	0.0
16	20時から	0	0.0
17	21時から	0	0.0
18	22時以降	0	0.0
	無回答	387	27.3
	N (%ベース)	1420	100

➤ 定期的な教育・保育の事業の利用希望終了時刻（土曜日）

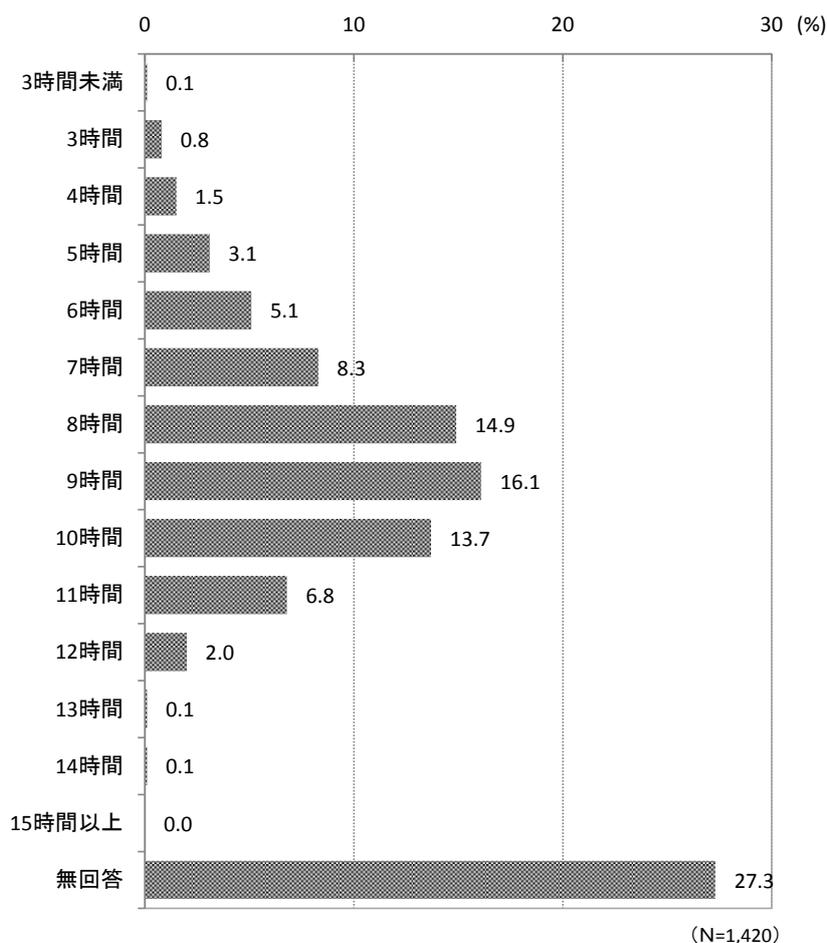
「17時まで」が22.4%と最も多く、次いで「18時まで」が22.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時まで	0	0.0
2	7時まで	0	0.0
3	8時まで	0	0.0
4	9時まで	0	0.0
5	10時まで	0	0.0
6	11時まで	1	0.1
7	12時まで	16	1.1
8	13時まで	32	2.3
9	14時まで	33	2.3
10	15時まで	77	5.4
11	16時まで	166	11.7
12	17時まで	318	22.4
13	18時まで	316	22.3
14	19時まで	66	4.6
15	20時まで	5	0.4
16	21時まで	3	0.2
17	22時まで	0	0.0
18	22時以降	0	0.0
	無回答	387	27.3
	N (%ベース)	1420	100

➤ 定期的な教育・保育の事業の利用希望時間（土曜日）

「9時間」が16.1%と最も多く、次いで「8時間」が14.9%、「10時間」が13.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	2	0.1
2	3時間	12	0.8
3	4時間	22	1.5
4	5時間	44	3.1
5	6時間	73	5.1
6	7時間	118	8.3
7	8時間	211	14.9
8	9時間	229	16.1
9	10時間	194	13.7
10	11時間	96	6.8
11	12時間	29	2.0
12	13時間	2	0.1
13	14時間	1	0.1
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	387	27.3
	N (%ベース)	1420	100

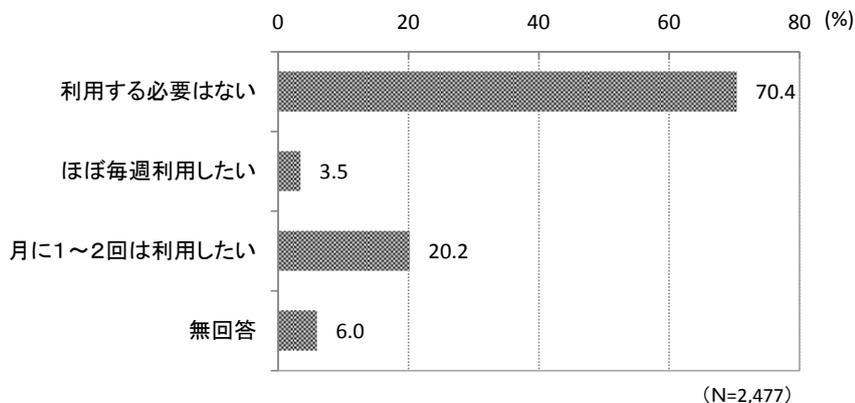
➤ 定期的に利用したい事業×1日当たりの利用希望時間（土曜日）

	上段:度数 下段:%	N (合計)	1日当たりの利用希望時間(土曜日)													無回答	
			3時間未満	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間	14時間		15時間以上
全体		1420	2	12	22	44	73	118	211	229	194	96	29	2	1	-	387
		100.0	0.1	0.8	1.5	3.1	5.1	8.3	14.9	16.1	13.7	6.8	2.0	0.1	0.1	-	27.3
幼稚園		436	2	5	12	20	28	43	54	54	38	14	8	-	-	-	158
		100.0	0.5	1.1	2.8	4.6	6.4	9.9	12.4	12.4	8.7	3.2	1.8	-	-	-	36.2
幼稚園の預かり保育		365	1	3	8	14	28	30	50	57	45	12	8	-	-	-	109
		100.0	0.3	0.8	2.2	3.8	7.7	8.2	13.7	15.6	12.3	3.3	2.2	-	-	-	29.9
認可保育所		863	-	4	5	13	28	68	126	134	131	65	17	1	1	-	270
		100.0	-	0.5	0.6	1.5	3.2	7.9	14.6	15.5	15.2	7.5	2.0	0.1	0.1	-	31.3
認定こども園		642	-	5	6	16	32	51	86	100	78	40	15	-	1	-	212
		100.0	-	0.8	0.9	2.5	5.0	7.9	13.4	15.6	12.1	6.2	2.3	-	0.2	-	33.0
小規模な保育施設		85	-	-	1	1	-	12	10	13	8	1	2	1	1	-	35
		100.0	-	-	1.2	1.2	-	14.1	11.8	15.3	9.4	1.2	2.4	1.2	1.2	-	41.2
家庭的保育		34	-	-	-	-	-	2	4	11	4	1	-	1	1	-	10
		100.0	-	-	-	-	-	5.9	11.8	32.4	11.8	2.9	-	2.9	2.9	-	29.4
事業所内保育施設		111	-	2	2	3	4	7	17	17	19	7	2	1	1	-	29
		100.0	-	1.8	1.8	2.7	3.6	6.3	15.3	15.3	17.1	6.3	1.8	0.9	0.9	-	26.1
認可外保育施設		41	-	-	-	1	2	4	2	5	7	1	2	1	1	-	15
		100.0	-	-	-	2.4	4.9	9.8	4.9	12.2	17.1	2.4	4.9	2.4	2.4	-	36.6
居宅訪問型保育		44	-	1	2	4	2	4	5	6	10	1	-	1	-	-	8
		100.0	-	2.3	4.5	9.1	4.5	9.1	11.4	13.6	22.7	2.3	-	2.3	-	-	18.2
ファミリー・サポート・センター		81	-	-	3	3	7	5	9	15	12	2	-	-	1	-	24
		100.0	-	-	3.7	3.7	8.6	6.2	11.1	18.5	14.8	2.5	-	-	1.2	-	29.6
その他		16	-	-	-	1	2	1	2	1	4	1	-	-	-	-	4
		100.0	-	-	-	6.3	12.5	6.3	12.5	6.3	25.0	6.3	-	-	-	-	25.0
無回答		100	-	-	3	6	7	11	19	20	12	9	4	-	-	-	9
		100.0	-	-	3.0	6.0	7.0	11.0	19.0	20.0	12.0	9.0	4.0	-	-	-	9.0

(2) 日曜日・祝日

● 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望

「利用する必要はない」が70.4%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が20.2%である。



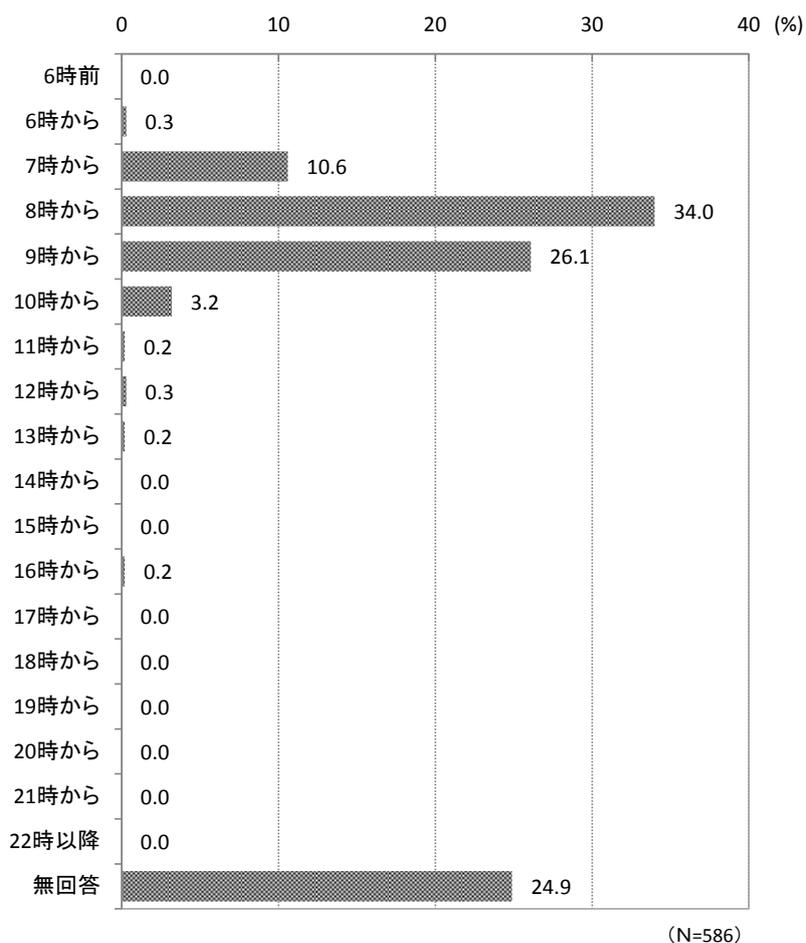
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用する必要はない	1743	70.4
2	ほぼ毎週利用したい	86	3.5
3	月に1～2回は利用したい	500	20.2
	無回答	148	6.0
	N (%ベース)	2477	100

➤ 定期的にご利用したい事業×利用希望（日曜日・祝日）

	上段:度数 下段:%	N (合計)	教育・保育の事業の利用希望(日曜日)			
			利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答
全体		2477	1743 70.4	86 3.5	500 20.2	148 6.0
幼稚園		991	770 77.7	28 2.8	161 16.2	32 3.2
幼稚園の預かり保育		646	468 72.4	24 3.7	136 21.1	18 2.8
認可保育所		1161	766 66.0	56 4.8	309 26.6	30 2.6
認定こども園		1098	797 72.6	47 4.3	230 20.9	24 2.2
小規模な保育施設		141	99 70.2	8 5.7	30 21.3	4 2.8
家庭的保育		50	30 60.0	8 16.0	12 24.0	-
事業所内保育施設		150	82 54.7	15 10.0	49 32.7	4 2.7
認可外保育施設		57	37 64.9	5 8.8	15 26.3	-
居宅訪問型保育		59	33 55.9	3 5.1	20 33.9	3 5.1
ファミリー・サポート・センター		114	66 57.9	5 4.4	41 36.0	2 1.8
その他		36	24 66.7	2 5.6	8 22.2	2 5.6
無回答		245	123 50.2	4 1.6	35 14.3	83 33.9

➤ 定期的な教育・保育の事業の利用希望開始時刻（日曜日・祝日）

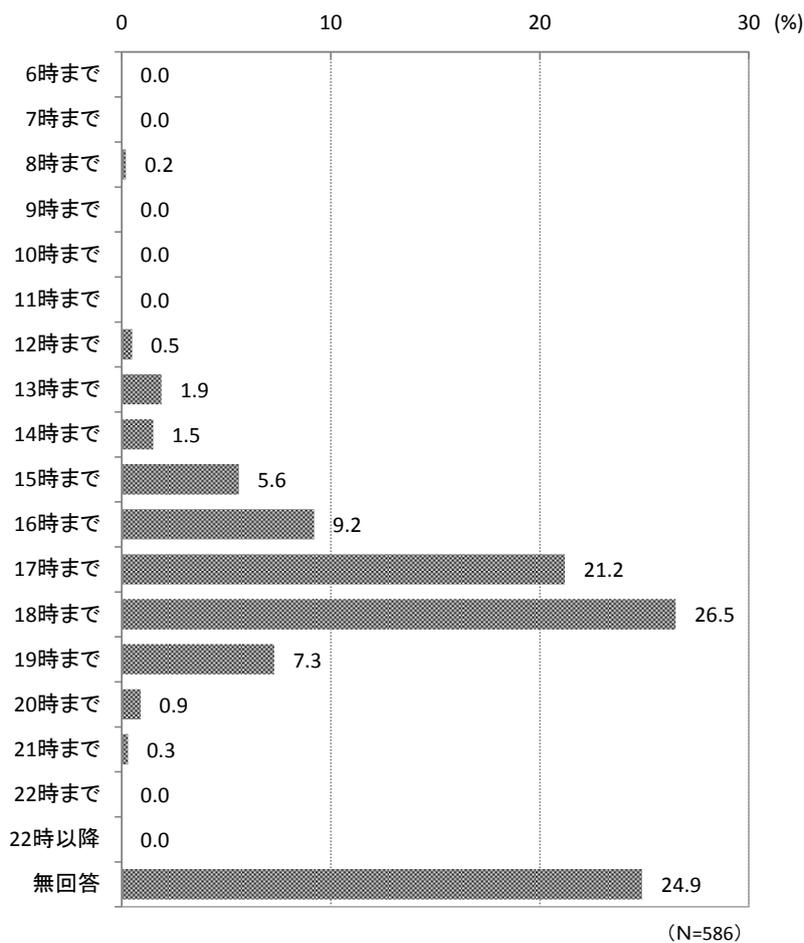
「8時から」が34.0%と最も多く、次いで「9時から」が26.1%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	0	0.0
2	6時から	2	0.3
3	7時から	62	10.6
4	8時から	199	34.0
5	9時から	153	26.1
6	10時から	19	3.2
7	11時から	1	0.2
8	12時から	2	0.3
9	13時から	1	0.2
10	14時から	0	0.0
11	15時から	0	0.0
12	16時から	1	0.2
13	17時から	0	0.0
14	18時から	0	0.0
15	19時から	0	0.0
16	20時から	0	0.0
17	21時から	0	0.0
18	22時以降	0	0.0
	無回答	146	24.9
	N (%へ入)	586	100

➤ 定期的な教育・保育の事業の利用希望終了時刻（日曜日・祝日）

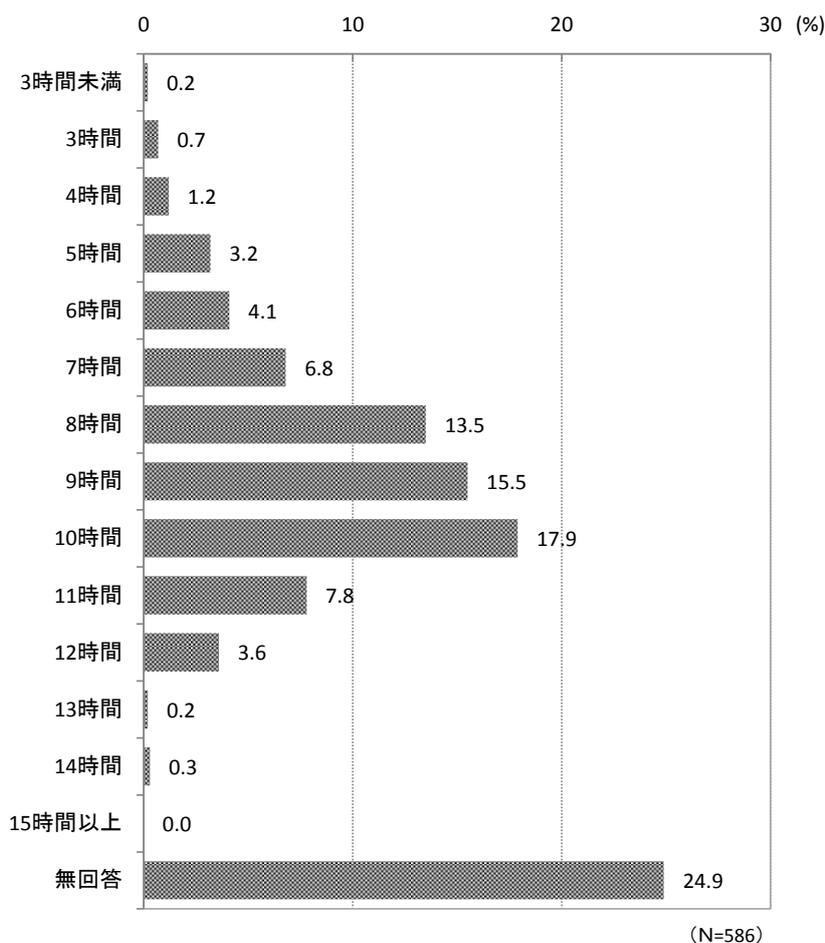
「18時まで」が26.5%と最も多く、次いで「17時まで」が21.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時まで	0	0.0
2	7時まで	0	0.0
3	8時まで	1	0.2
4	9時まで	0	0.0
5	10時まで	0	0.0
6	11時まで	0	0.0
7	12時まで	3	0.5
8	13時まで	11	1.9
9	14時まで	9	1.5
10	15時まで	33	5.6
11	16時まで	54	9.2
12	17時まで	124	21.2
13	18時まで	155	26.5
14	19時まで	43	7.3
15	20時まで	5	0.9
16	21時まで	2	0.3
17	22時まで	0	0.0
18	22時以降	0	0.0
	無回答	146	24.9
	N (%へ入)	586	100

➤ 定期的な教育・保育の事業の利用希望時間（日曜日・祝日）

「10時間」が17.9%と最も多く、次いで「9時間」が15.5%、「8時間」が13.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	1	0.2
2	3時間	4	0.7
3	4時間	7	1.2
4	5時間	19	3.2
5	6時間	24	4.1
6	7時間	40	6.8
7	8時間	79	13.5
8	9時間	91	15.5
9	10時間	105	17.9
10	11時間	46	7.8
11	12時間	21	3.6
12	13時間	1	0.2
13	14時間	2	0.3
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	146	24.9
	N (%へ入)	586	100

➤ 定期的にご利用したい事業×1日当たりの利用希望時間（日曜日・祝日）

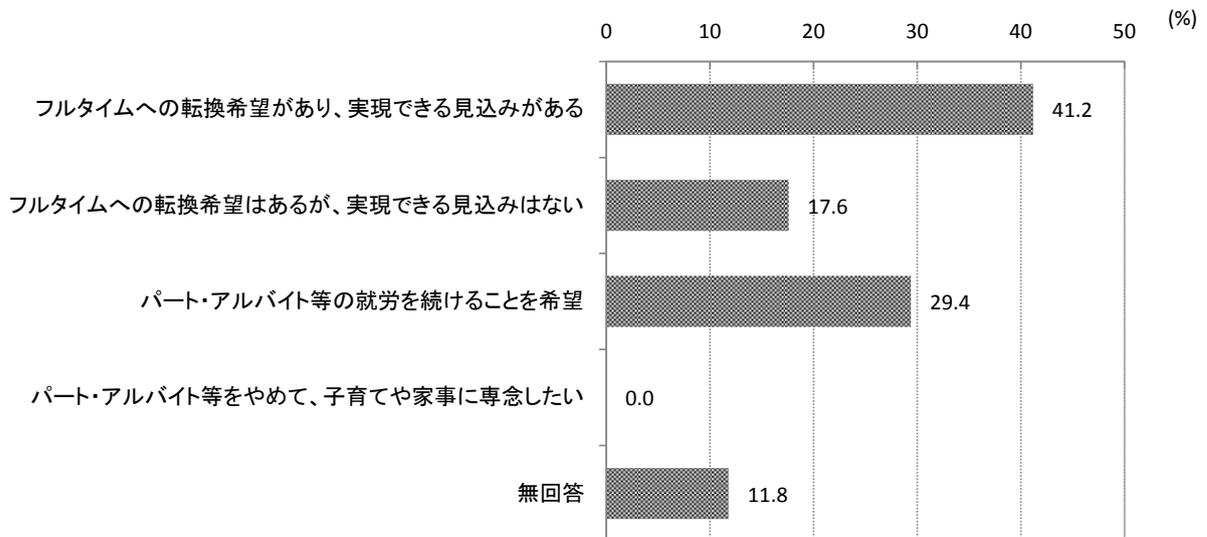
上段:度数 下段:%	N (合計)	1日当たりの利用希望時間(日曜日・祝日)															
		3時間未満	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間	14時間	15時間以上	無回答	
全体	586	100.0	0.2	0.7	1.2	3.2	4.1	6.8	13.5	15.5	17.9	7.8	3.6	0.2	0.3	-	24.9
幼稚園	189	100.0	-	0.5	0.5	4.8	5.3	6.9	11.1	14.3	10.1	5.3	4.2	-	-	-	37.0
幼稚園の預かり保育	160	100.0	-	0.6	0.6	3.1	6.9	5.6	12.5	16.3	15.0	5.0	5.0	-	-	-	29.4
認可保育所	365	100.0	0.3	0.5	0.8	2.2	2.5	7.4	11.0	14.8	20.5	9.0	3.3	-	0.5	-	27.1
認定こども園	277	100.0	-	0.4	1.4	1.8	5.4	5.8	15.2	13.4	14.4	7.2	4.3	-	0.4	-	30.3
小規模な保育施設	38	100.0	-	-	-	-	2.6	7.9	10.5	23.7	5.3	5.3	5.3	2.6	2.6	-	34.2
家庭的保育	20	100.0	-	-	-	-	-	-	15.0	45.0	5.0	-	-	5.0	5.0	-	25.0
事業所内保育施設	64	100.0	-	1.6	-	3.1	1.6	3.1	12.5	18.8	17.2	10.9	1.6	1.6	1.6	-	26.6
認可外保育施設	20	100.0	-	-	-	-	-	5.0	-	20.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	-	40.0
居宅訪問型保育	23	100.0	-	4.3	4.3	4.3	-	4.3	17.4	21.7	21.7	4.3	-	4.3	-	-	13.0
ファミリー・サポート・センター	46	100.0	-	2.2	-	2.2	8.7	6.5	8.7	17.4	8	8	6.5	-	-	2.2	28.3
その他	10	100.0	-	-	-	-	10.0	-	10.0	20.0	30.0	10.0	-	-	-	-	20.0
無回答	39	100.0	-	-	-	5.1	7.7	12.8	25.6	12.8	10.3	15.4	5.1	-	-	-	5.1

7 幼児教育が無償化された場合の利用希望等

問 21-1 幼児教育が無償化された場合、フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つを選択してください。

※父親について、問 13 で、現在の就労状況が、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方を対象。

- 幼児教育が無償化された場合、フルタイムへの転換希望について（父親）
「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 41.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 29.4%である。



(N=17)

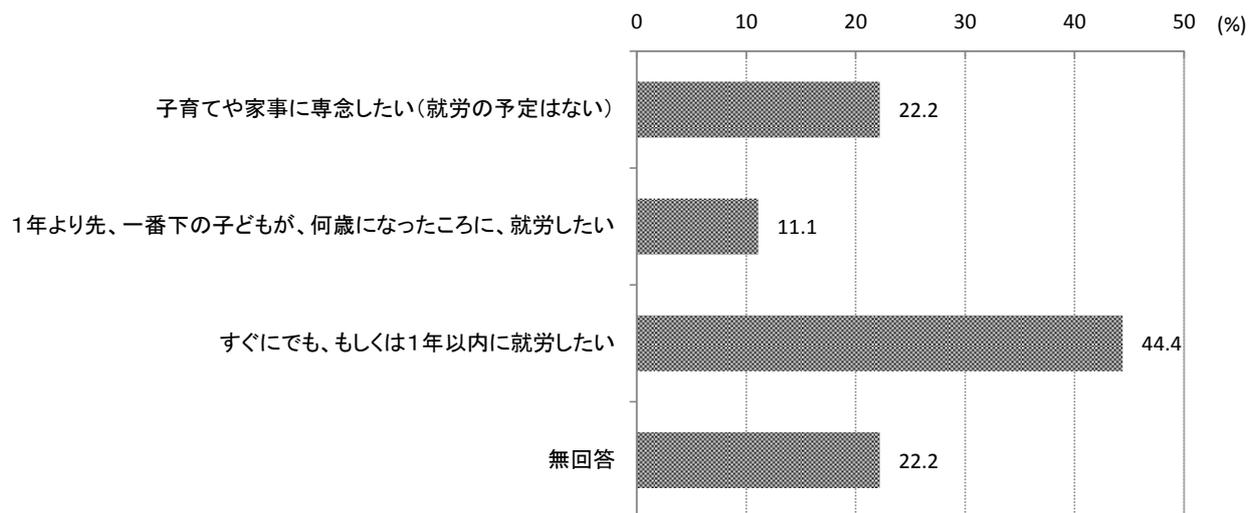
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	7	41.2
2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	17.6
3	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	5	29.4
4	パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい	0	0.0
	無回答	2	11.8
	N (%ベース)	17	100

問 21-2 幼児教育が無償化された場合、就労したいという希望はありますか。

※父親について、問 13 で、現在の就労状況が、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「4. これまで就労したことがない」を、選ばれた方を対象。

● 幼児教育が無償化された場合、就労したいという希望について（父親）

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が44.4%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」が22.2%である。



(N=18)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)	4	22.2
2	1年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに、就労したい	2	11.1
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	8	44.4
	無回答	4	22.2
	N (%ベース)	18	100

➤ 利用希望する子どもの年齢

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1歳	0	0.0
2	2歳	1	50.0
3	3歳	1	50.0
4	4歳	0	0.0
5	5歳	0	0.0
6	6歳	0	0.0
7	7歳	0	0.0
8	8歳	0	0.0
9	9歳	0	0.0
10	10歳	0	0.0
11	11歳	0	0.0
12	12歳以上	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	2	100

➤ 希望する就労形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイム	8	80.0
2	パート・アル バイト等	1	10.0
	無回答	1	10.0
	N (%ベース)	10	100

➤ 希望する1週間当たり就労日数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	0	0.0
2	2日	0	0.0
3	3日	1	100.0
4	4日	0	0.0
5	5日	0	0.0
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	1	100

➤ 希望する1日当たり就労時間

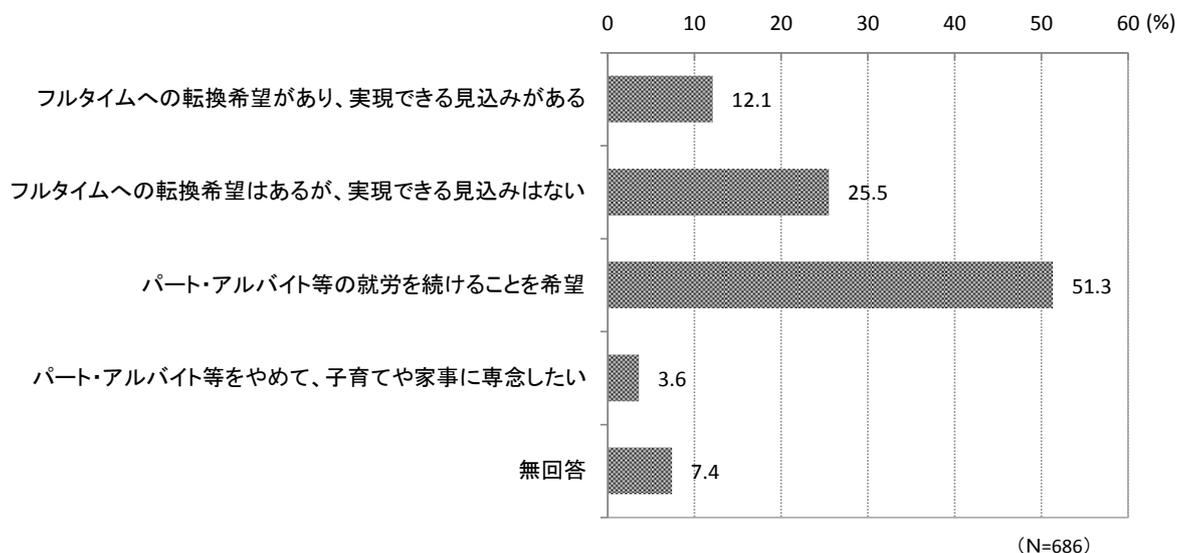
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1時間まで	0	0.0
2	2時間まで	0	0.0
3	3時間まで	0	0.0
4	4時間まで	0	0.0
5	5時間まで	0	0.0
6	6時間まで	0	0.0
7	7時間まで	0	0.0
8	8時間まで	0	0.0
9	9時間まで	0	0.0
10	10時間まで	0	0.0
11	10時間以上	0	0.0
	無回答	1	100.0
	N (%ベース)	1	100

問 22-1 幼児教育が無償化された場合、フルタイムへの転換希望は、ありますか。当てはまる番号1つを選択してください。

※母親について、問 14 で、現在の就労状況が、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方を対象。

● 幼児教育が無償化された場合、フルタイムへの転換希望について（母親）

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 51.3%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 12.1%である。



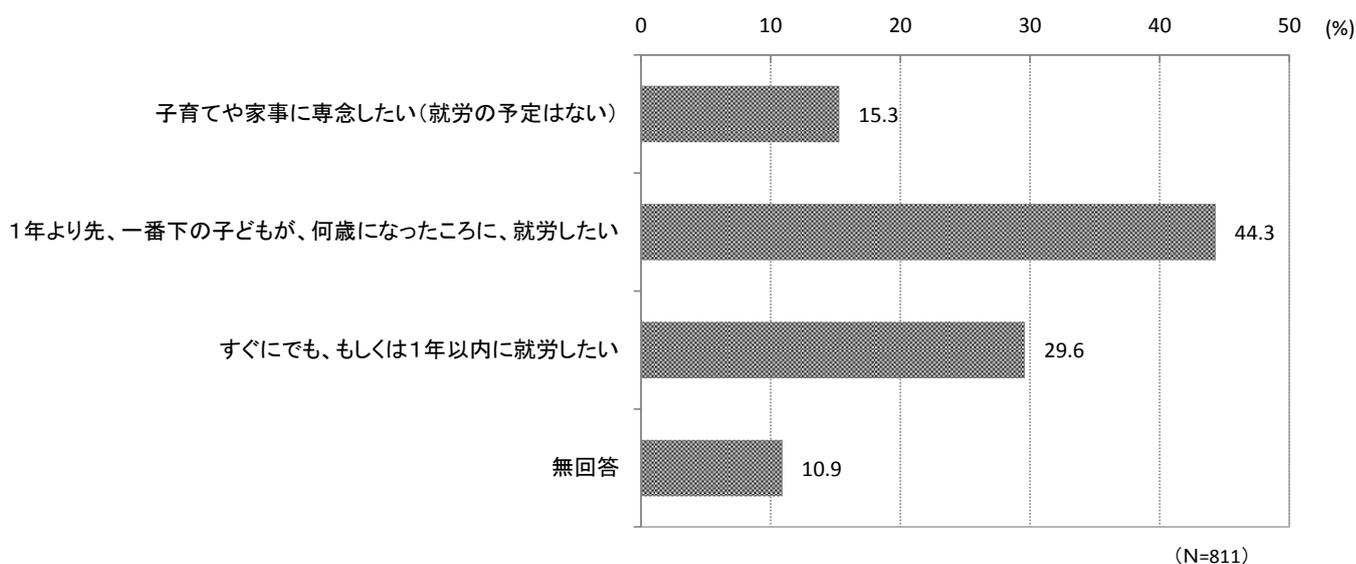
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	83	12.1
2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	175	25.5
3	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	352	51.3
4	パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい	25	3.6
	無回答	51	7.4
	N (%ベース)	686	100

問 22-2 幼児教育が無償化された場合、就労したいという希望はありますか。

※母親について、問 14 で、現在の就労状況が、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「4. これまで就労したことがない」を、選ばれた方を対象。

● 幼児教育が無償化された場合、就労したいという希望について（母親）

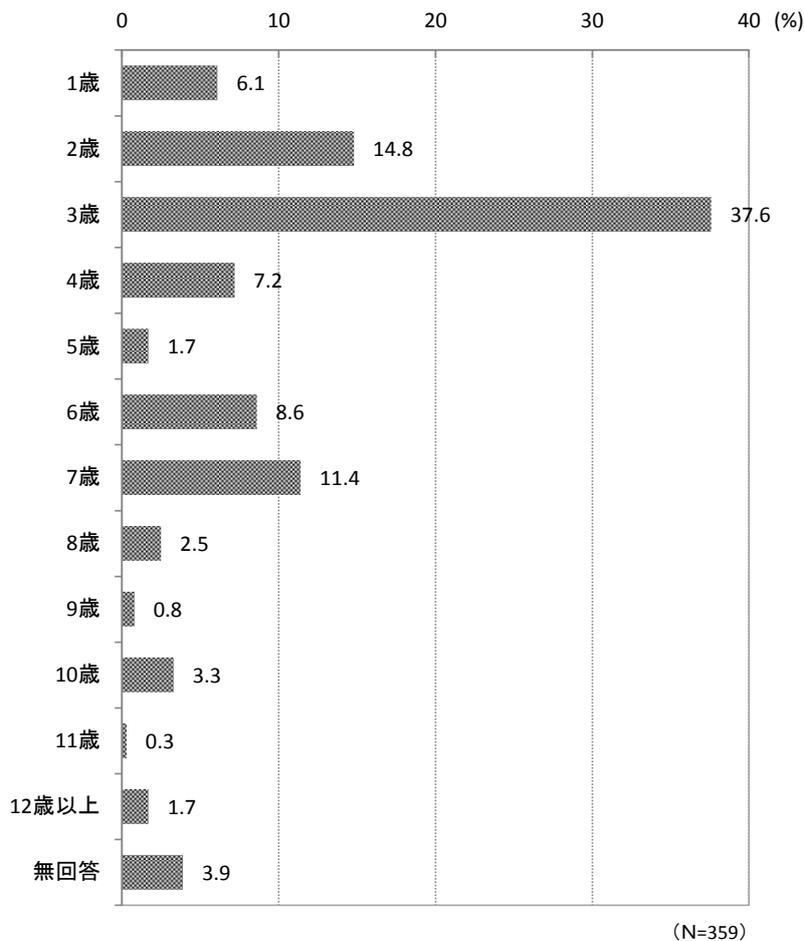
「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに、就労したい」が 44.3%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 29.6%、「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」が 15.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)	124	15.3
2	1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに、就労したい	359	44.3
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	240	29.6
	無回答	88	10.9
	N (%ベース)	811	100

➤ 利用希望する子どもの年齢

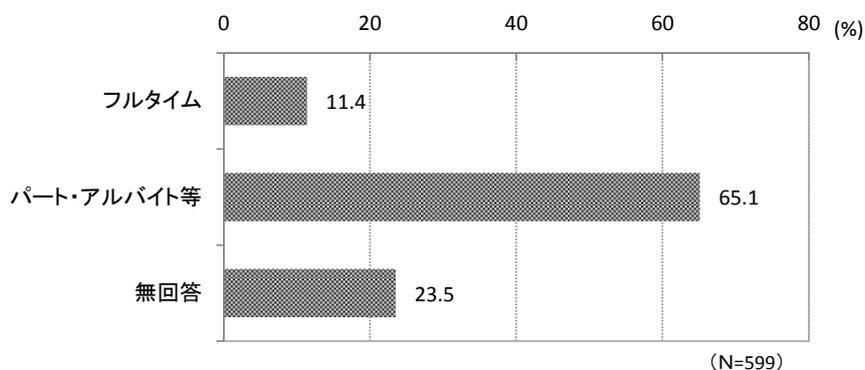
「3歳」が37.6%と最も多く、次いで「2歳」が14.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1歳	22	6.1
2	2歳	53	14.8
3	3歳	135	37.6
4	4歳	26	7.2
5	5歳	6	1.7
6	6歳	31	8.6
7	7歳	41	11.4
8	8歳	9	2.5
9	9歳	3	0.8
10	10歳	12	3.3
11	11歳	1	0.3
12	12歳以上	6	1.7
	無回答	14	3.9
	N (%ベース)	359	100

➤ 利用希望する就労形態

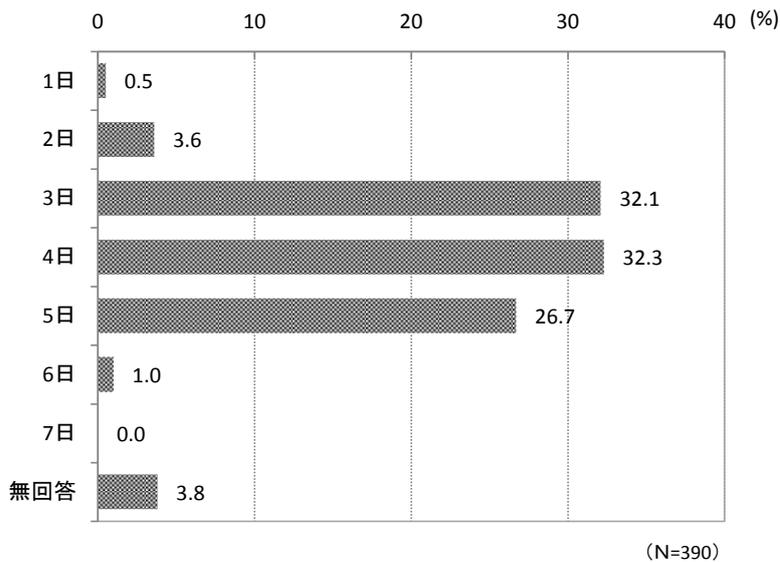
「パート・アルバイト等」が65.1%で、「フルタイム」が11.4%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	フルタイム	68	11.4
2	パート・アルバイト等	390	65.1
	無回答	141	23.5
	N (%ベース)	599	100

➤ 利用希望する1週間当たり就労日数

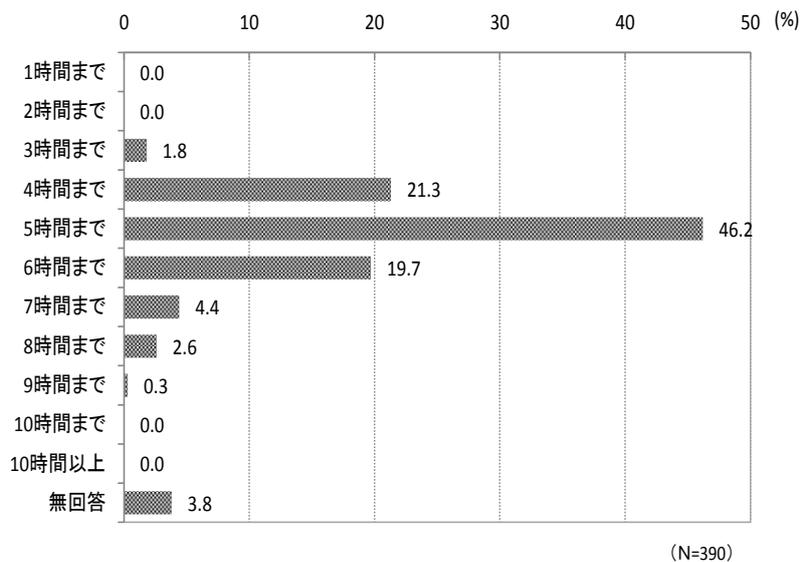
「4日」が32.3%と最も多く、次いで「3日」が32.1%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	2	0.5
2	2日	14	3.6
3	3日	125	32.1
4	4日	126	32.3
5	5日	104	26.7
6	6日	4	1.0
7	7日	0	0.0
	無回答	15	3.8
	N (%へ入)	390	100

➤ 利用希望する1日当たり就労時間

「5時間まで」が46.2%と最も多く、次いで「4時間まで」が21.3%である。



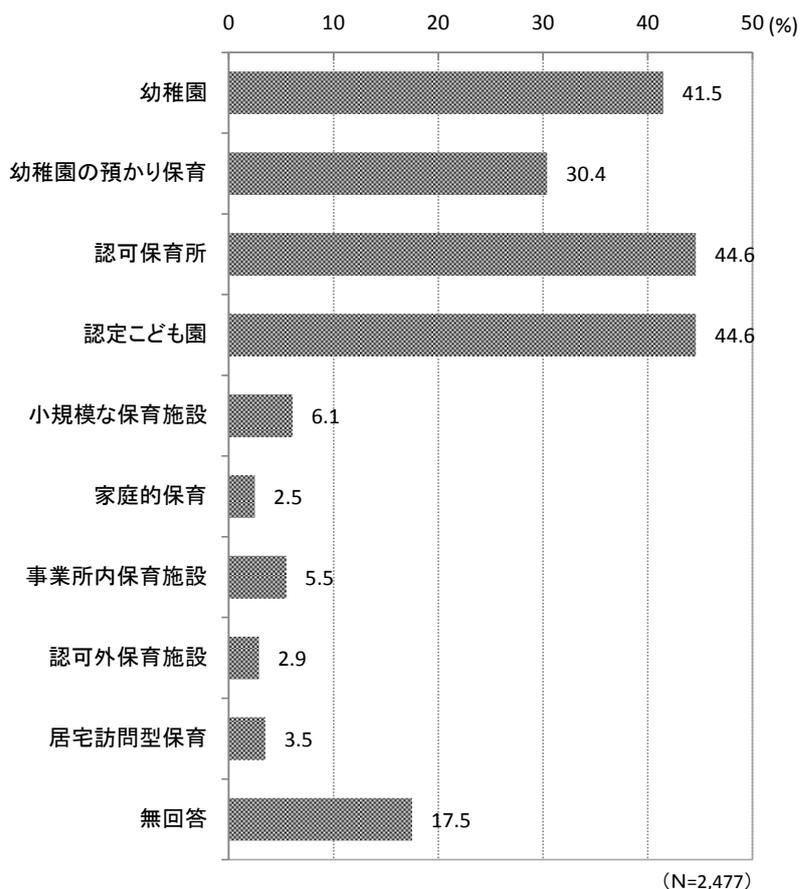
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1時間まで	0	0.0
2	2時間まで	0	0.0
3	3時間まで	7	1.8
4	4時間まで	83	21.3
5	5時間まで	180	46.2
6	6時間まで	77	19.7
7	7時間まで	17	4.4
8	8時間まで	10	2.6
9	9時間まで	1	0.3
10	10時間まで	0	0.0
11	10時間以上	0	0.0
	無回答	15	3.8
	N (%へ入)	390	100

問 23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、幼児教育が無償化された場合、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

※子どもが小学校就学前の方を対象

● 「定期的に」利用したいと考える事業（複数回答）

「認可保育所」、「認定こども園」がともに 44.6%と最も多く、次いで「幼稚園」が 41.5%である。



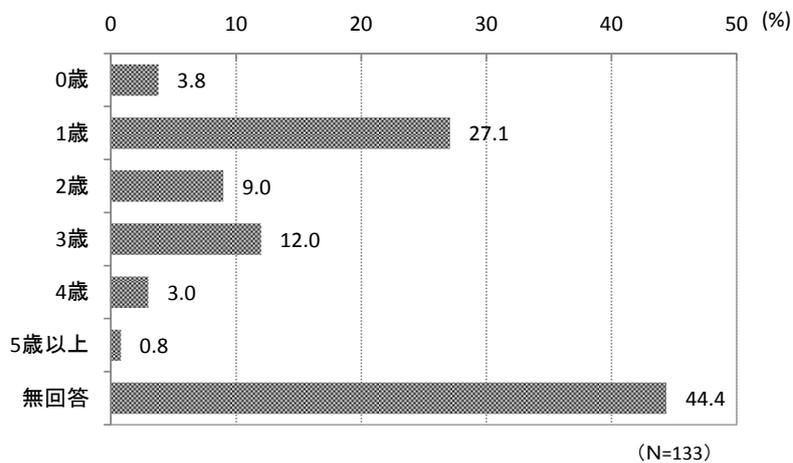
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	幼稚園	1029	41.5
2	幼稚園の預かり保育	752	30.4
3	認可保育所	1105	44.6
4	認定こども園	1104	44.6
5	小規模な保育施設	152	6.1
6	家庭的保育	62	2.5
7	事業所内保育施設	136	5.5
8	認可外保育施設	72	2.9
9	居宅訪問型保育	86	3.5
	無回答	433	17.5
	N (%への入)	2477	100

問 23-1 お腹の赤ちゃんが誕生後、平日の教育・保育の事業として、幼児教育が無償化された場合、何歳から「定期的に」利用したいと考えますか。

※母子健康手帳をお持ちの方を対象

● 「定期的に」利用したいと考える子どもの年齢

「1歳」が27.1%と最も多く、次いで「3歳」が12.0%、「2歳」が9.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0歳	5	3.8
2	1歳	36	27.1
3	2歳	12	9.0
4	3歳	16	12.0
5	4歳	4	3.0
6	5歳以上	1	0.8
	無回答	59	44.4
	N (%^ ^入 -入)	133	100

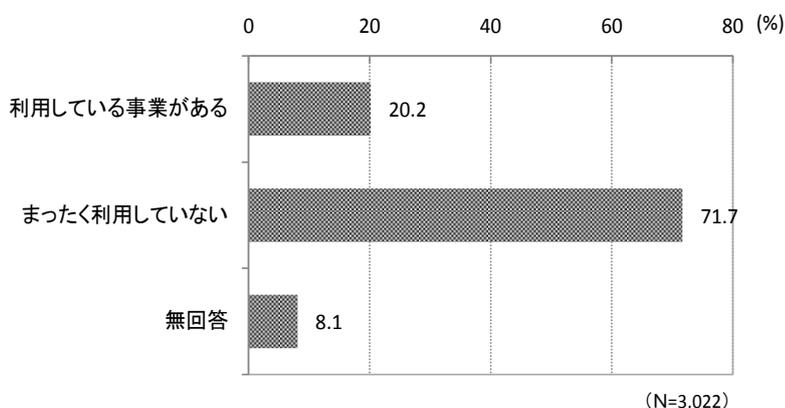
8 「不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等」の利用について

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気等のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。当てはまる事業すべてを選
択し、利用されている場合は、1年間の利用日数（おおよそ）も、お書きください。また、
全て、利用していないとお答えの方は、その理由として当てはまるものすべてを選択してく
ださい。なお、利用希望がある方は、希望日数及び理由もお書きください。

（1）現在の利用状況

- 不定期に利用している事業の有無、利用状況について

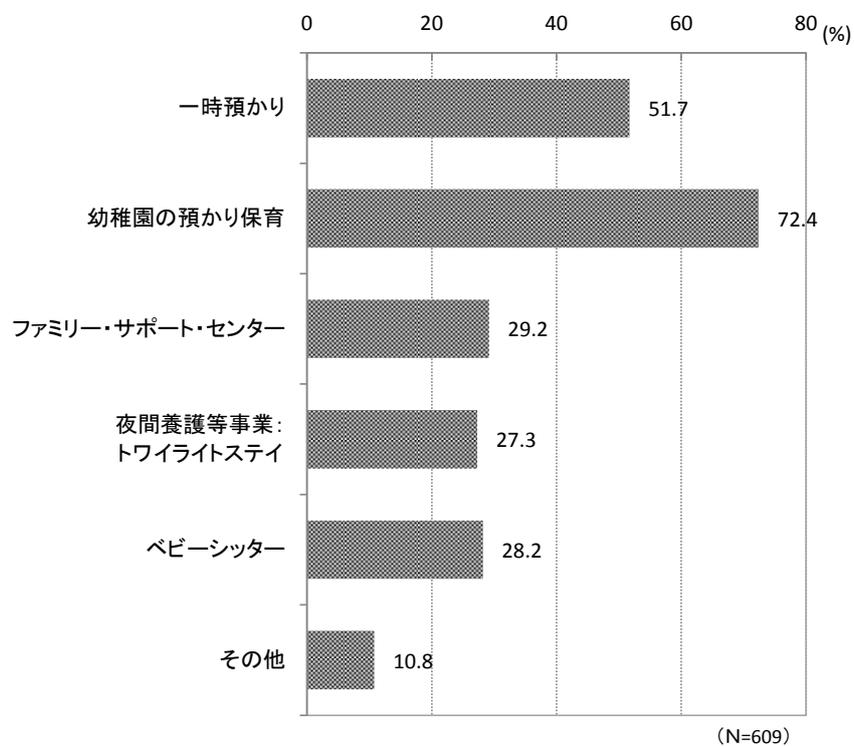
「まったく利用していない」が71.7%で、「利用している事業がある」は20.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用している事業がある	609	20.2
2	まったく利用していない	2167	71.7
	無回答	246	8.1
	N (%ベース)	3022	100

➤ 不定期に利用している事業の現在の利用状況（複数回答）

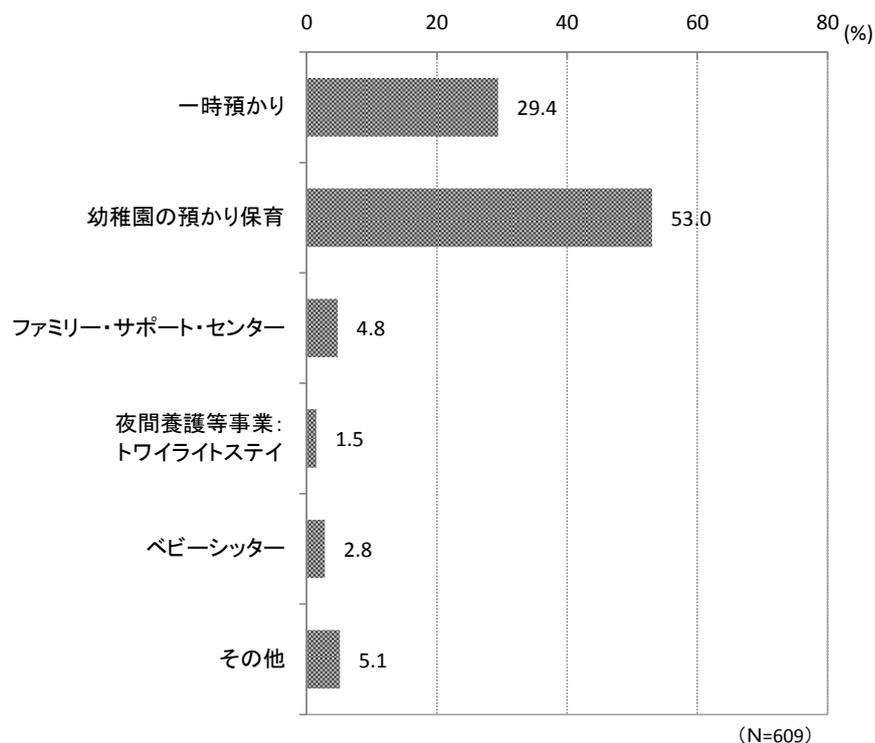
「幼稚園の預かり保育」が72.4%と最も多く、次いで「一時預かり」が51.7%である。
その他の利用先として、「職場内託児所」などが挙げられる。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	一時預かり	315	51.7
2	幼稚園の預かり保育	441	72.4
3	ファミリー・サポート・センター	178	29.2
4	夜間養護等事業:トワイライトステイ	166	27.3
5	ベビーシッター	172	28.2
6	その他	66	10.8
	N (%ベース)	609	100

➤ 不定期の教育・保育事業の利用希望（複数回答）

「幼稚園の預かり保育」が53.0%と最も多く、次いで「一時預かり」が29.4%である。



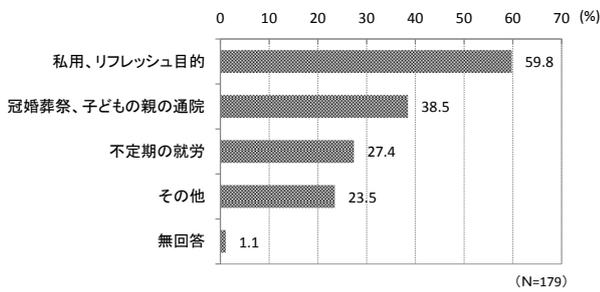
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	一時預かり	179	29.4
2	幼稚園の預かり保育	323	53.0
3	ファミリー・サポート・センター	29	4.8
4	夜間養護等事業:トワイライトステイ	9	1.5
5	ベビーシッター	17	2.8
6	その他	31	5.1
	N (%ベース)	609	100.0

➤ 不特定の教育・保育事業の利用したい理由（複数回答）

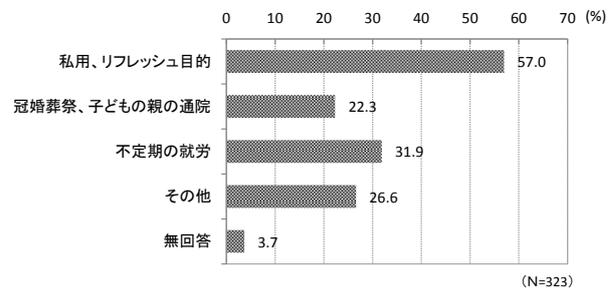
「私用、リフレッシュ目的」が52.5%と最も多く、次いで「不特定の就労」が29.4%、「冠婚葬祭、子どもの親の通院」が26.8%である。事業別に見ると、「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」、「ベビーシッター」は「私用、リフレッシュ目的」の割合が最も高く、「ファミリー・サポート・センター」、「夜間養護等事業」は「不特定の就労」の割合が最も高い。

	上段:度数 下段:%	N (合計)	利用したい理由				無回答
			私用、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、子どもの親の通院	不特定の就労	その他	
全体		609	320	163	179	151	24
		100.0	52.5	26.8	29.4	24.8	3.9
一時預かり		179	107	69	49	42	2
		100.0	59.8	38.5	27.4	23.5	1.1
幼稚園の預かり保育		323	184	72	103	86	12
		100.0	57.0	22.3	31.9	26.6	3.7
ファミリー・サポート・センター		29	9	7	10	4	5
		100.0	31.0	24.1	34.5	13.8	17.2
夜間養護等事業		9	2	2	4	3	1
		100.0	22.2	22.2	44.4	33.3	11.1
ベビーシッター		17	9	6	4	3	3
		100.0	52.9	35.3	23.5	17.6	17.6
その他		31	9	7	9	13	1
		100.0	29.0	22.6	29.0	41.9	3.2

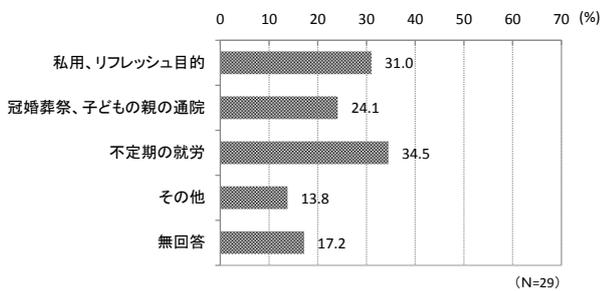
➤ 一時預かり



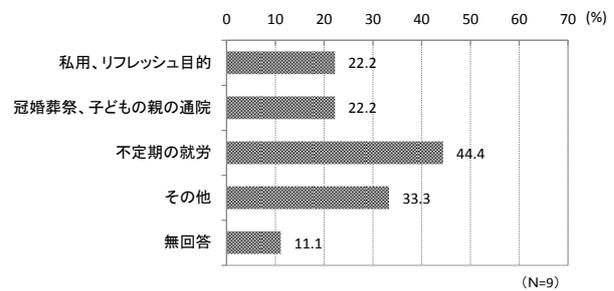
➤ 幼稚園の預かり保育



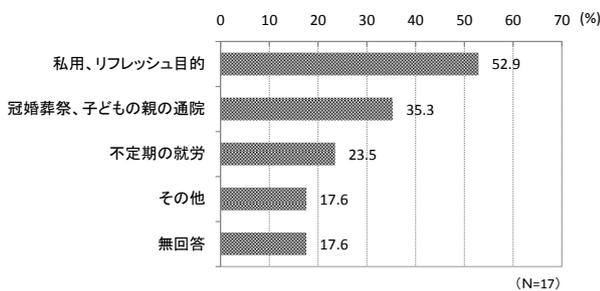
➤ ファミリー・サポート・センター



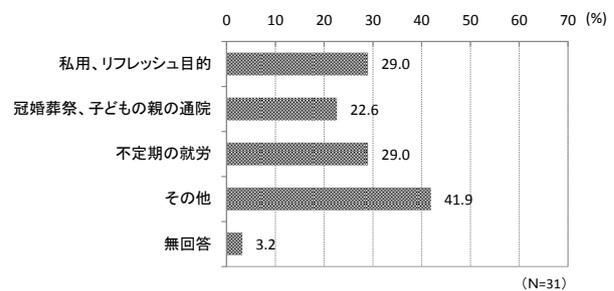
➤ 夜間養護等事業



➤ ベビーシッター

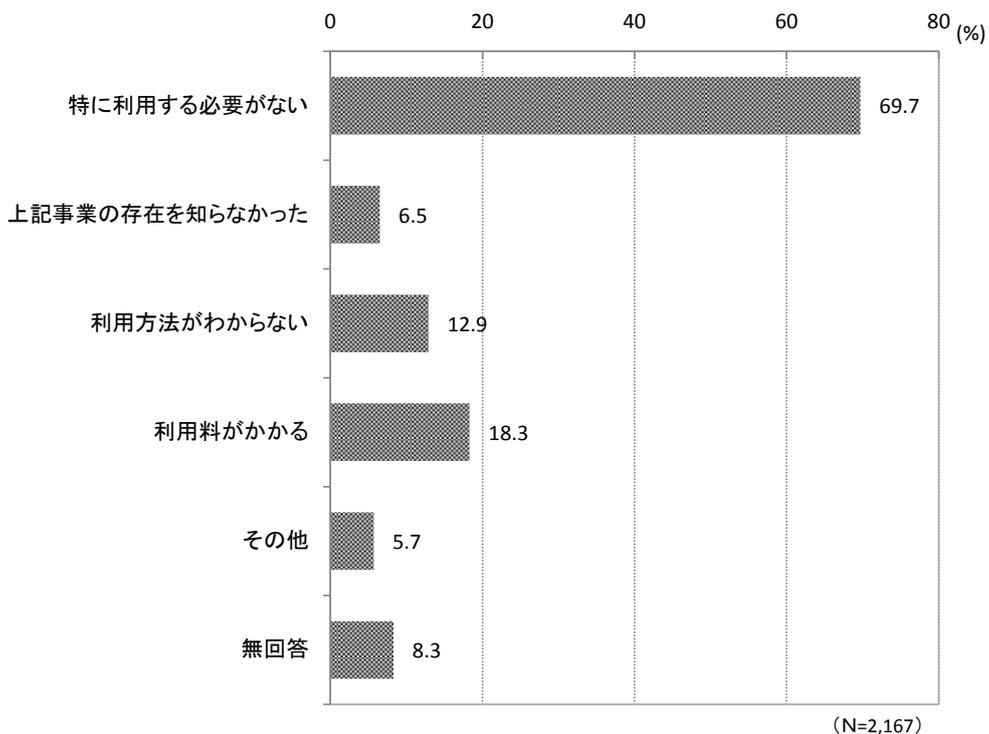


➤ その他



➤ すべて利用していない理由（複数回答）

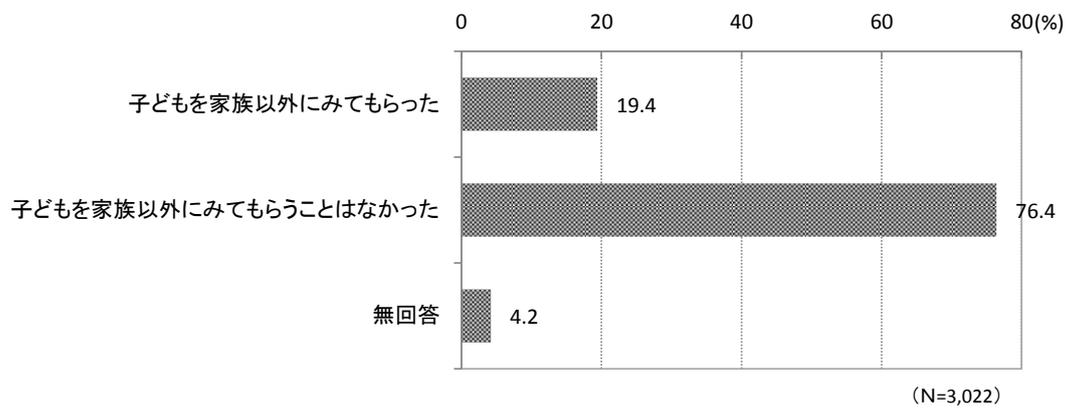
「特に利用する必要がない」が69.7%と最も多く、次いで「利用料がかかる」が18.3%、「利用方法がわからない」が12.9%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	特に利用する必要がない	1510	69.7
2	上記事業の存在を知らなかった	140	6.5
3	利用方法がわからない	280	12.9
4	利用料がかかる	397	18.3
5	その他	124	5.7
	無回答	179	8.3
	N (%ベース)	2167	100

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者の病気等）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、対処法として、当てはまるものすべてを選択し、それぞれの日数もお書きください。

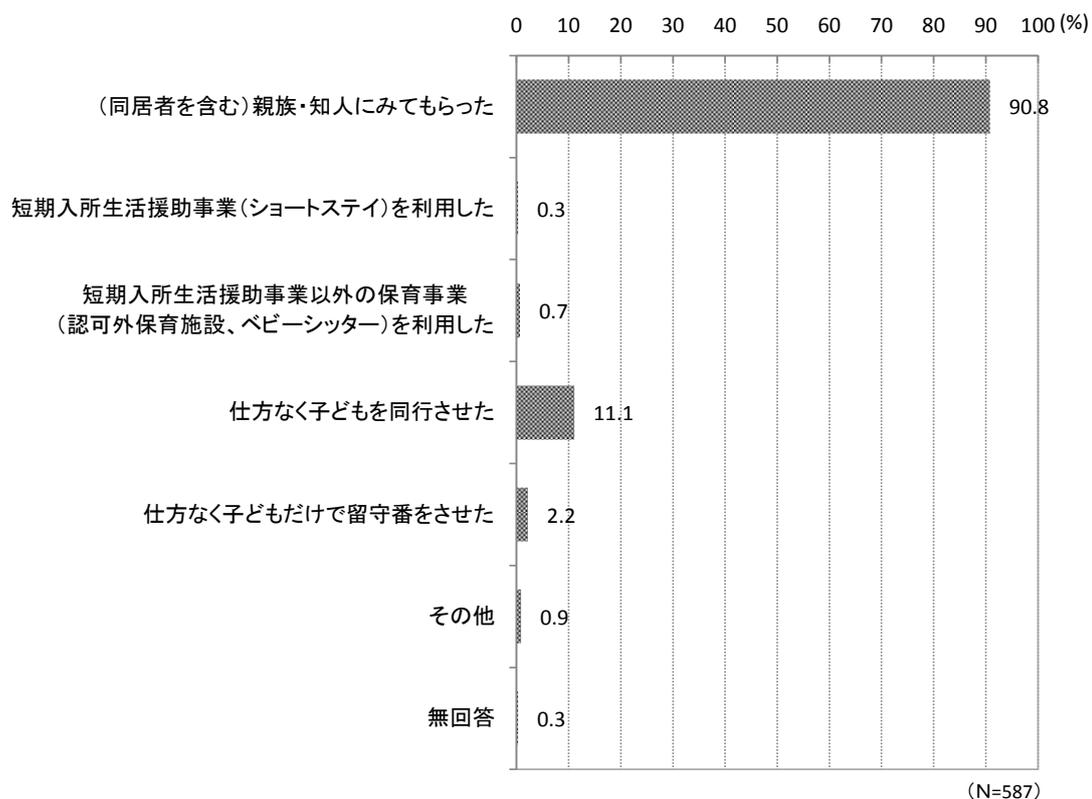
- 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった機会について
「子どもを家族以外にみてもらうことはなかった」が 76.4%で、「子どもを家族以外にみてもらった」が 19.4%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子どもを家族以外にみてもらった	587	19.4
2	子どもを家族以外にみてもらうことはなかった	2309	76.4
	無回答	126	4.2
	N (%ベース)	3022	100

➤ 対処方法（複数回答）

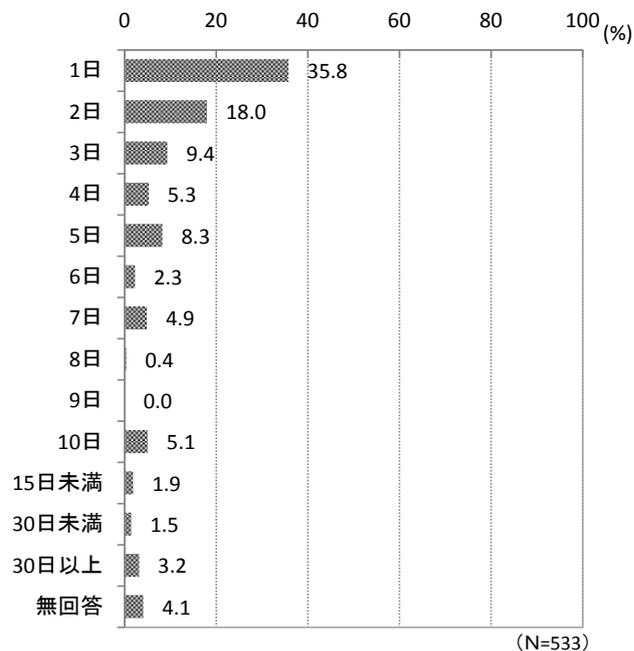
「（同居者を含む）親族・知人に見てもらった」が 90.8%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 11.1%である。



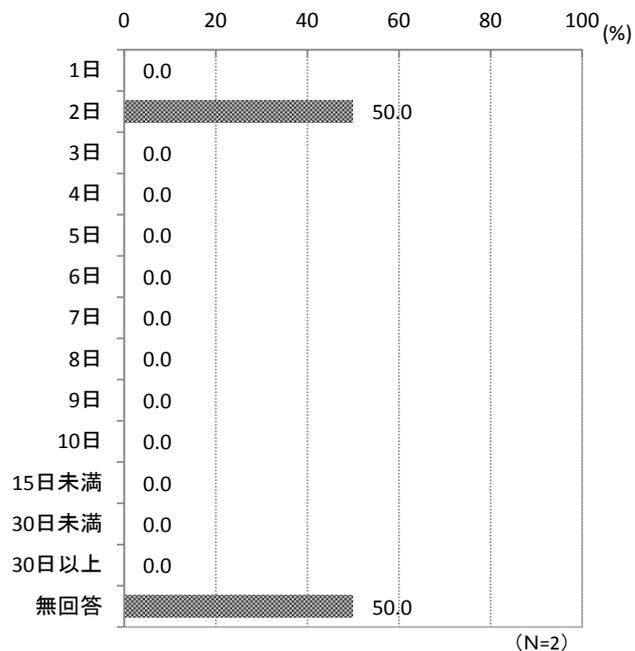
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	(同居者を含む)親族・知人に見てもらった	533	90.8
2	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	2	0.3
3	短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター)を利用した	4	0.7
4	仕方なく子どもを同行させた	65	11.1
5	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	13	2.2
6	その他	5	0.9
	無回答	2	0.3
	N (%^ス)	587	100

➤ 家族以外にみてもらった日数（泊数）

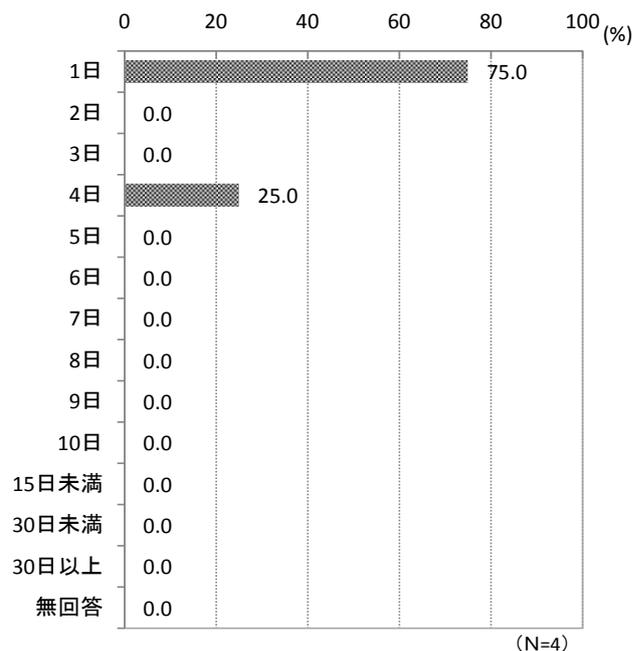
➤ 親族・知人



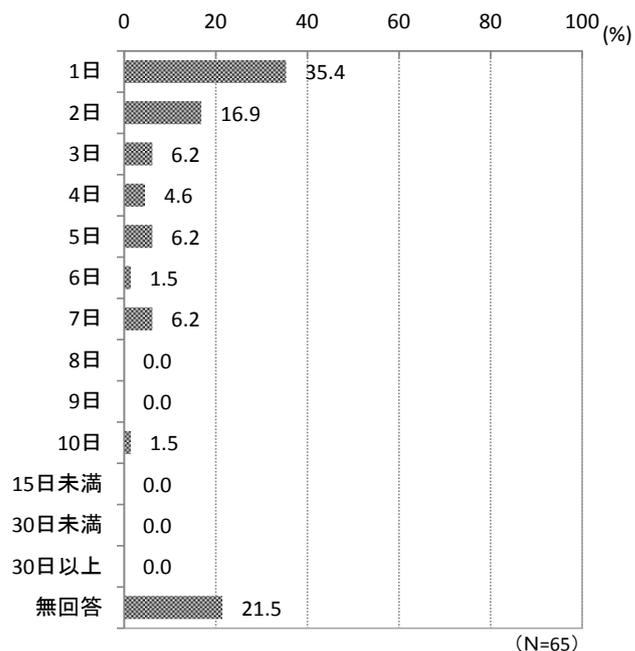
➤ 短期入所生活援助事業



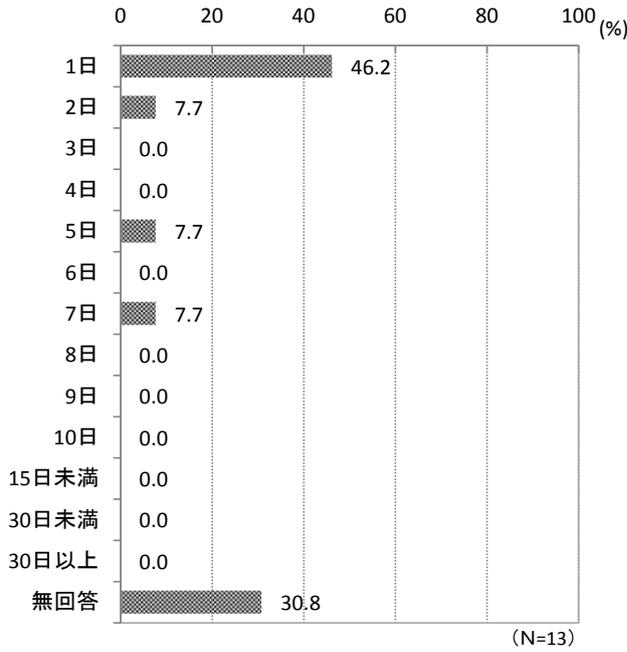
➤ 短期入所生活援助事業以外の保育事業



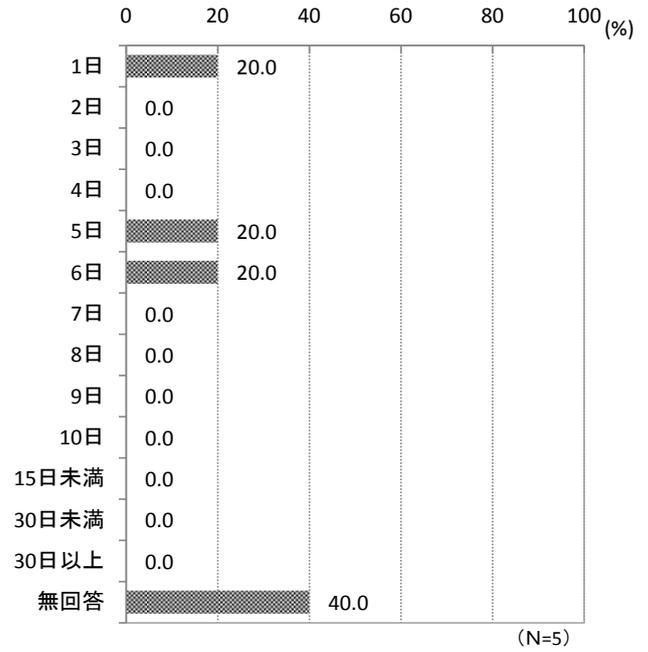
➤ 仕方なく子どもを同行させた



➤ 仕方なく子どもだけで留守番させた



➤ その他



➤ 家族以外にみてもらった日数（泊数）×対処方法

	N (合計)	子どもをみてもらった対処法					その他	無回答
		(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番させた		
上段:度数 下段:%								
全体	587 100.0	533 90.8	2 0.3	4 0.7	65 11.1	13 2.2	5 0.9	-
1日	224 38.2	191 85.3	-	3 1.3	23 10.3	6 2.7	1 0.4	-
2日	109 18.6	96 88.1	1 0.9	-	11 10.1	1 0.9	-	-
3日	54 9.2	50 92.6	-	-	4 7.4	-	-	-
4日	32 5.5	28 87.5	-	1 3.1	3 9.4	-	-	-
5日	50 8.5	44 88.0	-	-	4 8.0	1 2.0	1 2.0	-
6日	14 2.4	12 85.7	-	-	1 7.1	-	1 7.1	-
7日	31 5.3	26 83.9	-	-	4 12.9	1 3.2	-	-
8日	2 0.3	2 100.0	-	-	-	-	-	-
9日	-	-	-	-	-	-	-	-
10日	28 4.8	27 96.4	-	-	1 3.6	-	-	-
15日未満	10 1.7	10 100.0	-	-	-	-	-	-
30日未満	8 1.4	8 100.0	-	-	-	-	-	-
30日以上	17 2.9	17 100.0	-	-	-	-	-	-
無回答	43 7.3	22 51.2	1 2.3	-	14 32.6	4 9.3	2 4.7	-

9 小学校就学後の放課後の過ごし方

問 26 宛名のお子さんが5歳以上小学校就学前の場合、小学校低学年及び小学校高学年になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、宛名のお子さんが小学校低学年の場合、小学校低学年の時期の放課後及び小学校高学年になった場合の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてを選択し、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でお書きください。なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に24時間制でお書きください。

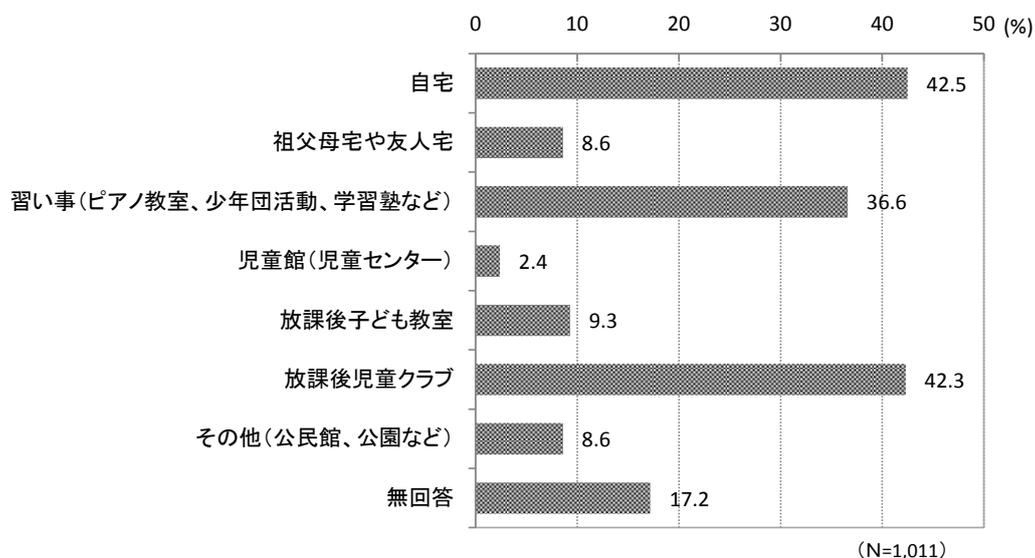
※宛名のお子さんが5歳以上、小学3年生以下である方を対象。

● 放課後の時間に過ごさせたい場所について

(1) 小学校低学年（1～3年生）

➤ 放課後の時間に過ごさせたい場所（複数回答）

「自宅」が42.5%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が42.3%である。

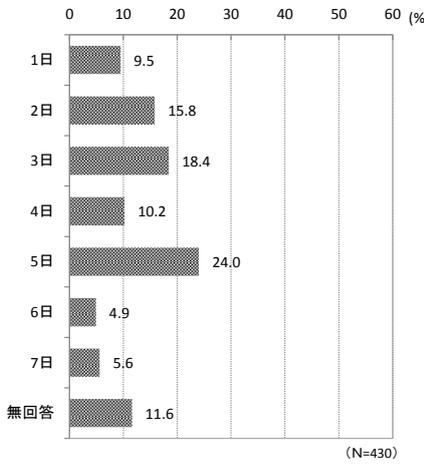


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自宅	430	42.5
2	祖父母宅や友人宅	87	8.6
3	習い事(ピアノ教室、少年団活動、学習塾など)	370	36.6
4	児童館(児童センター)	24	2.4
5	放課後子ども教室	94	9.3
6	放課後児童クラブ	428	42.3
7	その他(公民館、公園など)	87	8.6
	無回答	174	17.2
	N (%ベース)	1011	100

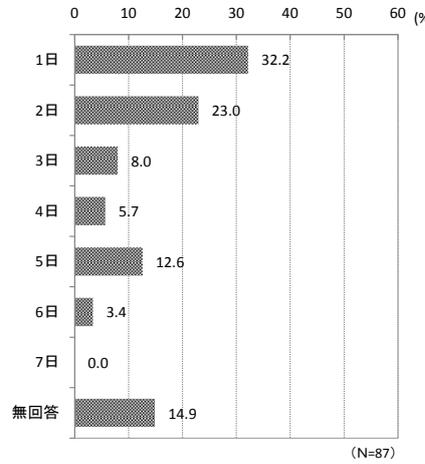
➤ 放課後過ごさせたい場所と1週間当たりの日数

放課後過ごさせたい場所として割合が高かった「自宅」・「放課後児童クラブ」の最も多い希望日数として、「自宅」の「5日」が24.0%、「放課後児童クラブ」の「5日」が38.1%である。

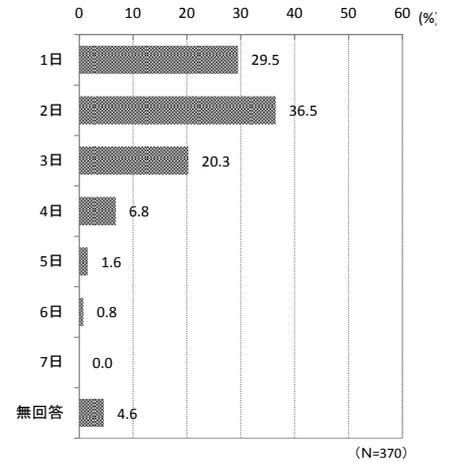
➤ 自宅



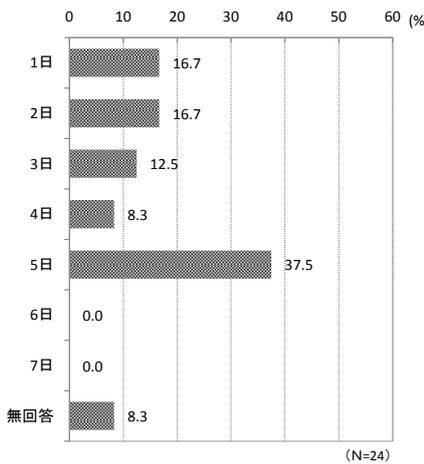
➤ 祖父母宅や友人宅



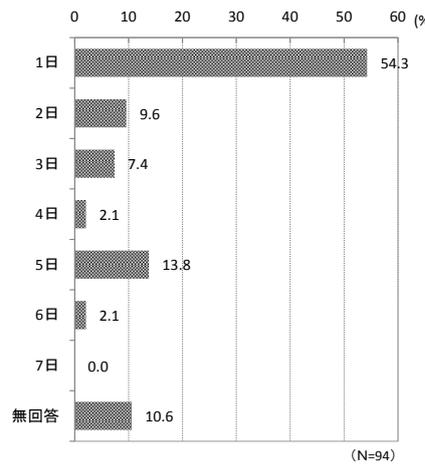
➤ 習い事



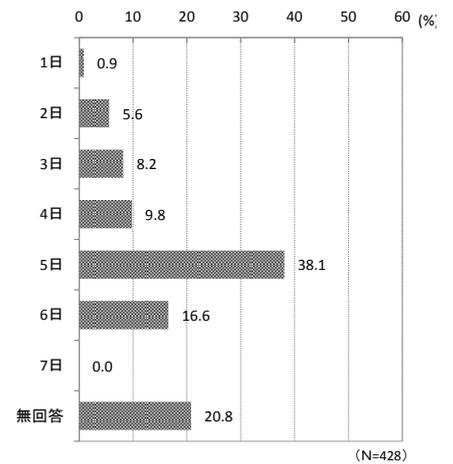
➤ 児童館



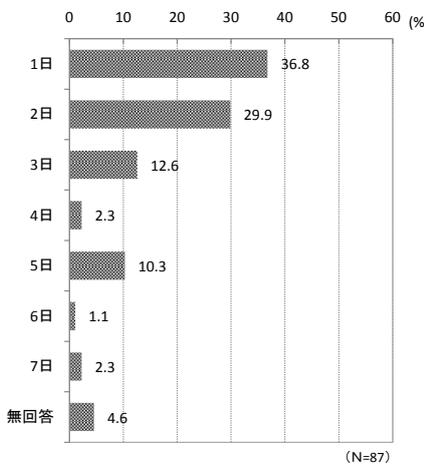
➤ 放課後子ども教室



➤ 放課後児童クラブ



➤ その他

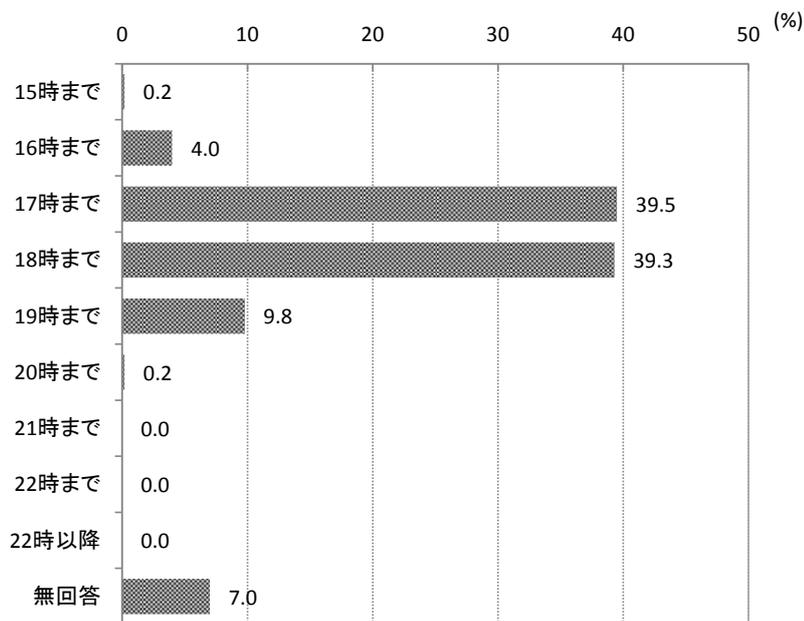


➤ 放課後過ごさせたい場所×放課後を過ごす1週間当たりの日数（泊数）

	上段:度数 下段:%	N (合計)	放課後を過ごす1週間当たりの日数							無回答
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
放課後を 過ごさせ たい場所	全体	1011	269	286	217	122	314	101	26	185
		100.0	26.6	28.3	21.5	12.1	31.1	10.0	2.6	18.3
	自宅	430	41	68	79	44	103	21	24	50
		100.0	9.5	15.8	18.4	10.2	24.0	4.9	5.6	11.6
	祖父母宅や友人宅	87	28	20	7	5	11	3	-	13
		100.0	32.2	23.0	8.0	5.7	12.6	3.4	-	14.9
	習い事(ピアノ教室、少年団活動、学習塾など)	370	109	135	75	25	6	3	-	17
		100.0	29.5	36.5	20.3	6.8	1.6	0.8	-	4.6
	児童館(児童センター)	24	4	4	3	2	9	-	-	2
		100.0	16.7	16.7	12.5	8.3	37.5	-	-	8.3
放課後子ども教室	94	51	9	7	2	13	2	-	10	
	100.0	54.3	9.6	7.4	2.1	13.8	2.1	-	10.6	
放課後児童クラブ	428	4	24	35	42	163	71	-	89	
	100.0	0.9	5.6	8.2	9.8	38.1	16.6	-	20.8	
その他(公民館、公園など)	87	32	26	11	2	9	1	2	4	
	100.0	36.8	29.9	12.6	2.3	10.3	1.1	2.3	4.6	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

➤ 放課後児童クラブの利用希望終了時刻

「17時まで」が39.5%と最も多く、次いで「18時まで」が39.3%である。



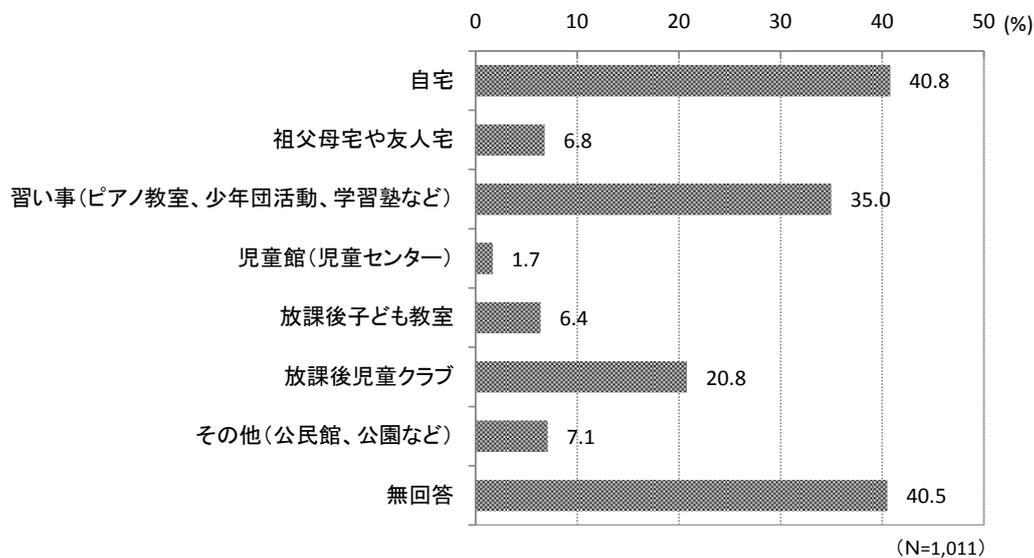
(N=428)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15時まで	1	0.2
2	16時まで	17	4.0
3	17時まで	169	39.5
4	18時まで	168	39.3
5	19時まで	42	9.8
6	20時まで	1	0.2
7	21時まで	0	0.0
8	22時まで	0	0.0
9	22時以降	0	0.0
	無回答	30	7.0
	N (%ベース)	428	100

(2) 小学校高学年（4～6年生）

➤ 放課後過ごさせたい場所（複数回答）

「自宅」が40.8%と最も多く、次いで「習い事」が35.0%である。

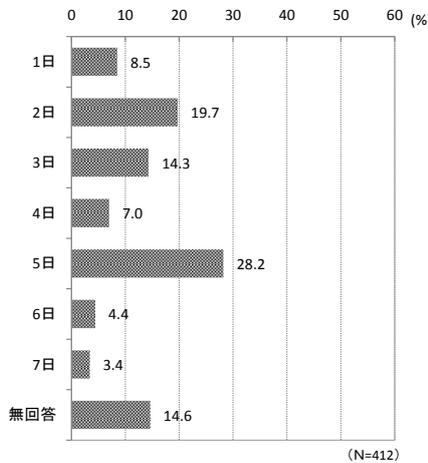


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自宅	412	40.8
2	祖父母宅や友人宅	69	6.8
3	習い事(ピアノ教室、少年団活動、学習塾など)	354	35.0
4	児童館(児童センター)	17	1.7
5	放課後子ども教室	65	6.4
6	放課後児童クラブ	210	20.8
7	その他(公民館、公園など)	72	7.1
	無回答	409	40.5
	N (%ベース)	1011	100

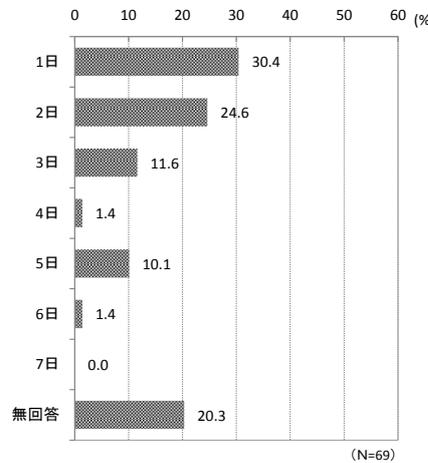
➤ 放課後過ごさせたい場所と1週間当たりの日数

放課後過ごさせたい場所として割合が高かった「自宅」・「習い事」の最も多い希望日数として、「自宅」の「5日」が28.2%で、「習い事」の「2日」が37.0%である。

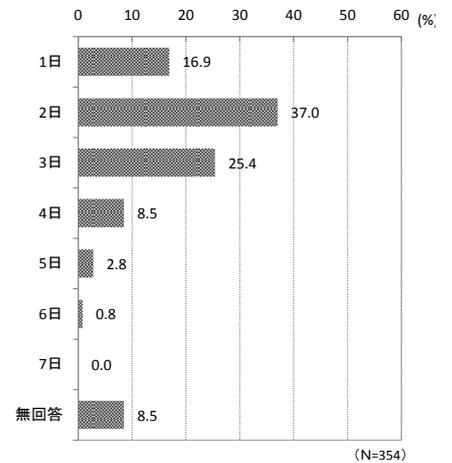
➤ 自宅



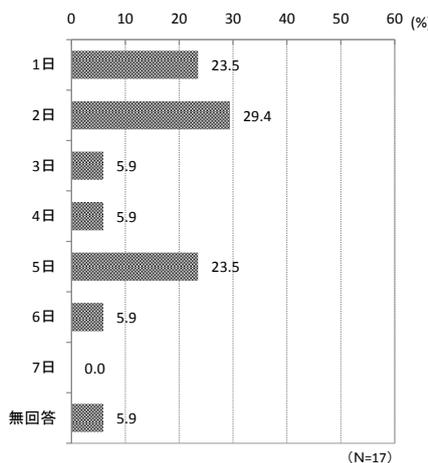
➤ 祖父母宅や友人宅



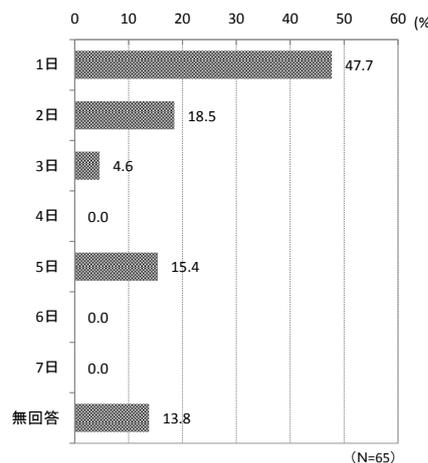
➤ 習い事



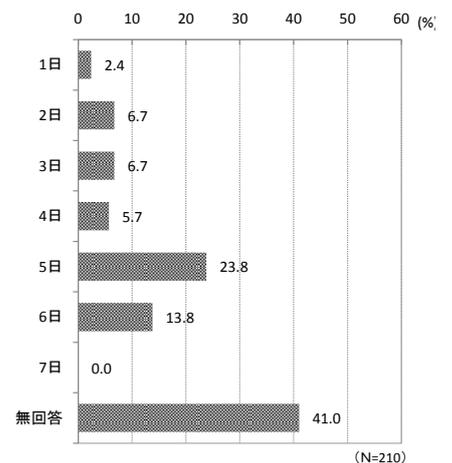
➤ 児童館



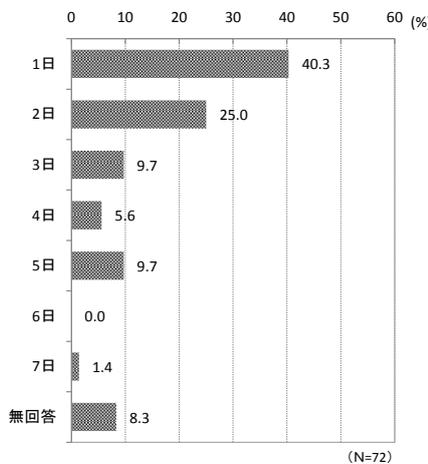
➤ 放課後子ども教室



➤ 放課後児童クラブ



➤ その他

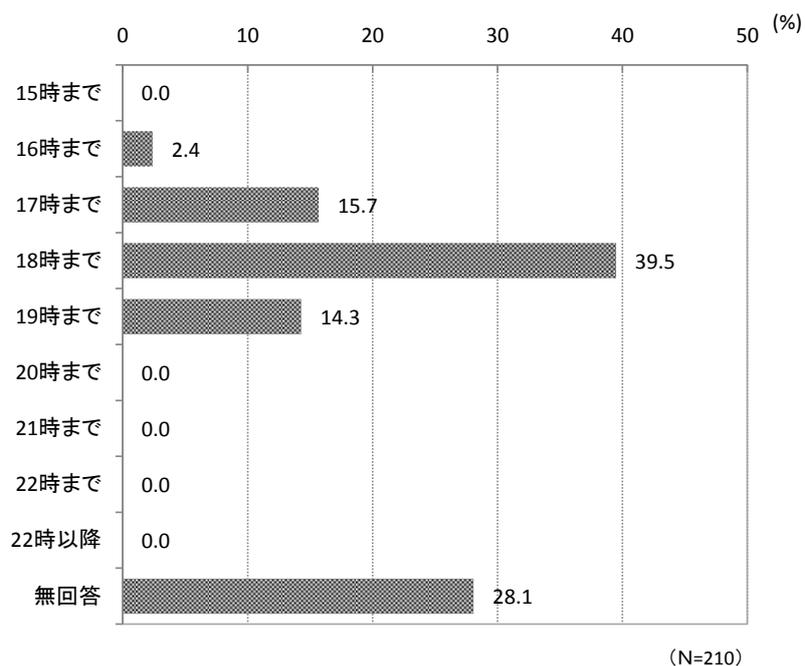


➤ 放課後を過ごす1週間当たりの日数×放課後過ごさせたい場所

	上段:度数 下段:%	N (合計)	放課後を過ごす1週間当たりの日数							無回答
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
放 課 後 過 ご さ せ た い 場 所	全体	1011 100.0	185 18.3	278 27.5	182 18.0	77 7.6	204 20.2	52 5.1	15 1.5	206 20.4
	自宅	412 100.0	35 8.5	81 19.7	59 14.3	29 7.0	116 28.2	18 4.4	14 3.4	60 14.6
	祖父母宅や友人宅	69 100.0	21 30.4	17 24.6	8 11.6	1 1.4	7 10.1	1 1.4	-	14 20.3
	習い事(ピアノ教室、少年団 活動、学習塾など)	354 100.0	60 16.9	131 37.0	90 25.4	30 8.5	10 2.8	3 0.8	-	30 8.5
	児童館(児童センター)	17 100.0	4 23.5	5 29.4	1 5.9	1 5.9	4 23.5	1 5.9	-	1 5.9
	放課後子ども教室	65 100.0	31 47.7	12 18.5	3 4.6	-	10 15.4	-	-	9 13.8
	放課後児童クラブ	210 100.0	5 2.4	14 6.7	14 6.7	12 5.7	50 23.8	29 13.8	-	86 41.0
	その他(公民館、公園など)	72 100.0	29 40.3	18 25.0	7 9.7	4 5.6	7 9.7	-	1 1.4	6 8.3
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

➤ 放課後児童クラブの利用希望終了時刻

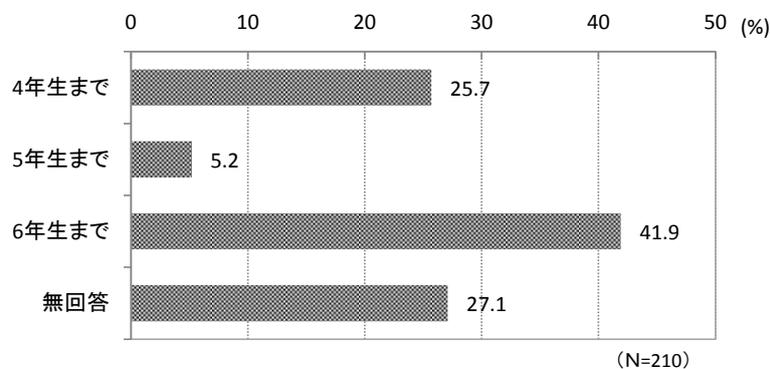
「18時まで」が39.5%と最も多く、次いで「17時まで」が15.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15時まで	0	0.0
2	16時まで	5	2.4
3	17時まで	33	15.7
4	18時まで	83	39.5
5	19時まで	30	14.3
6	20時まで	0	0.0
7	21時まで	0	0.0
8	22時まで	0	0.0
9	22時以降	0	0.0
	無回答	59	28.1
	N (%ベース)	210	100

➤ 放課後児童クラブの利用希望学年

「6年生まで」が41.9%と最も多く、次いで「4年生まで」が25.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4年生まで	54	25.7
2	5年生まで	11	5.2
3	6年生まで	88	41.9
	無回答	57	27.1
	N (%ベース)	210	100

問 27 宛名のお子さんについて、土曜日及び長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。小学校低学年及び小学校高学年のいずれか一方または両方について、当てはまる番号を選択してください。また、利用を希望する時間帯を、24 時間制でお書きください。なお、小学校高学年で、利用したいを選ばれた方は、あわせて、利用を希望する学年もお書きください。

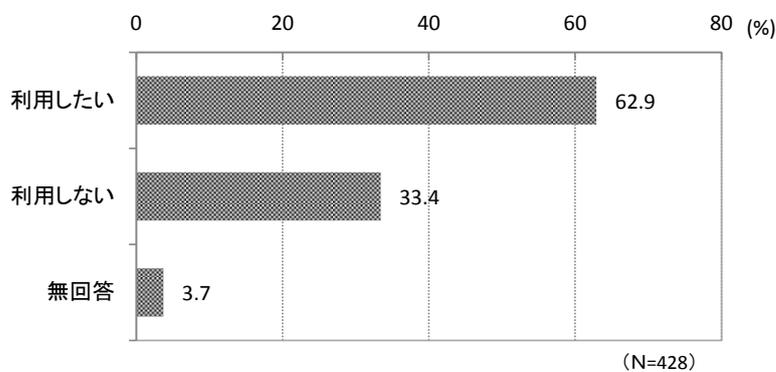
※問 26 で、「6. 放課後児童クラブ」を、選ばれた方を対象。

● 土曜日及び長期休暇中の利用希望について

(1) 小学校低学年（1～3年生）

➤ 土曜日の利用希望の有無について

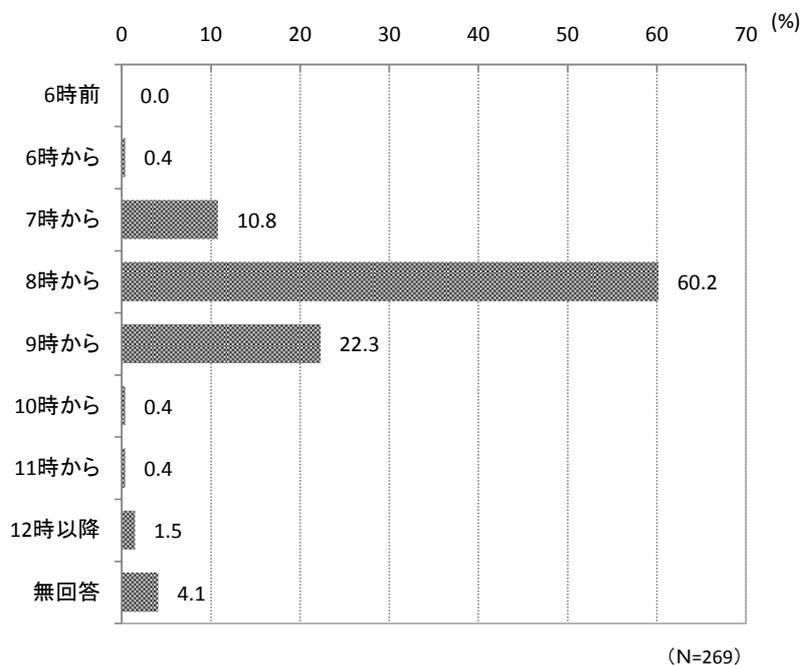
「利用したい」が 62.9%で、「利用しない」は 33.4%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用したい	269	62.9
2	利用しない	143	33.4
	無回答	16	3.7
	N (%ベース)	428	100

➤ 土曜日の利用希望開始時刻

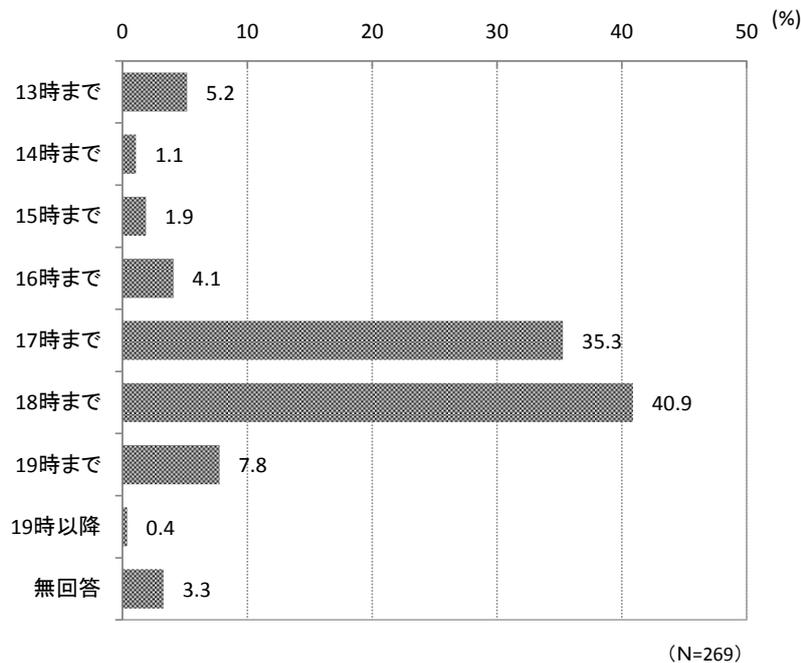
「8時から」が 60.2%と最も多く、次いで「9時から」が 22.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	0	0.0
2	6時から	1	0.4
3	7時から	29	10.8
4	8時から	162	60.2
5	9時から	60	22.3
6	10時から	1	0.4
7	11時から	1	0.4
8	12時以降	4	1.5
	無回答	11	4.1
	N (%ベース)	269	100

➤ 土曜日の利用希望終了時刻

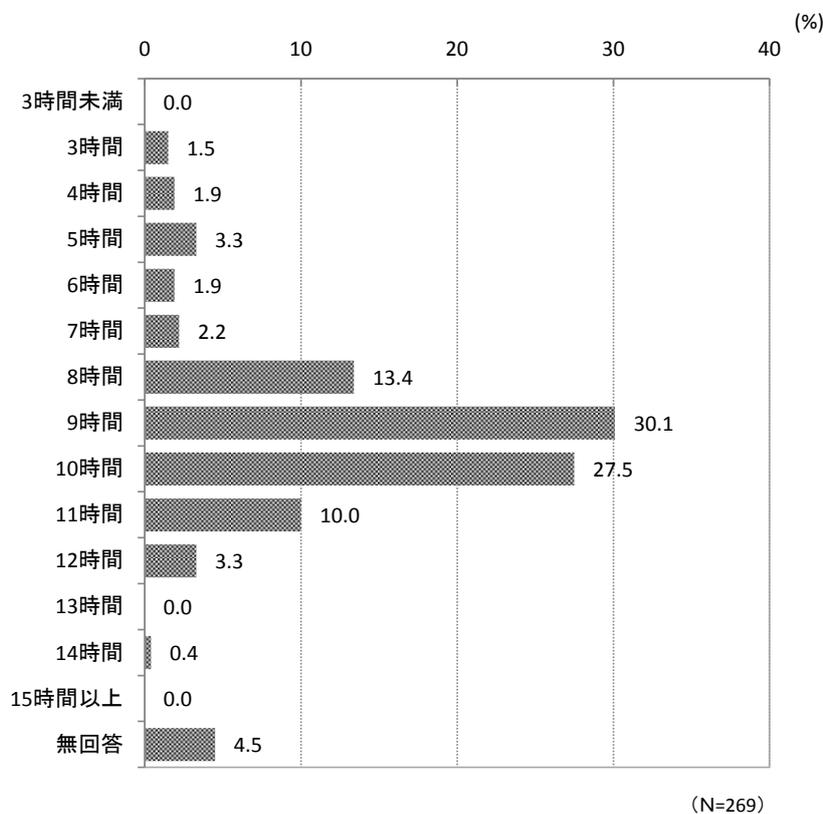
「18時まで」が40.9%と最も多く、次いで「17時まで」が35.3%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	13時まで	14	5.2
2	14時まで	3	1.1
3	15時まで	5	1.9
4	16時まで	11	4.1
5	17時まで	95	35.3
6	18時まで	110	40.9
7	19時まで	21	7.8
8	19時以降	1	0.4
	無回答	9	3.3
	N (%ベース)	269	100

➤ 土曜日の利用したい時間

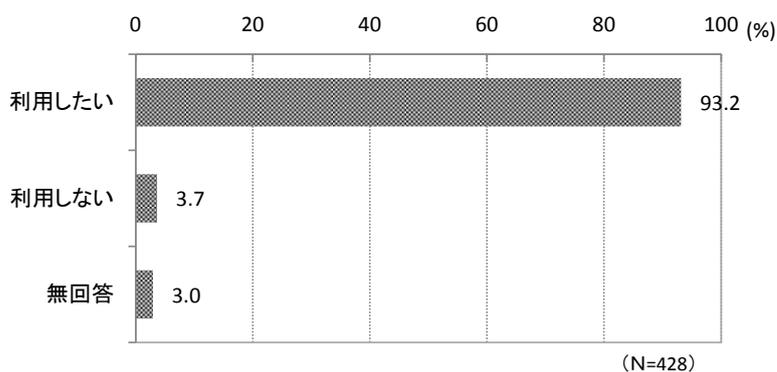
「9時間」が30.1%と最も多く、次いで「10時間」が27.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	0	0.0
2	3時間	4	1.5
3	4時間	5	1.9
4	5時間	9	3.3
5	6時間	5	1.9
6	7時間	6	2.2
7	8時間	36	13.4
8	9時間	81	30.1
9	10時間	74	27.5
10	11時間	27	10.0
11	12時間	9	3.3
12	13時間	0	0.0
13	14時間	1	0.4
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	12	4.5
	N (%ベース)	269	100

➤ 長期休暇中の利用希望の有無

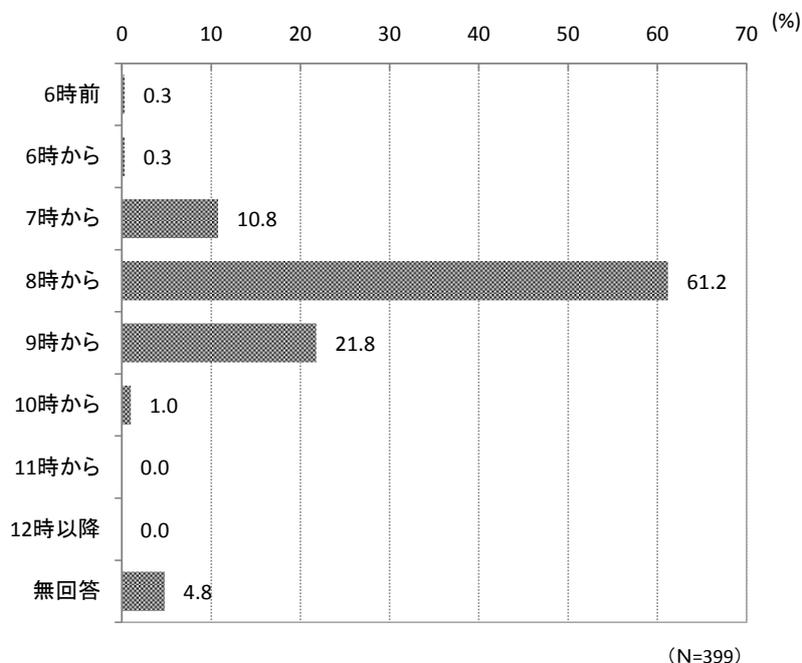
「利用したい」が93.2%で、「利用しない」は3.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用したい	399	93.2
2	利用しない	16	3.7
	無回答	13	3.0
	N (%ベース)	428	100

➤ 長期休暇中の利用希望開始時刻

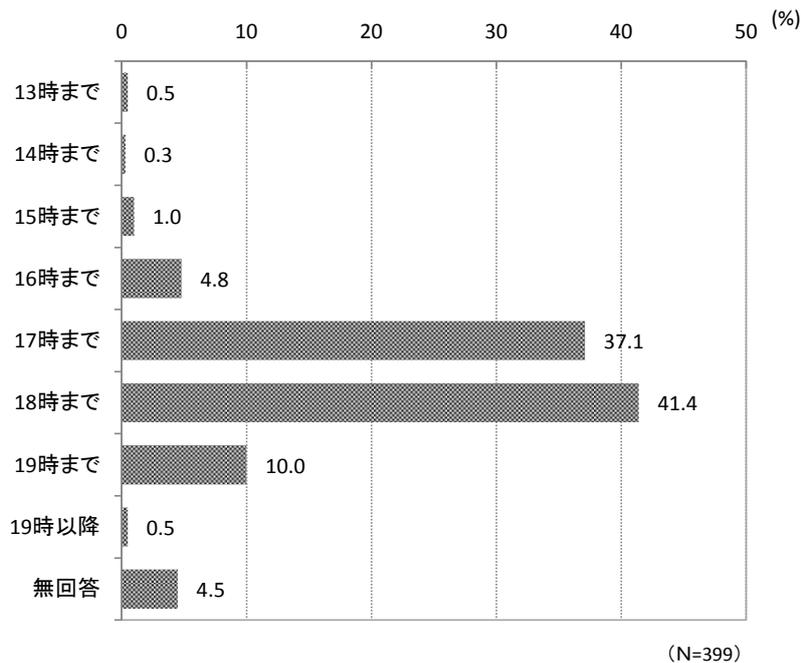
「8時から」が61.2%と最も多く、次いで「9時から」が21.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	1	0.3
2	6時から	1	0.3
3	7時から	43	10.8
4	8時から	244	61.2
5	9時から	87	21.8
6	10時から	4	1.0
7	11時から	0	0.0
8	12時以降	0	0.0
	無回答	19	4.8
	N (%ベース)	399	100

➤ 長期休暇中の利用希望終了時刻

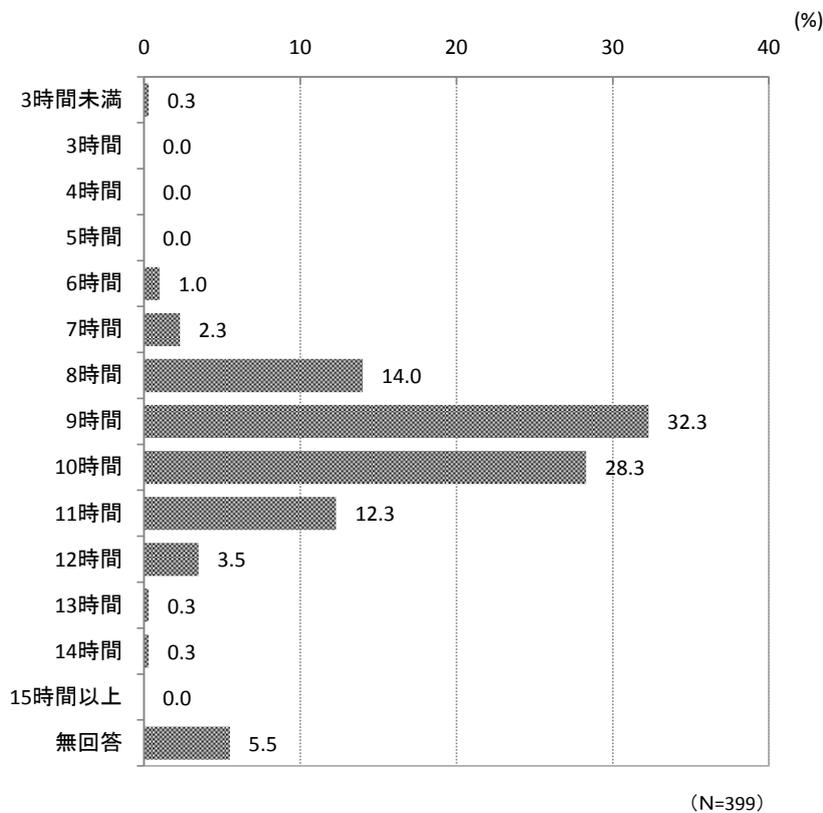
「18時まで」が41.4%と最も多く、次いで「17時まで」が37.1%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	13時まで	2	0.5
2	14時まで	1	0.3
3	15時まで	4	1.0
4	16時まで	19	4.8
5	17時まで	148	37.1
6	18時まで	165	41.4
7	19時まで	40	10.0
8	19時以降	2	0.5
	無回答	18	4.5
	N (%ベース)	399	100

➤ 長期休暇中の利用したい時間

「9時間」が32.3%と最も多く、次いで「10時間」が28.3%である。

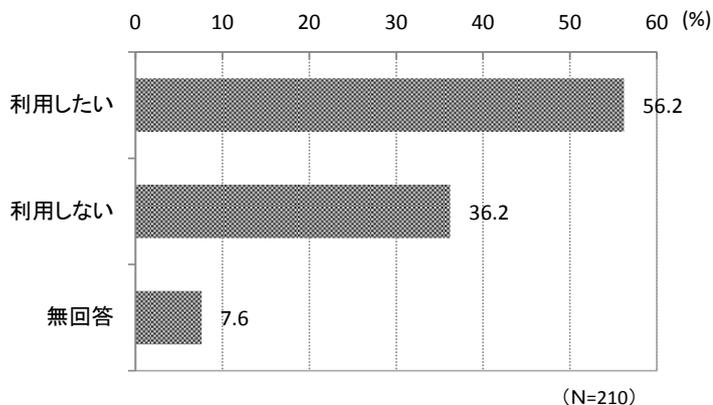


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	1	0.3
2	3時間	0	0.0
3	4時間	0	0.0
4	5時間	0	0.0
5	6時間	4	1.0
6	7時間	9	2.3
7	8時間	56	14.0
8	9時間	129	32.3
9	10時間	113	28.3
10	11時間	49	12.3
11	12時間	14	3.5
12	13時間	1	0.3
13	14時間	1	0.3
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	22	5.5
	N (%ベース)	399	100

(2) 小学校高学年（4～6年生）

➤ 土曜日の利用希望の有無

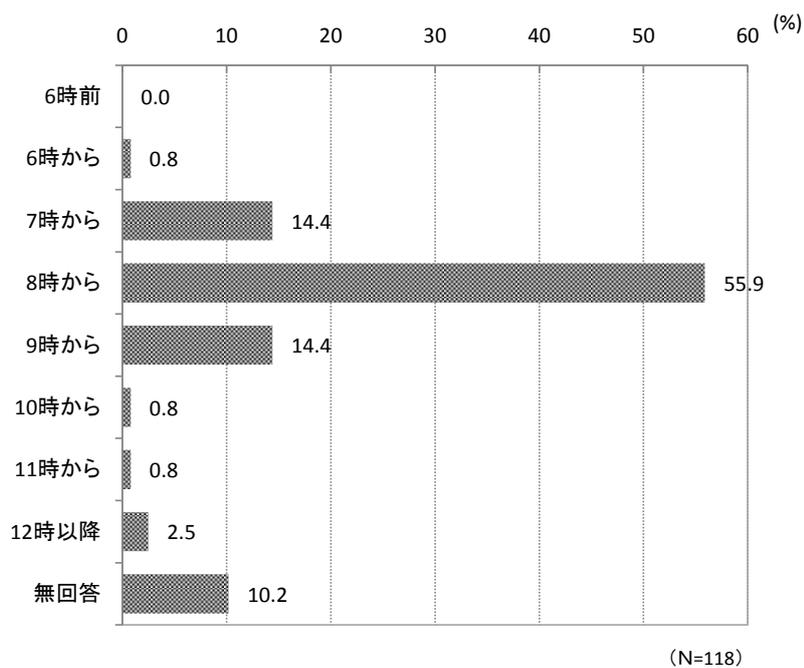
「利用したい」が56.2%で、「利用しない」は36.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用したい	118	56.2
2	利用しない	76	36.2
	無回答	16	7.6
	N (%ベース)	210	100

➤ 土曜日の利用希望開始時刻

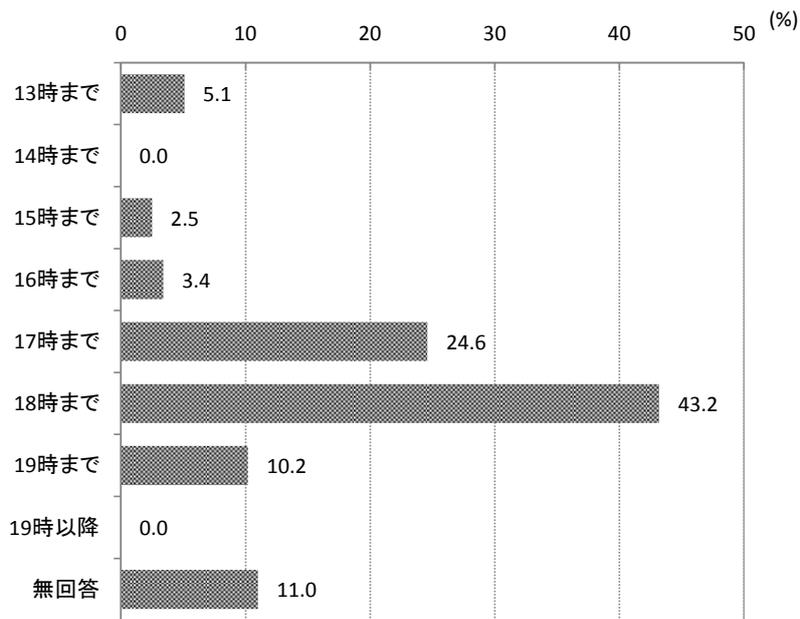
「8時」が55.9%と最も多く、次いで「7時から」と「9時から」が14.4%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	0	0.0
2	6時から	1	0.8
3	7時から	17	14.4
4	8時から	66	55.9
5	9時から	17	14.4
6	10時から	1	0.8
7	11時から	1	0.8
8	12時以降	3	2.5
	無回答	12	10.2
	N (%ベース)	118	100

➤ 土曜日の利用希望終了時刻

「18時まで」が43.2%と最も多く、次いで「17時まで」が24.6%である。

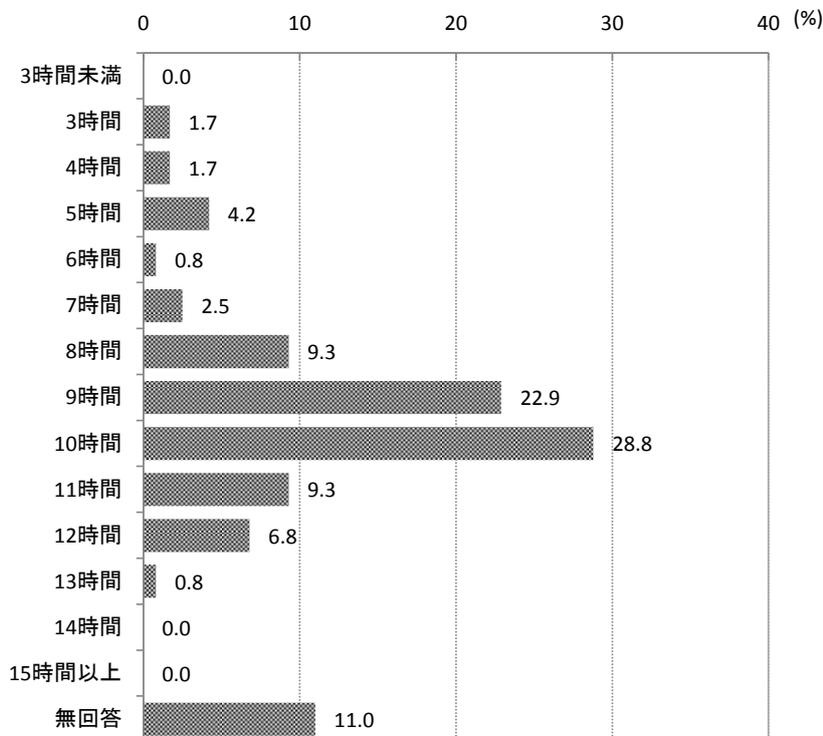


(N=118)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	13時まで	6	5.1
2	14時まで	0	0.0
3	15時まで	3	2.5
4	16時まで	4	3.4
5	17時まで	29	24.6
6	18時まで	51	43.2
7	19時まで	12	10.2
8	19時以降	0	0.0
	無回答	13	11.0
	N (%ベース)	118	100

➤ 土曜日の利用したい時間

「10時間」が28.8%と最も多く、次いで「9時間」が22.9%である。

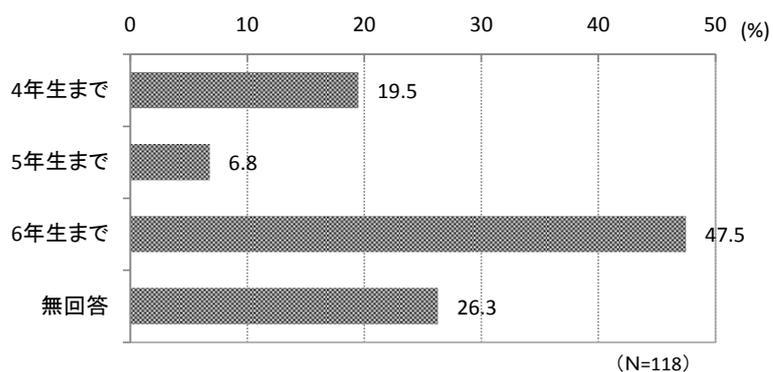


(N=118)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	0	0.0
2	3時間	2	1.7
3	4時間	2	1.7
4	5時間	5	4.2
5	6時間	1	0.8
6	7時間	3	2.5
7	8時間	11	9.3
8	9時間	27	22.9
9	10時間	34	28.8
10	11時間	11	9.3
11	12時間	8	6.8
12	13時間	1	0.8
13	14時間	0	0.0
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	13	11.0
	N (%ベース)	118	100

➤ 土曜日の利用希望学年

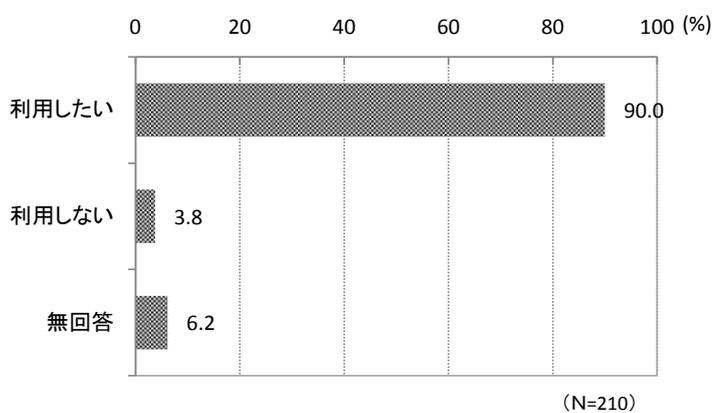
「6年生まで」が47.5%と最も多く、次いで「4年生まで」が19.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4年生まで	23	19.5
2	5年生まで	8	6.8
3	6年生まで	56	47.5
	無回答	31	26.3
	N (%ベース)	118	100

➤ 長期休暇中の利用希望の有無

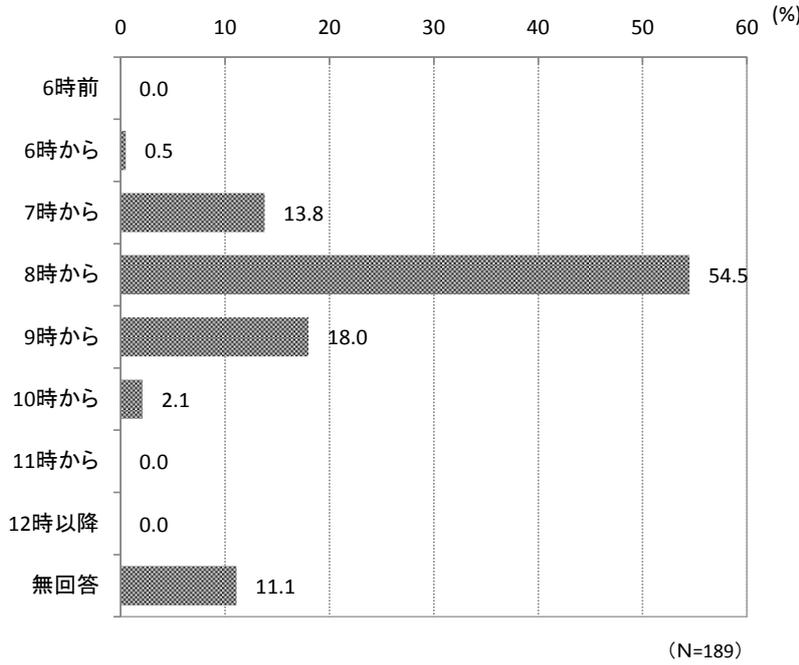
「利用したい」が90.0%で、「利用しない」は3.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用したい	189	90.0
2	利用しない	8	3.8
	無回答	13	6.2
	N (%ベース)	210	100

➤ 長期休暇中の利用希望開始時刻

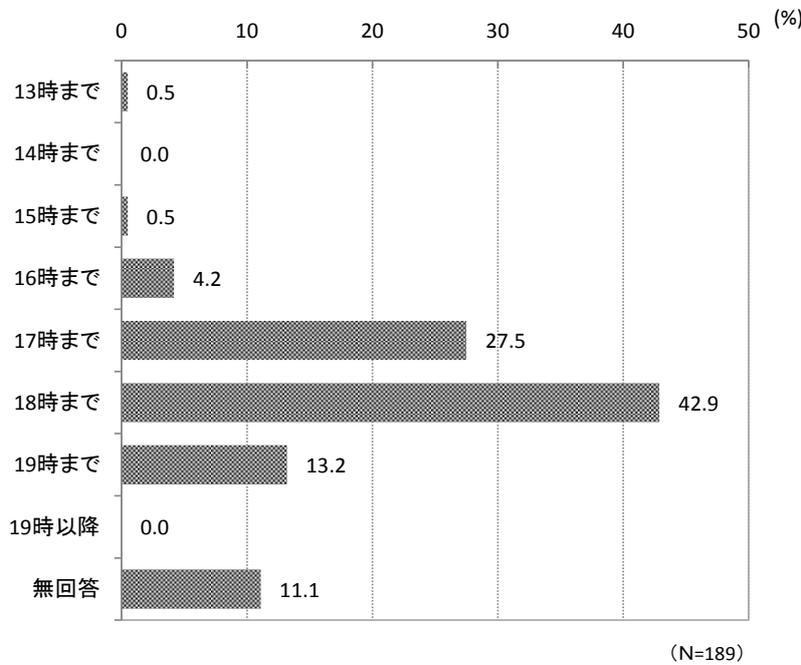
「8時から」が54.5%と最も多く、次いで「9時から」が18.0%、「7時から」が13.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	0	0.0
2	6時から	1	0.5
3	7時から	26	13.8
4	8時から	103	54.5
5	9時から	34	18.0
6	10時から	4	2.1
7	11時から	0	0.0
8	12時以降	0	0.0
	無回答	21	11.1
	N (%ベース)	189	100

➤ 長期休暇中の利用希望終了時刻

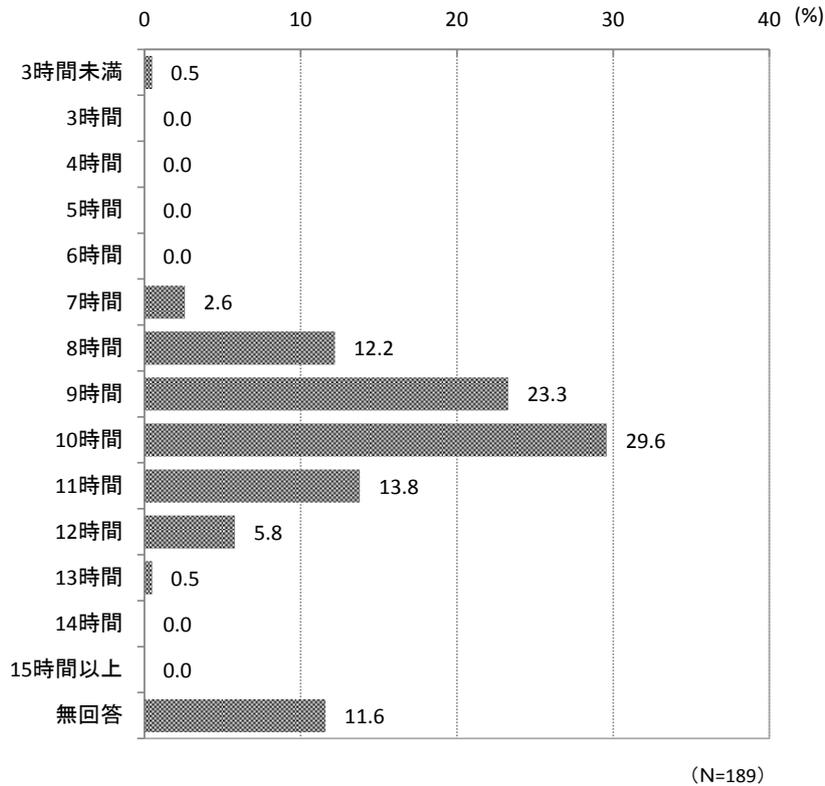
「18時まで」が42.9%と最も多く、次いで「17時まで」が27.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	13時まで	1	0.5
2	14時まで	0	0.0
3	15時まで	1	0.5
4	16時まで	8	4.2
5	17時まで	52	27.5
6	18時まで	81	42.9
7	19時まで	25	13.2
8	19時以降	0	0.0
	無回答	21	11.1
	N (%ベース)	189	100

➤ 長期休暇中の利用したい時間

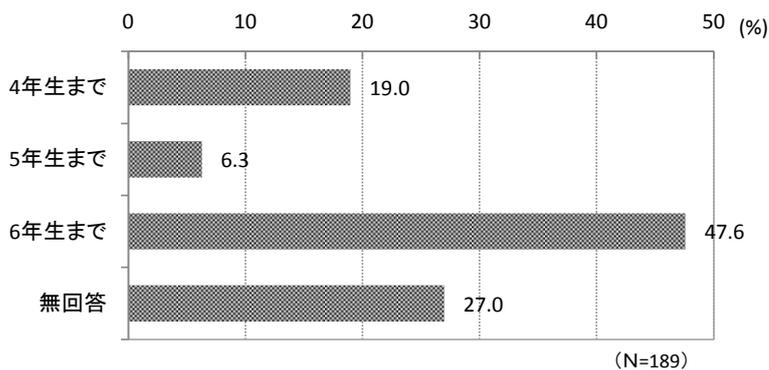
「10時間」が29.6%と最も多く、次いで「9時間」が23.3%、「8時間」が12.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	1	0.5
2	3時間	0	0.0
3	4時間	0	0.0
4	5時間	0	0.0
5	6時間	0	0.0
6	7時間	5	2.6
7	8時間	23	12.2
8	9時間	44	23.3
9	10時間	56	29.6
10	11時間	26	13.8
11	12時間	11	5.8
12	13時間	1	0.5
13	14時間	0	0.0
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	22	11.6
	N (%ベース)	189	100

➤ 長期休暇中の利用希望学年

「6年生まで」が47.6%と最も多く、次いで「4年生まで」が19.0%である。



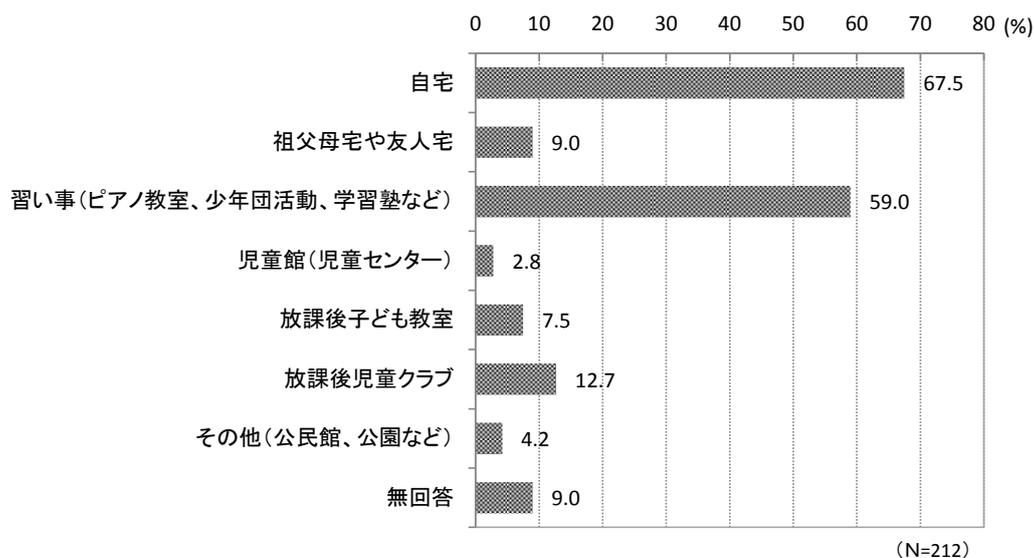
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4年生まで	36	19.0
2	5年生まで	12	6.3
3	6年生まで	90	47.6
	無回答	51	27.0
	N (%ベース)	189	100

問 28 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてを選択し、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でお書きください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に 24 時間制でお書きください。

※宛名のお子さんが小学 4 年生以上である方を対象。

➤ 放課後の時間に過ごさせたい場所（複数回答）

「自宅」が 67.5%と最も多く、次いで「習い事」が 59.0%である。

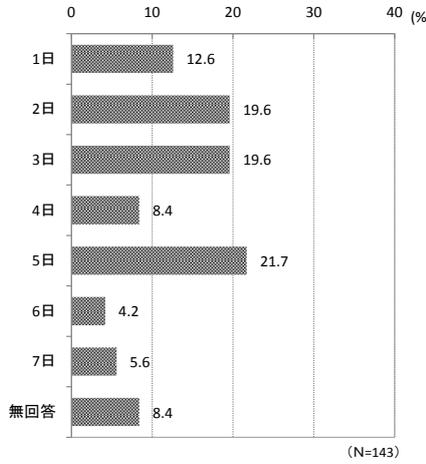


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自宅	143	67.5
2	祖父母宅や友人宅	19	9.0
3	習い事(ピアノ教室、少年団活動、学習塾など)	125	59.0
4	児童館(児童センター)	6	2.8
5	放課後子ども教室	16	7.5
6	放課後児童クラブ	27	12.7
7	その他(公民館、公園など)	9	4.2
	無回答	19	9.0
	N (%ベース)	212	100

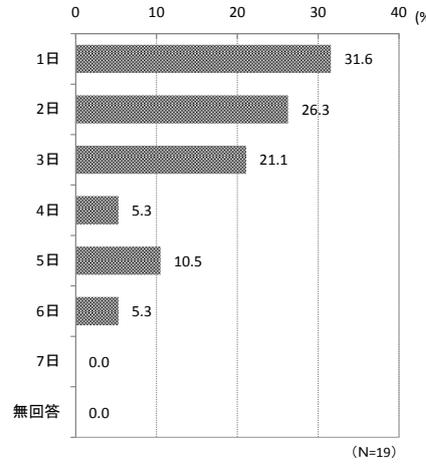
➤ 放課後過ごさせたい場所と1週間当たりの日数

放課後過ごさせたい場所として割合が高かった「自宅」・「習い事」の最も多い希望日数として、「自宅」の「5日」が21.7%で、「習い事」の「3日」が34.4%である。

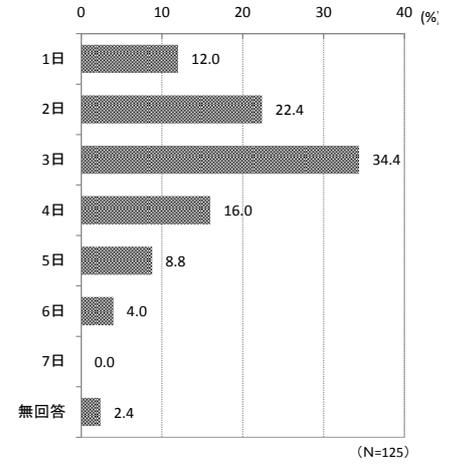
➤ 自宅



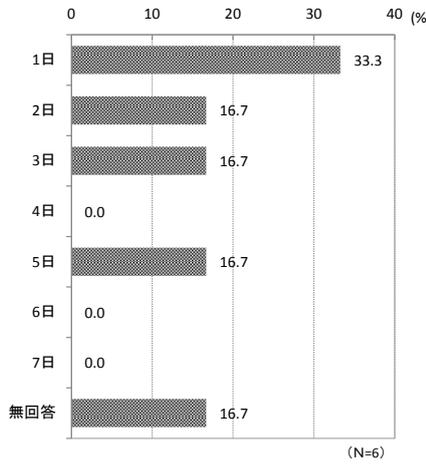
➤ 祖父母宅や友人宅



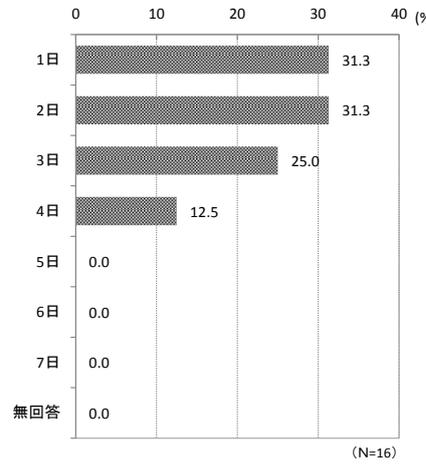
➤ 習い事



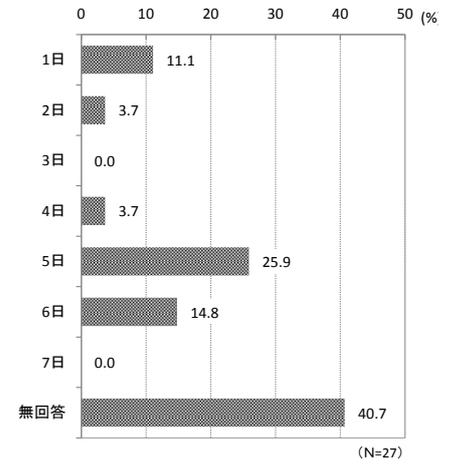
➤ 児童館



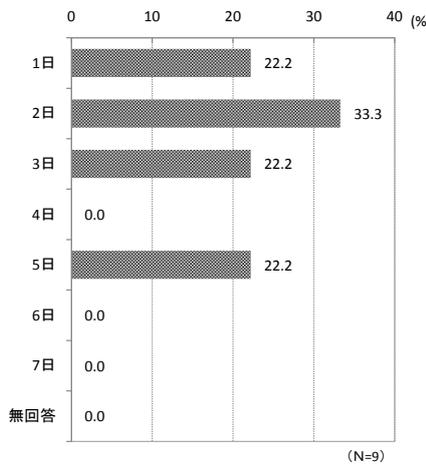
➤ 放課後子ども教室



➤ 放課後児童クラブ

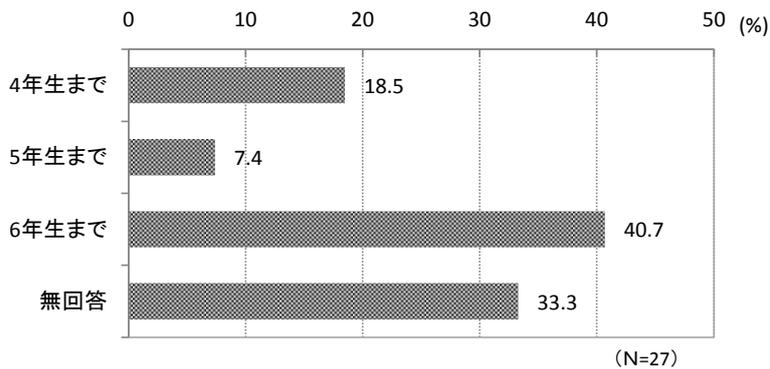


➤ その他



➤ 放課後児童クラブの利用希望学年

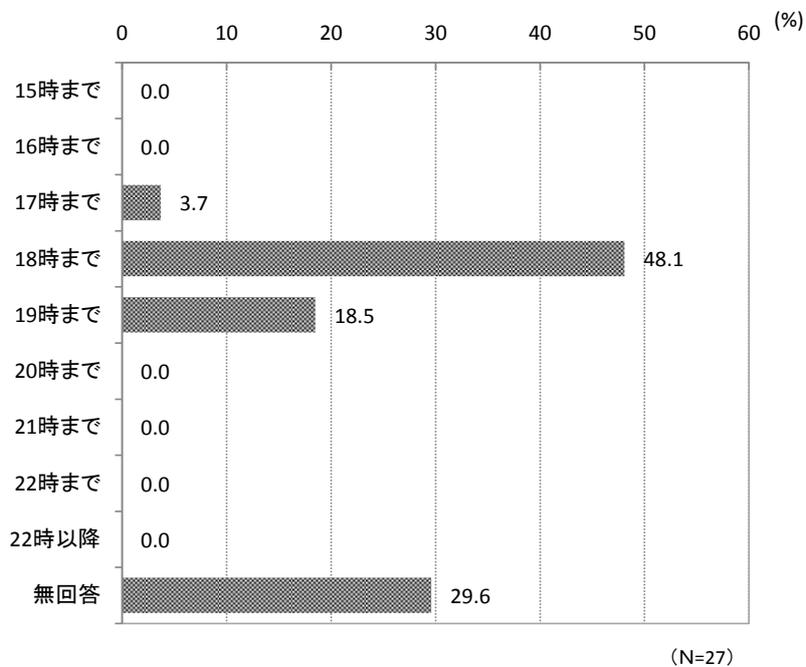
「6年生まで」が40.7%と最も多く、次いで「4年生まで」が18.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4年生まで	5	18.5
2	5年生まで	2	7.4
3	6年生まで	11	40.7
	無回答	9	33.3
	N (%ベース)	27	100

➤ 放課後児童クラブの利用希望終了時刻

「18時まで」が48.1%と最も多く、次いで「19時まで」が18.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15時まで	0	0.0
2	16時まで	0	0.0
3	17時まで	1	3.7
4	18時まで	13	48.1
5	19時まで	5	18.5
6	20時まで	0	0.0
7	21時まで	0	0.0
8	22時まで	0	0.0
9	22時以降	0	0.0
	無回答	8	29.6
	N (%ベース)	27	100

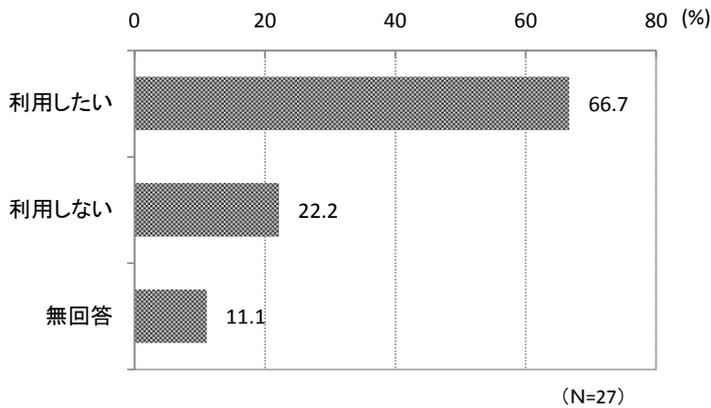
問 29 土曜日、長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つを選択してください。また、利用したい時間帯を 24 時間制でお書きください。なお、「利用したい」を選ばれた方は、あわせて利用を希望する学年もお書きください。

※問 28 で、「6. 放課後児童クラブ」を、選ばれた方を対象。

(1) 土曜日

➤ 土曜日の利用希望の有無

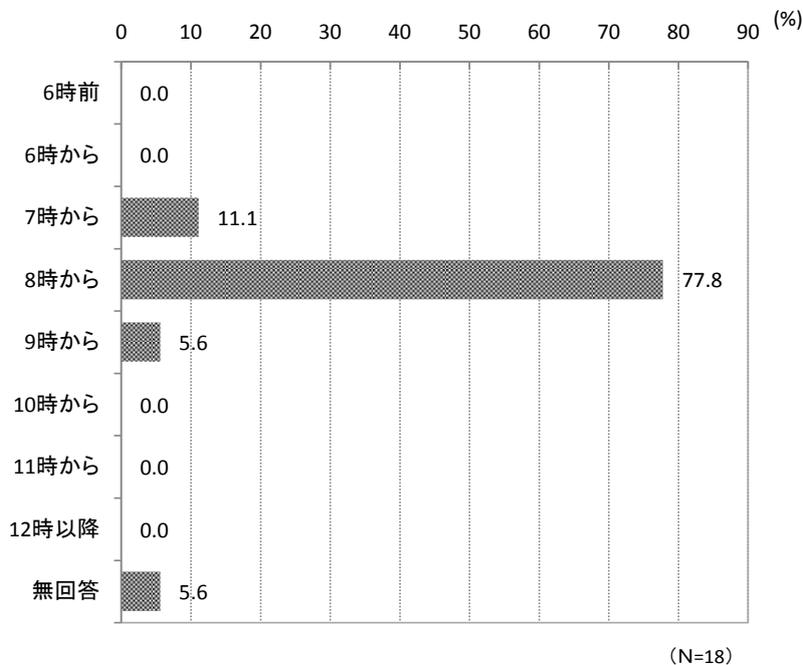
「利用したい」が 66.7%で、「利用しない」は 22.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用したい	18	66.7
2	利用しない	6	22.2
	無回答	3	11.1
	N (%ベース)	27	100

➤ 土曜日の利用希望開始時刻

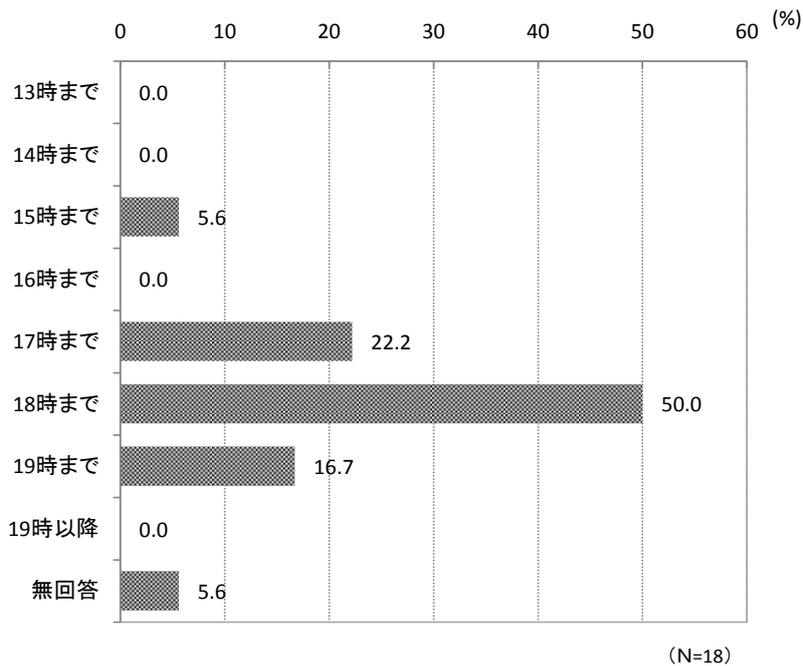
「8時から」が 77.8%と最も多く、次いで「7時から」が 11.1%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	0	0.0
2	6時から	0	0.0
3	7時から	2	11.1
4	8時から	14	77.8
5	9時から	1	5.6
6	10時から	0	0.0
7	11時から	0	0.0
8	12時以降	0	0.0
	無回答	1	5.6
	N (%ベース)	18	100

➤ 土曜日の利用希望終了時刻

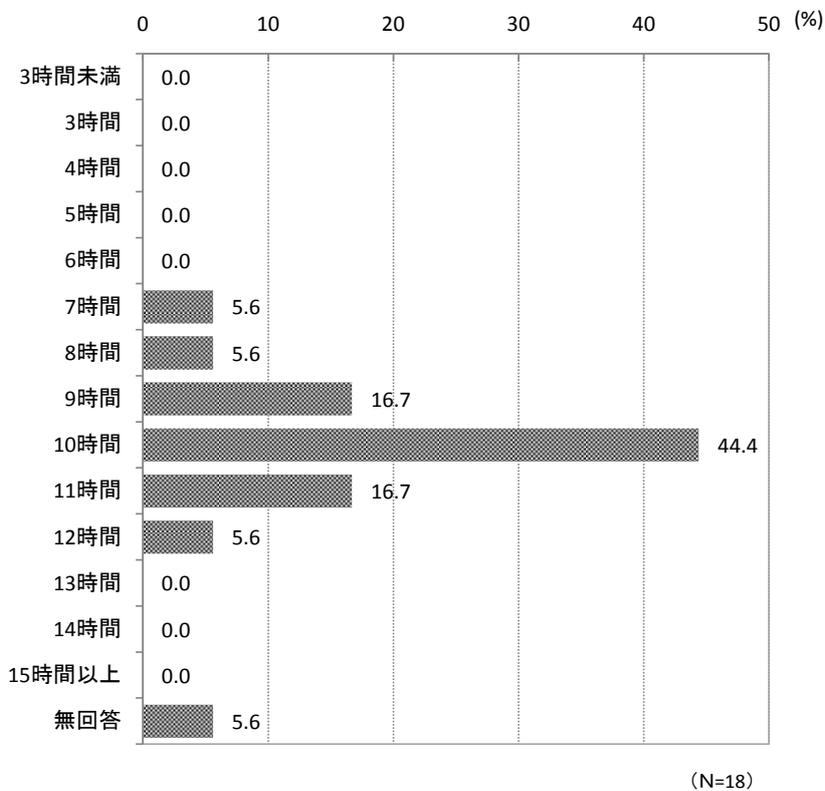
「18時まで」が50.0%と最も多く、次いで「17時まで」が22.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	13時まで	0	0.0
2	14時まで	0	0.0
3	15時まで	1	5.6
4	16時まで	0	0.0
5	17時まで	4	22.2
6	18時まで	9	50.0
7	19時まで	3	16.7
8	19時以降	0	0.0
	無回答	1	5.6
	N (%ベース)	18	100

➤ 土曜日の利用希望時間

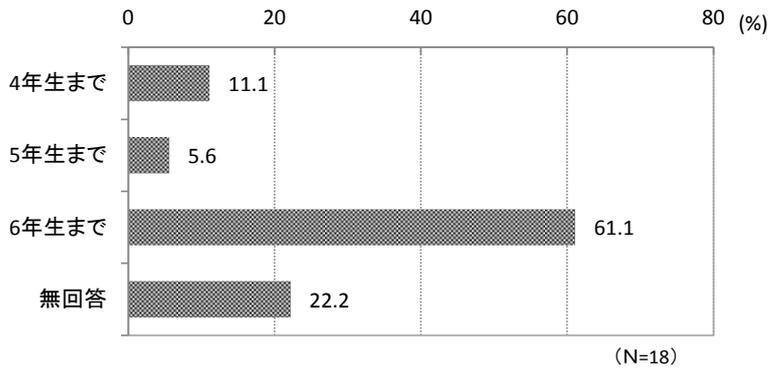
「10時間」が44.4%と最も多く、次いで「9時間」と「11時間」が16.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	0	0.0
2	3時間	0	0.0
3	4時間	0	0.0
4	5時間	0	0.0
5	6時間	0	0.0
6	7時間	1	5.6
7	8時間	1	5.6
8	9時間	3	16.7
9	10時間	8	44.4
10	11時間	3	16.7
11	12時間	1	5.6
12	13時間	0	0.0
13	14時間	0	0.0
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	1	5.6
	N (%ベース)	18	100

➤ 土曜日の利用希望学年

「6年生まで」が61.1%と最も多く、次いで「4年生まで」が11.1%である。

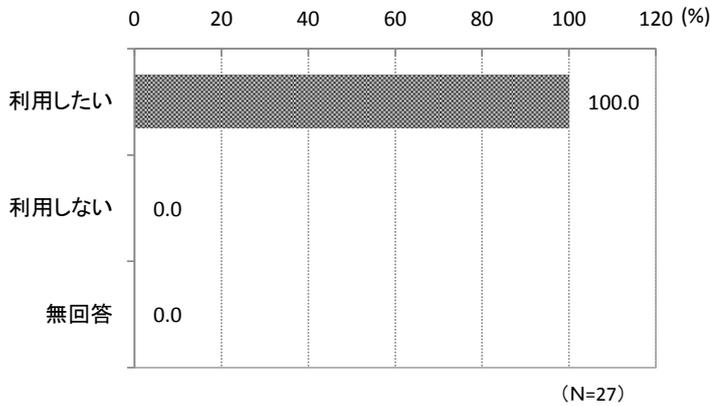


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4年生まで	2	11.1
2	5年生まで	1	5.6
3	6年生まで	11	61.1
	無回答	4	22.2
	N (%ベース)	18	100

(2) 長期休暇中

➤ 長期休暇中の利用希望の有無

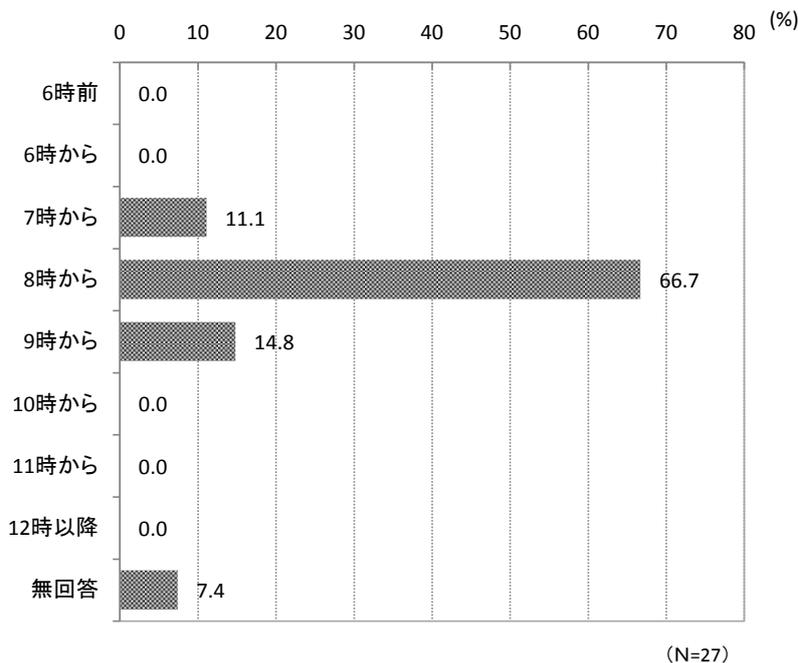
「利用したい」が100.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用したい	27	100.0
2	利用しない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	27	100

➤ 長期休暇中の利用希望開始時刻

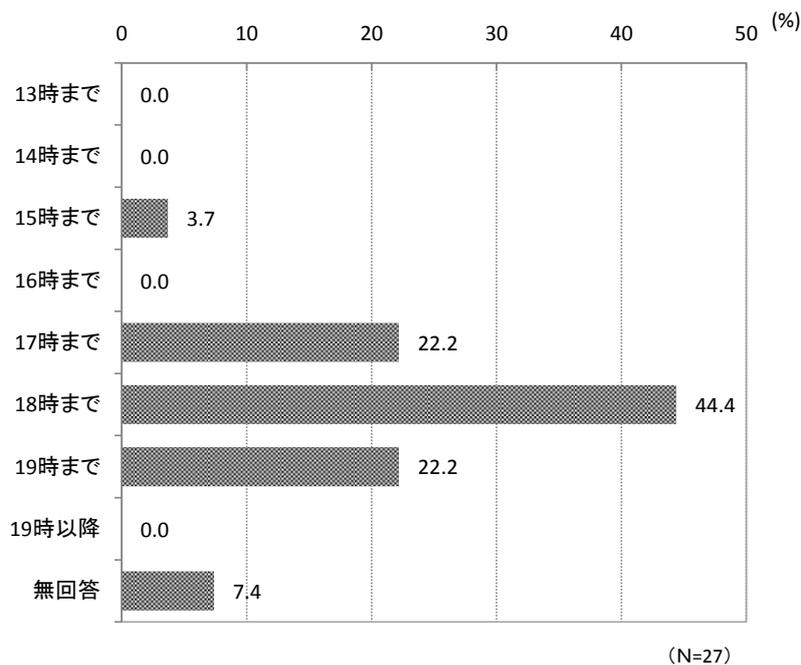
「8時から」が66.7%と最も多く、次いで「9時から」が14.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6時前	0	0.0
2	6時から	0	0.0
3	7時から	3	11.1
4	8時から	18	66.7
5	9時から	4	14.8
6	10時から	0	0.0
7	11時から	0	0.0
8	12時以降	0	0.0
	無回答	2	7.4
	N (%ベース)	27	100

➤ 長期休暇中の利用希望終了時刻

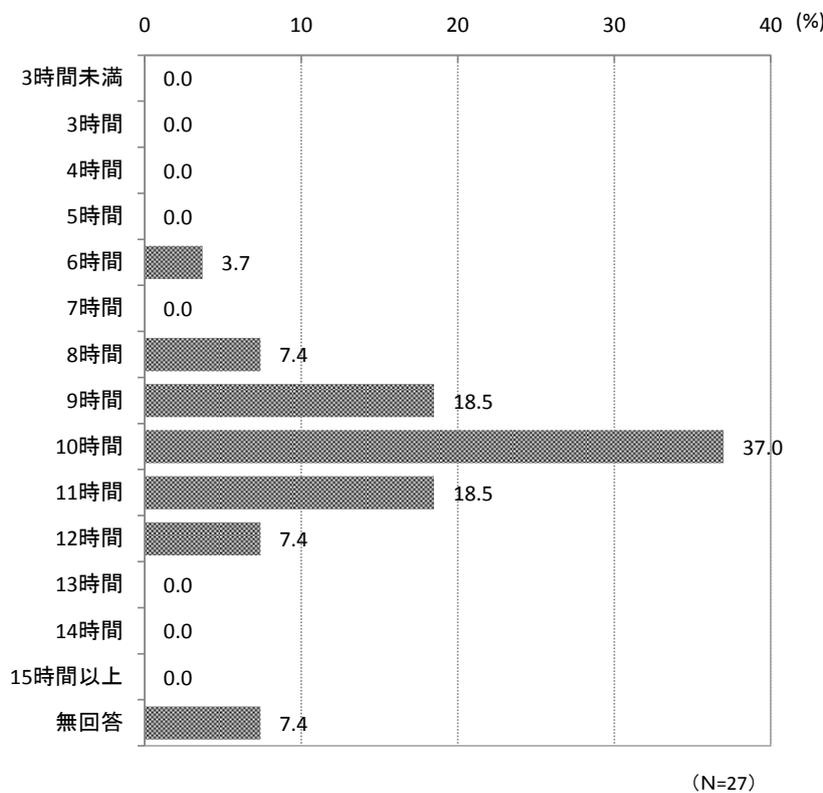
「18時まで」が44.4%と最も多く、次いで「17時まで」と「19時まで」が22.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	13時まで	0	0.0
2	14時まで	0	0.0
3	15時まで	1	3.7
4	16時まで	0	0.0
5	17時まで	6	22.2
6	18時まで	12	44.4
7	19時まで	6	22.2
8	19時以降	0	0.0
	無回答	2	7.4
	N (%ベース)	27	100

➤ 長期休暇中の利用希望時間

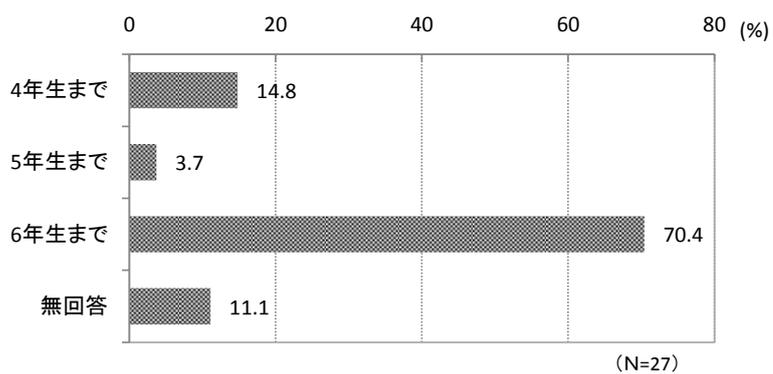
「10時間」が37.0%と最も多く、次いで「9時間」と「11時間」が18.5%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3時間未満	0	0.0
2	3時間	0	0.0
3	4時間	0	0.0
4	5時間	0	0.0
5	6時間	1	3.7
6	7時間	0	0.0
7	8時間	2	7.4
8	9時間	5	18.5
9	10時間	10	37.0
10	11時間	5	18.5
11	12時間	2	7.4
12	13時間	0	0.0
13	14時間	0	0.0
14	15時間以上	0	0.0
	無回答	2	7.4
	N (%ベース)	27	100

➤ 長期休暇中の利用希望学年

「6年生まで」が70.4%と最も多く、次いで「4年生まで」が14.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4年生まで	4	14.8
2	5年生まで	1	3.7
3	6年生まで	19	70.4
	無回答	3	11.1
	N (%ベース)	27	100

10 地域の子育て支援事業の利用状況

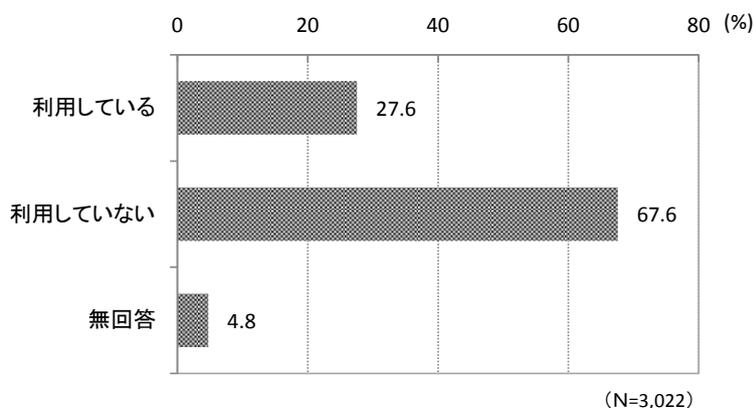
問 30 宛名のお子さんは、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。また、今後、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つを選択し、利用日数をお書きください。

※地域子育て支援拠点事業とは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受ける場で、「すこやか子育て交流館（りぼんかん）」や「つどいの広場」等があてはまりません。

(1) 現在の利用状況

● 現在の利用状況について

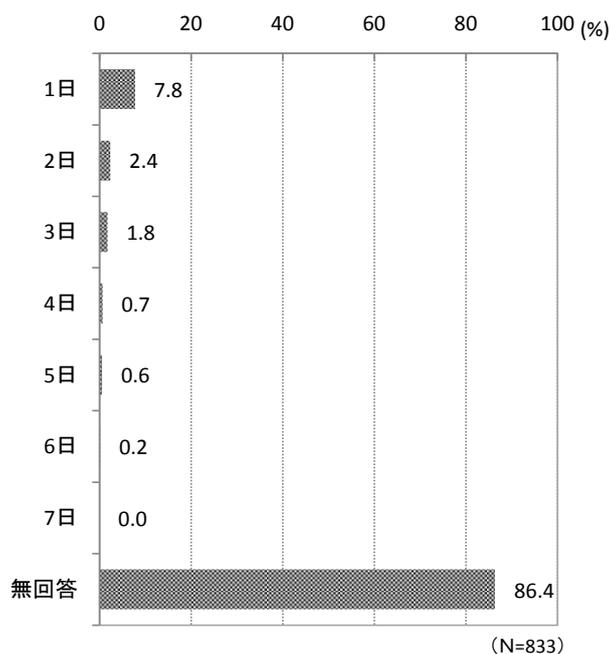
「利用している」は27.6%で、「利用していない」が67.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	利用している	833	27.6
2	利用していない	2044	67.6
	無回答	145	4.8
	N (%ベース)	3022	100

➤ 1週間あたり利用状況日数

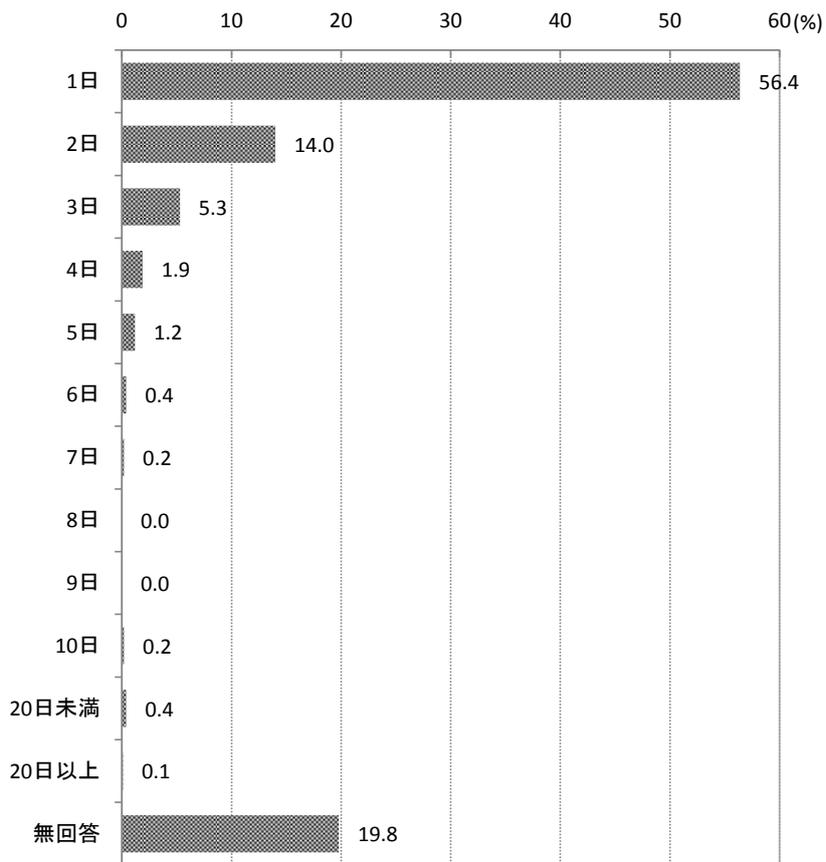
「1日」が7.8%と最も多く、次いで「2日」が2.4%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	65	7.8
2	2日	20	2.4
3	3日	15	1.8
4	4日	6	0.7
5	5日	5	0.6
6	6日	2	0.2
7	7日	0	0.0
	無回答	720	86.4
	N (%ベース)	833	100

➤ 1か月当たり利用状況日数

「1日」が56.4%と最も多く、次いで「2日」が14.0%である。



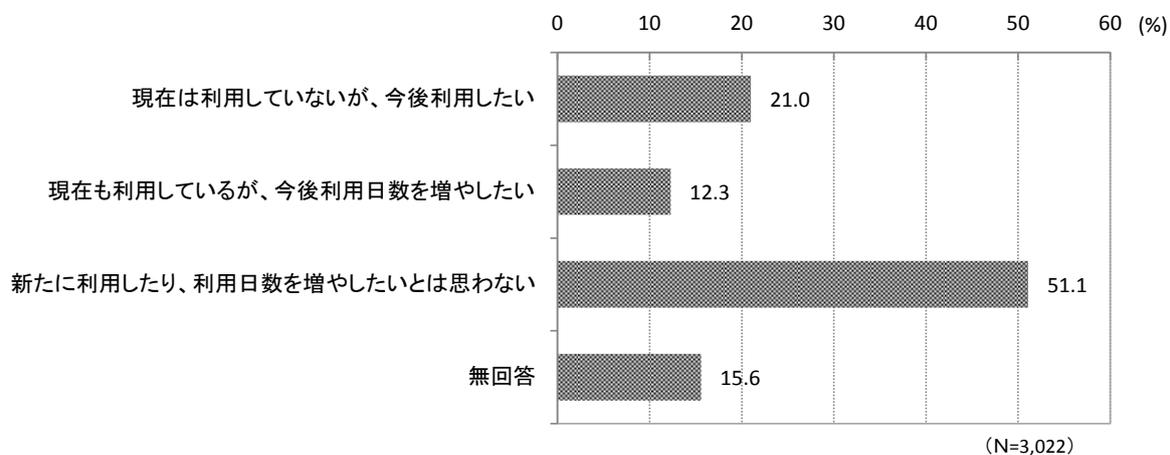
(N=833)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	470	56.4
2	2日	117	14.0
3	3日	44	5.3
4	4日	16	1.9
5	5日	10	1.2
6	6日	3	0.4
7	7日	2	0.2
8	8日	0	0.0
9	9日	0	0.0
10	10日	2	0.2
11	20日未満	3	0.4
12	20日以上	1	0.1
	無回答	165	19.8
	N (%ベース)	833	100

(2) 今後の利用希望

● 今後の利用希望について

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 51.1%と最も多く、次いで「現在は利用していないが、今後利用したい」が 21.0%である。

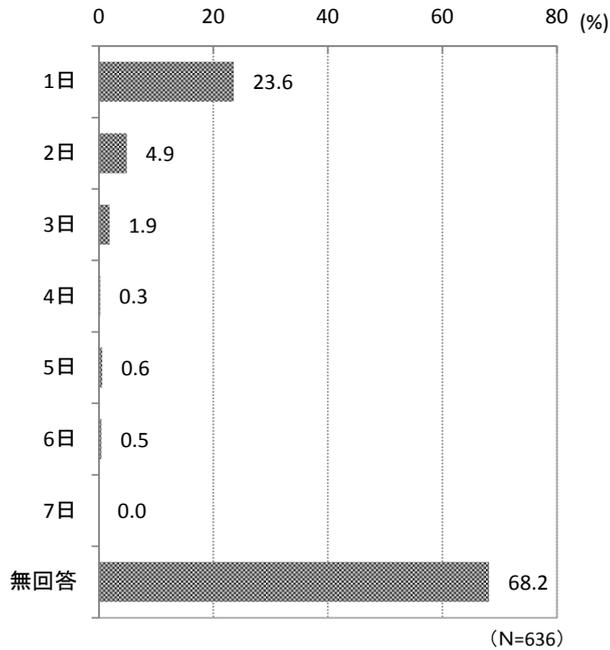


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現在は利用していないが、今後利用したい	636	21.0
2	現在も利用しているが、今後利用日数を増やしたい	372	12.3
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	1544	51.1
	無回答	470	15.6
	N (%ベース)	3022	100

□ 現在は利用していないが、今後利用したい。

➤ 地域子育て支援拠点事業の今後増やしたい1週間当たりの利用希望日数

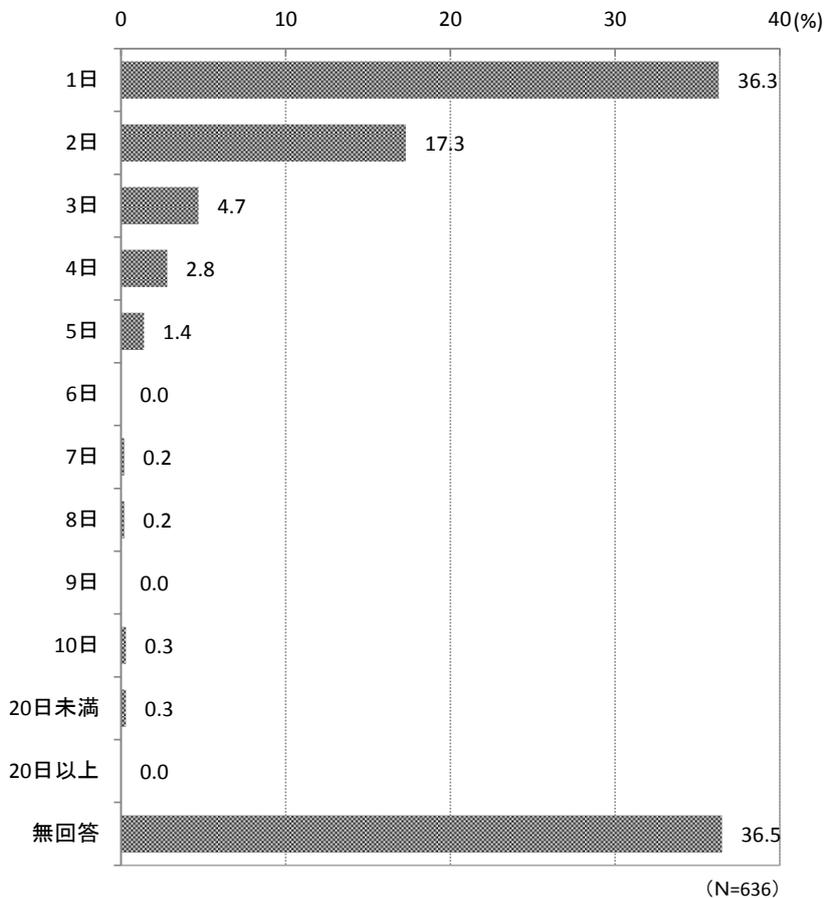
「1日」が23.6%と最も多く、次いで「2日」が4.9%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	150	23.6
2	2日	31	4.9
3	3日	12	1.9
4	4日	2	0.3
5	5日	4	0.6
6	6日	3	0.5
7	7日	0	0.0
	無回答	434	68.2
	N (%へ入)	636	100

➤ 地域子育て支援拠点事業の今後増やしたい1か月当たりの利用希望日数

「1日」が36.3%と最も多く、次いで「2日」が17.3%である。

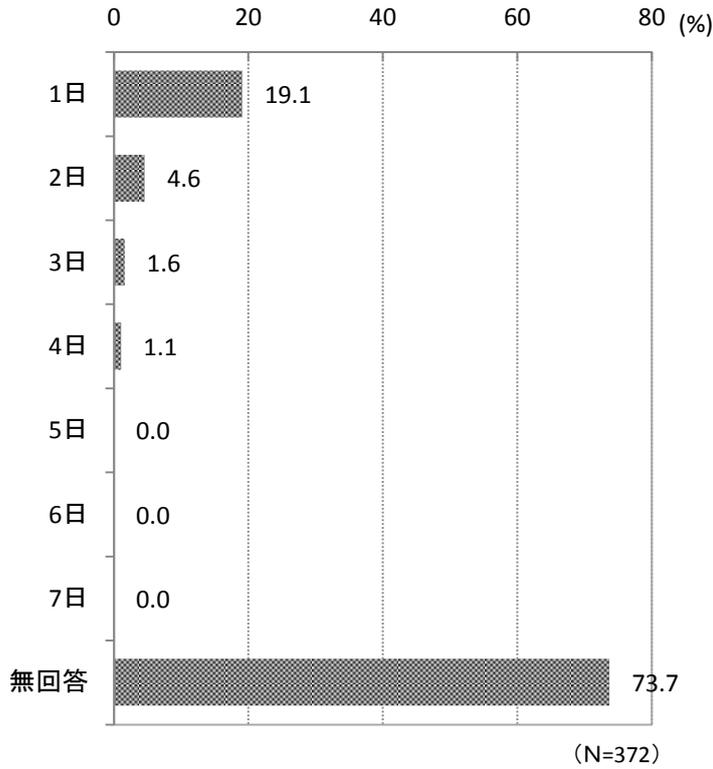


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	231	36.3
2	2日	110	17.3
3	3日	30	4.7
4	4日	18	2.8
5	5日	9	1.4
6	6日	0	0.0
7	7日	1	0.2
8	8日	1	0.2
9	9日	0	0.0
10	10日	2	0.3
11	20日未満	2	0.3
12	20日以上	0	0.0
	無回答	232	36.5
	N (%へ入)	636	100

□ 現在も利用しているが、今後利用日数を増やしたい。

➤ 地域子育て支援拠点事業の今後利用したい1週間当たりの利用希望日数

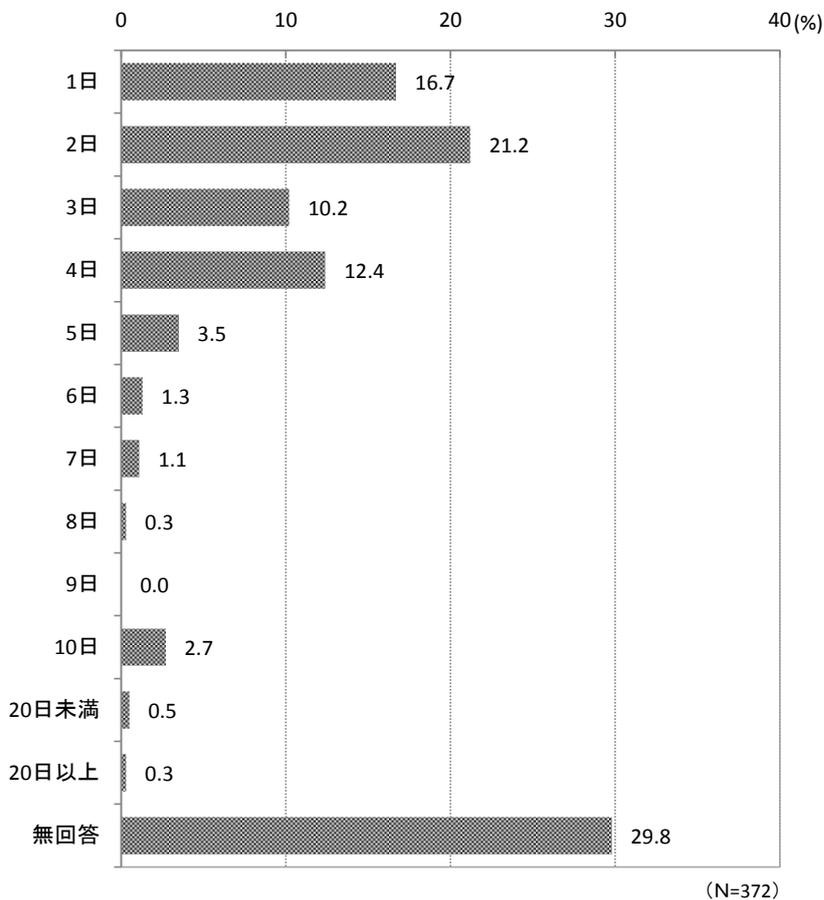
更に増やしたい日数として、「1日」が19.1%と最も多く、次いで「2日」が4.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	71	19.1
2	2日	17	4.6
3	3日	6	1.6
4	4日	4	1.1
5	5日	0	0.0
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	無回答	274	73.7
	N (%ベース)	372	100

➤ 地域子育て支援拠点事業の今後利用したい1か月当たりの利用希望日数

更に増やしたい日数として、「2日」が21.2%と最も多く、次いで「1日」が16.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1日	62	16.7
2	2日	79	21.2
3	3日	38	10.2
4	4日	46	12.4
5	5日	13	3.5
6	6日	5	1.3
7	7日	4	1.1
8	8日	1	0.3
9	9日	0	0.0
10	10日	10	2.7
11	20日未満	2	0.5
12	20日以上	1	0.3
	無回答	111	29.8
	N (%ベース)	372	100

問 31 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思
うものをお答えください。①～⑳の事業ごとに、それぞれの設問について、「はい」「いいえ」
のいずれかを選択してください。

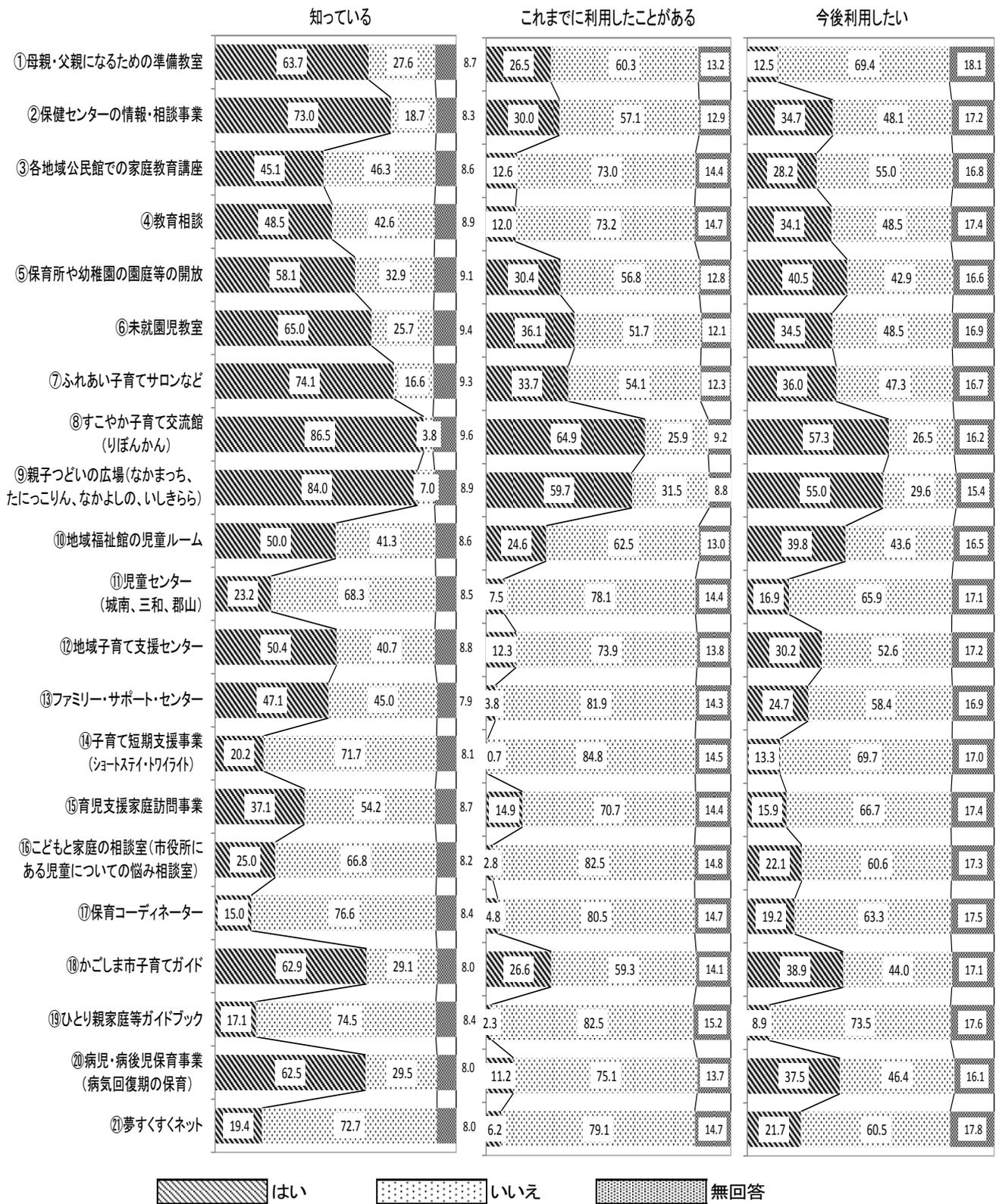
● 実施事業の認知度・利用の有無・利用希望について

認知度として「すこやか子育て交流館（りぼんかん）」が 86.5%と最も多く、次いで「親子
つどいの広場」が 84.0%、「ふれあい子育てサロンなど」が 74.1%と続く。

利用度では「すこやか子育て交流館（りぼんかん）」が、64.9%と最も多く、次いで「親子つ
どいの広場」が 59.7%、「未就園児教室」が 36.1%である。

今後利用したい施設・事業では、認知度と現在の利用度共に割合の高い「すこやか子育て交
流館（りぼんかん）」が 57.3%と最も多く、次いで「親子つどいの広場」が 55.0%である。

上段:度数 下段:%	N (合計)	知っている			これまでに利用			今後利用したい		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
①母親・父親になるための準備教室	3022	1926	834	262	801	1823	398	379	2096	547
	100.0	63.7	27.6	8.7	26.5	60.3	13.2	12.5	69.4	18.1
②保健センターの情報・相談事業	3022	2205	565	252	906	1725	391	1049	1453	520
	100.0	73.0	18.7	8.3	30.0	57.1	12.9	34.7	48.1	17.2
③各地域公民館での家庭教育講座	3022	1363	1399	260	382	2206	434	853	1662	507
	100.0	45.1	46.3	8.6	12.6	73.0	14.4	28.2	55.0	16.8
④教育相談	3022	1466	1288	268	364	2213	445	1030	1467	525
	100.0	48.5	42.6	8.9	12.0	73.2	14.7	34.1	48.5	17.4
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	3022	1755	993	274	920	1716	386	1223	1297	502
	100.0	58.1	32.9	9.1	30.4	56.8	12.8	40.5	42.9	16.6
⑥未就園児教室	3022	1963	776	283	1092	1563	367	1044	1467	511
	100.0	65.0	25.7	9.4	36.1	51.7	12.1	34.5	48.5	16.9
⑦ふれあい子育てサロンなど	3022	2239	503	280	1017	1634	371	1087	1429	506
	100.0	74.1	16.6	9.3	33.7	54.1	12.3	36.0	47.3	16.7
⑧すこやか子育て交流館 (りぼんかん)	3022	2615	116	291	1961	783	278	1732	800	490
	100.0	86.5	3.8	9.6	64.9	25.9	9.2	57.3	26.5	16.2
⑨親子つどいの広場 (なかまっち、たにっこりん、なかよしの、いしきらら)	3022	2539	213	270	1803	952	267	1662	894	466
	100.0	84.0	7.0	8.9	59.7	31.5	8.8	55.0	29.6	15.4
⑩地域福祉館の児童ルーム	3022	1512	1249	261	742	1888	392	1204	1319	499
	100.0	50.0	41.3	8.6	24.6	62.5	13.0	39.8	43.6	16.5
⑪児童センター (城南、三和、郡山)	3022	700	2065	257	227	2359	436	512	1992	518
	100.0	23.2	68.3	8.5	7.5	78.1	14.4	16.9	65.9	17.1
⑫地域子育て支援センター	3022	1524	1231	267	371	2234	417	912	1590	520
	100.0	50.4	40.7	8.8	12.3	73.9	13.8	30.2	52.6	17.2
⑬ファミリー・サポート・センター	3022	1423	1359	240	114	2475	433	745	1766	511
	100.0	47.1	45.0	7.9	3.8	81.9	14.3	24.7	58.4	16.9
⑭子育て短期支援事業 (ショートステイ・ワイライト)	3022	610	2167	245	20	2564	438	402	2105	515
	100.0	20.2	71.7	8.1	0.7	84.8	14.5	13.3	69.7	17.0
⑮育児支援家庭訪問事業	3022	1121	1638	263	450	2136	436	481	2015	526
	100.0	37.1	54.2	8.7	14.9	70.7	14.4	15.9	66.7	17.4
⑯子どもと家庭の相談室 (市役所にある児童についての悩み相談室)	3022	755	2020	247	84	2492	446	668	1832	522
	100.0	25.0	66.8	8.2	2.8	82.5	14.8	22.1	60.6	17.3
⑰保育コーディネーター	3022	453	2316	253	145	2432	445	580	1914	528
	100.0	15.0	76.6	8.4	4.8	80.5	14.7	19.2	63.3	17.5
⑱かごしま子育てガイド	3022	1902	878	242	804	1793	425	1177	1329	516
	100.0	62.9	29.1	8.0	26.6	59.3	14.1	38.9	44.0	17.1
⑲ひとり親家庭等ガイドブック	3022	516	2251	255	71	2493	458	269	2220	533
	100.0	17.1	74.5	8.4	2.3	82.5	15.2	8.9	73.5	17.6
⑳病児・病後児保育事業 (病気回復期の保育)	3022	1890	890	242	337	2271	414	1132	1402	488
	100.0	62.5	29.5	8.0	11.2	75.1	13.7	37.5	46.4	16.1
㉑夢すくすくネット	3022	585	2196	241	188	2389	445	657	1827	538
	100.0	19.4	72.7	8.0	6.2	79.1	14.7	21.7	60.5	17.8



11 職場の両立支援制度

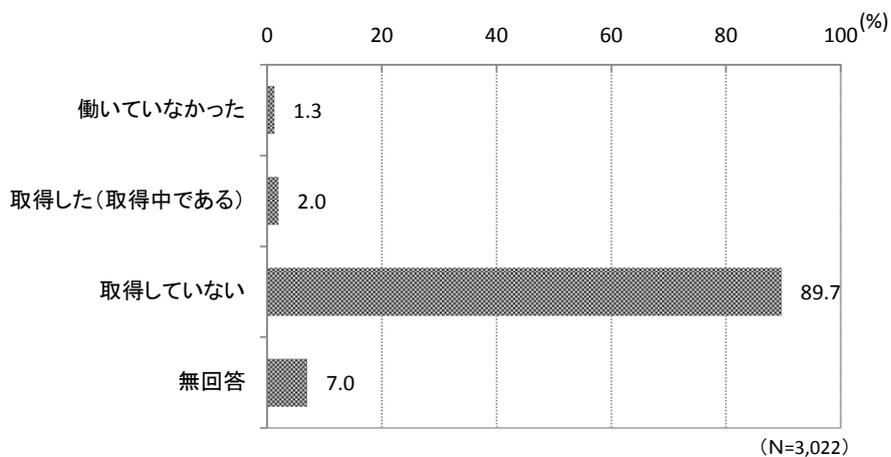
問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、当てはまるもの1つを選択し、該当する（ ）内に数字をお書きください。また、取得していない方は、その理由をお書きください。

- 子ども出産時の育児休業の取扱状況について

- (1) 父親

- 父親の育児休業取得の有無

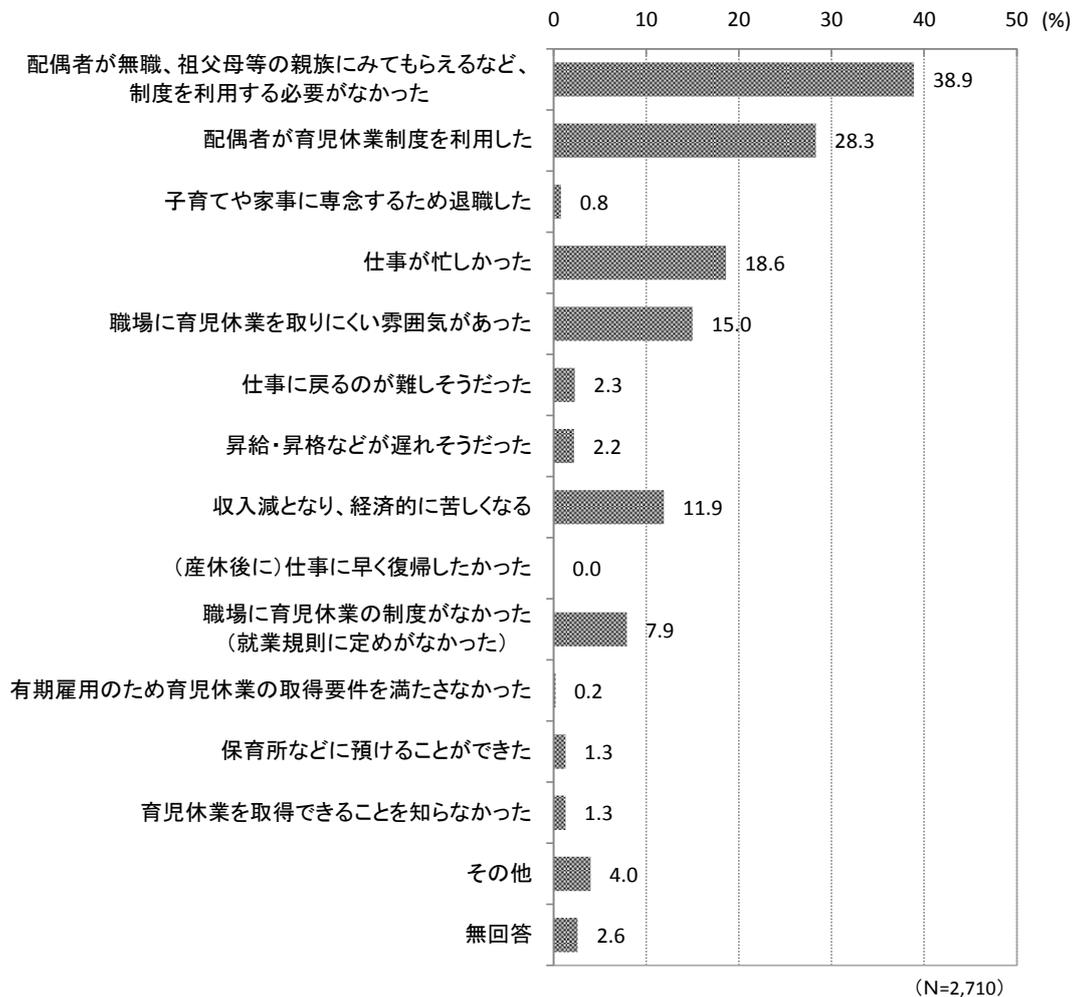
「取得していない」が89.7%で、「取得した（取得中である）」は2.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	働いていなかった	40	1.3
2	取得した(取得中である)	59	2.0
3	取得していない	2710	89.7
	無回答	213	7.0
	N (%ベース)	3022	100

➤ 父親の育児休業を取得していない理由（複数回答）

「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が38.9%と最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」は28.3%である。

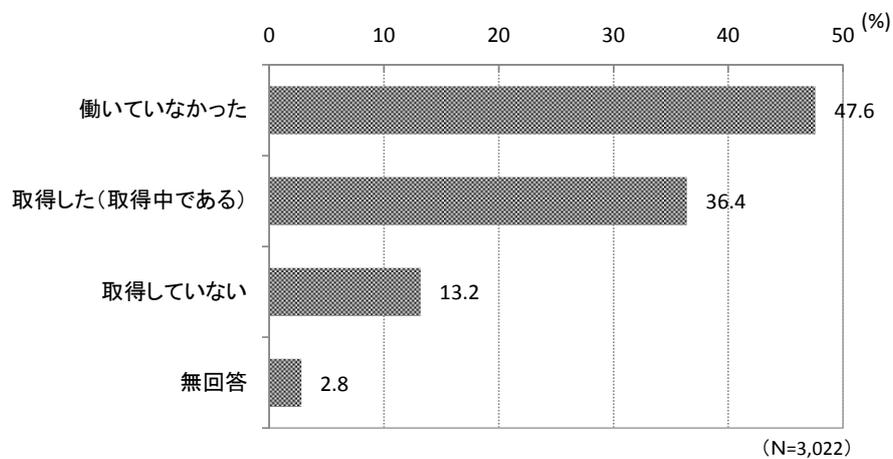


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	1055	38.9
2	配偶者が育児休業制度を利用した	768	28.3
3	子育てや家事に専念するため退職した	21	0.8
4	仕事が忙しかった	504	18.6
5	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	407	15.0
6	仕事に戻るのが難しそうだった	61	2.3
7	昇給・昇格などが遅れそうだった	59	2.2
8	収入減となり、経済的に苦しくなる	323	11.9
9	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	0	0.0
10	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	215	7.9
11	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	5	0.2
12	保育所などに預けることができた	34	1.3
13	育児休業を取得できることを知らなかった	36	1.3
14	その他	109	4.0
	無回答	70	2.6
	N (%ベース)	2710	100

(2) 母親

➤ 母親の育児休業の取得の有無

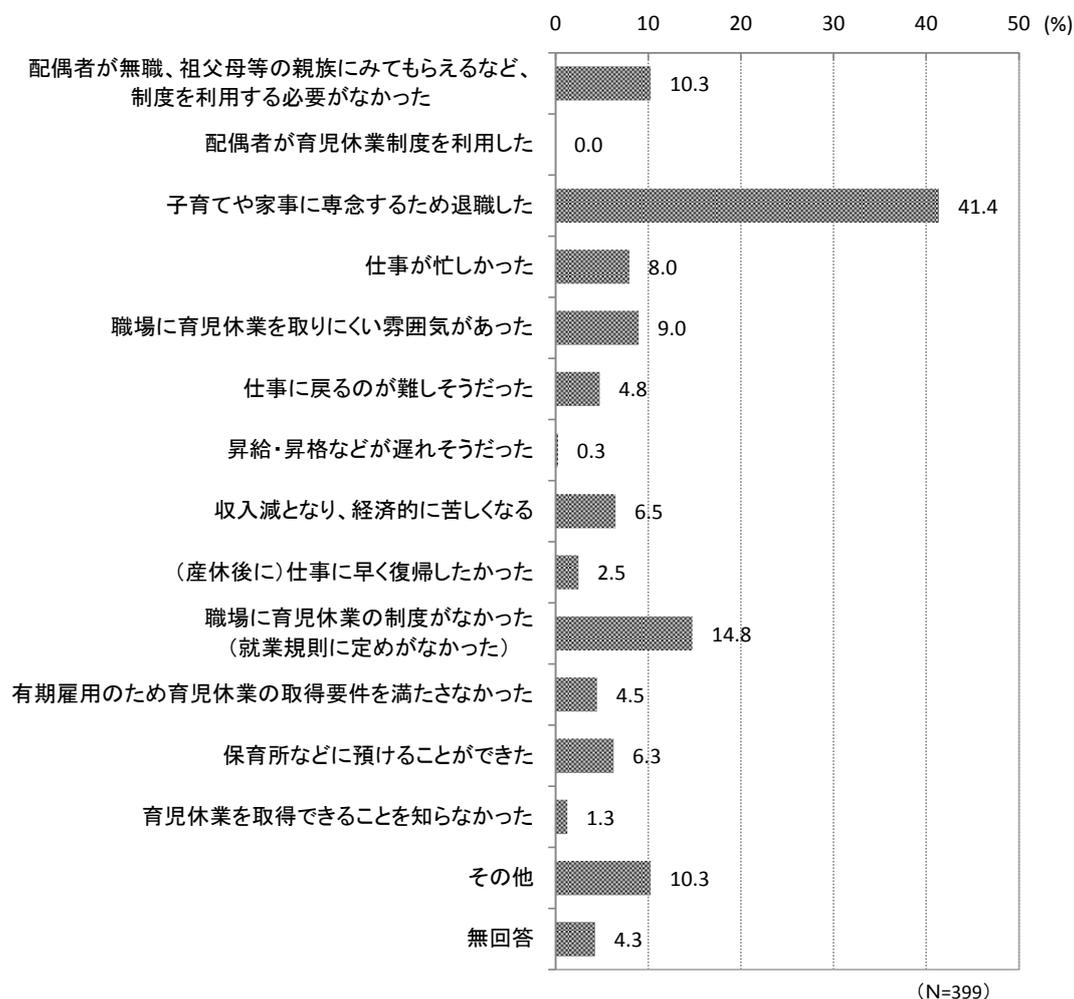
「働いていなかった」が47.6%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が36.4%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	働いていなかった	1438	47.6
2	取得した(取得中である)	1101	36.4
3	取得していない	399	13.2
	無回答	84	2.8
	N (%ベース)	3022	100

➤ 母親の育児休業を取得していない理由（複数回答）

「子育てや家事に専念するため退職した」が41.4%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が14.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	41	10.3
2	配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0
3	子育てや家事に専念するため退職した	165	41.4
4	仕事が忙しかった	32	8.0
5	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	36	9.0
6	仕事に戻るのが難しそうだった	19	4.8
7	昇給・昇格などが遅れそうだった	1	0.3
8	収入減となり、経済的に苦しくなる	26	6.5
9	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	10	2.5
10	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	59	14.8
11	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	18	4.5
12	保育所などに預けることができた	25	6.3
13	育児休業を取得できることを知らなかった	5	1.3
14	その他	41	10.3
	無回答	17	4.3
	N (%ベース)	399	100

➤ 育児休業を取得していない理由（父親・母親）

		上段:度数 下段:%	父親	母親
育児休業 を 取 得 し て い な い 理 由	全体		2710 100.0	399 100.0
	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった		1055 38.9	41 10.3
	配偶者が育児休業制度を利用した		768 28.3	0 0.0
	子育てや家事に専念するため退職した		21 0.8	165 41.4
	仕事が忙しかった		504 18.6	32 8.0
	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった		407 15.0	36 9.0
	仕事に戻るのが難しそうだった		61 2.3	19 4.8
	昇給・昇格などが遅れそうだった		59 2.2	1 0.3
	収入減となり、経済的に苦しくなる		323 11.9	26 6.5
	(産休後に)仕事に早く復帰したかった		0 0.0	10 2.5
	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)		215 7.9	59 14.8
	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった		5 0.2	18 4.5
	保育所などに預けることができた		34 1.3	25 6.3
	育児休業を取得できることを知らなかった		36 1.3	5 1.3
その他		109 4.0	41 10.3	
無回答		70 2.6	17 4.3	

問 32-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまるもの1つを選択してください。また、「1. 育児休業取得後、職場に復帰」された方は、宛名のお子さんの年齢と希望の年齢をお書きください。

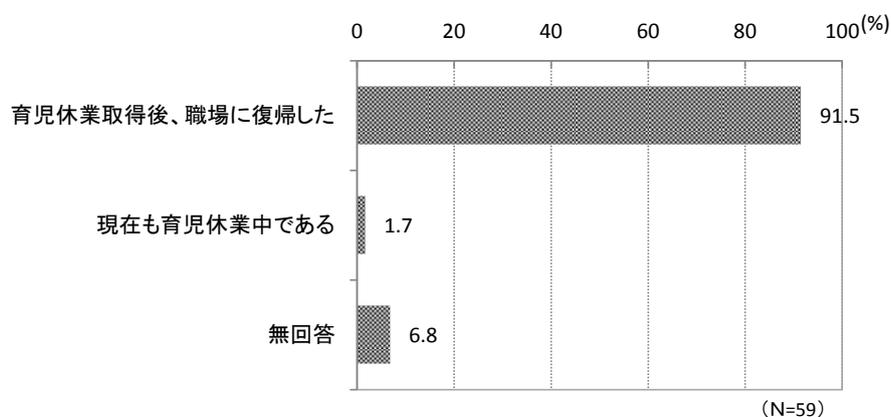
※問 32 で、「2. 取得した（取得中である）」と回答した方を対象。

● 育児休業取得後の職場復帰について

(1) 父親

➤ 父親の育児休業取得後の職場復帰

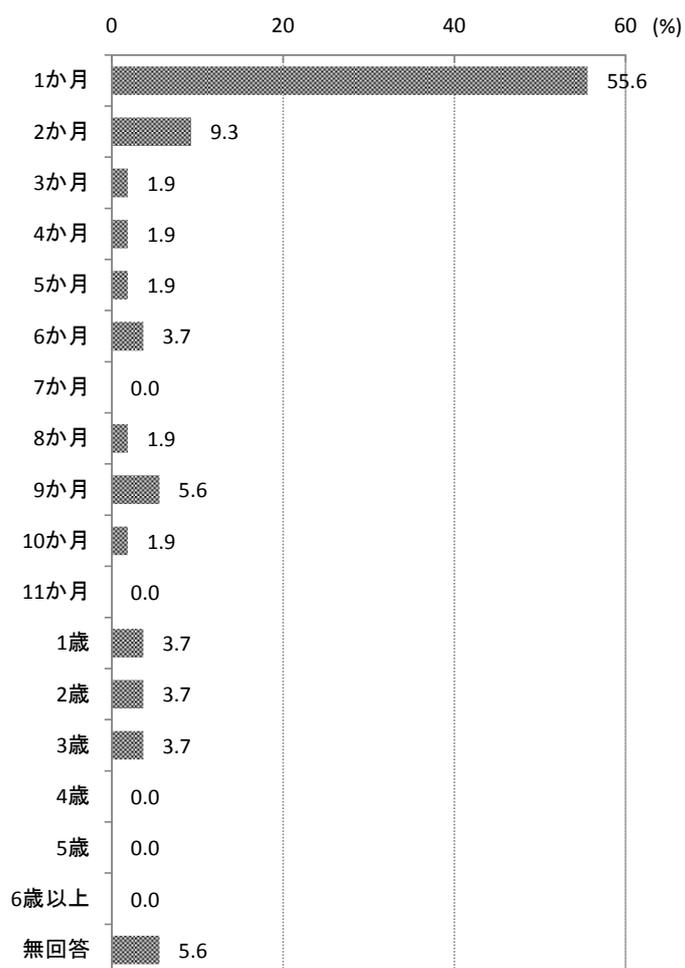
「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.5%で、「現在も育児休業中」は1.7%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児休業取得後、職場に復帰した	54	91.5
2	現在も育児休業中である	1	1.7
	無回答	4	6.8
	N (%へ入)	59	100

➤ 父親の実際の職場復帰時期

「1か月」が55.6%と最も多く、次いで「2か月」が9.3%である。

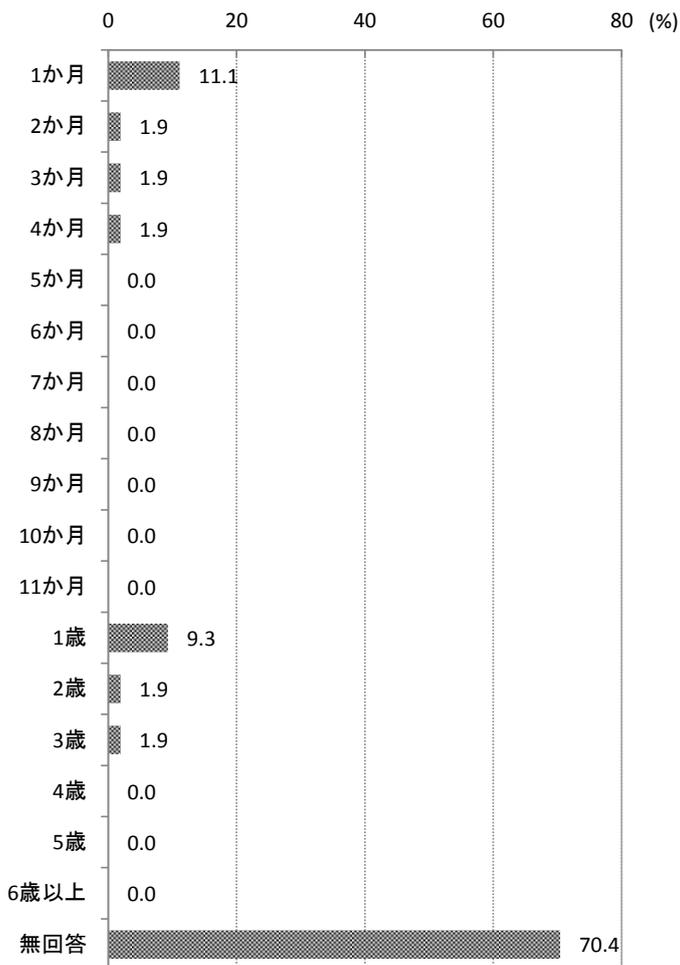


(N=54)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1か月	30	55.6
2	2か月	5	9.3
3	3か月	1	1.9
4	4か月	1	1.9
5	5か月	1	1.9
6	6か月	2	3.7
7	7か月	0	0.0
8	8か月	1	1.9
9	9か月	3	5.6
10	10か月	1	1.9
11	11か月	0	0.0
12	1歳	2	3.7
13	2歳	2	3.7
14	3歳	2	3.7
15	4歳	0	0.0
16	5歳	0	0.0
17	6歳以上	0	0.0
	無回答	3	5.6
	N (%ベース)	54	100

➤ 父親の希望の職場復帰時期

「1か月」が11.1%と最も多く、次いで「1歳」が9.3%である。

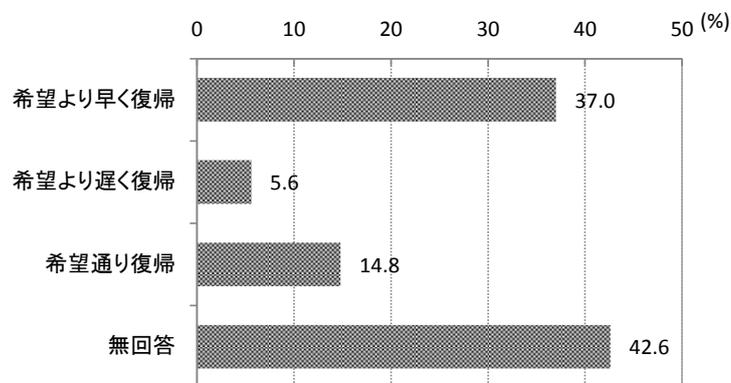


(N=54)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1か月	6	11.1
2	2か月	1	1.9
3	3か月	1	1.9
4	4か月	1	1.9
5	5か月	0	0.0
6	6か月	0	0.0
7	7か月	0	0.0
8	8か月	0	0.0
9	9か月	0	0.0
10	10か月	0	0.0
11	11か月	0	0.0
12	1歳	5	9.3
13	2歳	1	1.9
14	3歳	1	1.9
15	4歳	0	0.0
16	5歳	0	0.0
17	6歳以上	0	0.0
	無回答	38	70.4
	N (%ベース)	54	100

➤ 父親の実際の復帰と希望

「希望より早く復帰」が37.0%と最も多く、次いで「希望通り復帰」が14.8%である。



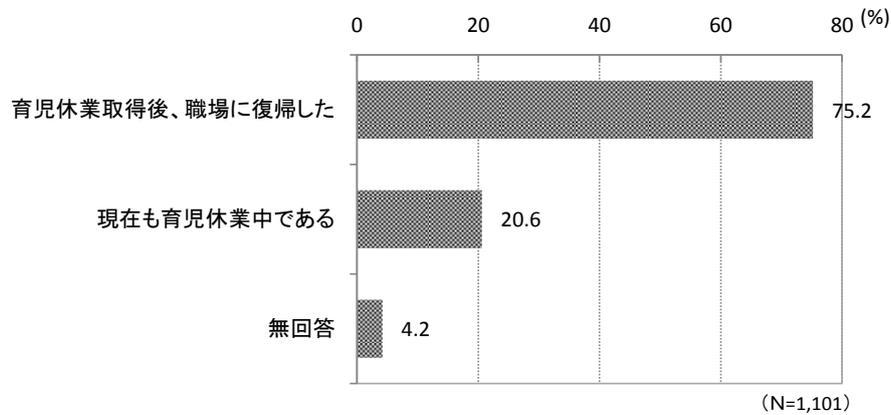
(N=54)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	希望より早く復帰	20	37.0
2	希望より遅く復帰	3	5.6
3	希望通り復帰	8	14.8
	無回答	23	42.6
	N (%ベース)	54	100

(2) 母親

➤ 母親の育児休業取得後の職場復帰

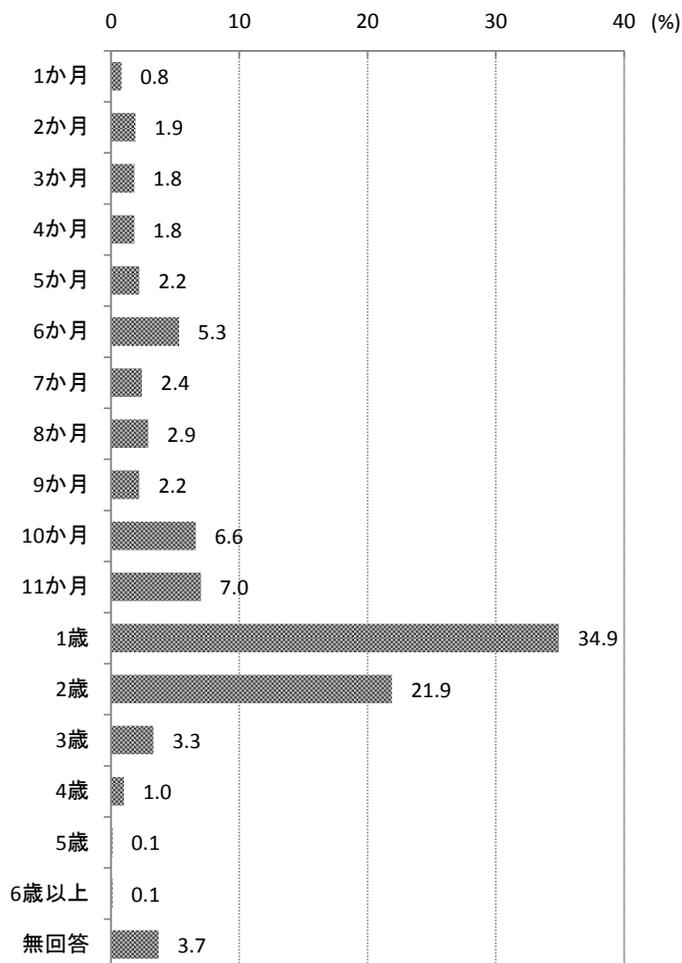
「育児休業取得後、職場に復帰した」が75.2%で、「現在も育児休業中である」は20.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児休業取得後、職場に復帰した	828	75.2
2	現在も育児休業中である	227	20.6
	無回答	46	4.2
	N (%ベース)	1101	100

➤ 母親の実際の職場復帰時期

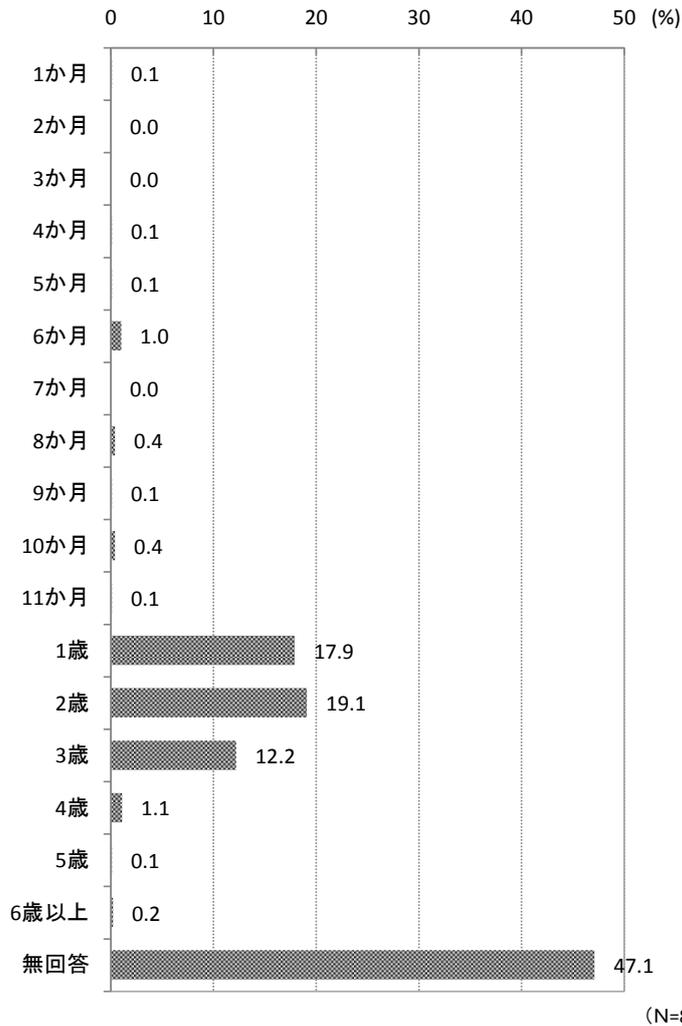
「1歳」が34.9%と最も多く、次いで「2歳」が21.9%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1か月	7	0.8
2	2か月	16	1.9
3	3か月	15	1.8
4	4か月	15	1.8
5	5か月	18	2.2
6	6か月	44	5.3
7	7か月	20	2.4
8	8か月	24	2.9
9	9か月	18	2.2
10	10か月	55	6.6
11	11か月	58	7.0
12	1歳	289	34.9
13	2歳	181	21.9
14	3歳	27	3.3
15	4歳	8	1.0
16	5歳	1	0.1
17	6歳以上	1	0.1
	無回答	31	3.7
	N (%ベース)	828	100

➤ 母親の希望の職場復帰時期

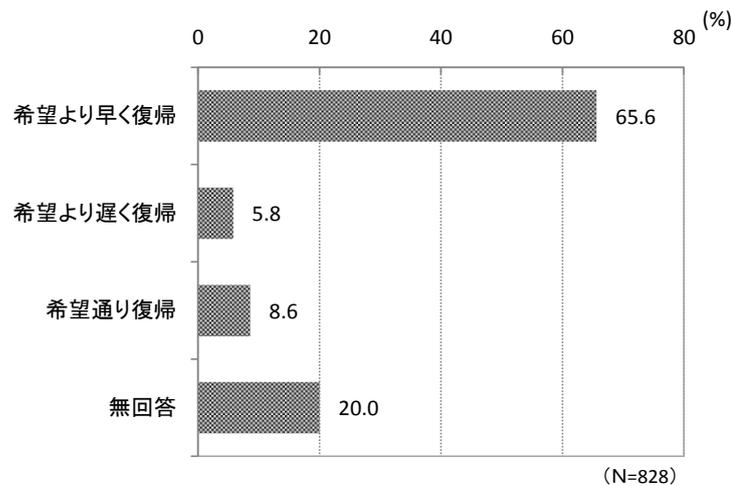
「2歳」が19.1%と最も多く、次いで「1歳」が17.9%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1か月	1	0.1
2	2か月	0	0.0
3	3か月	0	0.0
4	4か月	1	0.1
5	5か月	1	0.1
6	6か月	8	1.0
7	7か月	0	0.0
8	8か月	3	0.4
9	9か月	1	0.1
10	10か月	3	0.4
11	11か月	1	0.1
12	1歳	148	17.9
13	2歳	158	19.1
14	3歳	101	12.2
15	4歳	9	1.1
16	5歳	1	0.1
17	6歳以上	2	0.2
	無回答	390	47.1
	N (%へ入)	828	100

➤ 母親の実際の復帰と希望

「希望より早く復帰」が65.6%と最も多く、次いで「希望通り復帰」が8.6%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	希望より早く復帰	543	65.6
2	希望より遅く復帰	48	5.8
3	希望通り復帰	71	8.6
	無回答	166	20.0
	N (%へ入)	828	100

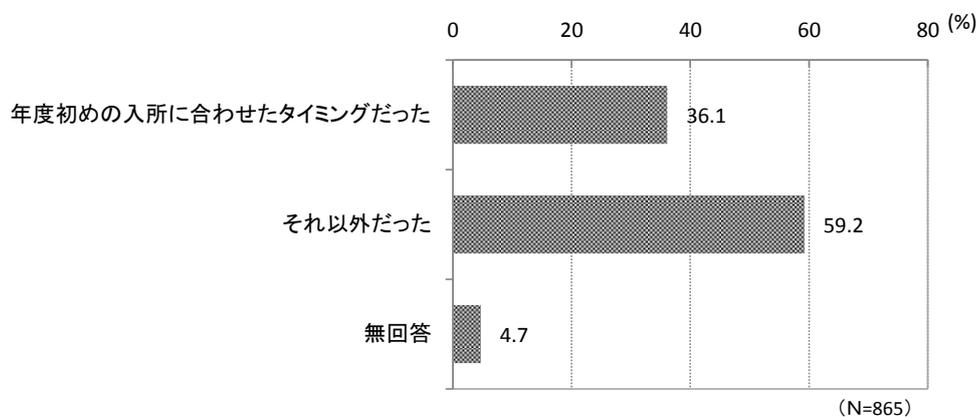
問 32-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つを選択してください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月に職場復帰し、その間、認可外保育所などに入所した場合や、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかった場合も、「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

※問 32-1 で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方を対象。

● 育児休業から職場に復帰したタイミング

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 36.1%で、「それ以外だった」が 59.2%である。

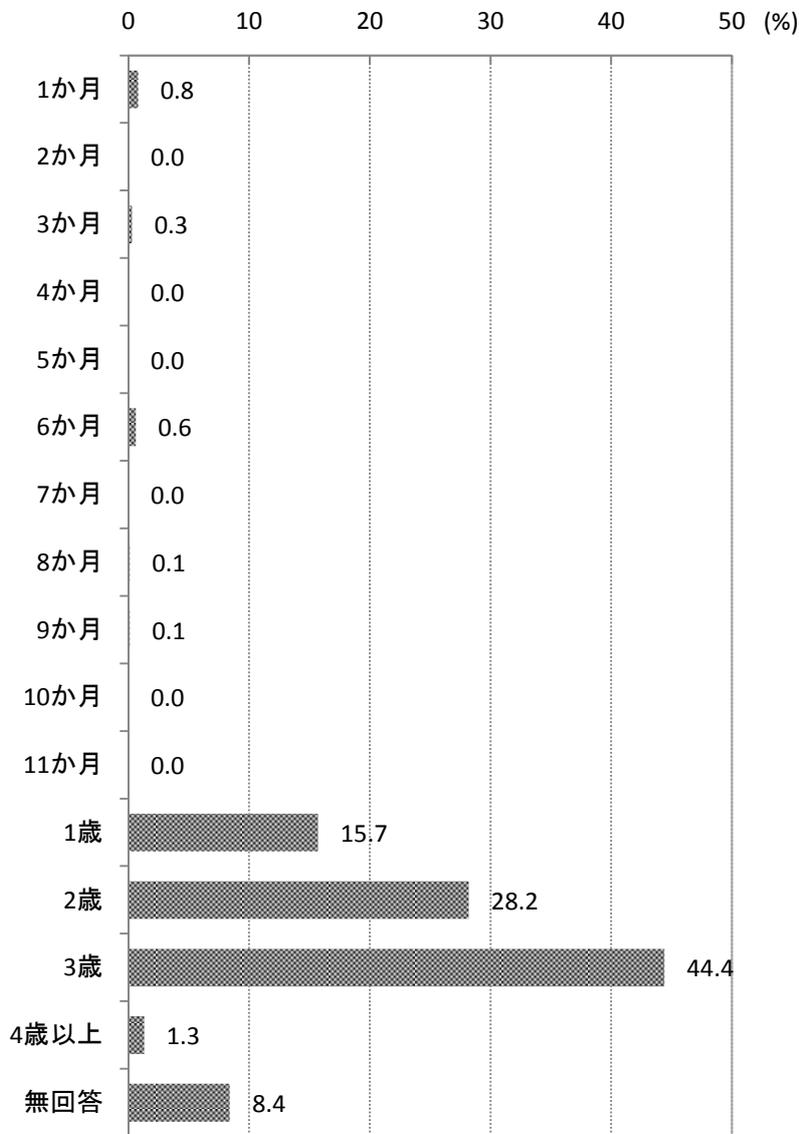


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	年度初めの入所に合わせたタイミングだった	312	36.1
2	それ以外だった	512	59.2
	無回答	41	4.7
	N (%ベース)	865	100

問 32-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何か月のときまで取りたいですか。

● 育児休暇取得時期の希望について

「3歳」が44.4%と最も多く、次いで「2歳」が28.2%、「1歳」が15.7%である。



(N=865)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1か月	7	0.8
2	2か月	0	0.0
3	3か月	3	0.3
4	4か月	0	0.0
5	5か月	0	0.0
6	6か月	5	0.6
7	7か月	0	0.0
8	8か月	1	0.1
9	9か月	1	0.1
10	10か月	0	0.0
11	11か月	0	0.0
12	1歳	136	15.7
13	2歳	244	28.2
14	3歳	384	44.4
15	4歳以上	11	1.3
	無回答	73	8.4
	N (%への入)	865	100

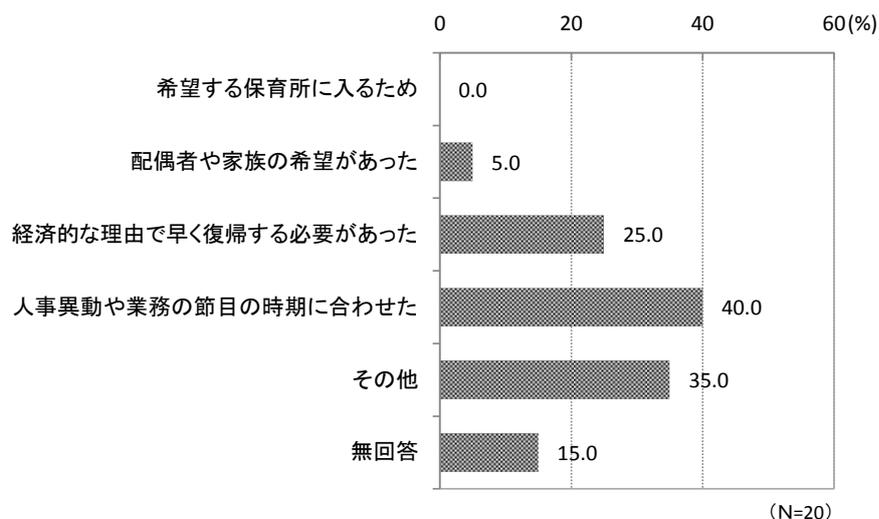
問 32-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお聞きします。当てはまる番号すべてを選択してください。

※問 32-1 で、実際の復帰と希望が異なる方を対象。

(1) 父親

➤ 父親の希望より早く復帰した理由（複数回答）

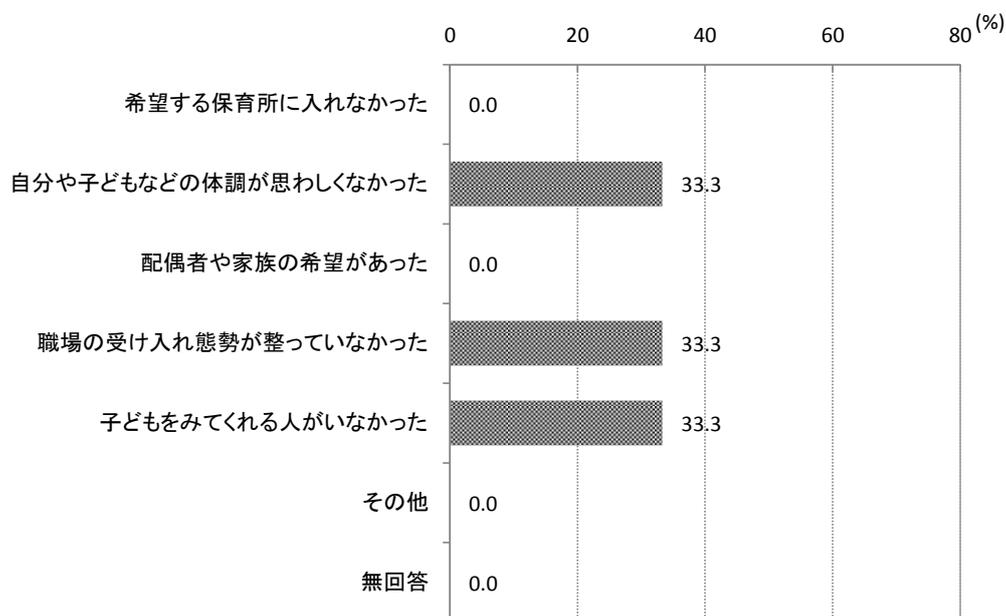
「人事異動や業務の節目の時期に合わせた」が 40.0%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 25.0%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	希望する保育所に入るため	0	0.0
2	配偶者や家族の希望があった	1	5.0
3	経済的な理由で早く復帰する必要があった	5	25.0
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせた	8	40.0
5	その他	7	35.0
	無回答	3	15.0
	N (%ベース)	20	100

➤ 父親の希望より遅く復帰した理由（複数回答）

「自分や子どもなどの体調が思わしくなかった」、「職場の受け入れ態勢が整っていなかった」、「子どもをみてくれる人がいなかった」がいずれも 33.3%である。



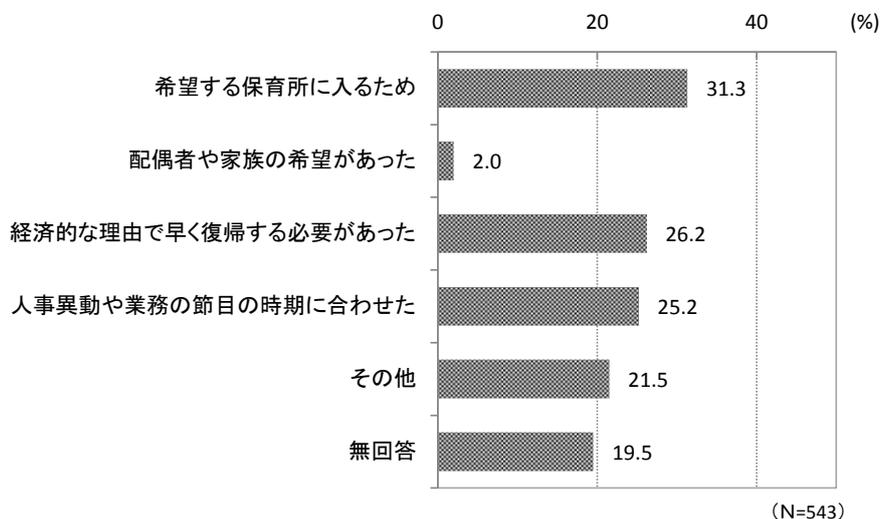
(N=3)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	希望する保育所に入れなかった	0	0.0
2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかった	1	33.3
3	配偶者や家族の希望があった	0	0.0
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかった	1	33.3
5	子どもをみてくれる人がいなかった	1	33.3
6	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	3	100

(2) 母親

➤ 母親の希望より早く復帰した理由（複数回答）

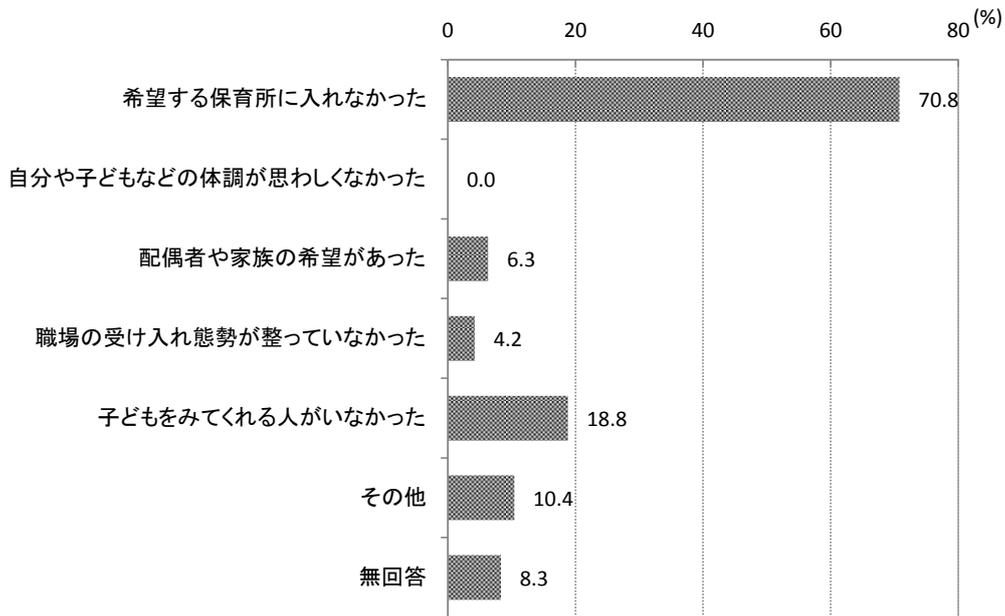
「希望する保育所に入るため」が 31.3%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 26.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせた」が 25.2%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	希望する保育所に入るため	170	31.3
2	配偶者や家族の希望があった	11	2.0
3	経済的な理由で早く復帰する必要があった	142	26.2
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせた	137	25.2
5	その他	117	21.5
	無回答	106	19.5
	N (%ベース)	543	100

➤ 母親の希望より遅く復帰した理由（複数回答）

「希望する保育所に入れなかった」が70.8%と最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかった」が18.8%である。



(N=48)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	希望する保育所に入れなかった	34	70.8
2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかった	0	0.0
3	配偶者や家族の希望があった	3	6.3
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかった	2	4.2
5	子どもをみてくれる人がいなかった	9	18.8
6	その他	5	10.4
	無回答	4	8.3
	N (%ベース)	48	100

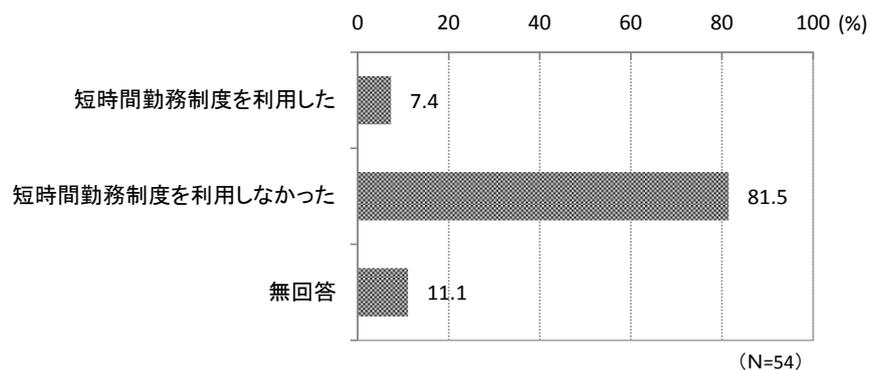
問 32-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号を1つ選択してください。

※問 32-1 で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を、選ばれた方を対象。

● 短時間勤務制度利用について

➤ 父親の短時間勤務制度利用の有無

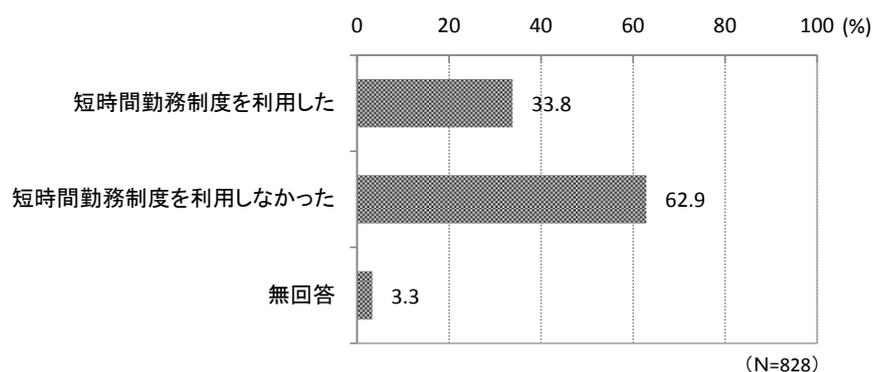
「短時間勤務制度を利用しなかった」が81.5%で、「短時間勤務制度を利用した」は7.4%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	短時間勤務制度を利用した	4	7.4
2	短時間勤務制度を利用しなかった	44	81.5
	無回答	6	11.1
	N (%ベース)	54	100

➤ 母親の短時間勤務制度利用の有無

「短時間勤務制度を利用しなかった」が62.9%で、「短時間勤務制度を利用した」は33.8%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	短時間勤務制度を利用した	280	33.8
2	短時間勤務制度を利用しなかった	521	62.9
	無回答	27	3.3
	N (%ベース)	828	100

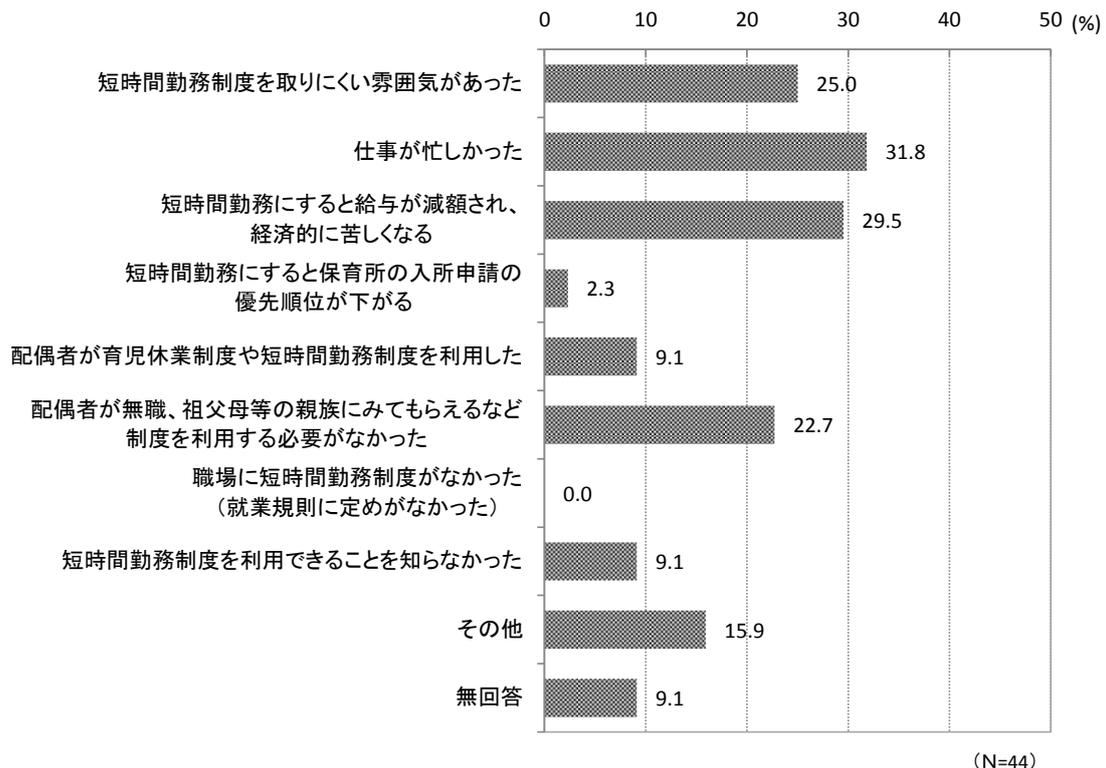
問 32-6 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてを選択してください。

※問 32-5 で、「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」を、選ばれた方を対象。

(1) 父親

➤ 父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

「仕事が忙しかった」が 31.8%と最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 29.5%、「短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 25.0%である。

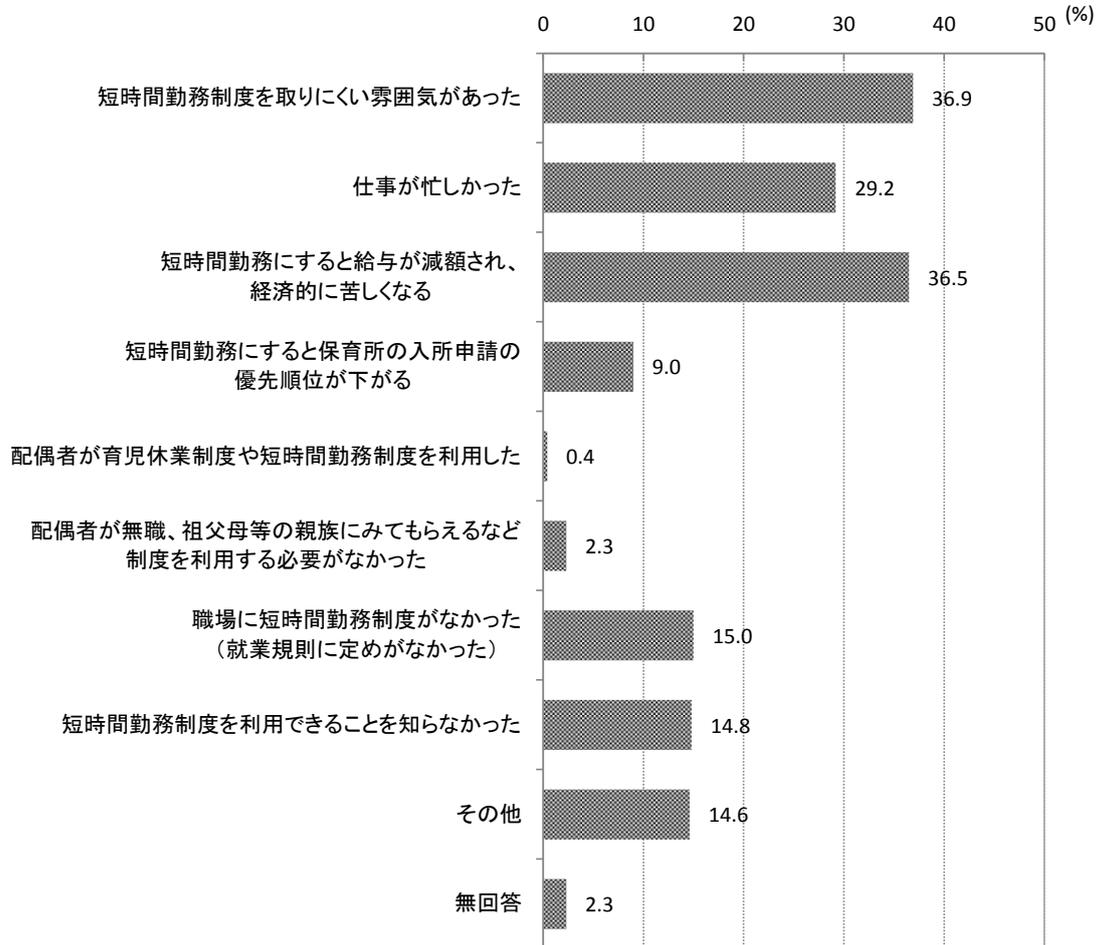


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	11	25.0
2	仕事が忙しかった	14	31.8
3	短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	13	29.5
4	短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	1	2.3
5	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	4	9.1
6	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど制度を利用する必要がなかった	10	22.7
7	職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	0	0.0
8	短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	4	9.1
9	その他	7	15.9
	無回答	4	9.1
	N (%ベース)	44	100

(2) 母親

➤ 母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

「短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 36.9%と最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 36.5%、「仕事が忙しかった」が 29.2%である。



(N=521)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	192	36.9
2	仕事が忙しかった	152	29.2
3	短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	190	36.5
4	短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	47	9.0
5	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	2	0.4
6	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど制度を利用する必要がなかった	12	2.3
7	職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	78	15.0
8	短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	77	14.8
9	その他	76	14.6
	無回答	12	2.3
	N (%ベース)	521	100

問 32-7 宛名のお子さんが、1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても、1歳になる前に復帰しますか。

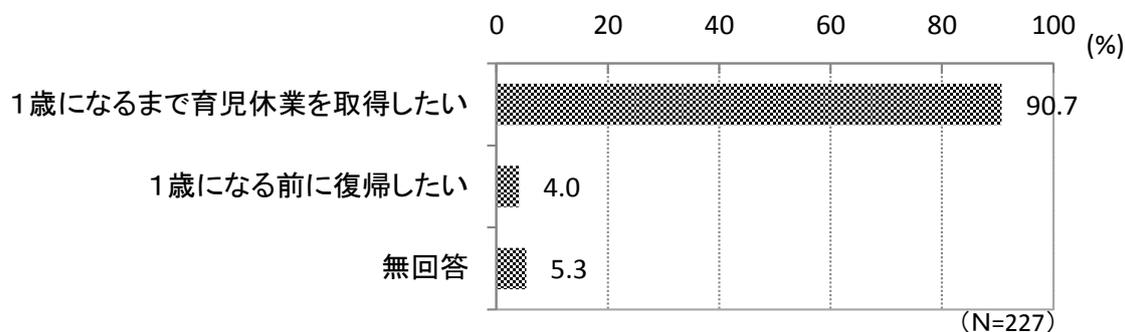
※問 32-1 で、「2. 現在も育児休業中」を、選ばれた方を対象。

(1) 父親

- 父親の育児休業の取得と復帰
無回答 1 名のみであった。

(2) 母親

- 母親の育児休業の取得と復帰
「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 90.7%と最も多く、次いで「1歳になる前に復帰したい」が 4.0%である。

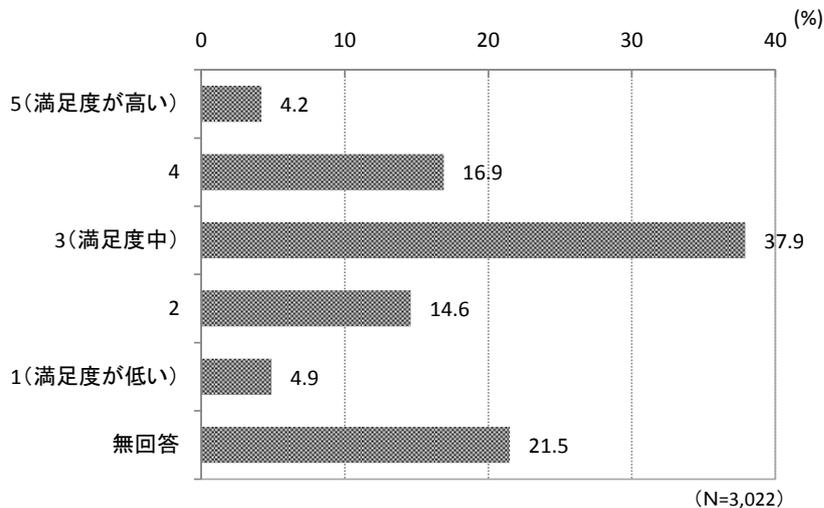


No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1歳になるまで育児休業を取得したい	206	90.7
2	1歳になる前に復帰したい	9	4.0
	無回答	12	5.3
	N (%ベース)	227	100

問 33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つを選択してください。

● 地域の子育ての環境や支援への満足度について

「満足度 3」が 37.9%と最も高く、次いで「満足度 4」が 16.9%である。



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
5	5(満足度が高い)	128	4.2
4	4	511	16.9
3	3(満足度中)	1145	37.9
2	2	441	14.6
1	1(満足度が低い)	147	4.9
	無回答	650	21.5
	N (%ベース)	3022	100

問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

● 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について

Ⅲ 自由意見 にて別記掲載

Ⅲ 自由意見

1 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からのサポートについて

（回答数1,080件から抜粋）

子育て全般に関すること

市をまたいで仕事に出ている（居住地以外の会社勤務）人が多数いると思いますが、居住地の支援しか受けられないため、たとえ子育て支援や病気の時に見てくれる施設があったとしても利用しにくい。県全体で取組みをしてほしい。例えば居住地松元、職場川内、病気保育のある施設は市街地の方となると、真逆の方に保育施設に預けて逆方向に仕事に行かなければならないなどで利用したくてもできない。市単位ではなく、県全体で考えて頂くとありがたい。居住地ではなく職場の近くで利用できる仕組みを考えていただきたい。

子育てでの理想のサポートは「孤独な人を作らない」「孤立しない、またはさせない」事だと考えます。身近な人や保育施設との繋がりがあれば自ずと人の目や手の届く子育てになるとと思いますが、周囲や人から離れた所で一人奮闘している人が少なくありません。私自身、長女が幼稚園に入園するまでの3年間、様々な子育てサークルや支援施設にお世話になり、また地域の方との関わり合いから多くのサポートを受けました。ですが、このような施設やサークルの情報は直接各施設を訪ねたり、広報など紙媒体で見るとは異なり、インターネット等で検索してもあまりヒットしないと感じています。より多くの方がこうした情報に触れやすくなり、孤独な人を作らない育児になれば理想論ですがそう思います。

生む前の母親になるとこのような楽しいことがある、もしくは大変なところがある。生む前、生んだ後のことも無知なままで、不安になることが多い。助産師、看護師によるいろいろな話なども産前にしてもらえると助かる。生む前に、ヨガ、気功、体操等、体や心の面を全面的にサポートしていただくと生むときの不安、帝王切開の軽減、早産予防などにかかわると思う。これは4人生んでみて感じたことです。政府や市は産め、産めと言いますが、やはり育てるのは母親、それに対しての心労ははるかにすごい。そこが、解決しない限りは、子供を産む人は減り、人口増加は難しいのではないかと。子供を産む時期なども、小学校、中学校などで教えてほしい。実際、赤ちゃんに触れる機会、妊娠中の人の話や、産んでからの話など、学校で聞ける授業があると、リアルに感じるができるのではないのでしょうか？これからの鹿児島がよりよくなりますように。子育て世代に明るい未来を！

今で十分サポートしてもらっていると感じています。

転勤族の身なので、他県の子育てサポートと比べてしまいますが、鹿児島県は充実しているほうだと思います。実際、子供が幼稚園に行くまでが孤立しがちな時期だと思います。横のつながりが出来にくい時期なので、その時期により一層フォーカスしてもらえると親の孤独から守れる気がします。

保育所や幼稚園の無料1日預かり券の配布。気軽に子育てのことを相談できる人さえいればすごく助かると思います。子供が一カ月になった時に訪問してきた方がいたんですけど、その訪問の回数を増やすのも良かったかもしれません。私の場合、こっちに知り合いなど一人もいなくて旦那も毎日仕事が忙しくて、最初の3か月がとてつらかったです。訪問の時にママの精神のチェックもあったけど、最初の1か月のチェックだけで本当に大丈夫だと言えない人もいます。訪問が要らないと思う家庭もいると聞いたこともありますが、子育てにも新しい環境にも慣れなくて精神的につらかった私みたいな人にはいい支えになるかもしれません。※私は海外の人でももちろんこっちに家族がいないし、旦那の実家も鹿児島ではありません。出産する少し前に鹿児島に異動しました。

子供を育てるのは、親が行うことと考えているので、サポートがなくて困ったと思ったことはない程度に必要なサポートをもらっている。あまりサポートしすぎるのも問題だと思う。まかせっきりで親と子のつながりが希薄化しているように感じます。

行政施設、子育て支援施設に関すること

近くに児童館がなく、我が家には未就園児もいるので日中が困る時があります。なので、もっと児童館があるといいと思う。

気軽に通うことが出来る子育て支援センターが近くにあれば良いです。

公民館講座や市営プール等を親が受講利用する時に、託児室などがあると嬉しい。有料でもいいので。親の息抜き等でわざわざ祖父母に頼るのは心苦しいので、なかなか体力づくり等したいができていない。

車が使えないことが多いので、近所に子育て支援施設が増えてほしい。また、予約や定員の制限で受けたい講座やイベントなどに行けないことが多かったので、気軽に行ける子育て支援に関する催しが増えたら嬉しい。

子育て支援センターや子育てサロンにとってもお世話になったので、もっと広まってくれるといいなと思います。

りぼん館のようにたにっこりん等も多年齢の子が遊べる施設にしてほしい。(たにっこりんは低年齢向けのよう気がする。3, 4歳になると思いっきり遊べない)

福祉館のように、健全で見守る方がいて子どもだけで遊べる場所があるのはとても助かります。

自分でもいろいろな情報を収集することは大切だと思いますが、よく利用する子育て支援施設等で情報を提供して頂けたり、気軽に相談に応じて頂いたりしてもらえるとありがたいです。

最近、公園などに遊具、ボール遊びができないので、市の所有地をもっと開放してほしい。子供がのびのびと遊べる場所が少ない。(大人中心のまちづくりになっている)

市が広すぎて中心部ばかりに公共施設(りぼんかん、たにっこりん)がありますが、もっと小さな狭い範囲でつくってほしい。

自分自身は早くから保育園に子供を預けているため、保育士などからアドバイスがもらえたり、親も近くに住んでいたの恵まれている方だと思います。専業主婦で祖父母が近くにいない方は孤立しやすいと思うので、そういう方が足を運びやすい場所がもっと増えると良いと思います。福祉館の児童ルームをもっと小さな子でも過ごしやすくするなど、保育士も常駐していると良いと思います。

子育ての情報に関すること

転勤族なので幼稚園の情報、子育て支援の情報などが市のホームページを見ただけではわかりにくく、もう少し詳しい情報が欲しいです。他には子育てママが働きやすい会社、仕事の紹介などもしてほしいです。

私は今回第2子の出産にあたって、広域入所の制度を利用して里帰り出産をしたのですが、このような制度があると知ったのは里帰り先のこども園の先生が教えてくださったからでした。鹿児島市のHPではこの制度についての案内がなかった(私が見つけられなかっただけでしたらすいません)ように思うのですが、私のように里帰り先に第1子を連れて帰られる方も多いと思うので、HP上や母子手帳の配布の際にでも案内があればよいのではないかと思います。

保育所、幼稚園、自治体等のイベントの情報をもっとたくさん知りたいし、参加したいので、いろんな場所(スーパー等)や広報等で知らせてほしい。

子育てで困ったことや悩みがあった時に、どこでどのようなサポートを受けられるというような具体的なことがわからないので、まずはそういう情報がほしい。我が家の娘の滑舌の悪さで悩んでいた時も通っている園に相談したが、いまいちはっきりとした対応や情報もなかった。働いていると時間も限られているので、ネットなどから必要なサポートや情報を受けられるといいなと思う。

保育所等の利用手続きについて感じたことですが、行かないとわからないことも多く、ほとんどの人が市役所で話を聞いて入所が厳しいことや、時期が遅れて入れなかったりするので、書類一式の郵送等も環境の厳しい人には必要だと思いました。健診等は託児所があるので良いのですが、複数人子供がいる場合は、話もまともに聞きにくいし、行くのも大変だと思うからです。すべての家庭に配布するのではなくとも、健診時などで聞いてもらえると答えやすいかと思います。（郵送が必要かまたは入所の時期など）

家庭によって悩みは様々かと思うので、これが一つあればいいというのは難しいと思うが、子育てのヒントとなるような講演や講座が豊富にあればその中から選択して聞きに行くのも悩みの解決の一つの手段のように思う。なので、子育てに関するいろいろな情報発信があるといいと思います。

体験（お試し）保育、入園の案内、情報が欲しい。保育所や幼稚園の利用者の評価が知りたい。

子育て広場やいろいろなイベント等が案内として毎月は大変なので、何か月に1回届くと嬉しいです。産後はぼんやりしていて、忘れてしまっていたり、アンテナがはれていなかったりするので、手紙などで届くと助かります。今回、出産したばかりでしたが、子供の名前で手紙が届いて嬉しかったです。アンケートのお願いでしたが、それだけでも私が出産して子育て中であることを役所がきちんと把握してくださっている、一人じゃないと思えて安心できました。

住んでいる地域、周辺の保育所、幼稚園、一時預かりができる施設などの情報誌や案内がほしい。フローチャートなど。（この場合はこの事業を利用できるとか）

子供たちが幼稚園へ通うようになり、一人の時間も少しでき、気分転換やリフレッシュも出来るようになりましたが、24時間ずっと子と一緒にだと心に余裕がなくなってしまうたり、イライラすることも多くなってしまいますので、保育園、幼稚園に通わせる前の子を持つお母さんのケアやサポートは手厚くしてほしいと思います。子育て支援グループの活動、りぼんかん、なかまっちの情報など自分から見つけ探さないと手に入らないので、郵便やお手紙、定期的な情報をもらえると嬉しかったと思います。

こちらが聞いたことだけ簡潔に答えてくれるシステムがあると良い。ラインみたいなネットワークで時間も気にせず質問できると良い。

常に情報は欲しいと思い、日ごろから市民のひろば等はチェックしています。家中で閉じこもることが育児をするなかで一番良くないことだと思っているので、情報を見つけて興味のあるものには都合がつく限り子どもと出かけるようにしています。鹿児島の子育て情報（イベント）がチェックできるサイトがあればいいと思います。スマホで登録している人向けに週1程度案内が届くシステム（メールマガジンのようなもの）があるといいです。

もっと身近な情報公開。子育て等必要な情報を探す際、ホームページをそれぞれ一つ一つ更新しているかどうかチェックしていかなければならず、ホームページ以外にはよく使われているFacebookがありますが、Facebookは敷居が高く（実名で登録しなければいけないなど）登録に戸惑います。もっと簡単に更新が分かるようなシステムにしてほしいです（LINEなど）。または、1か所にアクセスしたら、そこに子育て関連のホームページがすべて一覧になっていたら便利です。項目ごとに分けてあるとよりいいと思います。（就学、療育、いじめなど）

幼稚園、保育所等に関すること

保育園は教育を目的とした場所ではなく、あくまで親の代わりに面倒を見る場所、教育を目的としたければ幼稚園に行くのが望ましいことは理解していますが、共働きで帰日も遅ければ、必然的に預ける場所は保育園となります。幼稚園、こども園は時間の制約、親の参加が多く働く親には厳しいです。フルタイムの共働きの親が読み書きなどまで教育するのは正直しんどいです。保育園でも教育を力入れてやってもらえればありがたいです。また、長男は小麦アレルギーの為、受け入れてくれる保育園が限られました。アレルギー対応の保育園も増やしてほしいです。保育園では延長で夜7時までみてもらえますが、小学校に上がると帰宅が早くなるため、仕事との両立に不安しかありません。生活のために働かなければならないので「小一の壁」といわれるものの解消を早急にお願います。

保育所、幼稚園でも小学校入学に対して必要であることは最低限でいいので同じくらいに行ってほしい。基準をつくってほしい。幼稚園や保育園で違いが大きすぎる。

現在、保育園の待機中であり育休延長中です。理由は保育士不足。やはり子育てをしていく上での、サポートはその解決が先だと思います。子供のコミュニケーションにとっても、自宅にいると限界があります。（児童センターなどの利用をした上で）経済的にも手当はいただいています、不安があります。正直、身近な身内にも働いていますし、協力をお願いするにも厳しい状態です。私のような方も多いかと思いません。まずは、保育所の確保を切望します。それが私にとってのサポートだと感じます。

保育園の先生が子供と長い時間関わっているので相談するのにふさわしい相手ではあるが、送迎のあわただしい時間帯であったり、シフト制の勤務のため、担任の先生とゆっくり話せる時間がない。年に1回、子供に関する面談の機会があるが、もう少し回数を増やすとか、こちらが希望した時に面談してもらえる仕組みがあればいいのになと思う。

各保育施設によって方針があるだろうから多少は理解しますが、園によっては土曜は午前保育だとか延長保育もなかったりと困る事があります。親の職種によっては、土日祝関係なく仕事がある場合もあります。日曜も事前申請さえすれば、預かってくれる施設がどんどん増えてくれるとありがたいと思います。急病などの緊急時にも対応していただけると助かります。

子供が通う幼稚園では毎年年に1回専門の先生による面談を受けることが出来ます。その面談では、毎年温かい声掛けや励ましの言葉やアドバイスをたくさんいただくことが出来る有意義な時間になっています。実際、その先生からのアドバイスで1年程前から療育に通い始めています。今年の面談では、先生から1年での成長ぶりに驚いたと言われ、初めて今までしてきたことを認められたようでとても嬉しく思いました。出来ることなら、こういったサポートが短い周期で行われてくれたら、子育ての不安がもっと解消できると思います。療育施設は年々増え続けていますが、幼稚園などにも専門的知識を持った方がいてもいいのではないかと思います。

以前インフルエンザにかかって5日間仕事を休みました。登園許可書の事を忘れていて、会社に電話があり書類がないと預かれないと言われました。今会社にいる状況でもう仕事もし始めたのに帰れるわけもなく本当に困り、結局主人のお義母さんに無理を言って迎えに行ってもらいました。久しぶりの流行病で忘れていた私も悪いのですが、インフルエンザの診断が出てから保育園には行けません。他の子にも移すかもしれないし、予防もしなければいけません。なので、保育園ではなく、書類を統一して医療機関に置いてほしいです。きっと私だけではないと思うので、よろしくお願いします。

現在は延長保育が19時までなので、認可でも20時までであると助かる。夕方の軽食が少し充実してくれるといい。

第2子を妊娠中に、一度保育所を退所しないといけなかったのが大変だった。今はそのまま在園できるようなのでいいと思う。

小学校は家の近くでとわかるが、幼稚園等は各自忙しい家事の中で調べないといけないのが大変。11月に申し込みがある等、知識がなかったのでバタバタして長女の時調べました。近くにどういう幼稚園があるとか、特色とか載ってる案内や入園までの流れとか（いつまで申し込み）とか、パンフレットに載っているといいのと思いました。土地勘があればいいかもしれないけど、パンフレットがあればわかりやすいのになと思う。家事の途中でも合間で見ることができると、何でもネットよりは手元で見て家族と一緒に相談しながらゆっくり見比べたりできるといいです。

保育所が少なく、入所待ちが多いと思う。保育園や職員数を増やしてほしい。また、大変な仕事であるので、職員側にも配慮（給与面などの福利厚生、心身ケア、カウンセリング）が必要だと思う。子どもを就活や面接時だけでも預けられるところがほしい。就活の段階から、預け先に困る事がある。父母揃ってすでに働いている人が優先されるが、これから働きたいお母さんが、スタート時点の就活や面接時に預け先がなく働けないのは意味がない。

公園に行っても、2、3歳くらいの同年代の子どもがなかなかいません。そこで、友達との関わりが必要だと感じて、気軽に入園することもできなくて困っています。2、3歳児の受け入れももっと増やしてほしいと思います。

一時預かりに関すること

急に用事が入った時（通夜や残業）に預けられるサポート。今の市のファミリーサポートは急の対応に全く活用できない。本当に必要な時に、必要なサポートがない。

日曜、祝日、年末年始も預かってもらいたい。（仕事の時だけでも）

自分が体調を崩した時など、子育て支援施設等で一時預かりを利用しますが、体がしんどい時など送迎などがあれば嬉しい。

自分（母親）が体調が悪い時に子供を一時的にみてもらえるようなサポートがあれば大変助かります。夫は仕事（出張等）で休みがとれなかったり、またたにっこりんのような一時保育をしている場所では、事前に予約が必要で体調を崩すことは予め予想がつかないので、急な保育が必要になった時、病院を受診する間だけでも見ていてもらいたいと思うことがありました。シルバー人材センターもファミリーサポートセンターもマッチングが難しい。

夜間、土日祝でも家の近くに気軽に預けられる施設があると良いと思う（小学生も含む）。

子供が小さく、外出が大変なので自宅に来てくれるサポートがほしい。今あるサポートは乳児の月齢などの制約があるので、制約のない、いつでも利用できるものがあればいいと思う。

仕事がない日でも家の用事や自分の用事で保育所に預ける際、罪悪感を持ってしまう。保育所は仕事や病気で子をみれない場合に預かってもらえる場所であるので、当然かもしれないが、例えば買い物や美容室に行くのも我慢しなければならないので、自分の時間がとれず心身ともにまいることがある。そういう場合は託児所なのだろうけれど、登録や金額を考えると簡単にはいけない。

育児ノイローゼで虐待を防ぐためにも母親の一人になる時間を作ってあげる対策をしてほしい。例えば低料金で預かってもらえる。出来れば近場で。今も保育園などが一時保育をしているが、前もっての手続きが不便。理想は予約なしで近所の幼稚園、保育園が低料金（一時間200円ぐらい）または市が配布するクーポンみたいなのがあってもいいと思います。で預かってもらえたら助かると思います。

身内にお預かりをするのも気を遣ったり、無理な場合もあります。時々いきららを利用しますが、一回一回の金額はそれほど感じませんが、回数が多くなるとやはり金額面で負担を感じることがありますので、金額の考慮をお願いしたい。二人目の出産前後、第一子をこども園に預けましたが、とても助かりました。ただ、産後2カ月以降を双子等でなくても家事や家庭においての育児をサポートしていただける制度が充実しているとよいです。

ベビーシッター。もちろん有料で3～4時間だけでも赤ちゃんをみてもらって、ぐっすり眠ることが出来れば子供への虐待等も減るのではないかと。

金額は高くてもいいので、自宅に来てくれるベビーシッターがいればいいと思う。

一時預かり施設を増やして欲しい。前もっての予約が必要だったり、定員や時間（預かる時間、時間帯）の制約があり、急な用事や困った時にすぐ預けられる環境ではないと思う。

もっと気軽に一時預かりが出来ればと思っています。現在、小学生、幼稚園、今年2歳の子がいて、学校の行事などの際に利用しているのですが、時間が合わないことも多いです。

急に子どもを預けなければならない時に、近くの託児所を探しても事前に面談が必要であったり、時間が合わなかったりする。本当の緊急時に対応してくれる場所がないというのは、子育てをしていく中で不安な点である。

児童クラブに関すること

夏休み等、長期休みの時に安心して預けられる場所（学童）。普段子どもが学校の時間内にパートで働けても長期休みになると預け先に困る。パート（短時間）だと児童クラブに入りにくい。入れないことが多い。夏休みなど長期のみでもOKな児童クラブがあればとても助かる人は多いと思います。

学童が保育園ではなく小学校にあると助かる。

私は共働きの家庭です。近くに児童クラブがあり、利用させていただいており、大変助かっています。ただ、日曜日は児童クラブがお休みです。出来れば日曜日でも利用できるようにしてほしいです。

子供が小学4年生までの間、長期休みの時児童クラブも空きがなく過ごし方に困った。また児童クラブも8時～18時では、両親フルタイム勤務であるため利用もしにくく、クラブに合わせての仕事との調整が大変だった。

現在、児童クラブを活用させてもらっています。安心して仕事ができるので助かっています。夏休み等の長期休みのときお弁当が大変なので、たまにでいいので、作らなくていい日があるといいのかなと思います。又、長期休みのみ利用したくても、児童クラブは年間通して入っていなければならないので、そこが不便です。民間の施設だと、長期休みの時だけの預かりはとても高額なので、行政でのサポートがあってくると今後さらに助かります。

急な用事、兄弟の学校行事、PTA活動の際に一時的に預かってもらえる学童などがあればいいと思う。

児童クラブの開所時間を保育所と同様に7時～19時としてほしい。現在8時～18時であり、朝は出勤しなければならない時間がそれより早いため、子供より先に家を出なければならない。帰りは帰宅時間が遅いため、結局家で子供だけで過ごす時間が出来る。また、日祝も預かってもらえるとう安心できる。仕事が必ず日祝休みばかりの仕事とは限りません。

小学校・中学校に関すること

私は環境的に恵まれていて子育てをする上で周囲に助けてもらうことが多いです。そのため、上の子の時も下の子の時も出来るだけPTA活動に参加し、子供と関わるよう心がけています（読み聞かせサークル活動etc...）。しかし独身の頃のようにフルタイムの仕事が続けていたらきっとPTAはとても苦しいものだろうと想像します。今の時代働き続ける母親が増え、PTA活動、PTAのあり方など見直す時期にきているのではとも思います。PTA活動が出来る環境に恵まれていると思う一方で、バリバリ仕事をして子供の教育（おけいこなど）にお金をかけられる方をうらやましく不平等だと思う時もあります。PTAのあり方、存在意義、各小学校任せではなく、自治体で一度考えてみていただきたいテーマです。

小さい子供がいると学校のPTAが大変。一人一役は時代に合っていないと思う。

地域の子供も達が自由に遊べる場所が増えると良いと思います。具体的には放課後の校庭の開放です。全国的にも放課後はすぐに下校が一般的ですが、これでは友達もばらばらになってしまい、子どもたちが集まれるところはいつもの公園のみになってしまいます。しかもいつも大体同じメンバーです。児童クラブの子も習い事がある子も、家の方向が反対で普段は一緒に遊べない子も、上級生も下級生もみんなで放課後同じ時間を共有できれば、もっと遊びのパターンも広がると思います。子供たち同士で遊びのなかで学び合うことは、特に小学生のうちは勉強よりも大切な事だと思います。

登下校の見守りの方をもう少し増やしていただくと安心かなと思います。

他県で、小学校の安心メールに加え、登下校の際に校門を通過した時点でメールがくるシステムを導入しているようで、登下校が安心という話を聞いたことがあります。もちろん希望者のみで、別途お金もかかるらしいのですが、うちの小学校でもあればと思います。不審者情報も多くなっている現在、とても安心できるのにはと思います。

障害・療育に関すること

今、療育を利用して、すごく子どもの成長に良い環境なので、このような施設が増えてくれると安心して預けられるし、成長過程には必要な場所だと思う。（何でも子どもの成長の事で気になる事が気軽に相談できる）

医療的ケア児であるため、周辺の幼稚園、保育園での受け入れ先がないのが現実。児童発達支援施設（療育）においても看護師配置が無い所が多く、近くで通えるところがほとんどない。医療的ケア児を積極的に受け入れてくれる場所の拡大を望みます。

特別支援学校へ通っているため、周囲の方へ発達障害についての理解や知識を深めてもらいたいなと思います。この時はどういう対応したらいいなどの声掛けの仕方等を理解してもらえたら、子供も地域へ安心してより深く入れるきっかけになるのかなと思います。

障がい児でも通える、しっかりと体制の整った保育所などが増えてほしい。遠方ではなく近くで、障がい児の世話（育児）に疲れた時などに預けられるショートステイ事業所を作ってほしい。仕事をしている親が、障がい児のために欠勤しなくてもいいように、ベビーシッターやヘルパー、託児所などがあればいいと思う。急な冠婚葬祭で障がい児を連れて行けない時に利用できるサービスもほしい。

私の子育ては一般とは少し異なると思いますが（未熟児で生まれ、在宅酸素をしています）、そのために感染症にかかってしまうとすぐに肺炎になり入院が必要となってしまう状態です。なので、保育所に預けることも出来ず、まだ幼稚園に通わせることも出来ません。娘の治療方針やその他育児に対する価値観の違いから、少し前に主人とも離別し、シングルでの子育てです。365日24時間付きっきりで、自分の用事などままならないことがほとんどで、緊急時などは私の両親にみてもらっていますが、仕事をしたくても集団の中に預けることが出来ないため、かなり厳しいです。そういう病気の子供を預かってくれるようなところや、訳あって在宅ワーク等しか出来ないシングルの親に働き口などを教えてくれるようなサポートがあればいいなと思いました。（市役所さんでシングルの方たちへ職業訓練や就職サポートをするハローワークの方たちが来ていて、その時に在宅ワークのことを聞いたのですが、在宅はわかりませんと言われたので）。

保健所、相談、交流に関すること

色々相談窓口など設けられていると思いますが、相談するのも少し勇気がいり、気軽に相談できるかと言われると少し難しいのかなと思います（相談する方の性格等もあるかと思いますが）。何でもやはり人に話を聞いてもらい、相談できる場や人が周囲にいてくれるのが一番のサポートだと思います。

気軽に相談で出来る窓口、また雰囲気作りが重要だと思います。また、相談したいと思っても実際に保育士さん（先生）には相談しにくい場合もあると思うので、乳児の時に家に来てくれたようなサービスがあると、話しやすかったり、話に行くのが難しい場合に助かると思いました。

子育てに関していつも相談できるのは夫だけです。なので夫婦で行き詰ってしまうと困ってしまいます。鹿児島市の子育て支援でもう少しこうだったら、と思うことは、乳幼児健診をもっと簡易にもっと頻繁にしてほしい。障害のある子を見つけるためのものではなく、例えば半年に1回の相談日みたいな。乳幼児期だけでなく、就学後も気軽に相談できる窓口が欲しい。

小さな不安を気軽に相談や聞いてくれるだけで心が落ち着くと思う。

上の子が小さい頃、保健婦さんに大変お世話になった事を覚えています。とても優しく気にかけて頂き、電話連絡をしてくれたり、訪問してくれたり、子育てに悩んでいた私にとって、とても心の救いになりました。子育てする母親はなかなか自分から発信できない事も多いと思うので、外からの定期的なサポートがあると良いと思います。

託児付きで参加できるイベントが少ない。母親、父親が気分転換できる環境が少ないので1、2時間でも参加できるイベントがあったらよいと思う

子育ての相談を受けることはもちろんのこと、一緒に悩むことに加え前向きに子育てにつながるよう、いろんな人に相談できる環境をつくる（つなげる）ことが、特に必要と考えます。※たらい回しではなく、適切な人につなげるという意味です。

育児サークル等の充実。（低月齢でも参加できる）地域のママさんたちとの交流の場が欲しい。

母親または父親が気軽に相談できるコミュニティがあればよいと思います。子育て中の方が集まって趣味に没頭できるサークル作りや子供から少し離れることでリフレッシュして、また一からがんばろうと思えるような発散の場があれば、楽しく子育てできるのではないかと思います。

家に訪問してもらったり、子育ての疑問を気軽に聞ける近所のサポートがあると一人で子育てをする不安や孤独感が減ると思う。リボンかんや支援センター等へ行って聞く以外に子育ての悩みを話すところがないので、小さなことでも聞ける何かがほしい。産んだあと、1年間は月1回助産師さんに訪問してもらっていましたが、1歳からは何もなくなり1～2歳にかけてのサポートもほしい。

同じ小学校に入るお友達との交流の場などを作ってもらえたら、小学校に入学する時の心配や不安が軽減されそう。

私は子育てをする上で夫と同じくらい相談するのは同じ幼稚園のママさん達です。ママ友作りにはかなり苦労しました。自分からアクションを起こさないとママ友になれないからです。地域や自治体にはママとママをつなげるサークルのような機会を用意してもらえると助かります。中には、引っ込み思案のママさん、おしゃべりが苦手なママさんがいます。そういう方も気軽に参加できるようなワイワイおしゃべりができるような場所を提供してもらえれば孤独になるママさんが少しでも減るのではないのでしょうか。

父親が単身赴任中なので、子供たちに寂しい思いをさせていると思います。同じように単身赴任中のご家庭などと何かスポーツをしたり、触れ合う機会などがあると、悩みが相談出来たりするのかなと思います。

親子で遊べるイベントなどの案内。子育てボランティアの活用、年配の方や中高生などにボランティアで子どもと遊んでもらうなどしてもらえる場があると親子ともにうれしい。子育てに関する相談先（〇〇センター）が多岐にありすぎて結局どこにも相談というか話しづらい。

2人目を出産して間もないのですが、第1子を出産した母親を対象とした育児教室はあるのに「初めてのきょうだい育児、2人目以降の母親を対象とした教室」はないです。あったら良いと思います。きょうだい育児の壁を感じてしまっている母親は多いと思います。教室に参加している間は託児があると、よりたくさんの母親が参加出来るのではと思います。上の子をかまってくれませんかと言われますが、子供が小さい(上の子)と思う様に下の子をお世話しながらかまってくれる事は出来ません。上の子に申し訳ない気持ちが大きくなって自分を責めてしまいそうになるけど、こんな時どうすれば？と思う母親は多いと思います。

予防接種や病気に関するアドバイスや食育について教えてもらいたい。

自治体の保健士さんが、産後に自宅を訪問してくださいますが、半年後ないし一年後にフォローという形で訪問して下さると身近に感じ相談しやすいと思います。

地域の子育てに関すること

鹿児島はおじいちゃん、おばあちゃん世代がめっちゃ声をかけてくださるのはありがたい。ただ初めは慣れないので、鹿児島ってこんなこと教えてもらえたらよかった。レジの人にも子供に優しいし。鹿児島は他人事じゃないって声をかける人が多いよってことをPR。そして声をかける側の人にもいい声のかけ方を指導してもらえるといいんじゃないでしょうか。ハコものや制度よりも「人」が大事ですよ。

同じ地域の同世代の子ども同士の交流の場があると就学の際など顔見知りだと安心感がもてたりするのでは。公園では会う方は決まっていますが、同じ地区に同世代の子どもがどこに何人くらい住んでいるのか全くわかりません。就学前に知って交流があれば子ども同士も親同士も就学に対して期待や安心が持てると思います。例) その地区の未就学児と小学生。

地域などの公民館で無料の子供を遊ばせながらの相談会のようなものがあったり、地域の人達と触れ合うイベントなどがあればそのついでに相談もしやすい。(誰でも参加可能だったり、小さい子供を持つ親などその時によって変更したり)

夜間帯(夕方～21時頃)に用事で話し合いに参加しなくてはいけない時に、預ける場所があれば助かると思う。中心部にわざわざ預けるのは面倒なので、各町内の公民館で預かってもらうシステムがあれば気軽に頼めるのではと思います。

地域に住んでいる高齢者の方による子供達の見守り活動や、一時預かりなどを行って欲しい。

子育てする上で、子供に本当に向き合うためには親もたまにはリフレッシュ出来れば良いと思います。肉体的疲労、精神的疲労の中ではしっかりと子供に向き合えないのではないかと思います。私の居住している地域の方々には本当に良い方が多くて感謝していますが、緊急時は少し距離のある所に住んでいる祖父母に頼らざるを得ないのが現状です。安価で気軽に子供を預かってくれる場所があれば幸いです。少子高齢化社会なので、元気な高齢者もたくさんいらっしゃいます。少しの時間でも、そのような方に看ていただける環境があれば幸いです。防犯上の問題もあると思いますが。

地域のベビーシッター制度のようなものがあると、ありがたい。普段昼間は母親一人で子どもを看なければならず、祖父母は車で1時間かかるために母親の負担が大きい。気軽にいつでも預けられるわけではないため、例えば母親が病院に行く際なども遠方からのお手伝いを頼まなくてはならない。そのため、地域で預けられたらありがたいと思う。

かしこまった感じではなく、気軽に話ができるような場があれば、いいのではないかと思います。(昔ながらの井戸端会議ができるようなところ)制服や通園通学グッズのおさがりを幼稚園や保育園などで安く提供したらいいのではないかと。子育てだけでなく、介護とのWケアで悩んでいる人もいると思う。高齢者介護と育児の窓口を一本化することや、元気な高齢者が気軽にボランティアスタッフとして、幼稚園や保育園、学校に関わればお互い元気をもらえるのではないかと。

私は転勤が多く、鹿児島県以外(福岡、長崎、熊本、沖縄など)でも幼稚園、小学校を経験してきましたが、正直鹿児島ほど地域活動の多い地区はありませんでした。あいごや自治会の参加率が高く驚きました。親としては大変ですが、他の県と違って転校してから周囲の人に顔を覚えてもらえるスピードは断トツで早かったです。せっかく地域活動も盛んなのでこのままいてほしいと思います。(もちつき大会、ドッジボール大会、書き初めなど)

されているのではないけれど、ネットワークづくり、個別の訪問、おたより、あたたかい見守りから信頼が築けるように。子供を地域で育てようという試み。特に困ったときに、近所の方に預けたりできるとか個人的努力も必要にはなってくるでしょうし、働きかけても必要ないといわれる方もいるかもしれませんが、きっとそういう人の中には母親へのサポートが必要だったりもするのかなと感じます。周りの方に気になってもらいたいという。

病児・病後児保育に関すること

病児保育のような感じで子どもが病気の時にみてもらえるようなシステムがもっと充実してほしい。今子どもが保育園に行っているが、月の半分以上は休んでいるし仕事も行けない。先月も7日しか出勤出来ず、2人分の保育料すら稼げない。保育園も病気の子、感染症の子をお預かりする基準が曖昧なので、すぐ病気が広がる。先月はノロをもらい入院したが、ノロと診断が出た子のみ通常便が出ていないと登園できないが、ウイルス性胃腸炎の子は嘔吐が止まれば軟便でも登園している。自治体などで病気の子でも個別訪問看護的な感じでみてもらえないかと思ってしまう。信用性もあると思うが、安心して預けられるような人に家に来てもらい、その間仕事なり買い物なり行けるようなシステムがあればと思う。

子の病気の時に自宅から近い地域や保育園等に預けられる施設があって欲しい。(現在の病児、病後児保育は小児科などで、自宅から遠く渋滞などするような都市部にあるので利用できない)お母さんが子供から少し離れてゆっくり過ごせる時間(気分転換)が持てるように安価で預けられる、預けやすい所があってほしい。身内であっても自分がゆっくりしたいから子守をお願いしたくても言いづらいので。

ほとんどワンオペ育児をしています。子供が具合が悪くなって保育園から迎えに来て下さいと電話がきたら、仕事を早退させてもらっています。祖父母も遠い町に住んでいて来れず、主人も運転手で抜けることも出来ないの、誰にも頼れない、自分しかいないです。でもどうしても仕事が抜けられず早退できないこともあり、以前は熱で迎えに来て下さいと電話で言われて、今すぐ迎えに来れないので2時間くらい見てもらえないか保育園の先生に相談したらその時は「今回だけです」ということで2時間だけそのまま預かってもらったのですが、「次からはこのようなことがないように。祖父母が遠いのなら近所のおばちゃんと仲良くなってその人に迎えに来てもらえるようにしてください」と言われ、絶望しました。簡単に言うけど実際そんなこと出来ない。言った先生に怒りもこみ上げました。少し熱が出た時でも仕事が抜けられないこともあるので、そういったサポートがあればいいなと思います。

両親共働きのため、夜も遅くなったりする場合があります。気軽に見てくれる方、サポートしてくれる方がいると助かります。また、子どもが病気で保育園に登園制限がかかった時に、入れる病後児保育が少ないため、当日体調が悪い時に急に休めなかったりするため困ります。もう少し増やしてほしい。

仕事をしているので、子供が熱を出した時にも預かってもらえる施設がもっと増えて欲しいです。そういうところに預ける後ろめたさもあります。

共働きで保育園へ11カ月から入っています。病気をすると、主に母親の私が休みをいただいているのですが、続けては休みにくいです。近くの病児保育は毎回キャンセルのキャンセル待ちくらいで一度も預けられません。でするので、保育園も必要ですが、病児保育ももっと増やしてほしいと思います。

事前予約なしで、緊急時に1時間程度預かってくれる施設があれば助かります。病気の流行る冬場などは、病気の子ども以外は病院に連れて行きたくないです。

子どもが病気にかかった時が一番つらい。長引いた時は特にそう思う。親が睡眠不足になったり、子どもから離れずに世話をし、心配で精神的にも疲労したあげく同じ病気をもらったりする。病児保育はハードルが高く、長引くと祖父母にも頼みづらいため、何週間も子どもと二人で家の中にいることになる。子どもの病気の回復期に、ファミリーサポートが受けられるととても助かると思う。

土曜の午後からの病児保育をしてくれるところがあると良い。

職場環境や仕事と子育ての両立に関すること

働き口を探しているが、やはり子連れだとなかなか仕事に決まらず悩んでいる。託児があるのは大手企業や大学が主なので、託児がある職場（保育園以外）が増えると助かるなど感じている。保育園も待機になるのでなかなか難しい現状です。

仕事に追われている毎日ですので、特に緊急時などは直接子供の面倒をみていただける環境があると助かります。入院などすると両親のどちらかが付き添う必要があり、仕事と家庭の両立は大変困難になります。

（子どもが）病気の時に、休める仕事環境、労働条件。保育園に入所できているので、無認可保育園の方よりは状況は良いと思う。最近言われている子供食堂があると嬉しい。週に1回だけでも仕事のあと、子供3人を学童と保育園にお迎えに行き、そのまま子供食堂で食事をとり、自宅へ帰宅できるようになったら助かる。

自治体だけでなく一般企業に勤めている保護者が多数いると思われるので子育てに関して企業側のサポートも必要ではないでしょうか？サポート体制の構築。共働き世帯が増加しているので学童等も一般企業の勤務体系など考慮して頂けないのか、自治体も寄り添うことが必要だと思います。

どうしても子供の病気などで保育園に行けない時や病院への付き添いは母親にかかる。もっと社会的に父親が積極的に育児に参加できる、しやすいようになってほしい。男性の育休などももっと身近なものになってほしい。

母親が仕事をする上で、長時間保育所に預けたり、親に預けたりすることを心苦しく思うことが多々あります。そこを理解してくださり、責めずに話を聞いていただける環境があると、働く母親としては頑張れると思います。

子供が熱発するなど急に休みを取らなければならない時、職場に対しすごく申し訳ない気持ちになります。両親と主人の協力もありますが、母親の役目が一番多く、仕事との両立にすごく悩んだ時期もありました。延長保育も利用していたので上の子2人を保育園と一緒に通わせている時は出費が多く、何の為に働いているのか分からなくなる時もありました。働いている一番の理由はやはり子供の将来のためなので、貯蓄が十分に出来る様に保育料の値下げを一番にお願いしたいです。あとは、病後児保育などももっと充実して頂けると助かります。

共働き家庭でのサポートをもっと充実させてほしい。保育所18時～延長料金をとるが18時までの仕事のため延長せざるを得ない。また19時までの開園なので、仕事が長引くと19時に間に合うか慌てる。雨の日など渋滞に巻き込まれるともう間に合わない。まず会社が何も気にかけてくれない。子育て家庭について無知な人が多い。もう少し企業にも働きかけてほしい（時短推奨や残業のあり方など）。

共働きだと、夫婦ともに時間的余裕がなく、子育てに追われる毎日です。できるだけ、子育て期間は休暇を取りやすい体制づくりが望まれます。子供たちだけにしづらいので、小学校までは子育て休暇（有給）、あるいは子育てのための時短で、給料が減らされないような制度があればいいと思います。

その他

自治体によっては、出産時にオムツや粉ミルクのサンプル等の詰め合わせセットをプレゼントしている所もあるようだが、ぜひ導入して欲しい。

子供3人おりますとインフルエンザ等、感染症にかかった場合、悪くすると1か月仕事が出来ない事がありました。病児保育の強化、無償化。予防接種をしてインフルエンザになってしまった場合、予防接種代、仕事を休む、金銭的に大きな負担。予防接種子供無料化。

このようなサポートよりも子供手当など所得制限をなくしてほしい。所得が多いわけでもないのに子供手当が減額。税金などかかるお金が多いので子供にかけられるお金が他より余裕がない。とても不公平感を覚えながらの子育てをしています。

基本的な生活習慣の共有。相談、日常の様子などやりとりしやすい環境であってほしい。要支援を必要とする子どもとの生活の仕方、理解を深めるための教育。用品の提供、サポート（あまり出費を増やしたくない）。園外保育などでいろいろな経験をしてほしい。就学前に必要な教育を園で取り組んでほしい。

保育園、幼稚園、高校、大学なども授業料無償化してほしい。そしたらまだもう2人ぐらい出産しても安心。少子化対策にもなると思う。

家の周辺が交通量が多く、歩道や信号のない横断歩道、横断歩道があっても右折車、左折車がいったりと、子供だけで外を歩くことが難しいので、交通安全面でのサポートがあると安心できると思う。自転車の人も多いため、歩道と自転車道の区別などとにかく歩行者の安全を守ってほしい。

外国人のため、英語対応してほしい。日本語は少しわかるが難しい話が出来ない。

習い事をさせたいが、送迎する人がいないのでサポートしてほしい。

送迎付きの学童、保育所があると助かる。

子供の医療費の全額助成があってほしい。

幼稚園の預かり代が無料になったら嬉しい。

子供の発達や困り感に対応して頂くだけではなく、保護者の精神状態もサポートしてもらえればありがたい。

子供の育ちについての学習。心がどう育っていくのかを学ぶ機会があることで、子供にとって安心して幸せな子供時代が過ごせると思う。また、育てる親も自分の子育てが正しい関わり方なのか手探り状態です。親が安心して育てていく自信にもなると思う。

幼児教育無償化は助かります。高校大学まで無償化してください。

小学生まではあまり教育費がかかりませんが、中学・高校になると出費が多くなり経済的に余裕のない家庭は大学進学をあきらめたり、奨学金や教育ローンを借りて生活にゆとりがありません。塾の授業料も高く、みんなやりくりしながら通わせていると思います。小・中学校や公共施設で無料塾があればありがたいです。勉強を教えるだけでなく、社会性を身につけられる場があったらいいと思います。家庭だけでは、思うようにいきません。

幼稚園や保育園の無償化をお願いします。

2 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について

(回答数 1, 205 件から抜粋)

子育て全般に関すること

高齢での子（2人）につき、無償化は非常にありがたいです。一方で3歳からスムーズに預けることが出来るのか少しだけ心配です。首都圏はわかりませんが、現状国や地方自治体の子育てに関する環境整備や支援策についてはとても感謝しており、今後の増税もある程度理解しております。今後も感謝を念頭にサービスや支援を利用させていただきます。あと細かな話ですが、制度の不正利用などで貴重な財源を無駄にしないように運営していただければと思います。

転勤族でこれまで大阪市、熊本市、海外（東南アジア）で子育てをしてきましたが、鹿児島市が一番子育てしやすいように感じます。保健センターで3歳児検診後も言語面や発達について相談でき、様々なサポートがあることも教えて頂き、安心することができました。ただ、待機児童の多さには驚きました。幼児教育の無償化が始まっても、その受け皿があるのか疑問です。きっと無償化を機に働き始めたい母親も多いと思うので、保育施設等で雇用創出があれば良いのになと素人ながらに感じています。話はそれますが、ニーズ調査はネットでいい、協力者には抽選でQ u oカードプレゼントなどあれば、より多くの方から情報を集められるし、郵便料もかからず、回答者も楽かもしれないなと思いました。

最近不審者情報が多く、子どもが就学したときに一人で学校から帰ってくることを考えるととても不安です。かと言って仕事を休むわけにもいかず。安心して子どもが過ごせる地域になって欲しいです。

以前始良市に住んでいたことがあったのですが、支援センターがたくさんあってとても利用しやすくマンネリ化しなくて子育てするには最適な地域だなと思いました。鹿児島市も同じような環境になればいいなと思いました。

鹿児島は自然環境が豊か。子どもの教育にはまだまだ活用できる余地あり。都会では体験できないけれども「鹿児島だからできる」をもっともっと提供してもらいたい（子供の時の経験は人生の宝です）。

子供に優しい環境があればありがたいです。ベビーシッターなど親がリフレッシュ出来る環境が欲しい。

両親ともにフルタイムで働いていた過去がありますが、本当に母親の負担が大きい世の中だと感じ、フルタイムで働き続けられないといけない状況でしたが、私への負担が大きかったため現在パートで働いています。しかし、経済的にぎりぎりなため、来年度はフルタイムで働こうと考えています。教育・保育環境は十分整っていますが、会社での働き方、子育て支援の取組が整備されてほしいと思います。中学生までの子どもを持つ家庭への両親の勤務時間等改善すべきだと思います。保育園の利用時間が拡大・充実されればされるほど、勤務できる時間が長くなったり、世の中、社会全体で子育て世代の帰宅時間が17時と決まってくれたら、わりと子育てにゆとりの時間が持てそう。母親は仕事、家事、子育て、学校のPTA役員、地域、町内会活動、少年団活動など子供の成長につれ所属するものが増えていき、それらの負担もあり、休まる暇がありません。子育て支援は充実していると思います。なかよしのも、りぼんかんも未就園児にとっては最高です。

鹿児島市は子育てをしやすい環境であると思います。第2子が産まれたらぜひ色々なサービスを活用したいです。

2008年に上の子が産まれてこういったアンケートが配布されたことが初めてで、大変うれしく思います。比較的私の住んでいる地域は、年配の方たちから声を掛けてくださることもよくあり、3人の子育てをしてきて、嫌な思いをしたことはあまりないので、どちらかという満足した子育てをしてきたと思います。しかし、子供が大きくなるにつれ出てきた問題があります。それは「働くこと」です。私の場合、年がはなれた（小4、小1、2歳）こともあり、小1の子が、幼稚園に入ってからすぐに働き始めたのですが、1年程で妊娠した為今も休職中です。2歳の子を保育園に入れて働きたいのですが、優先順でいくと下も下の方で。このまま、幼稚園に入るまで待つか土・日、主人が休みの日に少しの時間で働くか、迷って土曜日だけの勤務をすることになりました。上の子たちが通っていた幼稚園も子ども園になりましたが定員も10名ほどで。まだまだ保育施設が足りないと思います。働きたいけど預け先がないとなげいているお母さんはたくさん周りにもいます。無償化の話より、預け先の確保の方が気になります。

転勤族で色々な地へ行って子育てをしているけれど、鹿児島は子育てしやすいし、困った時に相談しやすいと思う。保健センターの方たちも雰囲気がよく、行きやすい。もう少し、支援センター内のイベント内容の充実があったらと思う。育児サークル等も少ないと感じた。子育てに専念しているお母さんは日中子供とどう過ごそうと日々考えているので、色々なイベントがあったり、色々な集いがあるとお母さん子供の輪も広がっていいと思う。

子育ての基本は家庭にあると思います。家庭で明るく子供に向き合える子育てを日常化した中で、地域の方々や行政のサポートを受けながら、すべては子供たちの笑顔の為親達も努力していかねばならないと思っています。

昨年まで住んでいた県では、長子が小学3年生までは次子の保育園の料金が半額になっていた。鹿児島市では長子が小学生になると次子の保育園料は全額支払いになると知り驚いた。まるで2歳までは家で育てるべき、という古い考えを押し付けられているように思う。女性が働きやすい環境づくりとは言葉ばかりなのかとがっかりした。鹿児島市は子育てに関して非常に考えが遅れていると思う。子育てしにくい市だ。

個人的な意見になりますが、勉強などの知的なところよりも一人一人の心を育てていくような、そんな教育環境を子供達に整えてあげられたらと思います。私が子供の時は家族以外にも地域の方々との接点が多く、周りの環境もおおらかであったし、知らない大人も子供がしてはいけない事をしていたらきちんとしかってくれるような、厳しくも優しくもある地域の環境があったように思います。今は、人と人との関係性が薄れ、周りに頼れなかったり我が子さえよければというような方もいらっしゃるなあと思います。地域の子供達は地域みんなで見守っていく、そんな考えがみんなで共有できれば一人一人の子育ての負担も減って、安心して子育てできるのにと常に思っています。

子供を産むまでは、こんなに充実した場所（りぼんかんなど）や制度があることは知りませんでしたが、子供が生まれて鹿児島市に住んでいてよかったとこれまで以上に実感しています。保健センターでの定期的な身体測定&相談会も活用していて、わからないことや不安なことを気軽に相談できるのは本当にありがたいです。

1年前に東京から引越してきました。鹿児島は広く大きな公園があって外遊びが楽しいです。中央駅付近にもりぼんかんのような室内で遊べる施設があったらいいなと思います。市内に住んでいても車を所有していないとりぼんかんのような施設に行けないことが残念です。鹿児島の方は人が温かく子育てしやすい環境だと思います。

鹿児島市の子育て支援はとても充実していると思います。県民交流センターのASONDOなどはもっと多くの人たちに認知されるべきかと思います。（混雑するのは困りますが）特に転勤族で小さな子供がいると、働きたくても働けない母親が多くいるかと思っています。こういった人々が働けるような支援があると嬉しいです。（職業紹介など）

いつも市民の広場を大活用しているものです。公民館講座やリボン館での料理教室などをよくチェックして楽しんでいます。その時気になるのは、託児があるかどうかです。託児ありの講座、もしくは親子講座があると喜んで応募させていただいています。リボン館をはじめ、各ヶ所に子育て支援センターが次々出来ており、鹿児島市は子育てしやすく発展しているなあと実感しています。地方にも住んだことがあります、1か所に集中していてそれはそれで探しやすくアットホームな雰囲気でした。こちらはたくさんあるので、どこで何があるのか知らない事が増えました。臨床心理士さんへ相談を何度か利用したことがあります。発達障害について不安が募り、発達障害についての講話があるといいなとおもいます。(託児つき)放課後、子供教室があり嬉しいです。母乳外来への援助チケットがあると、負担なく授乳を楽しめると思います。

すごく子育てしにくい地域です。少しの怒鳴り声で通報されたり、何の前触れもなく児童相談所職員が来たり、民生員とかなんのためにいるのかと思います。まずは手順を考えませんか。本当に虐待の疑いがあるなら、子供は外で遊ばないし、会う人とかに挨拶なんてしませんと思います。嫌な思いをしての子育てに余裕なんて持てませんよ。家庭環境にも影響及ぼしています。一人で悩んでる母親はたくさんいます。その中の一人です。もう少し地域や市の方々が動きかけた方がよいのでは。

転勤族であり、さまざまな都道府県で生活したが、子供の保育環境において、ここまでレベルが低く家庭環境を全く見ていないことには驚きを隠せません。幼稚園等の教育関係は勿論、病院関係の改善については早期に取り組んでいただけることを願っております。

幼児教育はその後の義務教育につなげる重要な役割を担っていると考えます。保育士や幼稚園教諭への資金(税金)投資は急務です。給与が低い園からはこれからの地域を支える子供たちを「育成したい」と志す優秀な人材方が離職されています。そのような生産人口の核である若い保育士たちを大都市に奪われないようにすることも持続可能性社会の実現には必要と考えます。幼児教育の現場には、健常児だけでなくある程度の割合で特別な配慮の必要な子もおります。そういった現状にあり、障害などの専門家を多く雇用し、子やその家族、保育士さんへのサポートをさらに充実していただくことを望みます。多職種が関わり、地域住民も巻き込んだ学びの場の形成が必要と思います。

自分たちが子育て(乳幼児期)中の時から比べると、今はとても充実しているように感じる。地域の子育て支援事業の取組がこれからも充実して欲しい。自分の娘が出産、育児をする時、近くで協力したい気持ちはある。その時に、仕事と両立できたり、短時間で勤務ができたり、職場、社会に気兼ねなくできるような社会の仕組みがきちんと確立されていることを望みます。

鹿児島市は子育てをする環境については、とても充実していると感じています。保育料の無償化が現実になれば、家庭内においてもほかに必要な物や事にお金を使ったり、今後のために貯金にもまわせるので、とてもありがたいです。子育ての環境はとても満足しているのですが、それに関わっていらっしゃる保育士さんや先生方またその他の方たちの待遇や働く環境についても整えて下さると嬉しいです。

行政施設、子育て支援施設に関すること

全体的に施設の老朽化が目立ちます。福祉会館や小学校はもちろん、幼稚園とか見学に行っても「えっ?」と二度見するほど古く、あまり清潔感がないのが気になります。子どもの夢を育む場なので、施設はきれいであってほしいです。

鹿児島市内は正直子育てに良い環境とは言いがたいです。(他県と比較して個人的に思いました)保健センター周辺も道が狭かったり、駐車が不便だったり、バス停が遠かったりするので、育児相談や健診に行くのも大変です。子育て支援センターも以前は時々利用していましたが、車で行くと駐車料金がすごく高いし、バス停からも遠いしどこに行くにも駐車料金が、不便などの理由がついて回り、殆ど行かなくなりました。(駐車場があっても少なくとも止められず諦めたことも)公園も整備が行き届いていない所が多く、遊具も少なくどこに行っても同じなので、そのあたりも見直していただけるとありがたいです。(雨の翌日も水はけが悪く、水たまりが残ったままで遊べなくなるブランコ等々)賃金に対して物価や家賃が高いので子育て世代には結構いろいろとしんどいです。支援も更に充実していったらいいなと思います。

福祉館のイベントがもう少し多かったらよかった。

りぼんかんやたにっこりんなど室内で遊べるところがあるのはとってもありがたいです。そこよりさらに身近な地域の子育てサークル（子育てサロン）も遠出しにくい赤ちゃん時期に助かりました。

他県に住んでいた時に比べ、公園が利用しづらくなりました。多くの公園がもっと明るく、開放的、衛生的になったらいいなと思います。

りぼんかんに行く機会が月2回ほどあるが、もっと職員の方に関わってもらいたい。自分から声をかけにくい雰囲気があり、見守ってくれているのは感じるが、もっと介入してほしい。最近の子育ての様子はどうかなど聞いてほしい。子育て相談までいなくてももっと気軽に話したい。自宅とは異なる環境でリフレッシュ兼ねて行っているのに、知人のいない空間で結局は子供としかコミュニケーションがなく終わってしまうのが残念。大人と話をしたいが他の親御さんとはあいさつ程度で行っても楽しめなく疲れて帰ってくるのがオチ。まだなかまっちの方が気さくに声をかけてもらえるし、以前住んでいた県外の子育て支援センター職員の方の対応がよかったですだけに比較してしまう（千葉県習志野市）。ただ、りぼんかんの一時預かりサービスには満足しています。

鹿児島は子どもが遊べる場所が少なすぎます。もっと有料でも子どもが思いっきり遊べる場所を作って欲しいです。

宛名の子が小さい時はなかよしのがなかったが、末子が産まれてからできたので、そこへ連れて行って遊ばせることが出来ました。室内で安心、安全に遊べる環境が整ってきているので嬉しいです。宛名の子は読書が好きなので吉野に公民館の本が充実していくとうれしいです。よろしくお願いします。

昨年新聞で親子つどいの広場と地域子育て支援センターが同じ地域にあるところは地域子育て支援センターをなくすような記事を読み、利用しているところがなくなってしまうのではないかと心配しました。1日2時間ほどですが、地域子育て支援センターをほぼ毎日のように利用させてもらい、子どもも親も充実した時間を過ごす事ができています。日中子どもと過ごせる地域子育て支援センターが近くにあり、大変ありがたいです。これからも利用したいと思います。

子供たちが幼稚園へ通うようになってからは、なかまっちやりぼんかんなど全く利用しなくなりました。小さな赤ちゃん、未就園児の子達が行くところが多いので、利用しにくく感じてしまったりも。行けば様々な情報も得られ、楽しそうなイベントも多くやっているので、自分から情報を得ていけないと思います。鹿児島市は火山灰もあるので、室内で遊べる施設、幼稚園児、小学生など少し大きな子も思いっきり遊べる施設があればいいなと思います。

認定子ども園に入所するまで、東谷山の福祉館をよく利用していました。同じ地域の友達もできました。鹿児島は公園が沢山あるのでいいと思います。

りぼんかんやたにっこりんなど遊ぶ施設はありますが、子どもを連れて行く場合、親がしっかり子どもを見てほしいです。なかには、親はスマホに夢中で、他の子どもとのトラブルにも気が付かない親もいます。そのために保育士もいるのですが、見て見ぬふりの保育士もいて、危なくて次も連れて行こうと思わなかったこともあります。利用してくださいというなら、そういった部分も考えていただきたいです。

よく、子育て支援センターを利用させていただいています。各地域にあって、それぞれのカラーがあって楽しいです。保育士の方に気さくに話しかけていただいているいろいろなお話ができてうれしいです。ありがとうございます。離乳食開始前に講座を受けたかったのですが、予約抽選のものが多く、なかなかタイミングが合わず、受講できなかつたのが残念でした。

子育て中の期間でも、特に子供が小さい時は母親の負担が大きいと思う。子育てしながら親も一息つくことができれば心身リフレッシュできるのでは。その際のサポートと施設の整備をしてもらえばいいのでは？

未就園児に対する施設は充実しているようだが、幼児～小学生に対しての施設は少なく感じる。たにっこりんをよく利用していたが、未就園児向けで小学生の娘を連れて行くと白い目で見られた。また、たたみの部屋で寝た子供をみていると、「ほかの子の邪魔になる」と追い出された。2人以上の子供がいる場合赤ちゃんや未就園児に対しては大目だったりしっかりサポートしてくれるが、それ以上になるとすごく厳しく感じる。外で遊ぶ子、室内で遊ぶ方が好きな子、いろいろ個性があるので柔軟に対応してほしい。それが無理なら、大きい子向けの施設を充実させてほしい。

郡山地区は児童クラブと児童センターの2つの施設があり、0歳児から中学生まで幅広い年齢の子ども達（その親も）が利用できる環境がとてもありがたいです。特に児童センターは長期休暇中の利用（夏休み、冬休み）が無料ででき、親としてはとても助かっています。

両親が共に転勤のある仕事ですが、鹿児島市の子育て環境や支援が便利だと感じるため、職場が少し遠くても鹿児島市に住んでいます。欲を言えば、もう少し保育所などの受け入れ人数をふやしたり（保育士の雇用を増やす）、保育所自体も増やしてもらえれば、親の仕事と家庭の両立の負担が減り、子どもとの時間も充実させられるのではないかと考えます。地域の子育てサロンや育児サークルが充実しているので、育児に困るときに行ったり、同じ話題で語りあえる友人も出来て本当にありがたいです。今後も利用し、一人で悩むことがないようにしたいと思います。少し話が違いかもかもしれませんが、公民館など様々な施設におむつ替えスペースのあるトイレ（女性用）は増えたと感じていますが、男性用トイレにはおむつ替えスペース自体がないことが多く困ることがあります。子どもが2人もまだおむつの場合、どちらの子ども母親がおむつ替えをしなければならなくなり大変です。どうにかならないでしょうか。

子育ての情報に関すること

子育て支援事業について、なかなか周知していない人が多くいると思う。もっと市は子育て世帯へアピールすべきだと感じる。

地域に子育てサポートがあるのは知人から聞いて知っていたが、自分から調べて行こうとは思わないので、ポスト等にチラシや今後の予定表などを入れてもらえたら助かります。

引越し先での知らない土地での子育てだったので、幼稚園などの情報が分からず苦労したので、そういうその土地の情報が気軽に聞けるようなサークルや場所があるといいと思います。

未就学児に就学への意識を高め、子供の発達を理解するため市教委と保健センターの連携した事業は出来ないのか。例：保、幼へ出向いての保護者への説明会等（発達の正しい知識、利用できる社会資源の紹介など）

今回のアンケートでも市が取り組んでおられる事業で知らないものも多いことに気付きました。子が生まれたばかりですが今後は父として情報にアンテナを張る努力も必要だと思いました。そういう方も多いと思うので、また是非様々な情報発信をしていただきたいです。

引っ越ししてきたので途中入園となり、入園料や制服、道具代、とても費用がかかって困った。保育所と認定こども園を同じような扱いで役所では案内されたが、上記のようなこともあることを伝えてほしかったです。認定こども園に通わせていますが、園やクラスによるのかもしれませんが先生をもっと増やしてほしいと思います。細かいところまで目が届いていないと思うことが度々あります。

いろいろネットで調べることが多いので、ネット情報を増やしてほしい。

全体的に出産以降からの訪問などしっかりとされていて良いと思うが、住んでいる地域の子育ての環境や支援、情報など入ってくるのが少ないのではないかと感じる。（話を聞いたことがあります）自分たちでネットで調べたりしないといけなかったり、周囲に子供がいる人との関わりがないと色々な情報が入ってこないという現実もあるのではないかと感じました。それぞれの地域で、どのような取り組みがあるのか制度などを含めて自分たちで調べて聞くのではなく、常に情報を発信してもらえると（広報紙など）みなさんどのようなことが地域で取り組まれているのか、教育や保育の環境がどうなのか知ることができるのではないのでしょうか。（もちろん保護者が自分で調べるのも大事ですし、毎回発信する側も大変だとは思いますが）

このアンケートにより自らの子育て、これから職場復帰することに関し再考する機会をいただいたように感じます。私はサポートしてくれる環境が整っている方なので、あまり困るということが現状ありませんが「こういう支援がありますよ」ということを、より積極的に広報していただくと（具体的な中身も含めて。相談先の電話番号だけでなく）ヘルプの手を出しやすいのかなと思います。話は変わりますが、よく子供を連れて外出することがあり、授乳室やベビーベッドが出先にあるのか毎回調べて出かけます。市で民間の機関や店などの情報をとりまとめるのは難しいかもしれませんが、そういう一覧があるとありがたいです。すでにあるのでしょうか。

県でもいろいろとしているのかもしれないのですが、なかなか知らなかったり知る機会がなかったりしている。SNSで配信してみるなどすると知る人が増えるかもしれない。

妊娠、産後等にもらうパンフレットが同じ内容で別冊子なものが多い。まとめて1冊にしてほしい。多すぎて読み切れない。そのパンフレットで病気、怪我等のものだけでなく、トイレトレーニングや離乳食などの情報も欲しい。

りぼんかんやたにっこりん等はイベントが分かるので行きやすいのですが、もし保育園、幼稚園等も見学や開放等があるのであれば、その一覧表があれば分かりやすいなと思いました。

心配なく出産、育児出来る環境を作っていただきたい。将来を支える子供の数が国、地方を支えます。長期的視点に立った政策を施行すべき。このアンケートを記入する中で知らない行政サービス等が多くありました。周知活動が不足しているのでは。

子ども2人（当時0、2歳）を入園させるのに大変苦労しました。両親とも実家は遠方にあり、働きたいが働きに出られないという状況でした。周囲では、保活がかなり早くから始められていると聞き、焦るばかりでした。産後1カ月訪問くらいで、保育園への入園を考えているのかどうかや簡単な流れなど少しでもいいので、情報を知りたかったです。

幼稚園、保育所等に関すること

幼稚園の未就園児教室の情報などを地域の子育て支援センターでも共有して情報提供してほしい。よく利用している支援センターでも情報を目にすることはあるが、その近辺の幼稚園しかなく、情報が少ない。待機児童を解消してほしい。働きたい母親はたくさんいると思うが、保育園等の空きがなく働けない。以前支援センターで働きたいママの就活応援講座に参加した際、待機児童の件は皆さん不安に思ってた。ただ、幼児教育無償化に伴い、保育の拡大による質の低下は避けていただきたいです。

現在保育園にお世話になっている。大変助かっている。そこは非常にありがたいのだが、保育料が負担ともなっている。時に病児保育を民間で利用しているが、預ける際に罪悪感を感じる。子供のために働いているつもりなのに、病気の日まで会社を休めず子供を預けていいのか。病児でも保育園に預かってもらえる環境を整えてほしい。英語教育のためにスクールに行っているが、保育園でも出来ると有難い。特に外国人教師がいる環境が欲しい。幼稚園ではそのような園も多くできていると聞く。保育園でも取り入れてもらえないか。

現在のこども園に大変満足しています。保育士さんたちの働きやすい環境整備に支援をお願いしたいです。

待機児童解消の為に保育施設は増やしたほうが良いが、同時に児童の体と心の安全を確実に保てるよう、数だけではなくて、質も重視してほしい。

保育料の無償化は有難いですが、通園希望が増えてこれまでのような教育水準が保たれるのか不安です。下の子の育児や今後の就業の希望があるので、その際希望通り上の子と同じ所へ通えるのか心配です。一律無償化により、各家庭の事情を考慮した現在のようないいやり方が良い気がします。

認可保育所の数を増やしてもらいたい。保育所等で見てもらえる時間が短い。（延長等含む）

認定こども園や幼稚園にもっと簡単な手続きで希望通り入れるようになって欲しい。入園手続き方法が分かりづらい。

なかなか保育園に入れないのが現状で、育児休暇はあっても保育園の入所に合わせた形で復帰するのが現状である。現在も第3子を出産して、育児休暇中であるが1歳になってから保育園に入りたいが、4月の方が入りやすいので、休みはあるが今回も保育園に入りやすい時期に合わせた形にしようか迷っている。月齢が小さくして預けても、体力がなく予防接種等もあつたりで、仕事を休まないといけない日も多く出てくるので、出来れば1歳過ぎてから預けたいし、預かる側もその方がいいと思う。保育士を確保するために、時給を上げたりして何らかの取り組みをした方がいいと思う。保育園や認定こども園にもっと入りやすくしてほしい。

現在、認定こども園に5歳と2歳の子を預けています。通っている園は、絵画教室、英語教室、タブレットを使った学習などがあり、子供達も楽しく充実した生活を送っています。できれば、1号認定で預けているので14時以降の習い事へのあっせん事業をしてもらえると助かります。どうしても、両親が休日の土曜日に習い事が集中してしまい、親子の時間が過ごせないでいます。また、小学校の姉たちは年に1回芸術鑑賞会があり、普段見ることのない歌や踊り、楽器を目にする機会がありますが、幼稚園にもそういった機会があるといいなと思います。

他府県からの転入で鹿児島に来て、保育料の高さに驚いた。なぜこんなに高いのか不思議である。

保育園にお世話になっています。保育園の先生方の待遇、給与面の改善をお願いします。働く親にとって、子供が楽しく保育園に通ってくれることが何より助かるので、先生方の支援をお願いしたいです。

保育料の無償化は良いですが、保育の質が落ちないか心配です。あと、保育士の働く環境をもっとよくしてあげてください。子供が病気の時は休みがとりやすい環境になればいいなと思います。

私は保育士の資格を持っていませんが、子どもが好きなので保育園で保育補助の仕事をしたと思っています。このような人が他にもいれば、保育園の定員を増やせたり、待機児童問題も解消されるのではないかと思います。ぜひ対策していただきたいです。

幼稚園をムリにこども園にしないようにお願いします。ただ幼稚園にもこども園でなくていいので年少々クラスを設けてほしいです。幼稚園の先生方への支援の強化をお願いしたいです。保育園の保育料の完全無償化は納得いきません。（幼稚園同様上限はあるべきです）

企業主導型保育園に通っていますが、とても環境が良く、親としても嬉しいです。家族、妹、祖父母にも可愛がってもらえる娘は幸せだと感じます。

一時預かりに関すること

夜勤や土日祝に勤務することもあるので、子供を預けることができる施設がもう少し増えるといいなあと感じます。

りぼんかんの託児室などは利用者が多く、何日も前から予約しないと利用できないなどと聞きます。家の近くに住んでいるシッターの情報などが気軽に分かり、気軽に利用できるようになるといいなと思います。

一時預かりを利用したいと思っても、利用料金が安い市の認可園は予約でいっぱいと言われ、希望する日時に利用できないことが多いので、もう少し預けられる園を増やしてほしいです。りぼんかんも託児を利用しますが、1時間500円ではなかなかで…短時間の利用しかできず、兄弟2人預けないと2人目が半額にならないのは残念だなあと感じています。下の子を預けたいと思うのは、上の子の園の行事だったり、幼稚園での親の集まり（作業）であつたりするので。また、求職活動をしたと思っても、小さな子を連れて市役所へ行ったり、ハローワークへ行ったりしなければならず、保育園の空き状況などももう少し色々ネットで見られるようになると便利なのになと思います。子育て支援に関しては、上記以外とても満足しています。

兄弟が多いのでPTA活動も参加する回数が多く、上の兄弟のPTA活動参加する時に下の子を連れての活動が難しかったりするので、低価格で気軽に短時間でも預かってくれるところがあったら助かります。

ファミリーサポートやベビーシッターを頼みたくても金銭的に負担がかかります。本当にサポートが必要な人はそんな余裕もあまりない人が多いと思います。負担がかからず安心して利用できるのが理想です。

認可外保育施設に関すること

現在認可外保育園を利用して、働くことが出来ているので非常に助かっています。認可外でも月極ですと定員オーバーで入れなかったりしますので、認可保育園に入所したいのはもちろんですが、認可外保育園の存在も大切だと思います。

無償化になった後の受け皿や保育士の確保は本当に現実的なところ大丈夫なのだろうか。保育の質を落とすことは絶対に良くないことであり、現に保育士不足な状況でどのような対応が望ましいものか。どこのどの施設において（特に認可外）事業者（主）が無理をせず、安心安全に子供の教育、保育を行える現場になるようにしていただきたいです。

児童クラブに関すること

放課後児童クラブ等を普段利用していない児童に対して学校行事の時などに利用できるような制度があれば助かります。

児童クラブの迎えの時間が早く、遠い通勤の者は利用しづらい。又長期休みは開所が遅く、少し子どもが早く行くと注意される。時間帯を他の自治体並みにしてほしい。とてもあずけにくいので、お金だけ払っていて普段は利用していない（長期休みは利用）。他の手厚い支援のある自治体から転入してきたので、とても不満を感じる。

子供が小学校に入学した後、共働きなので放課後や学校が休みの期間（土曜日・夏休み等）の子供の過ごし方が心配です。児童クラブは定員が少なく、低学年でも2、3年になると入れなくなると聞いたことがありますし、夕方は18時までしか預かってもらえないようなので、フルタイムで働くことや残業に対応することがためられます。夕方暗くなって子供が児童クラブから独りで帰るわけにもいかないとします。最近では犯罪のニュースも多く、たとえ高学年になっても子供を自宅に独りで置いておくことも不安です。母親がフルタイムで働けるよう、小学校就学後の放課後、長期休暇の預かりについてももっと充実してもらいたいと切に願っています。現在パート就労をしていますが、小学校就学後に子供が19時まで安心できる場所で預かってもらえるのであれば、フルタイムへの転換を希望しています。18時まででは移動時間を考えたときに迎えに間に合いません。

今年は、妊娠出産に伴い、長期にわたり入院しました。小学校低学年の長女を放課後は児童クラブに通所させることができ、大変助かりました。（父親の帰宅時刻が遅いため、自宅に長時間一人でいさせることがなく安心でした。出産後利用可能な期限が始めから、決定されていましたが「年度末まで」とか「半年等の一定期間内」で延長できるようになったら、なおいいのと思います。復職の予定はなかったものの、体調がすぐれないなどで、もうしばらく通所させてもらえたら（長女のためにも）ありがたいのと何度も思いました。それもあって、退所の書類に「辞退」との表記をしなければならないことにもやめました。一歳未満の乳幼児がいる家庭も利用対象になるなど、もう少し児童クラブの利用がしやすくなったらうれしいです。

児童クラブが学校内にあってほしい。

仕事に復帰したくても子供たちの長期休みのことを考えると、パート勤めもなかなか難しいのが現状です。幼稚園はお金を払うと長期休みもお預かり制度があるけど、お預かり代も月払いだと高くつくし、小学校だと長期休みだけの学童保育などもないので、預け先がなく、仕事も始められず、家計も厳しく節約ばかりでストレスもたまる一方です。小学校の低学年だけでもいいので長期休みの間だけの学童保育の枠を設けてもらう制度をお願いしたいです。

児童クラブを利用させていただいていますが、どちらかという放課後よりも夏休みのみの利用が出来ることを強く希望しております。放課後はそのまま帰宅しても、しばらくすると母親が帰宅するため、それほど利用しなくても大丈夫だと思うのですが、やはり夏休み等の長期休暇の際は一日中お留守番となるととても心配ですので、児童クラブにお願いしたいと考えているところです。なかなか利用児童数が多いため、夏休みのみの利用は入所しにくいのが現状で夏休み（長期休暇）利用したいために入所させていただいている状態です。（周りにもそのような方がとても多いです。） 近くに公園等がなく不便を感じております。学校もスポーツ少年団などにより遊べる環境が少ない状態です。

鹿児島市の学童保育や児童クラブが現在 18 時までとなっていますが、仕事のためその時間までにお迎えに行くのは難しいです。せめて 19 まで延長できたらと思います。

小学校に入った時の預け先が心配。学童をもっと増やしてほしい。

小学校・中学校に関すること

P T A の役員やあいご、町内会の役員をすると、どうしても夜の会議があり、その間子どもを預かってもらわないといけなくてとても心苦しいです。家の家事も遅くなり、疲れがたまってしまいます。

授業参観や P T A への参加がもう少し少ないと良いと思う。小学校になると幼稚園の時と比べて 1 人になる時間が長くなる。現在宇宿小では児童クラブの他に放課後教室がある。この放課後教室が毎日あるといい。

小学校、中学校、児童クラブ共に保護者会などの学校行事参加、会合等が多過ぎ。強制的である。他の県から来た者にとってはとても苦痛である。特に P T A。どうにかしてほしい。ポイント制とか、免除とか履歴とか、いったい何のこと？いつの時代のこと？ちょっとびっくりです。一人一役の係は他県でもやっていましたが、強制ではなく委員をするという程度のも。みんな仕事をしているので、そこは協力していたものです。鹿児島の風土かもしれないが、他県から来たものにとってはとても受け入れられない。

市が行ってくれていた放課後教室（地域コーディネートの人が勉強を見てくれたり遊んでくれたりするもの）が週 5 から週 1 になった。以前は回数が多くとても良かったが、週 1 回ではあまりに少なく、習い事と重なると行けない。もう少し回数を増やしてほしい。

松陽台町に住んでいるのですが小学校がとても遠く、松元小へは J R で通学しないと行けないそうです。小さな子供に 1 人で J R 通学させるのはとても不安です。

小 1 のカベは存在すると思う。子供が小学校に入ると突然サポートが薄くなる。子供は小 1 で一人で留守番は出来ない。学童はお金がかかる（特に突発的に預ける時 1 H 5 0 0 円等）。P T A のあり方を自治体でも考えてみて欲しい。

現在私（母親）が働いていないので、パートなどで働き始めると子供たちの生活環境なども変わってくるのだらうと思います。地域のあいご会活動で子ども達はいろいろなことを学んでいるように思います。この活動がさらに活発になっていくのもいいだらうなあと思っています。

長期休暇の際の子どもたちの預け先がなく、就業に踏み切れない。児童クラブでの過ごし方が適切なのか分かりづらく、安心して預けることができない。放課後子ども教室という存在を今回の調査で初めて知った。少なくとも近隣にはなく、利用するに至っていない。子ども達の通学圏内にあって、徒歩で行ける施設や子ども教室があれば積極的に利用したいと思う。幼児だけでなく、小学生の教育サポートにももう少し力を注いでほしい。学力テストの鹿児島の順位は正直このまま鹿児島で子育てをしていていいのかと悩むほど低い。大学よりも前の段階（中学生くらいから）で県外に進学させようかと迷っている。

障害・療育に関すること

子どもが放課後等デイサービスを利用しています。IQが高く療育手帳が取得できません。先日私の体調が悪く、移動支援のサービスを使えないか市役所に相談に行きましたが、「手帳がないと移動支援は使えません」と言われました。なぜ受給者証があるのに使えないのでしょうか。手帳の有り無しはそんなに重要な基準ですか。手帳取得のボーダーラインにいるIQの子はたくさんいます。そしてその子のお母さま方は手帳取得することをためらうこともあります。手帳を受け入れる勇気もいります。みんな悩みながら児童デイを利用していると思います。健常児の子育てよりももっともっと大変だからです。手帳にこだわらず、受給者証を持っている人が受けられるサービスの拡充を強くお願いしたいです。

発達障害などの子供が保育園などにスムーズに通えるような支援をしっかりとしてほしい。

子供の発達の遅れに不安がありましたが、療育を受けることができ安心して毎日を過ごすことができます。

障害があるというのをお話しして入園許可をもらったのですが、保育に関わる人達があまり障害への理解がない、知識がないと感じたことがありました。保育園に5年通いましたが、意識が変わったかなと感じたのは入園して4年が経とうとしていた頃でした。もう少し保育に関わる人達の意識が高ければ、障害を持つ親は預けやすくなり、園で孤立する事も無くなると思います。

父親は平日が休み、母親は日曜が休みなので一緒に行動取ることが難しいため、それぞれで参加できる子育てについての集いなどがあれば積極的に参加したいが難しい。子供が多動で療育に行っている為、子育てについての集いに行くのも、他人に迷惑をかけないか気になり行けないという面もある。子供を区別するのは良くないが、現に周囲に気を使わないといけないので気軽に行ける場が欲しい。（気を使ってしまう現状）

子育て子供の発達について相談するところがわからない。支所に電話しても的確な回答が得られない。支援が必要な子に適切な支援がなされていない。療育を受ける子をどんどん増やして施設をどんどん増やしているが果たしてどれだけの施設がきちんとした療育をしているのか疑問です。園長ですら、ただのお預かりの気持ちで療育をしているのが現状です。専門的な知識を持った人員が足りなさすぎます。ある程度の知識や経験をもった人が携わった現場であってほしいです。

相談、訪問等に関すること

宛名の子の兄弟が、小学校になってから発達障害の診断を受けました。診断を受けるまで、友人関係などのつまづきが多々ありました。発見が遅かったので、もう少し早く気付いてあげてサポート出来ていたらと思いました。自分に知識が無かったことを悔やんでいます。発達障害について勉強出来る場所、そして色々対応できるように気軽にアドバイスをして頂けたり相談できる場所があったらと思います。

地域との関わりがうすくなっている現在、周囲にどんな人が住んでいるのかよくわからず不安になることがある。家が隣の人等は会話をしますが、仕事復帰も3月にしか異動先が分からず不安な現状です。周囲に相談してもどうにもならないのでもどかしいですが3月を待ちます。鹿児島市は子育てをするのに便利な場所だと思いますが、相談等に参加した時教科書通りの話しか聞けず残念に思ったこともありました。意見を押し付け、こうでなきゃいけない、ではなく、相談する方に寄り添う姿勢も必要ではないのかと思います。

子供が幼稚園に通っています。先生に色々悩み事を相談したいのですが、先生方も多忙なので中々自分の子供の相談の頻繁には出来ない。他の子供達もいるせいか、お願いしたことが中々担任以外には伝わってなかったりする。自分の子を優先にして欲しいわけではないが、先生にお願いしたことはその日保育に関わる先生にきちんと伝わる様にして欲しい。前日熱発していたりしたら、気にかけて欲しいのです。安心して子供を預ける場所になる様に、人員配置など整備して欲しい。

<p>以前、本当に育児で辛い時りぼんかんや保健所等に電話したことがありました。でも、リアルタイムで相談に乗ってもらえるわけではなく、とにかく予約、予約と言われ結局何のためにもなっていないと強く感じました。今では幼稚園で都度話を聞いてもらえるが、まだ入園していない人たちは同じ思いをしているのではないかと思います。みんながみんな、悩みを声に出せるわけではないので、もっと形式的、事務的ではなく、その家庭に寄り添ったサポート体制を作って欲しい。</p>
<p>県外から越してきての子育てになります。（鹿児島が地元です）こちらで初めて子供の3歳児健診を受けた際、落ち着きがない、座ってられないなどの行動が引っ掛かり、要相談という形になりました。その際、以前の保健センター（県外）の職員の方の対応と比べ母親を不安にさせる対応だと思ったことがあります。表情・言葉のひとつひとつが妙に深刻さをおび、まるで責められているような気持ちになりました。母親の為、教育現場の為、子供本人の為にそういった不安要素を1つずつ解決していくのは必要なことかと思いますが、「大丈夫ですよ」もなくまるで「この子はおかしいですよ」というような態度で接されたこと私は忘れることができません。子育てにもっと追い詰められているおかあさんなら、もっともっと傷ついたかと思えます。以前は心の拠り所であった保健センター（とてもお世話になっていた）怖い場所になってしまいました。次は何を言われるかという恐怖です。様々なお母さんがいます。様々な保健士さんがいることも承知です。ですが、行政の方々の言葉がどれだけ育児で疲弊したお母さんたちに影響があるか、今一度配慮して頂けたらと思います。もちろん、素敵な職員の方もたくさんいらっしゃいました。あと、この量の紙を入れる封筒が小さい。</p>
<p>近くにはらっぱ（支援センター）があります。話しやすく、色々相談しやすいです。近所に同じ年の子供がいません。同じ悩みを話し合える環境が欲しいです。</p>
<p>子供が未就園児のときには、支援の制度（検診など）で保健士さんなどと子育てに相談をする機会があったが、卒園して小学校に入ってからどのような場所に相談していいのかわからない。一覧表など頂けると嬉しいです。</p>
<p>保健センターを通じて、子育てに相談をしたことがあります。同じ方（市役所の）が何度か対応してくださいましたが、年齢に比べてゆっくり成長しているという見解を召されて、療育を進められました。その自分は”療育”というものに抵抗を感じていた私で、ずいぶんと悩み知人などにその方の言われたことを伝え、たくさん泣きました。言う人、言う人、”気にしなくていい””うちの子は兄弟の中で一番成長が遅かったけど、今では一番しっかりしている”など子育て経験を話され、励まされました。また親戚からは”療育”の素晴らしさを語られ、今ではもっと早く療育に入れておけばよかったのか!?と思うほどになりました。子供が100人いたら、子育て法は100通りあると聞いたことがあります。その方も、いわばマニュアル通りの指導の必要性があり、この年齢ではそういうことはしないと断言せざるを得なかったのですが、私には合わないと思い、もう市役所にある相談所は利用しないつもりです。初めての子育てで手探り状態でもありましたが、人から聞いた経験談を自分の子に例えて（置き換えて）話をしても否定される。そういう方がスタッフにいらっしゃるの残念です。</p>
<p>病児・病後児保育に関すること</p>
<p>病児保育について、開始時間を早めてほしい。仕事が8：30から開始なのに、8：30から診察されても遅刻するしかないのだから休んだ方がいいと思う。もう少し早めに預かってくれたら働く方にとってはありがたい。</p>
<p>共働きなので急な体調不良などで保育園にお迎え、お休みなどはとても大変です。病後児保育も利用したいのですが、利用時間の都合上どちらかが仕事を遅刻するというのが現状で、数日間利用するとその間は毎日遅刻ということになりなかなか利用できずにいます。</p>
<p>小児科と連携した保育所が増えると助かる。親が高齢の場合小さい子供は預けられないのが現実です。</p>

今は小学生になったので休むことも少なくなりましたが、小さい頃は病気をして休むことも多かったです。その頃はフルタイム勤務だったので、なかなか休めずに病児保育にお願いしたりしていましたが、枠も少なくなかなか入れないこともありました。今は増えたのかもしれませんが、働く母親としては、本当にもっと病児保育ができる病院があればいいと思っていました。

職場環境や仕事と子育ての両立に関すること

育休後、職場復帰した際にもっと時短勤務を取得しやすい環境がほしい。（フルタイムだと子供の寝る時間が遅くなり、健康的でないと思った。朝も早いためかわいそうだと感じていた。15～16時に仕事を終われたら、子供との時間もとれるし、早く寝ることができる。）子育てに対する考え方はそれぞれで、すぐに働きたい人もいれば3歳まで家庭内で育てたい人もいます。どのニーズにも対応できる国になればいいと思います。3歳未満の保育料が高い。給料の半分近くもっていかれる。

3人目の子供は落ち着いて育児をしたくて、又高齢になりつつある親のサポートにも不安があり、母親の自分はフルタイムを辞めました。高齢出産が増えるのは良い事ですが、介護も始まったり、本当に女性は大変と感じます。男性で「育メン」の方もいますが、やはり母親ができるなら母親が育児をした方がじっくりくる気がしています。無償化されるから働きたいと思わないです。働くことは大変です。パートも経験しましたが、正社員が足りない分を補うのがパート。子供の都合で休む事が申し訳なくて、結局疲れて辞めてしまいました。なぜこんなに忙しい社会なんだろう…。夫の疲れた顔を見ながらつくづく考えてしまいます。バランス難しいです。あと保育園の先生方の質もかなり落ちている気がします。（人数が不足で）

上の子の時も、現在下の子も仕事をしながらの子育てでしたので、保育園、子ども園もスムーズに入れて、仕事への復帰もスムーズに行けたので、誰にもご迷惑をかけることはなかったのですが、保育園、子ども園に入った後、子供の体調不良で早退する形になることが多く、職場に迷惑がかかることがあったので、母子共に元気で良く過ごせるまでの周りのサポート、配慮があったらと思います。復帰して早退、休んでばかりでは親も後ろめたくなるので、病気の時預かってくれる機関（施設など）があると安心して働けます。親も高齢になると目が行き届かなかったりするので、専門の方にみてもらう方が安心な面もあります。地域で生きていくことが子供も見守られる環境であることが一番、大人にとっても、子供にとっても安全、安心が得られる環境なのだけだと願います。

昔と違い、現在はご近所さんとのつながりが低いので、ご近所さんとのつながりを深めていけるように住民同士が気を付けていきたい。職場にまだまだ育児の理解が低いため、子育て真っ最中の親が働きにくい状況ではある（パート、アルバイトは別として、正社員に関して）。働き方改革でもっと変えていく（考え方）必要があると感じている。

経済的に厳しいため、1歳で働きに出なければいけなくて（会社の育休も1年）子供ともう少し一緒にいたかったです。病気のたびに休み、遅刻もわかりかし理解のある職場ではありますが、心苦しいのが現状です。お給料は減るし、働けば子供と要る時間が減るし、悩みどころです。子供のために休み、遅刻等もっと職場で国が定める形で堂々と休める社会になれば働く方は楽になります（現状やめてほしいと思われている）。幼児教育無償化はありがたいが、預かり施設の質の低下、待機児童の増加（本当に保育が必要な人へ順番が回ってこない）、保育士の労働増加が心配です。子育ては本当に大変です。

職場によって育児で利用できる制度がバラバラなので、どの職場でも利用できるようにしてほしい。また、子供の体調不良時も問題なく仕事が休めるようにしてほしい。そういった取り組みができている職場に対して、市が補助金などすると定着すると思います。

結婚を機に仕事を退職しましたが（元幼稚園経論です）、正直育児休業をこれまでにとったことがある方がおらず、結婚＝退職という雰囲気でした。妊娠中であつたため、余計辞めなければ迷惑がかかると感じました。少しずつ育休が取れるようになってきていると思いますが、安心して育休、産休がとれるような社会になってほしいなと思います。

鹿児島市は親子つどいの広場があるので、本当にありがたいです。スタッフの方のサポートも助かります。仕事復帰を考えていますが、保育園と児童クラブの心配が非常に大きいです。職場でも迷惑をかけるだろうし、子育てと両立できるかなどの不安は尽きません。女性の育児休業取得は当然のこと、男性の取得率が低いのでは、仕事の環境や母親への育児の負担増など変わらないと思います。短時間勤務が取得しやすい職場、環境、サービスが増えること、そして、社会全体で子育てしていこうという雰囲気が確立すれば、もっと子育てはしやすくなるだろうし、孤独な育児も減ると思います。妊婦の時に、職場で気遣ってくれるのは、既婚で小さなお子さんのいる男性でした。逆に厳しいのは独身女性でした。当時、職場には女性が少なく、既婚者もほとんどおらず、まして子育て中の助成はゼロでした。同性でさえなかなか想像しにくいのだと思います。男性ならなおさらでしょう。近くに子育てしながら働く女性が複数いるというのも大事なことのような気がしました。

育休中に退社しました。戻っても働きにくい環境でした。急な病気での休みや短時間勤務などとても取れそうになかった。

子育てに関するニーズアンケートを取ってくださり、子供のために動いてくださることに非常に感謝いたします。会社でフルタイムで働きますと、なかなか子供との時間を取ることが出来ず、PTAや病院、習い事等満足できるように動けず歯がゆい思いです。ワークバランスなど叫ばれていますが、中小企業ですと人が足らず、休日もほぼなく、そこまで働かなくてはならないのかと思うほど、仕事に時間を取られている現状があります。仕事に縛られ生き生き出来ず、不満ばかりでは子供もかわいそうだとは思いますが。週に1~2回でも早帰り、定時上がり出来れば全然変わってくると思います。男性は、育休、時短を取る必要があるのか疑問に思います。そこまでとらなくても、早帰り、定時帰り出来るようになると非常に良いと思います。せめて幼いお子さんがいる方は残業なしにしてあげてほしいです。会社でも近所でもコミュニケーションが減って、個人情報とかに守られて孤立していくのが残念な気がしております。もっとフランクに出来る環境が出来るといいです。お節介おばちゃんみたいな方が欲しいです。

私の働く会社には元々育児休暇はなかったのですが、妊娠した時に上司に相談したら快諾してくれました。今後働きながら出産、育児をサポートしてくれる会社が鹿児島にもっと増えると嬉しいです。もし上司がダメだと言え、私は仕事を辞めて育児をしていたでしょう。本当に感謝しています。しかし、目上の先輩は良しとせず睨んだり仕事をやめるように言ってきたのも事実。若い人だけが優遇されるのをおもしろく思っていないようです。昔の考え方で凝り固まらず、これから出産育児を頑張る人たちを応援してもらえたらいいなと思います。

3年生の双子育児をしています。小さい時は病気ばかりでしたが、職場の理解あり、休めました。職場に病児保育があるので安心して仕事出来ます。私は恵まれている方だと思います。

父母ともにフルタイムで働いており、児童クラブ、認定こども園に子供を通わせています。とても助かっております。しかしながら、子供と過ごす時間があまりにも少ないのではないかと、もう少し子供とゆっくり過ごす時間がほしいという思いが常にあります。職場に短時間勤務の制度はありますが、取得しづらいのが現状です。保育事業所等の拡充はもちろん必要ですが、子育て中の世帯の勤務状況（制度はあっても利用できない。もしくは制度がない）の改善の働きかけを行政として強く行っていただきたいです。

保育の充実はまだまだ難しい環境にあるように感じます。特に家庭での役割など、母親が行う役割が多く、学校行事など母親がすることが多いように思えます。家庭の負担になることもあります。父親の子育てをもっと充実できたらと思います。

父親教育をもっとしてほしい。母親はベビーシッターではありません。自分も父親としての自覚を目覚めさせるための策をお願いします。それと、「最近のお母さんは良い制度があつて楽ね」と言う先輩お母さま方のお話、子育ては常に「今」大変なのであって「楽ね」と言われるのは心外です。どうかかけてください。父親は体調不良になると寝ているだけでいいのに、母親は体調不良になっても子供の世話をしないといけないのはどうしてですか。父親からケータイとスマホをとりあげてみてはどうでしょうか。

子育てと仕事の両立は中々難しいですが、認定こども園の先生方や保健師や市役所の方々と接する度相談に乗ってもらい助かっています。主人は病気がある為フルタイムの仕事は難しいですが、子供を定時にお迎えしてくれたり助けてくれています。私自身、先ほども書きましたが朝から帰り時間等勤務時間にばらつきがあるため、少し働き方に悩んでいる所もあります。職場の風潮もあるのですが、もう少し若い子供がいる家庭の事を考えていただけるよう働きかけくださると嬉しいです。次回出産する時は時短勤務を申し出ます。

子育て支援施設はとても充実してきていると思う。子育てに関しての会社の理解はだんだんとは深まってきていると思うが、まだまだだと思ふ。子供が小さいうちは一緒に居たいと思うが、保育園入所のタイミングを考えて育休期間を決める。早く復帰したい人、長く子供といたい人、各家庭それぞれだと思ふので、そのニーズに合う育休取得ができ、まわりの理解もあるといいと思うが、現実には難しいと感じる。同じ子育て世代には理解してもらいやすいが、管理職世代との意識のずれは感じる。(イクボスは現実には多くない。これは妊娠中にも感じたところ)。男性の育児参加、PTA参加、行事参加などが当たり前になるような理解や実践を男性の側がしてほしい。教育に関して、保育園～小学校は手厚い。それが中高校にもつながるような環境になって欲しい。

子供が小さい時は、熱発等の病気によく保育園から連絡があり、職場に迷惑をかけているのではないかと電話が来るたびにいつも心苦しい思いをしています。でも、働かないと家計は厳しい。子育てしやすい職場、社会環境になって欲しいです。特に子供が乳幼児期は母親も心身共にたくたです。真面目に働いている方々を救って欲しいです。

幼児教育無償化や経済的支援に関すること

子供が3人いて、毎年インフルエンザの予防接種にかかる費用がとても負担に感じます。子供の分だけ助成のある市町村もありますが、その様にならないでしょうか？幼稚園や小学校の制服のリサイクルできる環境があったらとても助かると思います。

夫婦どちらも外国人留学生のため、認可外保育園や現在通学、通勤している大学の保育所は利用料が大変高く、経済的にとても利用出来そうにない。このまま子供を預けることが出来なければ、大学での勉強、アルバイトが難しい。日本は便利な面が多いけれど、子育て、福祉が遅れている。早く全部保育所等無償化になると助かります。役所関係は英語の対応できる人を増やしてほしい。外国人向けに英語の書類も取り扱ってほしい。

子供たちの医療費の補助がもう少し必要だと思っています。

4月に福岡から鹿児島市に引越してきて感じることは、医療費が高いという点です。以前は3歳まで無料、未就学までは月600円の負担でした。隣の市では未就学までは無料の地域もありました。鹿児島に来てからは子供2人病院に行っても。市販の薬でなんとか様子を見て治しています。消費税も上がりますし、ますます家計が苦しくなりそうで心配です。

幼児教育の無償化について、気になる点があります。無償化になり乳幼児の預かり先が増えて、先生方の確保はできるのか？質が悪くなるのではないのか？親が安易に子供を預け「母親が育てない子育て」が始まり母親が親として育てていけないのではないのか？子育てに悩み、苦しみながら親になり、またその子供の子育てに協力できる経験ができるのではないのか？母親にこびる制度ではなく一番にするべきことは、保育園、幼稚園の先生方の給与を上げて職場環境を良くし、先生方の人数、質を確保すべきだと思う。

市町村から出産祝い金が出る所や2人目からオムツ等の助成がある所や自治体によっての違いが大きい。全国でほぼ同じようにして子育てしやすい環境であるべき。

早く無料化にしてほしい。保育園などに入れて働かないといけなのに入れたい。病院の窓口支払いをなくしてほしい。出産費用も少なく済むようにしてほしい。

短時間勤務制度について。利用したいが給与が減額されるのに保育料はかかるので、経済的に考えたときに理想的ではないと思う。実際、仕事と家事・育児の両立を考えたときにすごく利用したい気持ちはあるが、給与の減額があるため、ためらってしまう。給与減額の分の補てんの制度を作ってほしい。

幼児教育無償化も必要で考えなければならないが、小学校、中学校、高校生のある家庭も支援が必要な家庭もあるように思います。

高齢者は支援が手厚いが（消耗品など）、子供は意外とそうでもない気がします。選挙やら大人の事情があるんだろうなあと邪推してしまいます。こども手当はつい使わずに貯金してしまいます。オムツなどはそこから買えばいいのですが、将来のためにと考えてしまいます。病院の費用を返金していただけるのは、とてもありがたいですが「その程度で」「どうせ返ってくるから」という声も聴きます。必要のない受診も多くありそうです。非課税世帯など、必要な子供のみでよいと思っています。

子育ての支援ということもあり、幼児教育無償化が実施されようとしていますが、自分の世帯は下の子が小学生に上がることもあり、恩恵を受けません。逆に3年ほど前の保育料の改定に伴い保育料が上がってしまい、この数年は保育料の負担が多くなり、仕方ないとはいえ年間0の人もいれば年間36万ほどかかる人もおり、納得できないこともありました。これから3人の子供を小中高まで行かせて、その上大学までと考えると、お金がまだまだかかるので、医療費負担が無償化されるとありがたいです。市は2000円以上でないに戻ってこないの、病院で2000円以上かかることはあまりないので、他の日置市、いちき串木野市、薩摩川内市は全額補助ですし、インフルの予防接種も補助があると聞きました。中学まででもいいので医療費無償化の支援してほしいです。

以前住んでいた地域では、出産祝い金やオムツやミルクの助成金等ありましたが、市内に引越してからそういった補助金がない。生活のためにもっと働きたいが、働けば働くほど税金でもっていかれ損をする世の中。どうかしてほしい。

その他

母親もしくは父親などが日中一人で家事や育児をしなければならないのは、とても負担が大きいと思う。多胎児だった場合などは、特に妊娠中からのサポートが不可欠で、周りのサポートがなければやっていけないと思う。

ネットでアンケート出来ると助かりますし、協力しやすいと思います。

子どもの鳴き声や足音について苦情を受けたことがあり、防音対策（マットを床に敷く、早く寝かしつけるなど）をしたが、それでも貼り紙などをされ、それ以来少しトラウマになる傾向になっている。もっと子育て世代への理解が欲しい。特に市営住宅に入る前に子育て世代が上・下・隣の階にいる場合は、そういったこともあることを伝えた上で入居して欲しい（現在市営住宅住まい）。「子育て世代」で入居したのに、とても苦しい時期があった。子育ての環境として、見守ってくれたり、声をかけてくれる人がいることが救いだった。親世代だけでなく、それ以前の若者の理解もないと、今の環境のままでは楽しく辛くなってしまいかねないと思ったこともあるのが事実。少しでも理解が広がりますように。

病院代の手出し、夜間は高いのに家に現金を置いてなかったら行けない。どうせ返すなら最初から、市が負担すればいいのに、効率が悪い。保育料の短時間と長時間の金額の差がなさ過ぎて意味が分からない。送り迎えの時間や残業が入ったら、短時間保育だと延長をかけないといけなくて、むしろ長時間保育より高くなる。鹿児島は子連れて遊びに行ける場所が少ない。

前住んでいた自治体では子ども医療証を見せるとその場での支払いは一切ありませんでした。後から返ってくるとはいえ、家計が苦しい時に病院通いになると結構大変です。また車がなくて希望を出せる認可保育園が1か所しかなく、そこに入れず認可外に通わせていますが、保育料の高さに困っています。家計のために子どもを預けて働いていますが、毎月収入の半分を保育料で持っていられるのはしんどいです。意味がありません。働きたくても預け先がなく、働けないお母さんはたくさんいます。もっと規模の大きな認可保育園を増やしてください。待機児童をなくし、もっと住みやすい鹿児島市にしてください。

今の時代、子育て、家事、仕事とやる事がたくさんなのが当たり前になっています。働いても、働いても、税金や生活費の支出が多く、生活が良くなっている気がしません。保育料無償化、保育園増設より、父親、母親の賃金を増やすことが先決だと感じます。その方が保育料などを変えるよりずっと簡単だと思います。母親が働く事より子育てを優先し、子育てを楽しめる世の中になるのが一番です。

やはり高齢者に対するものと比べて子育てに対する行政の支援は足りていないと思います。未来に対する投資が少ない。「税負担」に対する教育ができていないと思う。「税負担＝損」と捉えられないような教育、政策が必要です。その上で、保護者の就労等の有無に関係なく、広く保育、教育を受けられるようにしてほしいです。

私も学校に通いながら資格取得を目指しています。子供に寂しい思いをさせないように必死です。母子家庭で、資格取得ができる制度にはありがたく感謝しています。子供と時間が取れるように学校の制度が変わればいいなと思うことがあります。

この質問とは関係はないですが…。上の子の時もこの調査に抽出され、記入し投函しました。質問が多過ぎ、時間がかかります。乳幼児を抱えていると少しの時間も確保することが難しい時もあります。今回も3日間かけて記入しました。質問を減らし、往復ハガキ等で多数の人に回答してもらってはいかがですか。その方が一人一人の負担も減り、回答率も上がると思います。

夫が全国に転勤のある職種であったため、多くの都道府県へ転居しました。第3子は保育料がかからなかったり、医療費が中学生まで無料など、他県ではありましたが、鹿児島は意外と子育てにお金がかかる印象です。（高福祉だと子供が増えている県が多いような）北陸地方では両親が共働きが当たり前のようでした。もう一つあげるなら、学校での教材が他県より高いように思います。県指定のノートなどより、工夫次第で学力を向上させられるのではと思いました。県出身者でありながら、他県の幼稚園や学校を経験しての印象です。

私は幸いとても職場環境に恵まれており、子どもが体調を悪くしたときや行事の際には、有休を取得できたり、時間単位で休めたりします。近くに子どもをみてる人はいませんが、病児保育を利用したり、利用できないときには欠勤したり、平日休みの夫とも協力しあっています。職場に理解があれば、子育てもかなりスムーズにできます。現在はパートで働いていますが、子育てにもっとしっかり時間を使いたいので、しばらくはパートで働くことを希望しています。しかし、一つ不安があります。我が家は小学校までかなりの距離があります。近い将来就学するにあたり、安全に通学できるのでしょうか。不審者もいたり、事件事故などのたくさんの情報を耳にします。それらを未然に防ぐためにも、スクールバスのようなものがあれば、安心して通わせることができると思います。

よく子供と散歩をします。歩道のない所が多いため気を配りながら歩くので歩道または安心して子どもに限らず、子、大人が歩ける環境になればいいなと思います。

私自身はまだ切迫した状況ではないのですが、親（両）が家にあまりいない、シングルマザーの家庭のお子さんが気になります。字が読めない、書けない、いつも遅刻してくる、忘れ物が多い、問題行動が多い、子供からよく聞きます。こういった子供たちが将来貧困を繰り返してしまわないように、朝夕方の2～3時間をサポートしてくれる体制があればいいと思います。手を貸してあげたいと思うことがありますが、相手の方が不快に思われることも考えられるので、公的なサービスがあれば利用しやすいと思います。

地域で育てていくために、地域の結びつきが充実するといいです。休みの日に年齢の幅が広い兄弟3人が上の子から下の子まで遊べる施設などで充実してほしい。（りぼんかんなど年齢制限があるため）グリーンファームなど体験プログラムがあるのはとてもいいが、人数制限でなかなか利用できない。

住んでいる地域が国道沿いで車通りが多いです。子供が道路に飛び出しそうでいつもひやひやします。ガードレールがないので、あったら安心だなと思います。子供を連れて行きやすい食事が出る所や室内で子供を遊ばせられる施設が近所や天文館にもっとできてほしいです。鹿駅付近はベビーカーを押すづらいです。道路がボコボコしています。（特に踏み切り）

他県でいいなと思う支援があつてうらやましい。鹿児島も他からいいなと思われたい。ここに移住したいと思う支援をお願いします。

私が住んでいる地区には、子供だけで遊びに行けるような公園がないので、道路の広い所や車通りのあるようなところでも子供達（親は仕事で不在）が遊んでおり、大変危険。各家庭、教育方針はそれぞれですが、子供だけで留守番をさせ、他の家庭の子供（そこは保護者がいる）のところに遊ばせに行き、子守をさせるなど、少々モラルのない親が増えているように思います。しっかりと子どもの学校の後の時間をどう過ごすか（過ごさせるか）を学校を交えて考える企画など良いのではないかなと思います。

公園に小さな子供でも乗れる、かごブランコを増やしてほしいです。幼稚園の無償化には反対です。低収入の世帯のみで良いと思います。高収入世帯も無料なんてまた税金が上がることになります。それよりも待機児童問題を解決してほしいです。

転勤族です。鹿児島の子どもにかかる医療費の高さにやや不満があります。窓口負担しかり月2000円は自己負担。さらに任意予防接種の料金の高額さです。障がいのある子どもたちやその親たちへの熱心な指導やケアには感心しています。「子は国の宝」だと「西郷どん」で島津さんのセリフがありました。子どもたちによりよい環境を、親がここ鹿児島市で子ども達を生み育てていきたいと思える環境づくりをどうぞ宜しくお願いします。

IV 調査票

「子育てに関するニーズ調査」ご協力のお願い

市民の皆様におかれましては、平素から市政へのご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

鹿児島市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく、子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、五年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を平成 27 年 3 月に策定し、計画的な給付・事業を平成 27 年度から実施しています。

本調査は、次期計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。調査にあたりましては、本市にお住まいの方の中から無作為に抽出された 5,500 人の 11 歳以下（H30.11.1 現在）のお子様の保護者様宛に、本調査票をお送りしております。

なお、ここで回答していただいた内容は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。現在の「利用状況」や「今後の利用希望」について、ご回答ください。

ご多用とは存じますが、ご協力よろしくお願いいたします。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成 30 年 12 月 4 日（火）までに投函してください。

<子ども・子育て支援新制度とは>

【目的】

- 急激な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子供の成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

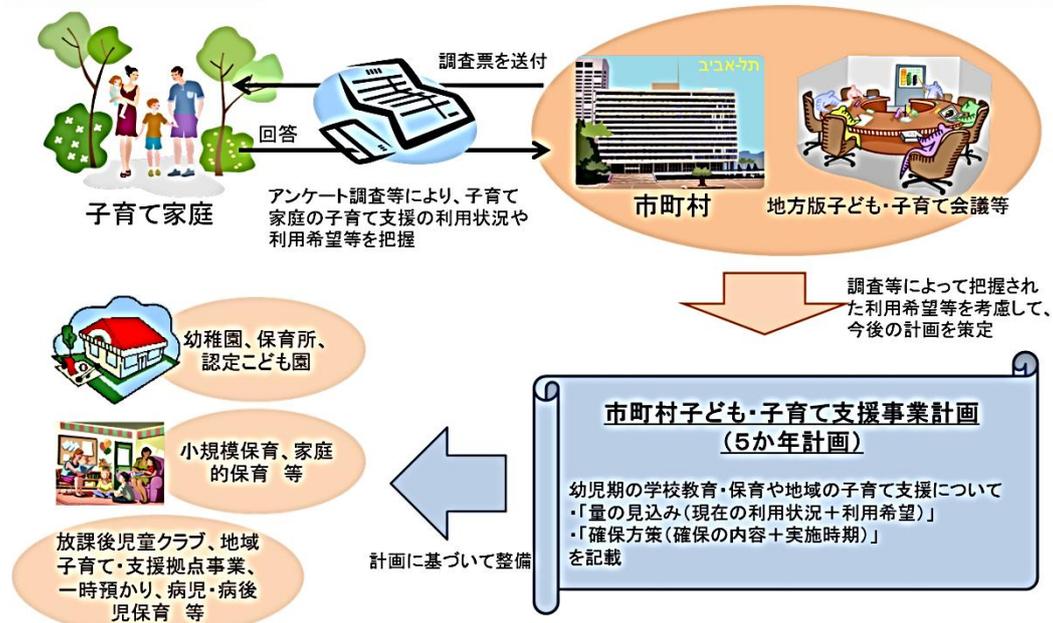
【主な内容】

- (1) 幼児教育・保育及び家庭における養育支援の一体的な提供の促進を図ることにより、質の高い幼児期の教育・保育を総合的に提供します。
- (2) 保育の量的拡大・確保を行い、待機児童の解消を図り、地域の保育を支援します。
- (3) 子育ての相談や一時預かりの場などの地域の子育てを充実させます。



ニーズ調査に関するお問い合わせ先
鹿児島市 こども未来部 こども政策課 企画係
〒892-8677 鹿児島市山下町 11 番 1 号
電話：099-216-1514
F A X：099-803-7628
E-mail：kodo-seisaku@city.kagoshima.lg.jp

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認 定 こ ど も 園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教 育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています
- ・幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
- ・小規模な保育施設：国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの〔鹿児島市には、現在のところありません〕
- ・家 庭 的 保 育：保育者の家庭等で、5人以下の子どもを保育する事業〔鹿児島市には、現在のところありません〕
- ・事業所内保育施設：企業が、主に従業員用に運営する施設
- ・病児・病後児保育：保育所に入所中の児童等が病気の回復期にあるため、保育所等での集団保育が困難な状態にあり、かつ、保護者がやむを得ない事由のため家庭で保育ができない状況にある場合に、一時的に特定の小児科医療機関で児童を預かる事業
- ・ファミリー・サポート・センター：地域住民が子どもを預かる事業

お住まいの地域についてお聞きします

問1 お住まいを、「町丁目」及び「小学校区」でご記入ください。

例：) 山下町〇〇番 → (町丁目) 山下町 (小学校区) 名山小学校区
〇〇1丁目〇番〇号 → (町丁目) 〇〇1丁目

町丁目		小学校区	小学校区
-----	--	------	------

封筒の宛名のお子さんとそのご家族の状況についてお答えください

問2 宛名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

平成 () 年 () 月

問3 宛名のお子さんの性別をお答えください。(当てはまる番号を、○でお選びください)

1. 男	2. 女
------	------

問4 宛名のお子さんに、きょうだいは、いらっしゃいますか。

いらっしゃる場合は、何人きょうだいの何番目か、また、末子の方の生まれた年と月をお答えください。(当てはまる番号を、○でお選びください)

1. きょうだいがいる	2. きょうだいはいない
-------------	--------------

↓
[] 人 きょうだいの [] 番目 ◎末子の生年月 平成 [] 年 [] 月

問5 この調査票に、ご回答いただく方はどなたですか。

宛名のお子さんからみた続柄でお答えください。(当てはまる番号を、○でお選びください)

1. 父親	2. 母親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問6 この調査票に、ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

(当てはまる番号を、○でお選びください)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問7 宛名のお子さんと同居されている方についてお聞きます。

(1) 宛名のお子さんと同居されている方は、何人ですか。

宛名のお子さんも含めて 人

(2) 宛名のお子さんと同居されている方すべてに、○をつけてください。

(宛名のお子さんからみた続柄)

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. きょうだい |
| 4. 祖父 | 5. 祖母 | 6. その他の人 () |
| 7. 父親が単身赴任中 | 8. 母親が単身赴任中 | |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育含む)を、主に行っているのはどなたですか。

宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | | | |

問9 宛名のお子さんの子育て(教育含む)に、影響すると思われる環境すべてに、○をつけてください。

- | | | | | | |
|------------|-------|--------|--------|-----------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 | 6. 小学校 |
| 7. その他 () | | | | | |

問10 日頃、幼稚園・保育所等の施設以外で、宛名のお子さんをみてもらえる(預かってもらえる)親族・知人はいますか。当てはまる番号1つに、○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. 日常的に、みてもらえる人がいる | } 【問11へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には、みてもらえる人がいる | |
| 3. みてもらえる人はいない | |
| 4. その他 () | |

問10で、「1」、「2」を選ばれた方にお聞きます。

→ 問10-1 みてもらえる(預かってもらえる)方すべてに、○をつけてください。

(宛名のお子さんからみた続柄)

- | | | | |
|----------|-------------|--------------|-----------|
| 1. 祖父母 | 2. 父親のきょうだい | 3. 母親のきょうだい | 4. その他の親族 |
| 5. 友人・知人 | 6. 近所の方 | 7. その他の方 () | |

→ 問10-2 宛名のお子さんを、みてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. みてもらう方の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. みてもらう方の身体的負担が心配である |
| 3. みてもらう方の時間的制約や精神的な負担が心配である |
| 4. 負担をかけていることが、心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとって、ふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに、○をつけてください。

1. いる／ある ⇒【問 11-1 へ】 2. いない／ない ⇒【問 12 へ】

問 11 で、「1. いる／ある」を、選ばれた方にお聞きします。

問 11-1 お子さんの子育て（教育含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|---------------------------------|-------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO | 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 | 9. かかりつけの医師 |
| 10. 自治体の子育て関連担当窓口 | 11. その他（ ） | |

問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、保育所、幼稚園、自治体担当者等）から、
どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

宛名のお子さんの保護者の就労状況について、お聞きします

宛名のお子さんの、父親についてお聞きします。

問 13 宛名のお子さんの父親の、現在の就労状況をお答えください。
 ※母子家庭の場合は、【問 14 (5 ページ)】へ、進んでください。

1. フルタイム 2. パート・アルバイト等	で就労していて、	1. 育休・介護休業中ではない 2. 育休・介護休業中である	⇒【問 13-1】へ
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない 4. これまで就労したことがない			⇒【問 13-3】へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
 ※パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労 (以下同様)

問 13 で、「1. フルタイム」、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方にお聞きします。

問 13-1 現在の平均的な就労状況を、お答えください。
 なお、現在、産休等の方は、休業に入る前の状況をお書きください。

1週間の就労日数	() 日
1日の就労時間	() 時 () 分 ~ () 時 () 分 <small>※24時間制でお答えください。(例：8時30分～17時30分)</small>
1日の残業時間	() 時間 () 分 <small>※平均的な時間でお答えください。また残業がない場合は、「0」をおかきください</small>
通勤時間(片道)	() 時間 () 分

「1. フルタイム」を選ばれた方は、【問 14】へ、お進みください。

問 13 で、「2. パート・アルバイト等」を、選ばれた方にお聞きします。

問 13-2 フルタイムへの転換希望は、ありますか。当てはまる番号1つに、○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて、子育てや家事に専念したい	⇒【問 14】へ
--	----------

問 13 で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」、「4. これまで就労したことがない」を、選ばれた方にお聞きします。

問 13-3 就労したいという希望はありますか。

1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが、() 歳になったところに、就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	希望する就労形態	ア. フルタイム イ. パート・アルバイト等
		→1週当たり () 日、1日当たり () 時間

「幼稚園」を利用されている方に、お聞きします。 ⇒幼稚園以外の方は、

【問 19】へお進みください

問 17 宛名のお子さんは、幼稚園の長期休業期間中（夏休み等）の教育・保育の事業の利用希望はありますか。

希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でお書きください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯（ ）時 ～ （ ）時 |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問 15 で、「2. 利用していない」に、○をつけた方にお聞きします。

問 18 利用していない理由は何ですか。

理由として当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がない（教育や発達のため、母親か父親が就労していないなどの理由） |
| 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている |
| 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている |
| 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない |
| 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない |
| 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない |
| 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない |
| 8. 子どもがまだ小さいため【（ ）歳くらいになったら利用したいと考えている】 |
| 9. その他（ ） |

宛名のお子さんが小学校就学前の方にお聞きします。

⇒小学校に就学されている方は、【問 23】へ

問 19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | |
|---|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で鹿児島市等の認可を受けた定員 20 人以上のもの） |
| 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） |
| 5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの） |
| 6. 家庭的保育（保育者の家庭等で 5 人以下の子どものみを保育する事業） |
| 7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） |
| 8. 認可外保育施設 |
| 9. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| 10. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 11. その他（ ） |

問 19 で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にお聞きします。

問 19-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい 2. いいえ

宛名のお子さんの土曜や休日の定期的な利用希望についてお聞きします。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい } 利用したい時間帯（ ）時 ～ （ ）時

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい } 利用したい時間帯（ ）時 ～ （ ）時

問 23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、幼児教育が無償化された場合、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

現在、国が示している無償化の内容については、次ページをご参照ください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で鹿児島市等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの)
6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 認可外保育施設
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)

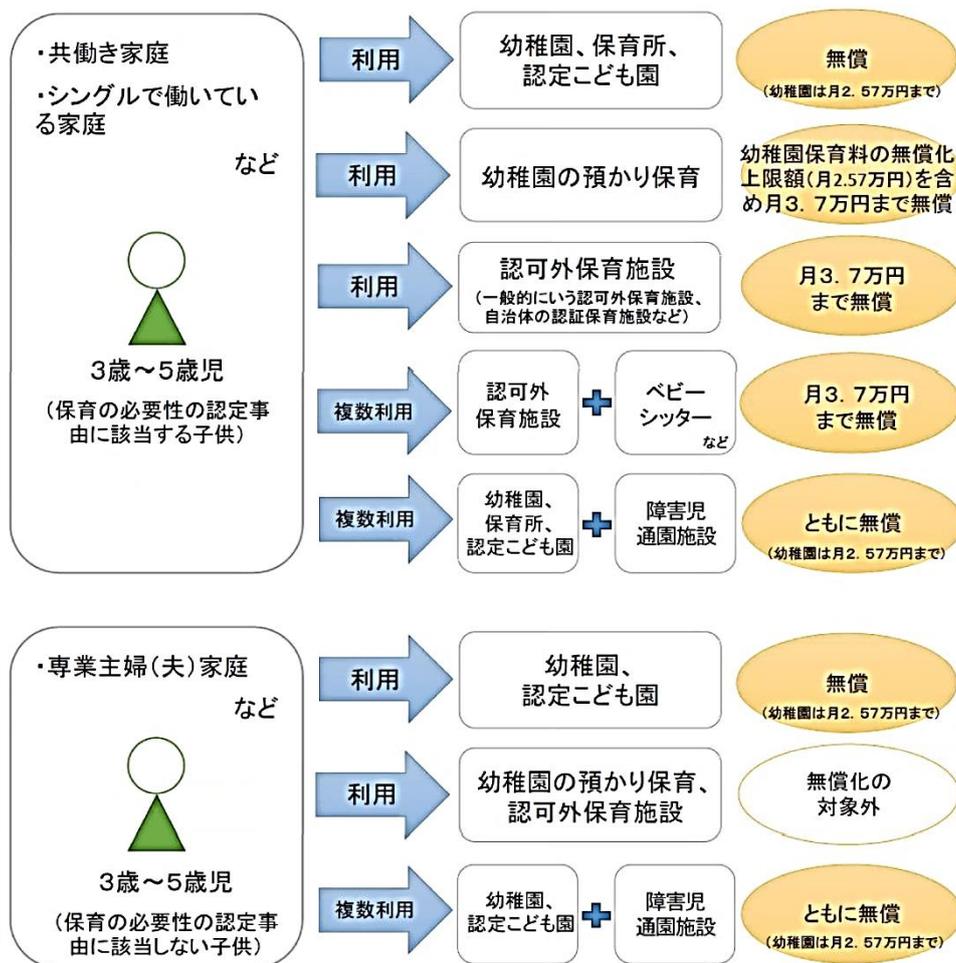
幼児教育が無償化された場合の利用希望等についての設問は以上です。



【参考】現時点で、国が示している幼児教育無償化の内容

(参考資料)

幼児教育無償化の具体的なイメージ(例)



住民税非課税世帯については、0歳～2歳児についても上記と同様の考え方により無償化の対象となる。この場合、月4.2万円まで無償となる。

※ 上記のうち認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の届出をし、指導監督の基準を満たすものに限る(ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける)。

【出典：幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会 報告書(平成30年5月)】

宛名のお子さんの「不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等」の利用についてお聞きします。

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気等のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに、○をつけ、利用されている場合は、1年間の利用日数（おおよそ）も、お書きください。
また、全て、利用していないとお答えの方は、その理由として当てはまる番号すべてに、○をつけてください。

なお、利用希望がある方は、希望日数及び理由もお書きください。

利用している事業	現在の利用・日数	利用希望・日数	利用希望がある理由
1.一時預かり (私用など理由を問わずに 保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	1.利用している ()日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある ()日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他()
2.幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長し預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	1.利用している ()日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある ()日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他()
3.ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	1.利用している ()日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある ()日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他()
4.夜間養護等事業： トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	1.利用している ()日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある ()日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他()
5.ベビーシッター	1.利用している ()日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある ()日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他()
6.その他 ()	1.利用している ()日 2.利用していない	今後、利用希望が 1. ある ()日 2. ない	1.私用、リフレッシュ目的 2.冠婚葬祭、子どもの親の通院 3.不定期の就労 4.その他()
7.全て利用していない ア. 特に利用する必要がない イ. 上記事業の存在を知らなかった ウ. 利用方法がわからない エ. 利用料がかかる オ. その他()			

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者の病気等）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、対処法として、当てはまる番号すべてに、○をつけ、それぞれの日数もお書きください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	()泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	()泊
	ウ. 「イ」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター)を利用した	()泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	()泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
	カ. その他()	()泊
2. なかった		

宛名のお子さんが5歳以上、小学3年生以下である方に、小学校での放課後の過ごし方についてお聞きします。（5歳未満の方は、【問 30（16 ページ）】へ、小学4年生以上の方は、【問 28（15 ページ）】へお進みください。）

問 26 宛名のお子さんが5歳以上小学校就学前の場合、小学校低学年及び小学校高学年になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、宛名のお子さんが小学校低学年の場合、小学校低学年の時期の放課後及び小学校高学年になった場合の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。下の表の小学校低学年及び小学校高学年の両方について、当てはまる番号すべてに、○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でお書きください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に、24 時間制でお書きください。なお、小学校高学年で、放課後児童クラブを選ばれた方は、あわせて、利用を希望する学年もお書きください。

「放課後児童クラブ」・・・放課後などに支援員の下、子どもの遊びと生活の場を提供するものですが、保護者が就労等により昼間、家庭にいないことが利用条件となっています。（一定の利用料がかかります。）

小学校低学年（1～3年生）		小学校高学年（4～6年生）	
1. 自宅	週（ ）日	1. 自宅	週（ ）日
2. 祖父母宅や友人宅	週（ ）日	2. 祖父母宅や友人宅	週（ ）日
3. 習い事 (ピアノ教室、少年団活動、学習塾など)	週（ ）日	3. 習い事 (ピアノ教室、少年団活動、学習塾など)	週（ ）日
4. 児童館（児童センター）	週（ ）日	4. 児童館（児童センター）	週（ ）日
5. 放課後子ども教室※	週（ ）日	5. 放課後子ども教室※	週（ ）日
6. 放課後児童クラブ ⇒下校時から（ ）時まで	週（ ）日	6. 放課後児童クラブ ⇒下校時から（ ）時まで ⇒小学校（ ）年生まで利用したい	週（ ）日
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日	7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日

※ 「放課後子ども教室」とは、放課後に小学校で地域住民等の参画を得て、学習や体験・活動などを行う取組です。保護者の就労の有無に関わらず、全学年で利用できます。

問 26 で、「6. 放課後児童クラブ」とお答えの方にお聞きします。

問 27 土曜日及び長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。下の表の小学校低学年及び小学校高学年のいずれか一方または両方について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用を希望する時間帯を、24 時間制でお書きください。なお、小学校高学年で、利用したいを選ばれた方は、あわせて、利用を希望する学年もお書きください。

	小学校低学年（1～3年生）	小学校高学年（4～6年生）
土曜日	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時まで 2. 利用しない	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時まで ⇒小学校（ ）年生まで 2. 利用しない
長期休暇中 (夏休みなど)	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時まで 2. 利用しない	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時まで ⇒小学校（ ）年生まで 2. 利用しない

宛名のお子さんが小学4年生以上である方に、放課後の過ごし方についてお聞きします。

問 28 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに、○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でお書きください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24 時間制）と利用を希望する学年をお書きください。

「放課後児童クラブ」・・・放課後などに支援員の下、子どもの遊びと生活の場を提供するものですが、保護者が就労等により昼間、家庭にいないことが利用条件となっています。（一定の利用料がかかります。）

小学校高学年（4～6年生）	
1. 自宅	週（ ）日
2. 祖父母宅や友人宅	週（ ）日
3. 習い事 (ピアノ教室、少年団活動、学習塾など)	週（ ）日
4. 児童館（児童センター）	週（ ）日
5. 放課後子ども教室※	週（ ）日
6. 放課後児童クラブ ⇒小学校（ ）年生まで利用したい ⇒下校時から（ ）時まで	週（ ）日
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日

※ 「放課後子ども教室」とは、放課後に小学校で地域住民等の参画を得て、学習や体験・活動などを行う取組です。保護者の就労の有無に関わらず、全学年で利用できます。

問 28 で、「6. 放課後児童クラブ」とお答えの方にお聞きします。

問 29 土曜日、長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、24 時間制でお書きください。
なお、利用したいを選ばれた方は、あわせて、利用を希望する学年もお書きください。

小学校高学年（4～6年生）	
土曜日	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時まで ⇒小学校（ ）年生まで 2. 利用しない
長期休暇中 (夏休みなど)	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時まで ⇒小学校（ ）年生まで 2. 利用しない

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお聞きします

問 30 宛名のお子さんは、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

また、今後、利用日数を増やしたいと思いますか。

当てはまる番号1つに、○をつけていただき、利用日数をお書きください。

※地域子育て支援拠点事業とは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受け
る場で、「すこやか子育て交流館（りぼんかん）」や「つどいの広場」等が当てはまります。

(1) 現在の利用状況をお答えください	1. 利用している 1 週当たり（ ）日、 もしくは、1か月当たり（ ）日 2. 利用していない
(2) 今後の利用希望をお答えください	1. 現在は利用していないが、今後利用したい 1 週当たり（ ）日、 もしくは、1か月当たり（ ）日 2. 現在も利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1 週当たり「更に」（ ）日、 もしくは、1か月当たり（ ）日 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 31 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑳の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに、○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親・父親になるための準備教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③各地域公民館での家庭教育講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥未就園児教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦ふれあい子育てサロンなど	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧すこやか子育て交流館（りぼんかん）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨親子つどいの広場（なかまっち、たにっこりん、なかよしの、いしきらら）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩地域福祉館の児童ルーム	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪児童センター（城南、三和、郡山）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫地域子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮育児支援家庭訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯こどもと家庭の相談室 （市役所にある児童についての悩み相談室）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰保育コーディネーター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱かごしま市子育てガイド	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑲ひとり親家庭等ガイドブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑳病児・病後児保育事業 （病気回復期の保育）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
㉑夢すくすくネット	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてお聞きします

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、当てはまる番号1つに、○をつけ、該当する()内に数字をお書きください。また、取得していない方は、その理由をお書きください。

父親（番号のいずれかに○）	母親（番号のいずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ↑ ⇒取得していない理由（ ） ※下から番号を選んでお書きください	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ↑ ⇒取得していない理由（ ） ※下から番号を選んでお書きください

1. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 2. 配偶者が育児休業制度を利用した
 3. 子育てや家事に専念するため退職した
 4. 仕事が忙しかった
 5. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 6. 仕事に戻るのが難しそうだった
 7. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 8. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 9. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 10. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
 11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 12. 保育所などに預けることができた
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. その他()

問 32 で、「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にお聞きします。

問 32-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに、○をつけてください。また、「1. 育児休業取得後、職場に復帰」された方は、宛名のお子さんの年齢と希望の年齢をお書きください。

(1) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒宛名のお子さんが()歳()か月のときに復帰した ⇒【問 32-2】へ ⇒希望としては、()歳()か月
2. 現在も育児休業中である ⇒【問 32-3】へ

(2) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒宛名のお子さんが()歳()か月のときに復帰した ⇒【問 32-2】へ ⇒希望としては、()歳()か月
2. 現在も育児休業中である ⇒【問 32-3】へ

第二期子ども・子育て支援事業計画策定に向けた利用ニーズ把握のための調査報告書

平成31年2月

発行 鹿児島市山下町11番1号
鹿児島市こども政策課
電話：099-216-1514

受託機関 鹿児島市呉服町3-10
株式会社九州経済研究所
電話：099-225-7491
